

ABBYY® FineReader PDF 15

ユーザースガイド

本書に記載されている情報は、予告なく変更されることがあり、その内容について ABBYY は何ら責任を負いません。本書で説明されているソフトウェアは、使用許諾契約に基づいて提供されます。

同ソフトウェアは、契約条件に厳密に従った場合に限り、使用および複製が行えます。使用許諾契約または機密保持契約で明確に許可されている場合を除き、ソフトウェアを何らかの媒体に複製することは、ロシア連邦の「ソフトウェアおよびデータベースの法的保護に関する」法律および国際法に違反します。本書のいかなる部分も、書面による ABBYY の明示的な許可を得ることなく、電子的またはその他のいかなる形式または方法によっても、その目的を問わず、複製または伝送を行ってはなりません。

[著作権](#)  379

目次

ABBYY FineReaderのご紹介	9
ABBYY FineReaderについて	10
ABBYY FineReader PDF 15の新機能	12
新規タスクウィンドウ	15
PDFの表示と編集	17
クイック変換	19
PDF文書の作成	23
Microsoft Word文書の作成	25
Microsoft Excelスプレッドシートの作成	27
その他の形式	28
高度な変換	29
文書の比較	32
モバイルアプリケーションドキュメント	35
文書のスキャンと保存	37
OCRエディターへのスキャン	40
PDFへのスキャン	42
Microsoft Wordへのスキャン	44
Microsoft Excelへのスキャン	46
画像ファイルへのスキャン	48
その他の形式へのスキャン	50
PDFエディター	51
PDF文書の表示	52
表示モード	53
PDF文書内の移動	56
背景認識	58
PDFのセキュリティ機能	59
PDF文書の検索	59
キーワード検索	60
検索と置換	62
検索と墨消し	63
PDF文書からのデータのコピー	66
エリアを画像としてコピー	66
エリアをテキストとしてコピー	67
エリアを表としてコピー	69
PDF文書の確認	71
コメントペインに表示されます	72
テキストのマークアップ	73
描画ツール	75
PDFドキュメントへのテキストブロック注釈の追加	78

目次

PDF文書で共同作業を行う	79
スタンプを追加する	83
PDFでの作業	86
テキストの挿入と編集	86
写真の挿入と編集	95
ハイパーリンクの挿入と編集	96
テキストの認識	98
ページでの作業	99
ブックマークの追加	104
ヘッダーとフッターを追加する	106
ウォーターマークを追加しています	109
添付ファイルの追加	110
メタデータの表示	111
ページ画像の補正	112
インタラクティブPDFフォームを使った作業	113
フォームへの入力	114
フォームの作成	116
フォームの編集	118
テキストフィールド	124
ドロップダウンリスト	129
チェックボックス	133
ラジオボタン	136
ボタン	139
署名フィールド	149
リストボックス	152
PDFにデジタル署名	155
デジタル署名	156
タイムスタンプサーバー設定	157
テキストの署名	158
写真の署名	159
PDF文書をパスワードで保護	159
パスワードと許可	160
PDFからの機密情報の削除	161
PDF文書の作成	162
選択したページからPDF文書を作成	162
仮想プリンターを使用してPDF文書を作成する	162
PDF文書の保存とエクスポート	163
PDF文書の保存	164
PDF/Aの保存	165
その他の形式への保存	167

目次

PDF文書のサイズの削減	167
PDF文書をOCRエディターに送信	168
PDF文書をEメールで送信	168
PDF文書の印刷	169
PDF文書の分割	169
ファイルサイズで分割	170
ページ数で分割	171
ブックマークで分割	172
OCRエディター	173
OCRエディターの起動	173
OCRエディターのインターフェイス	174
文書の取得	178
画像やPDFを開く	179
紙の文書のスキャン	180
文書の認識	181
OCRプロジェクト	182
OCRプロジェクトでのグループ作業	187
OCR結果の向上	188
文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合	189
エリアが不正確に検出された場合	192
エリアプロパティの編集	196
紙の文書の複雑な構造が再現されない場合	197
同じレイアウトの文書を大量に処理する場合	198
表や写真が検出されない場合	199
バーコードが検出されない場合	201
正しくないフォントが使用されている場合や、一部の文字が "?" や "□" に置き換えられている場合	202
印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合	203
文書に多く専門用語が含まれている場合	206
プログラムが特定の文字を認識できない場合	207
縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合	209
テキストの確認と編集	210
認識されたテキストを確認	211
スタイルの使用	214
ハイパーリンクの編集	215
表の編集	216
機密情報の削除	216
文書からのコンテンツのコピー	217
OCR結果の保存	218
PDFでの保存	220
編集可能文書の保存	221

目次

表の保存	223
電子書籍の保存	224
HTMLでの保存	225
画像の保存	226
OCR結果をPDFエディターに送信	227
OCR結果を電子メールで送信	228
OCR結果をKindleに送信	229
その他のアプリケーションとの統合	230
Windows Explorerとの統合	231
Microsoft Officeとの統合	234
Microsoft Wordとの統合	235
Word文書を使ったPDF文書の作成	236
画像ファイルを使ったWord文書の作成	237
Word文書の比較	238
Microsoft Excelとの統合	239
Microsoft PowerPointとの統合	241
Microsoft Outlookとの統合	243
Microsoft SharePointとの統合	245
モバイルアプリケーションとの統合	245
クラウドストレージ	250
OCR の自動化およびスケジューリング	251
ABBYY FineReaderを使用して文書処理を自動化する	252
ABBYY Hot Folderを開く時、	255
ABBYY ドキュメントの比較	260
ABBYY ドキュメントの比較の起動	261
文書の比較	262
メインウィンドウ	264
比較結果の向上	265
比較結果の表示	267
比較結果の保存	269
ABBYY Screenshot Reader	270
参照	274
ABBYY FineReader PDF 15をデフォルトのPDFビューアに設定する方法	275
PDF文書のタイプ	277
スキャンのヒント	280
文書の写真撮影	283
オプションダイアログボックス	285

目次

書式（フォーマット）設定	290
PDF設定	290
DOC(X) / RTF / ODT設定	295
XLS(X)設定	297
PPTX設定	298
CSV設定	298
TXT設定	299
HTML設定	300
EPUB / FB2設定	301
DjVu設定	302
サポートされているOCRおよび文書の比較言語	304
サポートされている文書の形式	311
OCR前に考慮すべき文書の機能を参照してください。	314
画像処理のオプション	317
OCRオプション	320
複雑なスクリプト言語を使った作業	323
ブラククター（Gothic Script）で書かれたテキストの認識	326
サポートされているインターフェイスの言語	329
スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間」を	330
サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント	333
正規表現	335
コマンドラインを使う	337
文書変換のコマンドラインパラメータ	337
文書比較のコマンドラインパラメータ	339
コマンドラインを使って結果を保存する	342
コマンドライン用のLangNameパラメータ値	345
ABBYY FineReader PDF 15のインストール、ライセンス認証、登録	353
システム要件	354
ABBYY FineReaderのインストールと起動	355
ABBYY FineReaderのライセンス認証	356
ABBYY FineReaderの登録	358
データプライバシー	358
付録	359
用語集	360
キーボードショートカットを使用します	366
テクニカル サポート	379
サードパーティのソフトウェア	379

目次

ABBYY FineReaderのご紹介

本章では、ABBYY FineReaderとその機能の概要を説明します。

本章の内容

- [ABBYY FineReaderについて](#) ^[10]
- [ABBYY FineReader PDF 15の新機能](#) ^[12]

ABBYY FineReaderについて

ABBYY FineReader PDF 15は、デジタルワークスペースで文書を管理するための汎用のPDFツールです。ABBYYのAIベースのOCRと文書変換テクノロジーを搭載したFineReaderは、文書に含まれる情報を活用し、ビジネスの生産性を向上させるのに役立ちます。FineReaderを使用することで、現代の作業環境であらゆる種類のPDFおよび紙の文書をデジタル化、取得、編集、変換、保護、共有、および共同作業が簡単かつ効率的になります。

ABBYY FineReader PDF 15では以下の操作が可能です：

- 文書のスキャンを含め、さまざまなタイプのPDF文書に対応しています。
 - [文書内にあるテキスト](#)^[86] (段落やテーブル内のテキストを含む)、[ハイパーリンク](#)^[96]、[画像](#)^[95]の編集
 - 文書のテキスト、コメント、ブックマーク、メタデータ中の[キーワードの検索](#)^[60]
 - PDF文書のページの[並べ替え、追加、削除](#)^[99]、および[強調（回転、トリミング、傾き補正）](#)^[112]
 - 数回クリックするだけで、PDF、スキャン、写真から[テキスト、テーブル、画像をコピー](#)^[66]
 - [PDF文書をMicrosoft Word、Excel、またはその他の編集可能な形式にエクスポート](#)^[163]
 - 文書に[コメントや注釈を追加](#)^[71]
 - [透かし](#)^[109]、[ヘッダーとフッター、ペイツタンプ](#)^[106]、[スタンプ](#)^[83]をPDF文書に追加
 - [デジタル署名の適用および検証](#)^[156]
 - [PDF文書をパスワード（暗号化）で保護](#)^[160]
 - 文書から[機密情報を削除](#)^[161]する（墨消し）
 - 業界標準の[長期アーカイブ用のPDF/A](#)^[165]およびアクセシビリティ用のPDF/UAを含めて、[PDF文書を作成/結合](#)^[164]します。
 - [PDFフォームに入力](#)^[114]
 - PDF文書の[表示](#)^[52]および[印刷](#)^[169]
 - 同じ文書の2つのコピーでテキストの[違いを見つける](#)^[260]。コピーはPDF、スキャン、画像、Microsoft Word、またはその他のサポートされているデジタルファイルの任意の組み合わせで構いません。
 - 見つけた相違点を、「変更の記録」モードでMicrosoft Word [文書として保存して共有する](#)^[269]
- [文書のスキャンおよび変換](#)^[15]
 - さらに編集、再利用、保存するために、PDFおよび紙の文書を編集および検索可能な形式（Microsoft Word、Microsoft Excel、検索可能なPDF、PDF/A、PDF/UAなど）に変換します。

- 高度なOCRエディタを使用して、紙の文書、文書の画像、PDFを迅速かつ正確に変換し、元のレイアウト、書式設定および構造を維持します。
- 変換前に、自動または手動で、文書のデジタル画像（スキャン、写真）の品質を改善し、歪みを補正します。
- テキスト認識結果を元の文書に対して速やかにチェックし、内蔵のテキストエディタと検証ツールを使用して必要な変更を加えてから保存します。
- 高度なツールを使用して、文書変換の精度をさらに向上させます：文書領域の調整または指定、珍しいフォントや装飾的なフォントを認識するようプログラムの学習機能を利用したり、ユーザー辞書や特定の用語や略語、コードなどの言語作成など。
- [テキストを比較して、同じ文書の2つのバージョン間の違いを識別](#)^[260]します。*
 - ABBYY FineReader PDF 15は、形式が異なっても同一文書の2つのバージョンを比較できます。たとえば、ドキュメントスキャンとその変更バージョンをMicrosoft Word形式(DOC / DOCX)で比較することができます。
 - 見つけた相違点を、単純な変更のみのリストとして、または変更の記録モードでのMicrosoft Wordの完全な文書として、または相違点がテキストマークアップとコメントで強調表示されたPDF文書として保存および共有します。
- [ABBYY Hot Folderを使用して個人用文書変換ルーチンを自動化](#)^[255]します。*
 - ABBYY Hot Folderは、ABBYY FineReader PDF 15に付属の変換スケジューリングアプリケーションであり、ユーザー定義のフォルダ内の文書を監視し、事前に設定されたパラメータでスケジュールに従って変換します。
- [ABBYY Screenshot Readerなら、画面のどの部分のスナップショットでも撮影](#)^[270]できます。
 - スクリーンショットにテキストまたはテーブルが含まれている場合は、抽出して編集可能な形式で保存できます。**

* 本機能は、ABBYY FineReader のすべてのバージョンで利用できるわけではありません。詳細情報は、<http://www.ABBYY.com/FineReader> を参照してください。

** ABBYY Screenshot Readerを使用するには、ABBYY FineReader を製品登録する必要があります。

ABBYY FineReader PDF 15の新機能

PDF文書の編集

- **段落内のテキストの編集**

スキャンされた文書も含め、あらゆる種類のPDF文書のテキスト編集が、テキストの段落全体（ブロック）内で実行できるようになりました。テキストが追加または削除されると、テキストは自動的に1行ずつ移動し、Microsoft Wordなどのワードプロセッサに似た編集の自由と便利さを提供します。

- **テキストの書式の変更**

段落全体、または選択した部分だけのテキストの書式（フォントの種類とサイズ、書体、色、行間隔、テキストの配置と方向）を変更することもできます。

- **ページレイアウトの編集**

PDFの任意のページのレイアウトを変更することもできます。段落（テキストのブロック）の追加または削除、段落の位置の変更、幅を広くしたり、狭くしたり、高くしたり低くしたりして、ページに合わせて配置し、すべてをうまく整列させることができます。テキストは、レイアウト変更に合わせて自動的に再配置されます。

- **表のセルの編集**

表の各セルは個別の段落として別々に編集できるようになり、同じ行の他のセルの内容には影響しなくなりました。

PDF文書の表示

- **高速のビューアー**

FineReaderのPDFビューアーが、1.5倍高速になりました。あらゆる種類のPDF文書を開くことが、期待通りに俊敏になりました。

PDFの作成

- **インタラクティブPDFフォームの作成**

オリジナルの入力可能PDFフォームを、空白の文書からまたは既存のPDFにフィールドを追加して作成します。入力可能フィールド、ドロップダウンリスト、選択式の質問、アクションボタンなどから選択します。必要に応じてフォームの編集や調整ができます。

PDF文書の変換

- **テキストレイヤーの品質検出**

デジタルPDFを扱うときのテキストレイヤーの品質のインテリジェントな検出が追加されました。ページ内のテキストレイヤーに問題がある（破損、エンコードの問題など）と識別された場合、FineReaderはテキストレイヤーを抽出するのではなく、そのようなページを変換するためにOCRを適用します。これにより、最初からデジタル形式であるPDFを編集可能な形式に変換するときに最も正確な結果を得ることができます。

- **フィールドおよび注釈の中のテキストの検出**

インタラクティブPDFフォームのフィールドや「テキストボックス」（「タイプライター」とも呼ばれる）タイプの注釈からテキストを抽出する特別なメカニズムにより、このようなPDFを編集可能な形式に変換するときに正確かつ確実にテキストを保持できます。

- **レイアウト保持機能の向上**

デジタルPDF文書を編集可能な形式に変換するときの段落の再構築も改良されました。

文書の比較

- **変更履歴の記録モードでのエクスポート**

文書の比較では、組織、特に法律業界で一般的に使用されている変更履歴の記録モードで表示される相違点を含む比較結果をMicrosoft Word文書にエクスポートできるようになりました。

- **さらに正確な比較**

デジタルPDF文書の変換における改良のおかげで、そのような文書と他のサポートされている形式の文書との比較は、以前よりもさらに正確に実行されるようになりました。

- **比較可能な言語の追加**

アルメニア語の文書の比較が可能になりました。合計で38の言語での比較がサポートされています。

OCRの改良

最新バージョンのABBYY OCRテクノロジーのおかげで、FineReader 15は、日本語と韓国語のより正確な文書変換が可能です。また、サポートされている右から左への書き出し方向の言語でExcelに保存するときのテーブル構造の保存が改良され、タグ付きPDF（PDF/UAを含む）に保存するときの自動タグ付けが向上しました。

組織のための改良

- **リモートユーザーライセンス**

リモートユーザーライセンスでは、名前付きユーザーアクセスに基づいて、Microsoftリモートデスクトップサービス（RDS）、Citrix XenApp、Citrix Virtual Apps and Desktopsなどのデスクトップおよびアプリケーションの仮想化ソリューションでFineReaderを使用できます。詳細については、FineReaderの管理者ガイドを参照してください。

- **GPOによる製品のカスタマイズの向上**

GPO（グループポリシーオブジェクト）を使用して特定のユーザー/ワークステーション用にFineReaderをカスタマイズできる可能性のリストが、以下のオプションで拡張されました：

- FineReaderが使用するワークステーションのCPUの最大数を定義する
- 同時接続ライセンスを使用するワークステーションの強制ライセンス解放のためのユーザー非アクティブタイムアウトを設定する
- .admx+.adml テンプレートが利用可能

プログラムの向上にフィードバックをお寄せいただき、機能の拡張や向上に貢献いただいたすべてのユーザーの皆様に、心より感謝申し上げます。

新規タスクウィンドウ

ABBYY FineReaderを起動すると **新しいタスク** ウィンドウが開きます。ここで簡単に文書を開いたり、スキャン、作成、比較が可能です。この **新規タスク** ウィンドウが表示されない場合（閉じてしまった、またはWindows Explorerでファイルを右クリックしてABBYY FineReaderタスクを開始した）は、メインツールバーの

 **新規タスク** ボタンをクリックすればいつでも開くことができます。



文書の処理を開始するには、タスクを選択します：

1. 処理する文書が既にある場合は、
 - 左ペインで **開く** をクリックします。
 - 最初に紙の文書をスキャンする必要がある場合は、**スキャン** をクリックします。
 - 同じ文書の2つのバージョンを比較したい場合は、**比較** をクリックします。
 - 保存しておいたPDF文書またはOCRプロジェクトでの作業を再開する場合は、**最新** をクリックします。

- **モバイルアプリケーション** をクリックして、iOSまたはAndroid用のFineReader PDFを使用してスマートフォンで文書を作成し、コンピュータで引き続き作業します。

2. 右のペインで適切なタスクを選択します。

📌 タスクの上にマウスカーソルを置くとポップアップウィンドウが開き、そのタスクで最も頻繁に使用されるシナリオが一覧表示されます。



📌 ABBYY FineReaderのタスク設定はすべて、**オプション** ^[285] ダイアログボックスで指定されています。このダイアログボックスを開くには、左ペインの下部で **オプション** をクリックします。

本章の内容

- [PDFの表示と編集](#) ^[17]
- [クイック変換](#) ^[19]
- [高度な変換](#) ^[29]
- [文書の比較](#) ^[32]
- [モバイルアプリケーションドキュメント](#) ^[35]
- [文書のスキャンと保存](#) ^[37]

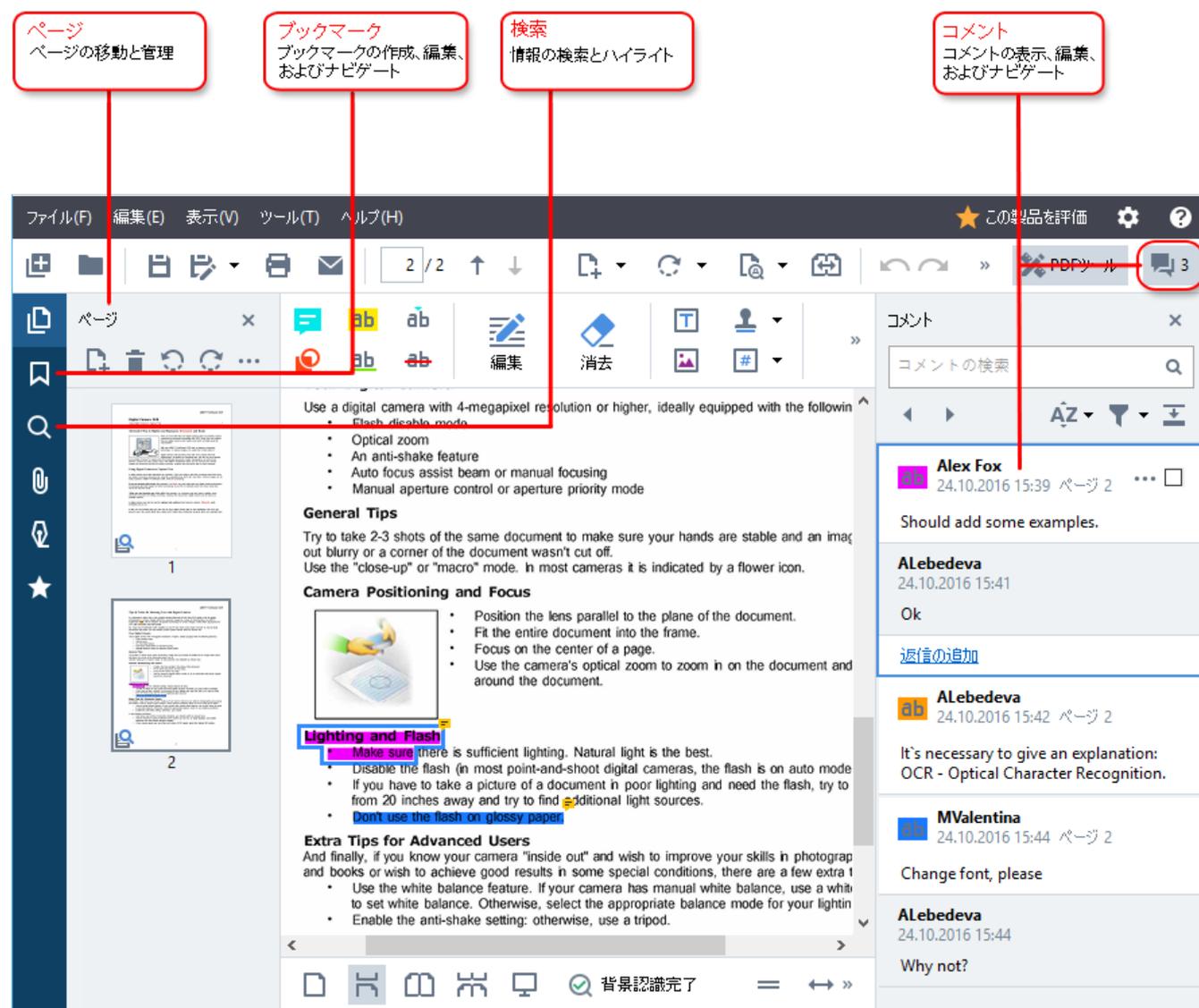
PDFの表示と編集

ABBYY FineReaderを使えば、どのようなタイプのPDFでも簡単に表示、編集、コメントの追加、内部の検索が可能です。また、紙の文書からスキャンされたため編集可能なテキストが含まれていないPDFファイルでも作業できます。

PDFの表示とコメントの追加

まず **新規タスク** 画面で、**開く** タブをクリックして **PDFを開く** をクリックします。選択された文書がPDFエディターで開かれ、**表示**^[52]と**コメントの追加が可能になります**^[71]。

文書内を移動する場合は、**ページ**^[56]、**ブックマーク**^[104]、**検索**^[59]、**コメント**^[79] ボタンを使用します。



ABBYY FineReaderでは以下のコメントツールが提供されています：

- **メモの追加**^[72]
- **強調表示**^[73]、下線、取り消し線、テキストの挿入
- **描画、線引、**^[75] 矢印



☑ コメントツールが表示されない場合は、 PDFツール ボタンをクリックします。

PDFの編集

ABBYY FineReaderでは以下の編集ツールが提供されています：



以下も参照してください：[テキストや写真の編集](#)^[86]、[写真の挿入と編集](#)^[95]。

PDF文書の保護^[159]

ABBYY FineReaderでは以下の操作が可能です：



以下も参照してください：[デジタル署名](#)^[156]、[PDFからの機密情報の削除](#)^[167]、[パスワードと許可](#)^[160]。

インタラクティブPDFフォームを使った作業

ABBYY FineReader PDF 15 で、インタラクティブフォームへの入力、保存、印刷が可能です。以下も参照してください：[インタラクティブPDFフォームを使った作業](#)^[113]

インタラクティブフォームが含まれているPDFを開くと、入力フィールドが強調表示され、ドロップダウンリストから値を選択するか情報を入力するよう求められます。

☑ 空欄のフィールドにテキストをタイプするだけでは入力できないフォームの場合は、**エクスポート** ツールを使用し、必要な情報をフォームに上書きします。以下も参照してください：[フォームへの入力](#)^[114]。

☑ PDFでの作業に関する詳細は、[PDF文書での作業](#)^[51] を参照してください。

クイック変換

ビルトインタスク（開くタブ、新規タスク画面）を使ってPDFまたは画像を変換したり、さまざまな形式のファイルから新しいPDFを作成したりできます。

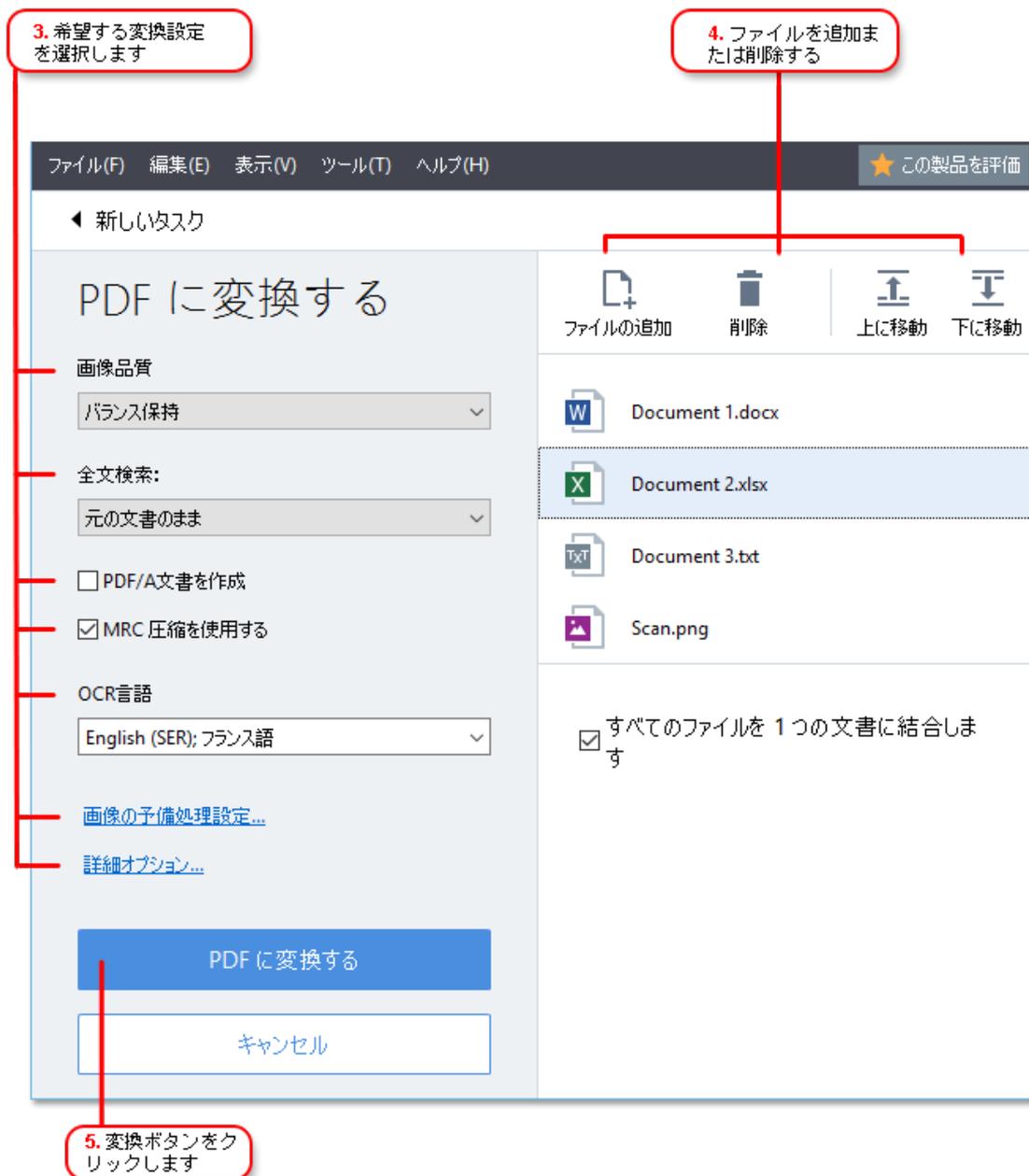
ファイルの変換

1. まず **開く** タブをクリックした後、目的のタスクをクリックします：



- **PDFに変換する** *.docx、*.html、*.jpegなどのファイルからPDFを作成します。このタスクを使って複数のファイルを1つのPDFにまとめることもできます。
- **Microsoft Wordに変換する** PDFや画像ファイルからWord文書を作成します。また、このタスクを使って複数のファイルを1つのMicrosoft Word文書にまとめることもできます。
- **Microsoft Excelに変換する** PDFや画像ファイルからExcelスプレッドシートを作成します。また、このタスクを使って複数のファイルを1つのExcel文書にまとめることもできます。
- **その他の形式に変換する** PDFや画像ファイルをよく使われる形式（*.odt、*.pptx、*.epub、*.htmlなど）に変換します。

2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。



3. 変換設定を指定します。

これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。

5. 次に <format>に変換 ボタンをクリックします。

6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

ファイルの結合

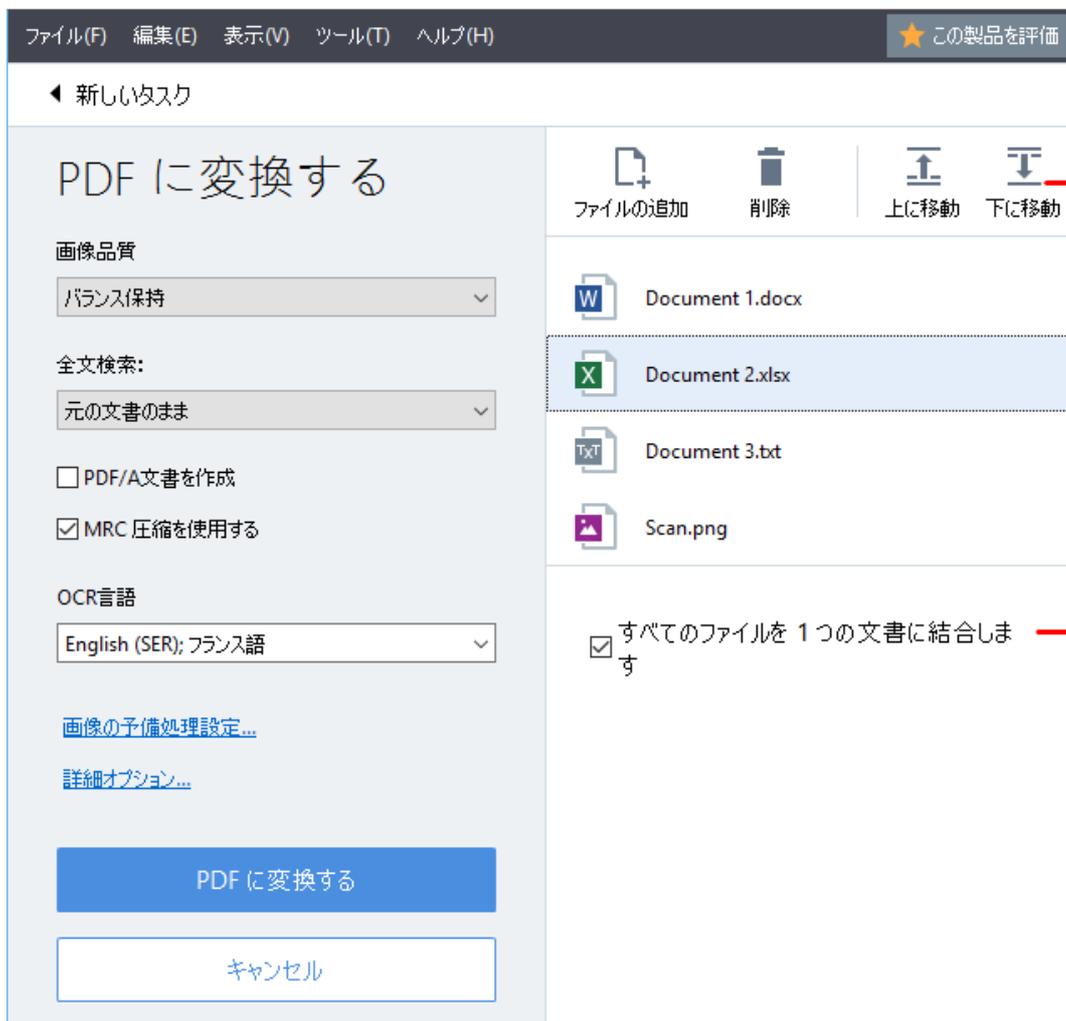
1. まず **開く** タブをクリックした後、目的のタスクをクリックします。

2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。

3. 変換設定を指定します。

4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。

5. 結合する前にファイルの
序を変更することができます



5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、**すべてのファイルを 1 つの文書に結合します** オプションを選択します。

6. 次に **<format>に変換** ボタンをクリックします。

7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

💡 レイアウトが複雑な大型文書には [高度な変換](#)^[29]を使用します。

📌 以下も参照してください: :

- [PDF文書の作成](#)^[23]
- [Microsoft Word文書の作成](#)^[25]
- [Microsoft Excelスプレッドシートの作成](#)^[27]

- [その他の形式](#)  28

PDF文書の作成

「新規タスク」ウィンドウで、以下の操作を実行できます：

- さまざまな形式のファイルからPDFを作成
- 複数のファイルをPDFに変換
- 複数のファイルを1つのPDFに結合
- 検索可能なPDFを作成
- PDF/Aと互換性がある文書を作成

ファイルの変換

1. まず **開く** タブをクリックし、**PDFに変換する** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 3.1. **画像品質** 写真の品質と結果ファイルのサイズは、**画像品質** ドロップダウンメニューのオプションを使って微調整できます：
 - **最高の品質**
写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。元の解像度が維持されます。
 - **バランス保持**
写真の品質をあまり落とすことなく出力PDFファイルのサイズを縮小させる場合は、このオプションを選択します。
 - **コンパクトサイズ**
写真の品質を落として小さいサイズのPDFファイルを取得する場合は、このオプションを選択します。
 - **カスタム...**
写真の保存をカスタマイズする場合は、このオプションを選択します。まず **カスタム設定** ダイアログボックスで、目的の値を指定して **OK** をクリックします。
 - 3.2. **全文検索** 出力文書内でのフルテキスト検索を有効、または無効にする場合は、このドロップダウンメニューを使います：
 - **元の文書のまま** 画像上のテキストは認識されません。出力文書内の検索は、元の文書にテキストレイヤーがある場合のみ可能です。
 - **テキストや画像内で検索する** 画像上のテキストも認識されます。出力文書内の検索も可能です。

- **全文検索を無効にする** 文書は画像のみのPDFに変換されます。出力文書内の検索は実行できません。
- 3.3.**PDF/A文書を作成** PDF/Aと互換性がある文書を作成する場合は、このオプションを選択します。デフォルトではPDF/A-2b文書が作成されます。まず **詳細オプション...** をクリックし、別のバージョンのPDF/Aを選択します。
 - 3.4.**MRC 圧縮を使用する** 画像品質を大幅に落とすことなくファイルサイズを縮小させるようMRC (Mixed Raster Content) 圧縮を適用する場合は、このオプションを選択します。
 - 3.5.**OCR言語** 文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)^[314]。
 - 3.6.**画像の予備処理設定...** ここでは、スキャンや画像ファイルの外観や変換品質を向上させる追加操作をいくつか指定できます。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)^[318]。
 - 3.7.**詳細オプション...** まず [PDF](#)^[290] タブ ([書式設定](#)^[290] ダイアログボックス) を開きます。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
 5. 次に **PDFに変換する** ボタンをクリックします。
 6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーにPDF文書が配置されます。

ファイルの結合

1. まず **開く** タブをクリックし、**PDFに変換する** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
3. 次に [変換設定を指定します](#)^[23]。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、**すべてのファイルを1つの文書に結合します** オプションを選択します。
6. 次に **PDFに変換する** ボタンをクリックします。
7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーにPDF文書が配置されます。

Microsoft Word文書の作成

「[新規タスク](#) ウィンドウで、PDFや画像から、およびサポートされている形式のファイルから [Microsoft Word文書を作成できます](#)³¹¹。複数のファイルを変換して1つのMicrosoft Word文書に結合させることもできます。

ファイルの変換

1. まず **開く** タブをクリックし、**変換後の形式 Microsoft Word** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

3.1.フォーマットを保持する。

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- **正確なコピー**
出力される文書の外観はほとんど元の文書と同じですが、編集のオプションは制限されます。
- **編集可能コピー**
出力される文書の外観は元のファイルと若干異なる場合がありますが、文書自体は簡単に編集できます。
- **フォーマット済みテキスト**
フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。出力テキストは1つの列に配置されます。
- **プレーンテキスト**
段落の書式設定のみ保持されます。出力テキストは1つの列に配置され、全体で単一のフォントが使用されます。

3.2.**OCR言語** 文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)³¹⁴。

3.3.**画像を保持する** 出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。

3.4.**ヘッダー、フッター、ページ番号を維持する** ヘッダー、フッター、ページ番号を保持したい場合はこのオプションを選択します。

3.5.**詳細オプション...** まず [DOC\(X\)/RTF/ODT](#)²⁹⁵ タブ ([書式設定](#)²⁹⁰ ダイアログボックス) を開きます。

4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 次に **Word に変換する** ボタンをクリックします。
6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーにMicrosoft Word文書が配置されます。

ファイルの結合

1. まず **開く** タブをクリックし、**変換後の形式 Microsoft Word** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
3. 次に [変換設定を指定します](#)^[25]。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、**すべてのファイルを1つの文書に結合します** オプションを選択します。
6. 次に **Word に変換する** ボタンをクリックします。
7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーにMicrosoft Word文書が配置されます。

Microsoft Excelスプレッドシートの作成

その後、**新規タスク** ウィンドウで、PDFや画像から、およびサポートされている形式のファイルから [Microsoft Excel文書を作成できます](#)^[311]。複数のファイルを変換して1つのExcel文書に結合させることもできます。

ファイルの変換

1. まず **開く** タブをクリックし、**変換後の形式 Microsoft Excel** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 3.1. **フォーマットを保持する**。
出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。
 - **フォーマット済みテキスト**
フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。
 - **プレーンテキスト**
段落のみ保持されます。全体に単一のフォントが使用されます。
 - 3.2. **OCR言語** 文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)^[314]。
 - 3.3. **画像を保持 (XLSX のみ)** 出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。
 - 3.4. **ページごとに別のシートを作成する (XLSXのみ)** 元の文書のページごとにMicrosoft Excelスプレッドシートを作成したい場合は、このオプションを選択します。
 - 3.5. **詳細オプション...** まず [XLS\(X\)](#)^[297] タブ ([書式設定](#)^[290] ダイアログボックス) を開きます。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 次に **Excel に変換する** ボタンをクリックします。
6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーに Microsoft Excelファイルが配置されます。

ファイルの結合

1. まず **開く** をクリックし、**変換後の形式 Microsoft Excel** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
3. 次に [変換設定を指定します](#)^[27]。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、**すべてのファイルを1つの文書に結合します** オプションを選択します。

6. 次に **Excel に変換する** ボタンをクリックします。
7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーに Microsoft Excel 文書が配置されます。

その他の形式

その後、**新規タスク** ウィンドウで、PDF や画像をよく使われる形式（*.pptx、*.odt、*.html、*.epub、*.fb2、*.rtf、*.txt、*.csv、*.djvu）に変換したり、複数のファイルを1つの文書に結合させることができます。

ファイルの変換

1. まず **開く** タブをクリックし、**変換後の形式 その他の形式** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換するファイルを1つまたは複数選択します。
3. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 3.1. **出力フォーマットを選択する** ファイル変換後の形式を選択します。
 - 3.2. **OCR 言語** 文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)³¹⁴。
 - 3.3. **詳細オプション...** これによって **書式設定**²⁹⁰ ダイアログボックスの対応するタブが開きます。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 次に **<format>に変換** ボタンをクリックします。
6. 出力ファイルの宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーに結果ファイルが配置されます。

ファイルの結合

1. まず **開く** タブをクリックし、**変換後の形式 その他の形式** をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、変換したいファイルを選択します。
3. 次に **変換設定を指定します**²⁸⁷。
4. 必要に応じてファイルを追加または削除します。
5. 目的の順序にファイルを並べ替えて、**すべてのファイルを1つの文書に結合します** オプションを選択します。
6. 次に **<format>に変換** ボタンをクリックします。
7. 出力ファイルの名前と宛先フォルダーを指定します。
タスクが完了すると、指定されたフォルダーに文書が配置されます。

高度な変換

ABBYY FineReaderには、[高度なOCRと変換機能を提供するOCRエディターが](#)含まれています。OCRエディターによって、認識エリアの確認、認識されたテキストの検証、OCR精度向上のための画像事前処理などを実行できます。

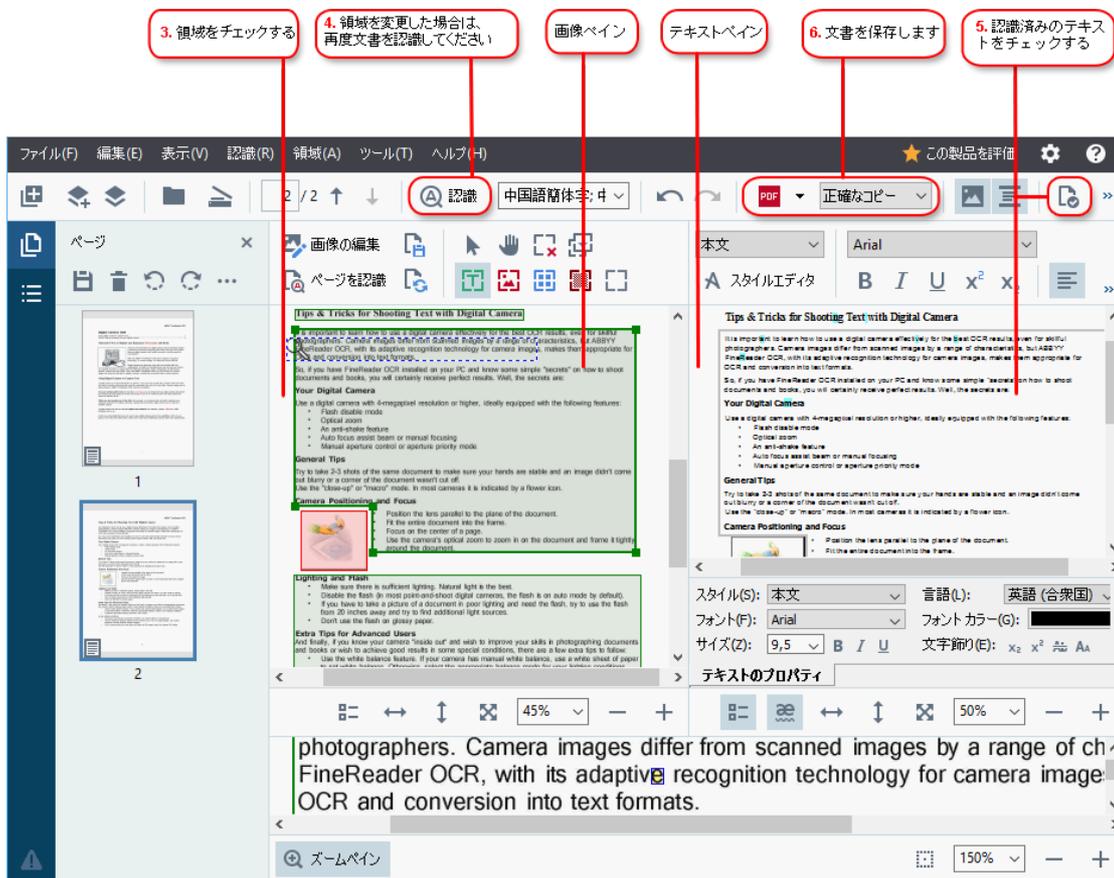
OCRエディターはまた、最高の結果が得られるようOCRと変換を微調整できるパワフルな機能が提供されています。たとえば [認識エリアを編集したり](#)^[192]、[認識されたテキストを確認したり](#)^[211]、[非標準文字やフォント](#)^[203]を認識できるように学習させることができます。

1 OCRエディターを開く方法はいくつかあります：

- まず、以下の順にクリックして **新しいタスク**^[15] ウィンドウを開きます：**ファイル** > **新規タスク**、そして **開く** タブを選択して、**OCRエディタで開く** タスクをクリックします。
- まず **新しいタスク** ウィンドウを開き、**ツール** > **OCRエディタ** とクリックします。
- まず **新しいタスク** ウィンドウを開き、**ファイル** > **OCRエディタで開く** とクリックします。

2 次に **画像を開く** ダイアログボックスで、開きたいファイルを選択します。

デフォルト設定を使用している場合、ABBYY FineReaderは開かれているファイルを自動的に分析および認識します。これらの設定は、**画像処理** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で変更できます。このダイアログボックスは、**ツール** > **オプション...** とクリックして開きます。



3 文書を開くと、その画像が **画像** ペインに表示され、画像上でテキスト、写真、表、バーコードエリアがマークされます。エリアが正確に検出されたかどうか確認し、必要であれば **編集** します。

ABBYY FineReaderは文書を分析し、テキスト、写真、表、バーコードを含んでいるエリアを検出します。

複雑な文書ではエリアが誤って検出されることもあります。大半の場合、すべてのエリアを手動で設定するより、自動検出されたエリアを修正するほうが簡単です。

エリアの設定や編集のためのツールは **画像** ペイン上部のツールバーにあります。このツールバーは **テキスト**、**写真**、**背景の写真** および **表** エリアを選択するとその上に表示されます。

これらのツールを使って以下の操作を実行できます：

- エリアを追加および削除
 - エリアのタイプを変更
 - エリアの境界線を調整してエリア全体を移動
 - エリアに対して長方形のパーツを追加または削除
 - エリアの順序を変更
- 4 エリアに何らかの変更を加えた場合は、メインツールバーの **認識** ボタンをクリックして文書を再認識させます。
 - 5 認識されたテキストを **テキスト** ペインで確認し、必要であれば修正します。
 - 6 [認識された文書を保存します](#)^[218]。文書の保存形式は、メインツールバーの **保存/送信** ボタンのドロップダウンリストで選択できます（ドロップダウンリストはこのボタンの横にある矢印をクリックすれば開きます）。

 OCRエディターとその機能に関する詳細は [OCRエディターの操作](#)^[173]を参照してください。

文書の比較

(本機能は ABBYY FineReader の一部のバージョンではご利用になれません。以下も参照してください：
<http://www.ABBYY.com/FineReader>。)

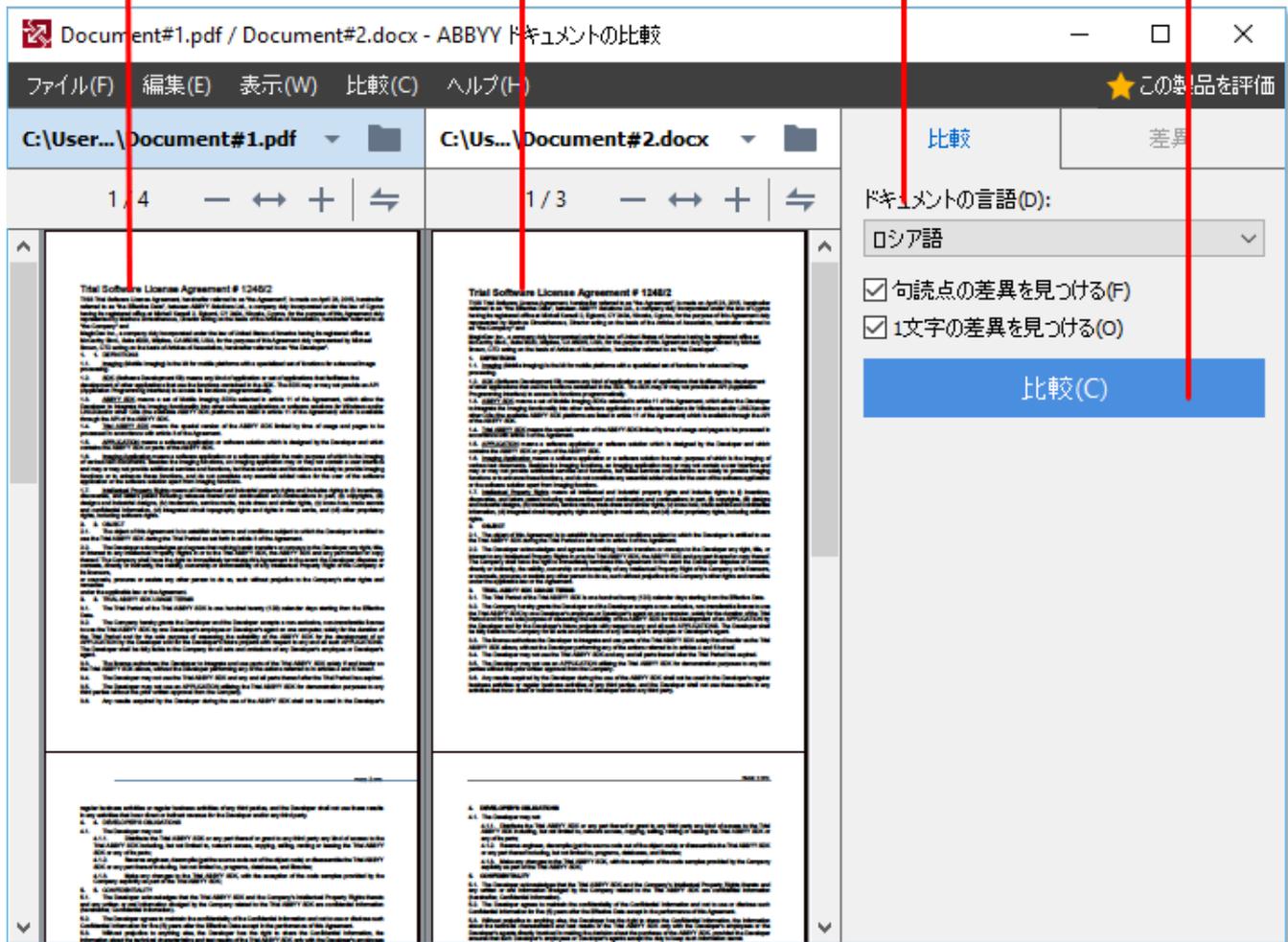
ABBYY FineReaderには、形式が異なっても同一文書の2つのバージョンを比較できる ABBYY ドキュメントの比較が含まれています。ABBYY FineReaderのドキュメント比較ツールは、テキスト内の重大な不整合性を検出するため、たとえば、誤ったバージョンのドキュメントを承認したり発行したりするのを防止するのに役立ちます。

ABBYY ドキュメントの比較は複数の方法で開始できます：

- まず [新しいタスク](#)^[15] ウィンドウを開き、**比較** タブを選択して「**ABBYY ドキュメントの比較を開く**」をクリックします。
- 次に、Windowsで **[スタート]** ボタンをクリックし、次の順にクリックします：**ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY ドキュメントの比較** (Windows 10では、**[スタート]**  ボタンをクリックしてスタートメニューの **すべてのプログラム** アイテムを選択した後、**ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY ドキュメントの比較** とクリックします)。
- 次に **ドキュメントの比較** (ツール メニュー) をクリックします。
- Windows Explorerで [ファイルを右クリック](#)^[231] して、ショートカットメニューの **ドキュメントの比較...** をクリックします。

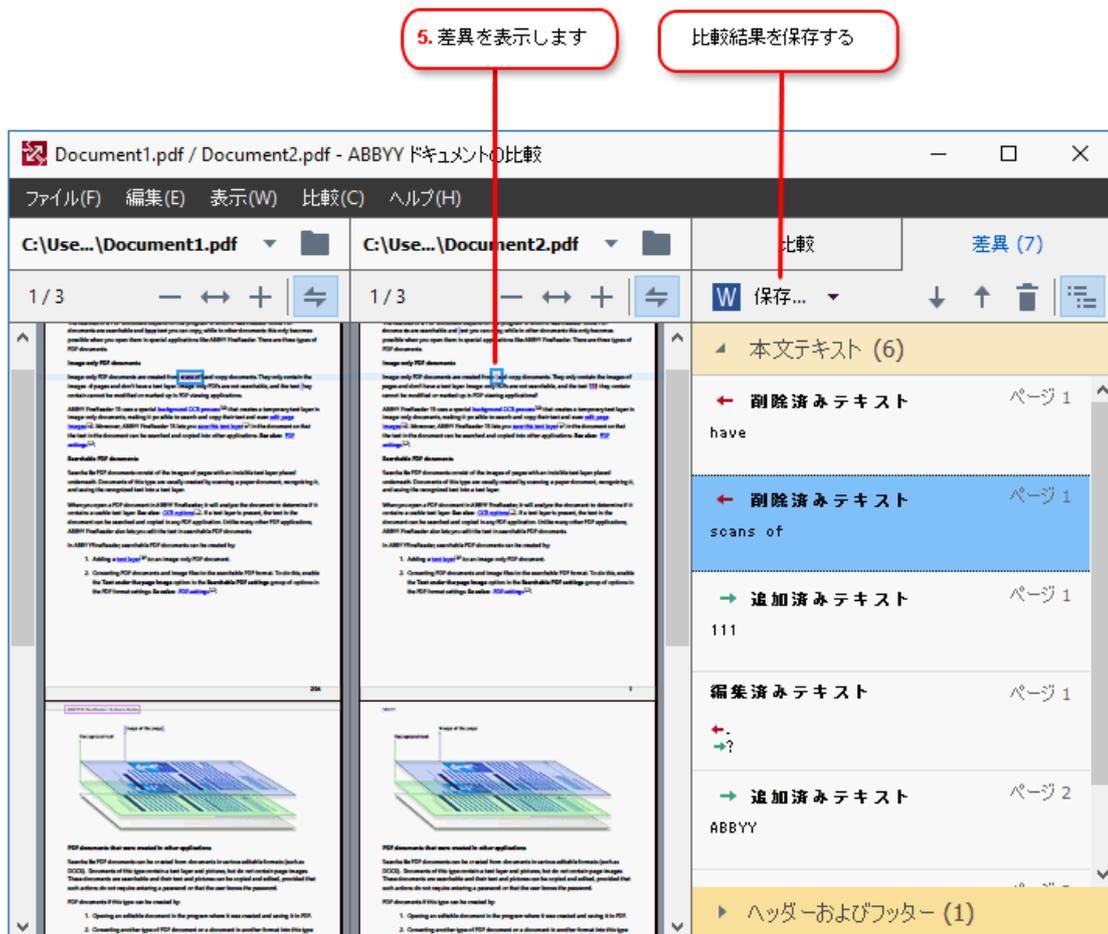
以下の説明に従って2つの文書を比較します。

- 1. 比較する文書の1つを開きます
- 2. 比較する他の文書を
開きます
- 3. 文書の言語を
選択します
- 4. 比較ボタンを
クリックします



1. ABBYY ドキュメントの比較 を起動し、比較する文書の一方のバージョンを左のペインに開いて、他方のバージョンを右のペインに開きます。
2. その後、**比較** ペインで、ドロップダウンリストから文書の言語を選択します。

3. 次に **比較** ボタンをクリックして文書进行比较します。



4. ABBYY ドキュメントの比較 が検出した差異を確認します。

2バージョン間の差異は各バージョンで強調表示され、右パネルに一覧表示されます。これにより、文書に加えられた変更を明確に把握できます。また、各バージョンで追加、削除、編集されたテキストの表示が簡単になります。両方のページが同時にスクロールし、同一のフラグメントは常に横並びで表示されます。差異は、リストから削除したりクリップボードにコピーしたりできます。

✎ リストから削除された差異は差異レポートに保存されません。

比較の結果は以下の形式で保存できます：

- マイクロソフトワードファイルとして保存し、差異は変更履歴機能を使用して表示する。
- コメント付きPDFドキュメントとして保存する。
- マイクロソフトワード表形式で差異を表示する。

✎ 同一文書の2つのバージョンの比較に関する詳細は [ABBYY ドキュメントの比較](#) ²⁶⁰ を参照してください。

モバイルアプリケーションドキュメント

FineReader PDFモバイルアプリケーションで文書を作成し、PCのFineReaderPDFで引き続き文書进行操作できます。

スマートフォンからPCに文書を送信するには、以下の手順を実行してください：

1. FineReaderPDFモバイルアプリケーションをiOS / Androidデバイスにインストールします（[AppStore](#)および[GooglePlay](#)で入手可能）。
2. FineReader PDFモバイルアプリケーションを使用して、iOS / Androidデバイスで文書を作成します。
3. **Google Drive (FineReader)**へのエクスポートを使用して、その文書をPCに送信します。

次に、モバイルアプリケーションを使用して作成した文書にすばやくアクセスするには：

1. PCに、Googleドライブクラウドストレージクライアントをインストールします。
 GoogleのウェブサイトからWindows用のGoogleドライブを[ダウンロード](#)します。
2. ホーム画面で、**フォルダを選択（モバイルアプリケーションタブ）**をクリックして、ローカルのGoogleドライブストレージのFineReaderフォルダを指定します。



3. 表示されるモバイルアプリケーションの文書とフォルダのリストから、該当する文書またはフォルダを選択します。
4. 変更を行って、文書を保存します。

✎ モバイルアプリケーションを使用して作成された文書の操作の詳細については、[モバイルアプリケーションとの統合](#)²⁴⁵を参照してください。

文書のスキャンと保存

さまざまな形式のデジタル文書を作成する場合は、**スキャン** タブ（**新規タスク** ウィンドウ）にあるタスクを使用できます。文書画像を取得するため、スキャナーまたはデジタルカメラが必要です。

1. まず **スキャン** タブを選択してタスクをクリックします：



- **OCRデータにスキャン** が [OCR Editor](#)^[173] でスキャンを開きます。
- **PDF 形式でスキャン** スキャナーやデジタルカメラから取得された画像からPDFを作成します。
- **Microsoft Word 形式でスキャン** スキャナーやデジタルカメラから取得された画像から Microsoft Word 文書を作成します。
- **Microsoft Excel 形式でスキャン** スキャナーやデジタルカメラから取得された画像から Microsoft Excel 文書を作成します。
- **画像ファイル形式でスキャン** スキャナーやデジタルカメラから取得された画像から画像のみの文書を作成します。

- **その他の形式でスキャンする** スキャナーやデジタルカメラから取得された画像から、よく使われる形式（*.odt、*.pptx、*.epub、*.htmlなど）の文書を作成します。



2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#) ^[280]。
3. **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 選択された形式に固有の設定を指定します。
これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
6. **<format>**に**スキャン** ボタンをクリックします。
7. スキャンが開始されると、進捗バーとヒントがダイアログボックスに表示されます。
8. ページがスキャンされると、ダイアログボックスに次の操作を決定するよう求めるメッセージが表示されます。
現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. 手順1で選択したタスクに応じて、スキャンされた画像は：
 - 処理された後、[OCRエディター](#) ^[173]のOCRプロジェクトに追加されます。

- 処理された後、PDFに変換されます。生成される文書を保存したいフォルダーを指定します。文書はOCRエディターで開かれたままとなります。
- 処理された後、選択された形式に変換されます。生成される文書を保存したいフォルダーを指定します。文書はOCRエディターで開かれたままとなります。

📌 以下も参照してください: :

- [OCRエディターへのスキャン](#)^[40]
- [PDFへのスキャン](#)^[42]
- [Microsoft Wordへのスキャン](#)^[44]
- [Microsoft Excelへのスキャン](#)^[46]
- [画像ファイルへのスキャン](#)^[48]
- [その他の形式へのスキャン](#)^[50]

OCRエディターへのスキャン

スキャナーやカメラからの画像をOCRエディターで開き、以下の操作を実行できます：

- 認識エリアを手動で描いて編集する
- 認識されたテキストを確認する
- 非標準文字やフォントを認識できるように、ABBYY FineReaderを学習させる
- 最高のOCR結果を得られるよう、その他の高度なツールを使用する

1. まず **新規タスク** ウィンドウを開き、次に **スキャン** タブを選択して、**OCRエディタにスキャン** タスクをクリックします。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#) 。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 事前処理設定および自動設定を指定します。

5.1. ページ画像が追加されたら自動で処理する

このオプションによって、新しく追加されたページの自動処理が有効、または無効になります。自動処理が有効になっていれば、画像をスキャンしたり開く時に適用する文書処理の一般オプションや画像の事前処理を選択できます。

- **ページ画像を認識する**

FineReaderが **事前処理設定** ダイアログボックス（このダイアログボックスを開くには下のリンクをクリック） **画像の予備処理設定（変換およびOCRに適用）** で指定した設定を使い、新しく追加された画像を自動的に事前処理するようにしたい場合は、このオプションをオンにします。分析と認識も自動的に実行されるようになります。

- **ページ画像を分析する**

画像の事前処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。

- **ページ画像の事前処理**

画像を自動的に事前処理します。分析と認識は手動で開始する必要があります。

5.2. OCR言語

文書の言語を指定するには、このオプションを使用します。以下も参照してください： [認識言語](#)



5.3. 画像の前処理設定...

まず **事前処理設定** ダイアログボックスを開き、ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)^[318]。

5.4. 詳細オプション...

まず [画像処理](#)^[287] タブ **オプション** ダイアログボックス) を開きます。このダイアログボックスは、**オプション...** を **ツール** メニューでクリックしても開きます。

6. 次に **スキャン** をクリックします。
7. 進捗ダイアログボックスが表示され、進捗バーやヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. スキャン処理が完了すると、スキャンされた画像はOCRエディターのOCRプロジェクトに追加され、既に指定した事前処理設定と自動設定を使って処理されます。

 OCRエディターとその機能に関する詳細は [OCRエディターの操作](#)^[173] を参照してください。

PDFへのスキャン

「PDF形式でスキャンタスク（新規タスク ウィンドウ）で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からPDFを作成できます

1. まず **新規タスク** ウィンドウを開き、次に **スキャン** タブを選択して、**PDF形式でスキャン** をクリックします。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#) ^[280]。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

5.1. **画像品質** このオプションによって画像や写真の品質が決定し、生成される出力ファイルのサイズが変わってきます。使用できる品質設定は以下のとおりです：

- **最高の品質**

写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。元の解像度が維持されます。

- **バランス保持**

写真の品質をあまり落とすことなく出力PDFファイルのサイズを縮小させる場合は、このオプションを選択します。

- **コンパクトサイズ**

写真の品質を落として小さいサイズのPDFファイルを取得する場合は、このオプションを選択します。

- **カスタム...**

写真の保存をカスタマイズする場合は、このオプションを選択します。次に、**カスタム設定** ダイアログボックスで、目的の値を指定して **OK** をクリックします。

5.2. **PDF/A文書を作成**

PDF/Aと互換性がある文書を作成する場合は、このオプションを選択します。

5.3. **MRC 圧縮を使用する**

画像品質を大幅に落とすことなくファイルサイズを縮小させるようMRC（Mixed Raster Content）圧縮を適用する場合は、このオプションを選択します。

5.4. **画像のテキストを認識する**

OCRが自動的に開始されるようにするには、このオプションを選択します。

5.5. OCR言語

文書の言語を指定するには、このオプションを使用します。以下も参照してください: [認識言語](#)³¹⁴。

5.6. 画像の予備処理設定...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定する場合は、このオプションを使用します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)³¹⁸。

5.7. 詳細オプション...

まず [PDF](#)²⁹⁰ セクション ([書式設定](#)²⁹⁰、オプション ダイアログボックス内) が開き、ここで追加設定を指定できます。このダイアログボックスは、[オプション...](#) を **ツール** メニューでクリックしても開きます。

6. 次に **PDF 形式でスキャン** をクリックします。
7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーとヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. スキャンが完了すると、スキャンされた画像は指定した設定によって処理され、PDFに変換され、OCRエディターで開かれます。
10. 生成されるPDFを保存したいフォルダーを指定します。

Microsoft Wordへのスキャン

「Microsoft Word 形式でスキャンタスク（新規タスク ウィンドウ）で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からMicrosoft Word文書を作成できます。

1. まず **新規タスク** ウィンドウを開き、次に **スキャン** タブを選択して、**Microsoft Word 形式でスキャン** タスクをクリックします。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#)²⁸⁰。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

5.1.フォーマットを保持する

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- **正確なコピー**
出力される文書の外観はほとんど元の文書と同じですが、編集のオプションは制限されます。
- **編集可能コピー**
出力される文書の外観は元のファイルと若干異なる場合がありますが、文書自体は簡単に編集できます。
- **フォーマット済みテキスト**
フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。出力テキストは1つの列に配置されます。
- **プレーンテキスト**
段落の書式設定のみ保持されます。出力テキストは1つの列に配置され、全体で単一のフォントが使用されます。

5.2.OCR言語

文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)³¹⁴。

5.3.画像を保持する

出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。

5.4.ヘッダー、フッター、ページ番号を維持する

ヘッダー、フッター、ページ番号を保持したい場合はこのオプションを選択します。

5.5.画像の予備処理設定...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)

³¹⁸。

5.6. 詳細オプション...

まず [DOC\(X\)/RTF/ODT](#) セクション ([書式設定](#) タブ、 [オプション](#) ダイアログボックス) で選択された設定でセクションが開きます。このダイアログボックスは、 [オプション...](#) を [ツール](#) メニューでクリックしても開きます。

6. 次に **Scan to Word** をクリックします。
7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーとヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. Microsoft Word文書を保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定されたフォルダーに Microsoft Word文書が作成されます。文書のページはすべて、OCRエディターでも開かれます。

Microsoft Excelへのスキャン

「Microsoft Excel 形式でスキャンタスク（新規タスク ウィンドウ）で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像からMicrosoft Excel文書を作成できます。

1. まず **新規タスク** ウィンドウを開き、次に **スキャン** タブを選択して、**Microsoft Excel 形式でスキャン** タスクをクリックします。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#)^[280]。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

5.1.フォーマットを保持する。

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- **フォーマット済みテキスト**

フォントの種類、フォントのサイズ、段落の書式設定は保持されます。

- **プレーンテキスト**

段落のみ保持されます。全体に単一のフォントが使用されます。

5.2.OCR言語

文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)^[314]。

5.3.XLSX 設定 :

- **画像を保持する**

出力文書に写真を保持したい場合はこのオプションを選択します。

- **各ページのシートを個別に作成**

元の文書のページごとにMicrosoft Excelスプレッドシートを作成したい場合は、このオプションを選択します。

5.4.画像の予備処理設定...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定する場合は、このオプションを使用します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)^[318]。

5.5.詳細オプション...

まず [XLS\(X\)](#)^[297] セクション（[書式設定](#)^[290] タブ、**オプション** ダイアログボックス）が開き、ここで追加設定を指定できます。このダイアログボックスは、**オプション...** を **ツール** メニューでクリックしても開きます。

6. 次に **Scan to Excel** をクリックします。

7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーとヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. Microsoft Excel文書を保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定されたフォルダーに Microsoft Excel文書が作成されます。文書のページはすべて、OCRエディターでも開かれます。

画像ファイルへのスキャン

「**画像ファイル形式でスキャン**タスク（**新規タスク** ウィンドウ）で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像から画像のみの文書を作成できます。

1. まず **スキャン** タブを選択して、**画像ファイル形式でスキャン** タスクをクリックします。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#) 。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。

5.1. 画像フォーマットの選択

この設定を使って、目的の画像ファイル形式を選択します。

5.2. 圧縮

TIFF形式を選択した場合は、スキャンした画像を圧縮できます。画像を圧縮すればファイルサイズが小さくなります。

圧縮方法によってデータの圧縮率が異なるため、データロス（画像品質の劣化）につながる場合もあります。圧縮方法を選択する際は、出力ファイルの画像品質とそのサイズという2つの要素を考慮しておく必要があります。

ABBYY FineReaderで使用できる圧縮方法は以下のとおりです：

- **PACKBITS**

データロスを発生させず、白黒スキャンの圧縮に最適です。

- **JPEG (JFIF フォーマット)**

この方法は、写真などのグレースケールおよびカラー画像の圧縮に使用されます。画像は大幅に圧縮されますが、データロスが一部発生することになります。これにより、画像品質が劣化します（ぼけ、および彩度の低下）。

- **ZIP**

データロスを発生させず、単色部分を多く含むスクリーンショットや白黒画像に最適です。

- **LZW**

データロスを発生させず、ベクターグラフを持つ画像やグレースケールの画像に最適です。

5.3. 画像の予備処理設定...

ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください：[画像処理のオプション](#)



6. まず **<format>** に**スキャン**をクリックします。

7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーとヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。
現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. 出力ファイルを保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定された形式の出力ファイルが指定されたフォルダーに配置されます。文書のページはすべて、OCRエディターでも開かれます。

その他の形式へのスキャン

「その他の形式でスキャンする」タスク（新規タスク ウィンドウ）で、スキャナーやデジタルカメラから取得した画像から、よく使われる形式（*.pptx、*.odt、*.html、*.epub、*.fb2、*.rtf、*.txt、*.csv、*.djvu）で文書を作成できます。

1. まず **新規タスク** ウィンドウを開き、次に **スキャン** タブを選択して、**その他の形式でスキャンする** タスクを選択します。
2. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#)^[280]。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。画像の品質に満足できない場合は、スキャン設定を変更して **プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 変換設定を指定します。これらの設定によって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
 - 5.1. **出力フォーマットを選択する**
このオプションを使って、目的の出力ファイル形式を選択します。
 - 5.2. **OCR言語**
文書の言語を選択します。以下も参照してください: [認識言語](#)^[314]。
 - 5.3. **画像の予備処理設定...**
ページ方向の検出や自動事前処理設定を指定します。これらの設定によってソース画像が大幅に改善され、OCRの精度が向上します。以下も参照してください: [画像処理のオプション](#)^[316]。
 - 5.4. **詳細オプション...**
によって、[書式設定](#)^[290] タブ（オプション ダイアログボックス）で選択された設定でセクションが開きます。このダイアログボックスは、**オプション...** を **ツール** メニューでクリックしても開きます。
6. 次に **<format>** に**スキャン**をクリックします。
7. ダイアログボックスが表示され、進捗バーとヒントが表示されます。
8. ページがスキャンされると、次の操作を決定するよう求めるダイアログボックスが表示されます。現在の設定でスキャンを続行する場合は **再スキャン** をクリックし、ダイアログボックスを閉じる場合は **スキャン終了** をクリックします。
9. 出力ファイルを保存したいフォルダーを指定します。

タスクが完了すると、指定された形式の出力ファイルが指定されたフォルダーに配置されます。文書の画像はすべて、OCRエディターでも開かれます。

PDFエディター

ABBYY FineReaderのPDFエディターは、PDF文書での作業のための使いやすいツールです。PDFエディターを使用して、PDF文書の表示、テキスト検索、ページの並べ替え、ページの追加または削除、ドキュメントのテキストの編集、PDF文書から画像またはテキストの一部をコピーして、その他のアプリケーションへの貼り付け、PDF文書へのコメントの追加、インタラクティブPDFフォームの作成、入力、編集を実行できます。テキストレイヤーのスキャンのみが含まれる場合には、PDFを編集可能な形式に変換する必要はありません。

本章の内容

- [PDF文書の表示](#) ^[52]
- [PDF文書の検索](#) ^[59]
- [PDF文書からのデータのコピー](#) ^[66]
- [PDF文書の確認](#) ^[71]
- [PDFでの作業](#) ^[86]
- [インタラクティブPDFフォームを使った作業](#) ^[113]
- [デジタル署名でPDF文書に署名](#) ^[155]
- [PDF文書をパスワードで保護](#) ^[159]
- [PDF文書の作成](#) ^[162]
- [PDF文書の保存とエクスポート](#) ^[163]
- [PDF文書の分割](#) ^[169]

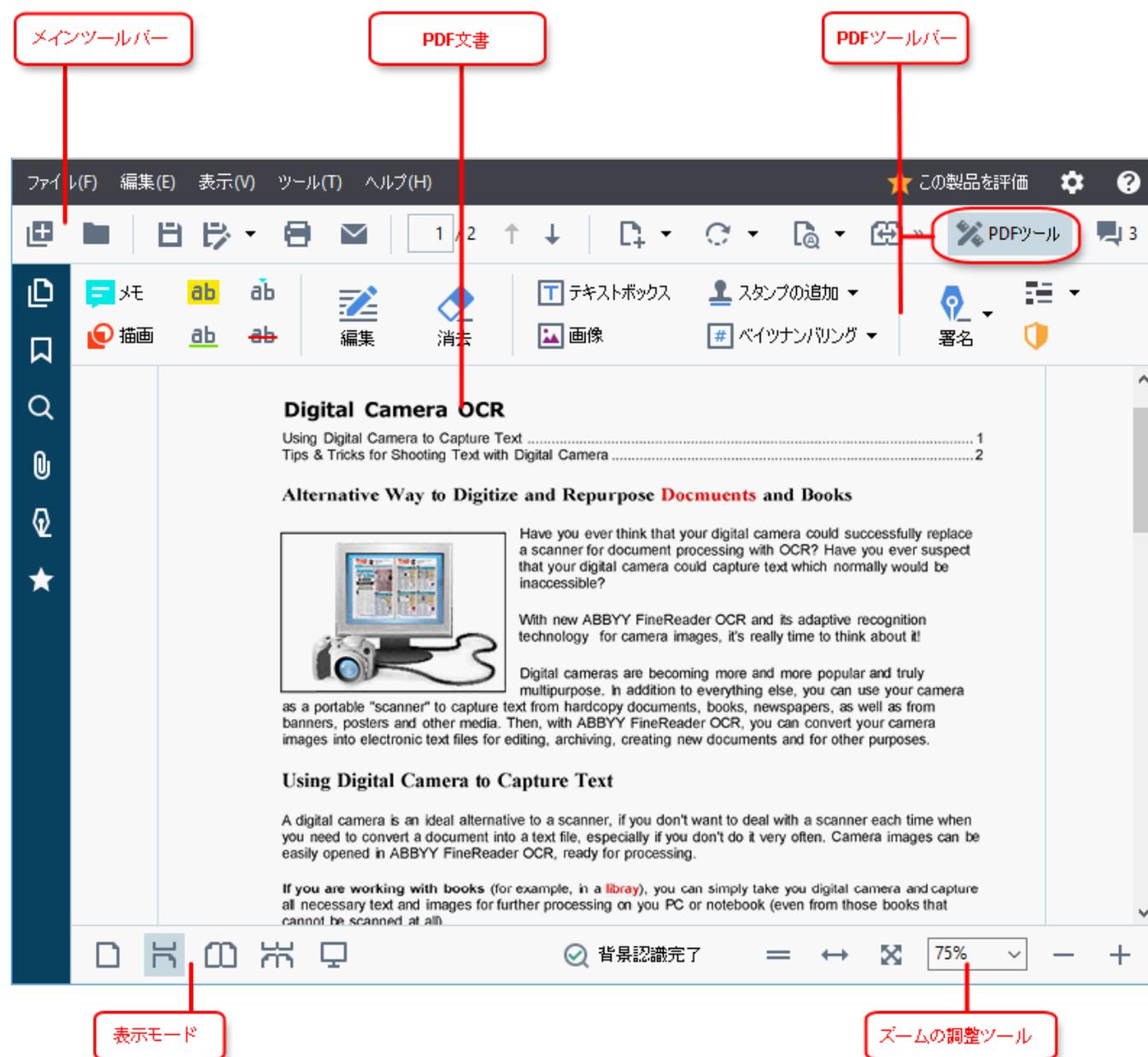
PDF文書の表示

PDFエディターを使用して、PDF文書を表示、検索を行ったり、PDFに含まれるテキスト、写真、表のコピーを実行できます。

PDFエディターでPDF文書を開くには：

- [新しいタスク](#)^[15] ウィンドウで **開く** タブをクリックし、**PDFを開く** タスクをクリックします。
- ペインを開きます **新しいタスク** ウィンドウを開き、次のようにクリックします：**ファイル** > **PDFを開く** ...

文書はPDFエディターで開かれます。

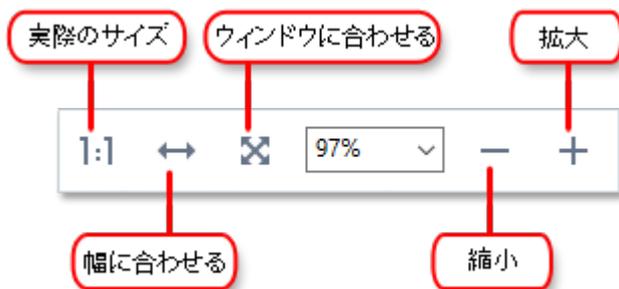


文書の表示方法をカスタマイズするには、次の設定を使用します。

- 表示モードはページが表示、スクロールされる方法を変更します。

以下も参照してください：[表示モード](#)^[53]。

- ズーム機能を使用して、ズームイン、ズームアウトできます。



- **実サイズ** ページを100%で表示します。
- **幅に合わせる** 文書が表示される縮尺を変更し、文書の幅が画面に合うようにします。
- **ウィンドウに合わせる** 文書が表示される縮尺を変更し、文書の高さが画面に合うようにします。
- **縮小/拡大** 縮尺を手動で調整することができます。

PDFツールのツールバーを表示/非表示するには、メインツールバーの **PDFツール** メインツールバーで、ボタンをクリックします。

本章の内容

- [表示モード](#)^[53]
- [PDF文書内の移動](#)^[56]
- [背景認識](#)^[58]
- [PDFのセキュリティ機能](#)^[59]

表示モード

PDFエディターには文書の表示、スクロール方法を決定する表示モードは4つあります：

- 1ページに表示** 1ページを表示し、その他のページを非表示にします
- ワンページスクロール** ページを連続表示し、1つのページの終わりに次のページの始まりが表示されます。
- 2ページに表示** 奇数のページを左に、偶数のページを右に配置して横並びに表示します。
- 2ページスクロール** 2ページを横並びに表示し、後続のページはスクロールすると表示されます。

📄 2ページ表示モードで偶数のページを左に、奇数のページを右に表示する場合には、次のようにクリックします：**表示 > 表示モード > 奇数ページを右**。

表示モードを変更する方法はいくつかあります：

- 画面下部のツールバーのボタンのいずれかをクリックします：



- をクリックします **表示 > 表示モード** そして、いずれかの表示モードを選択します。
- 以下のキーボードショートカットを使用します：**Ctrl+1**、**Ctrl+2**、**Ctrl+3**、**Ctrl+4**。

全画面モード

PDFエディターには全画面表示モードがあり、文書が全画面に表示されパネルやツールバーは表示されません。

全画面モードにするには、以下のいずれかを実行してください：

-  画面下部のツールバーの、ボタンをクリックします。
- をクリックします **表示 > 全画面**。
- **F11 F11**。

全画面モードでは、以下を実行できます：

- 文書をスクロールします。
- コメントの表示 (コメントエリアでマウスポインターをコメントを表示する場所に当てます)。
- 表示モードと縮尺の変更。
 - 📄 表示オプションがある下部のツールバーを表示するには、マウスポインターを画面の下端に移動します。
- 文書の特定のページに移動します。
 - 📄 [以下も参照してください：PDF文書内の移動](#)⁵⁷⁾。

全画面表示で文書を右クリックし、ショートカットメニューのコマンドを使用して以下を実行します：

- [コメント](#)⁷²⁾ およびテキスト挿入ポイントの追加
- ブックマークの作成 [ブックマーク](#)¹⁰⁴⁾
- [テキストや写真の編集](#)⁸⁶⁾

全画面モードを終了するには **F11** または **Esc**。

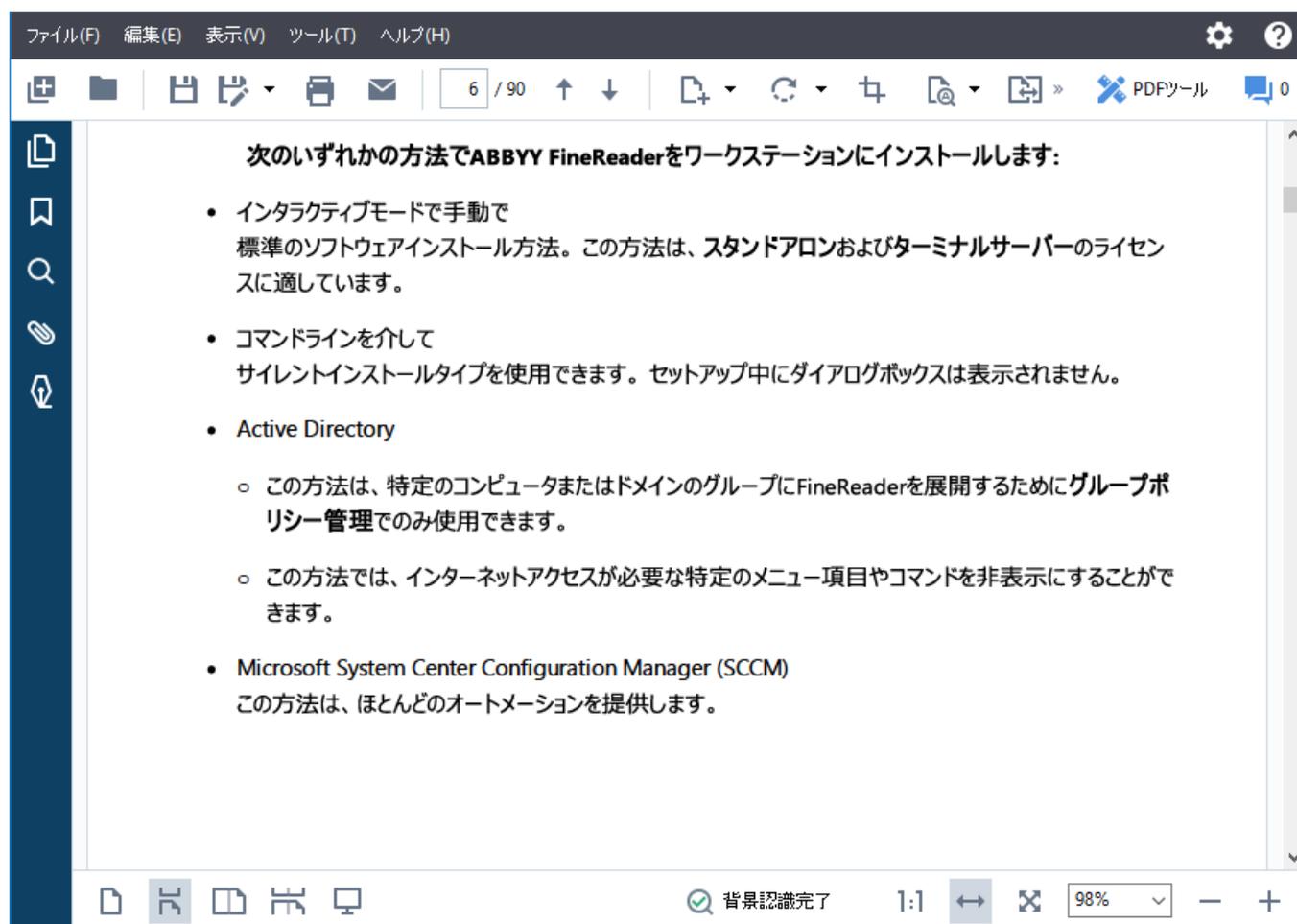
PDF文書を読む際にツールバーとペインを非表示にする

PDFエディターで文書を読む際、ツールバーやペインの一部または全部を非表示にして文書にできるだけ広い画面範囲を使用したいと考えるかもしれません。メニューバー、メインツールバー、画面下部のツールバーは別々に非表示にはできませんが、すべてのツールバーおよびペインを非表示するために全画面モードを使用することができます。

以下のツールバーやペインを非表示にできます：

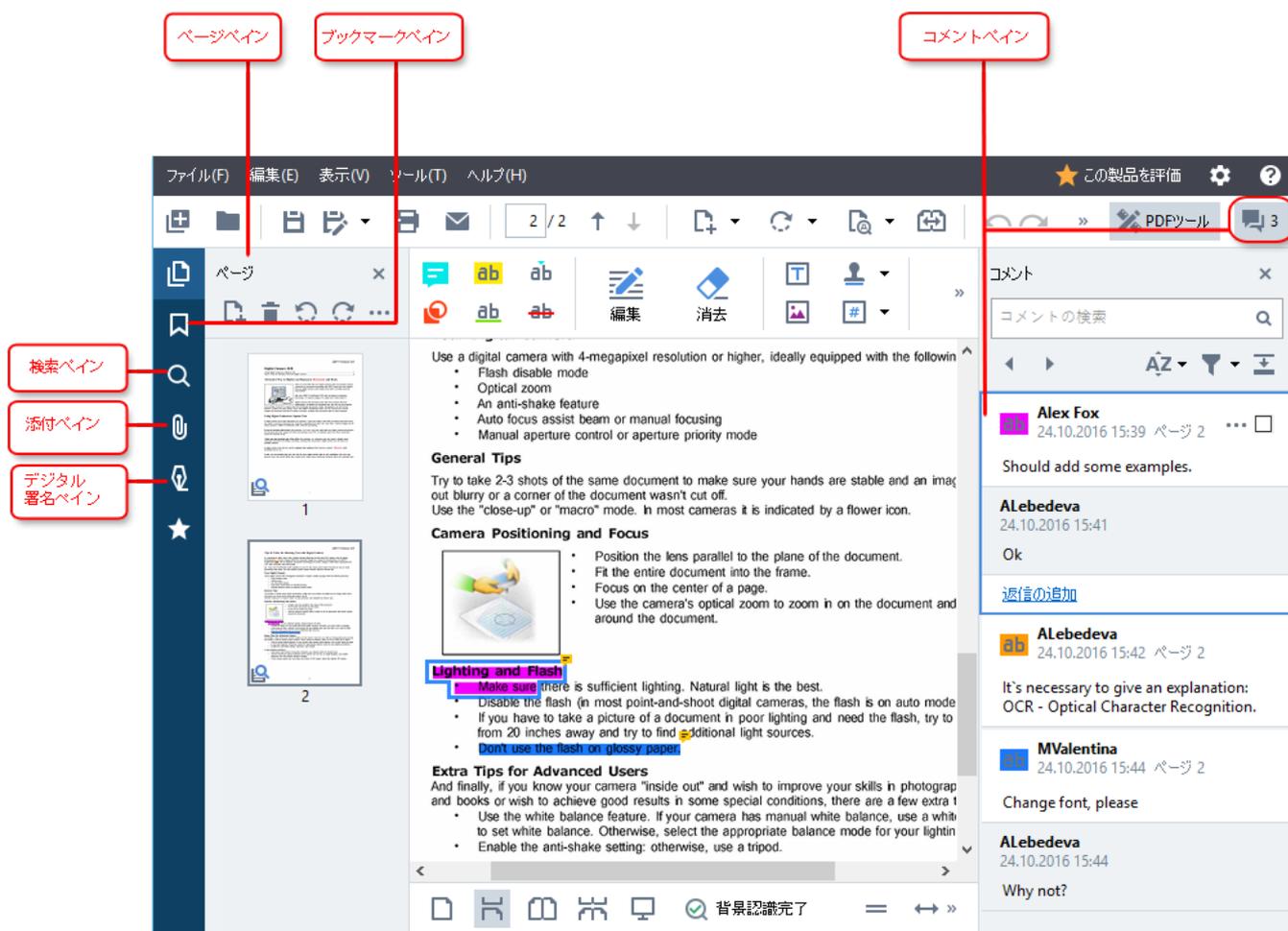
- ナビゲーションペインを非表示にするには **F5** を押すか、をクリック **表示** して **ナビゲーションペインの表示** オプションをクリアします。
- PDFツールバーを非表示にするには **F6** 製品内で次のようにクリックしてください。 **表示** して **PDFツールの表示** オプションをクリアします。
- コメントペインを非表示にするには **F7** 製品内で次のようにクリックしてください。 **表示** して **コメントペインの表示** オプションをクリアします。

ナビゲーションペイン、PDFツールバー、コメントペインを非表示にしたPDFエディター：



PDF文書内の移動

PDFエディターにはPDF文書内の移動を容易にする様々なツールが含まれます。



- ページペインを使用してページ間を迅速に移動したり、ページの並べ替え、文書のページの追加または削除を実行できます。
- ブックマークペインにはブックマークを作成、編集、移動するためのツールが含まれます。
- 検索ペインを使って、テキストの検索や強調表示を実行できます。
- 添付ペインを使って、添付を表示したり編集したりできます。
- デジタル署名ペインを使って、デジタル署名の表示および削除ができます。

これらのペインの表示、非表示に使用するキーボードショートカットは以下に記載されています：[キーボードショートカットを使用します](#)³⁷⁴。

特定のページの表示

PDFエディターは、長い文書での移動を容易にするような複数のツールを提供します。

ページ間を移動する：

- メインツールバーの  ボタンを使用します。
- をクリックします **表示 > ページに移動** その後 **次のページ**、**前のページ**、**最初のページ**または**最後のページ**。

特定のページを迅速に開く：

- メインツールバーのボックスに目的のページ数を入力して 、**Enter** を押します。
- をクリックします **表示 > ページに移動 > ページ番号...**、目的のページ数を入力し、**OK** をクリックします。

全画面表示でページを移動する：

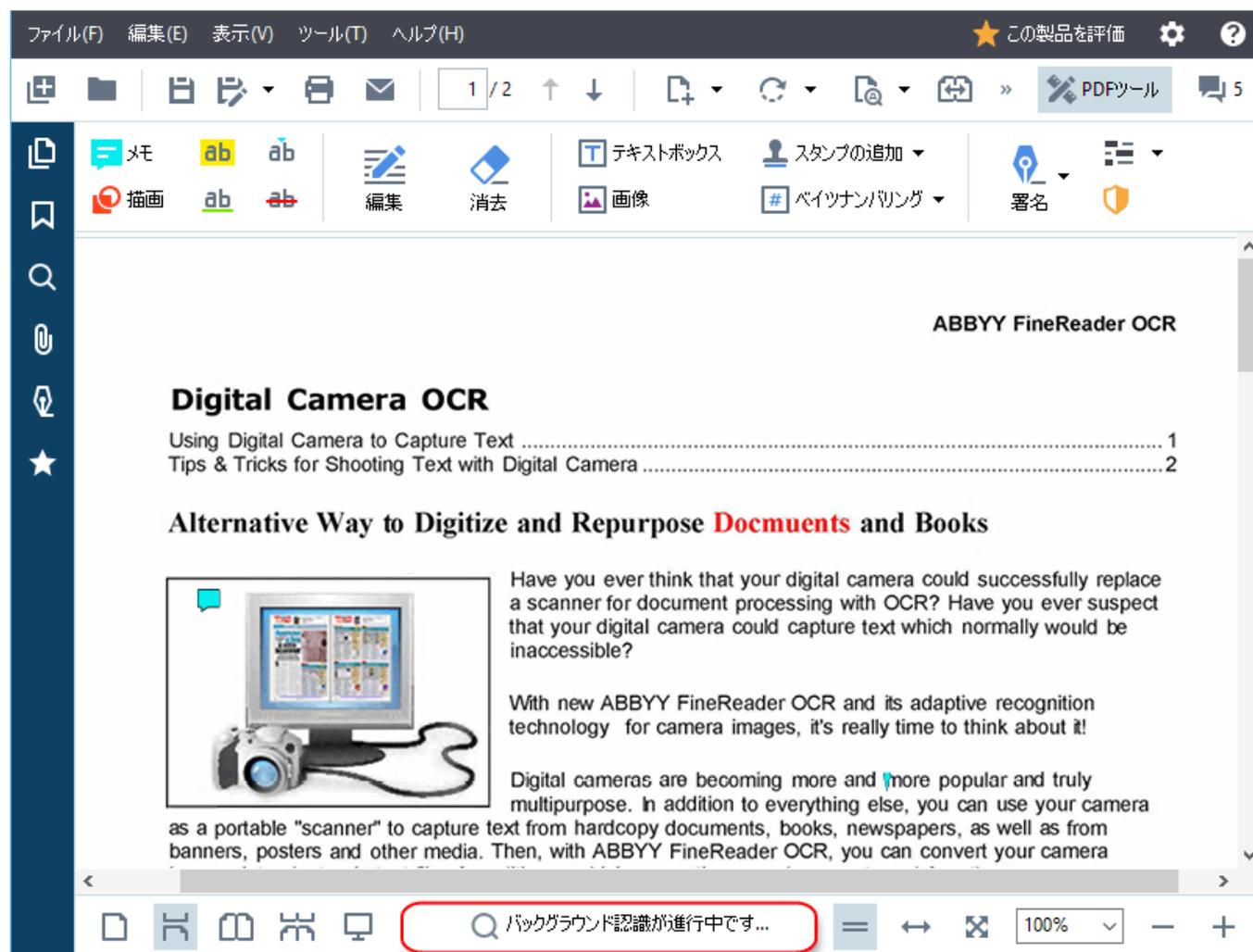
全画面表示で特定のページを開くには、以下のいずれかを実行します：

1. マウスのポインターを画面の下端に移動して、ツールバーを表示します。
2. メインツールバーのボックスに目的のページ数を入力して 。
3. **Enter** を押します。

背景認識

PDFエディターを使用して、スキャンされた文書や画像ファイルから作成された文書などのテキストレイヤーのないPDF文書内のテキストや写真の検索、コピーを実行できます。これは背景で実行されるOCRプロセスのため、実行が可能です。

背景認識はデフォルトでオンになっていて、PDF文書を開くと自動で開始されます。



背景認識プロセスはPDFファイルの内容を変更しません。代わりに、一時的にテキストレイヤーを追加します。このテキストレイヤーは他のアプリケーションで文書を開いたときには利用できません。

💡 文書を他のアプリケーションで検索可能にしたい場合には、背景認識プロセスで作成されたテキストレイヤーを保存する必要があります。これを実行するには、以下の順にクリックします：**ファイル > 文書の認識 > 文書の認識...** 以下も参照してください：[テキストの認識](#)^[98]。

❗ **重要！** 検索またはコピー機能が適切に機能しない場合には、文書に正しい認識言語が選択されていることを確認してください。以下も参照してください：[OCR前に考慮すべき文書の機能](#)^[314]。

🗑️ 背景認識をオフにするには **PDFエディタで背景認識をオンにする** ダイアログボックスでオプションを **オプション**^[285] クリアします。

🗑️ 背景認識プロセスは、シングルコアプロセッサのコンピュータでは実行できません。

PDFのセキュリティ機能

一部のPDF文書はお使いのコンピュータに害を与えることがあります。

ABBYY FineReaderにはPDF文書を使ってより安全に作業を行うための多数の機能があります。潜在的な危険のある以下の操作を行う場合に、プログラムから確認が求められます：

- 添付ファイルを開く
- リンクを開く
- フォームデータを送信する [フォームへの入力](#)^[114]

文書の作成者を信頼する場合には、**許可**をクリックし、信頼しない場合には **キャンセル**をクリックします。

PDF文書でJavaScriptをオフにして、悪意のある JavaScript コードからコンピューターを保護することもできます。JavaScriptをオフにするには、**オプション** ダイアログボックスを開き、**その他** タブをクリックして、**PDF文書でJavaScriptを有効にする** オプションをクリアします。PDF文書をJavaScriptを使って開く場合には以下の通知がウィンドウの上部に表示されます：

この文書には、JavaScriptを必要とする機能があります。JavaScriptを有効にすると、これらの機能にアクセスできますが、セキュリティの問題が発生する可能性があります。この文書の作成者を信頼できる場合だけ、JavaScriptを有効にしてください。 JavaScript 設定 ▾

クリックして画像を拡大

PDF文書の送信元である個人や組織を信頼する場合には、ドロップダウンリストから以下のいずれかの方法を選択して、JavaScriptをオンにできます **JavaScript 設定**：

- **この文書でのみJavaScriptを有効にする** 現在の文書を開いたままJavaScriptをオンにする。
- **すべての文書でJavaScriptを有効にする** すべての文書のJavaScriptをオンにできる **オプション** ダイアログボックスを開く。

PDF文書の検索

PDFエディタでは、情報の検索・ハイライト・置換・墨消しを行えます。検索はメイン文書のテキストだけでなく、コメント、ヘッダーとフッター、メタデータに対しても実行できます。[背景認識](#)^[58]により、スキャンしたものを含め、どんなPDF文書でも検索することができます。検索結果は、見やすくするために別のパネルで表示されます。メインテキストで見つかった単語やフレーズは、ハイライトされます。これにより、検索で見つかったすべての単語やフレーズを選択・置換・墨消ししやすくなります。

章の内容：

- [キーワード検索](#)^[60]
- [検索と置換](#)^[62]
- [検索と墨消し](#)^[63]

キーワード検索

キーワード検索の手順は以下のとおりです：

1. 左側にあるペインの  タブをクリックするか、**表示 > 検索** をクリックして **検索** ペインを開きます。
2. **検索** テキストフィールドに、検索したい単語やフレーズを入力します。
文書内でクエリと一致する単語やフレーズが強調表示されます。
 検索結果はグループ（ソースごと：テキスト、コメント、またはブックマーク）に分類され、テキストグループ全体を強調表示することもできます。



3. 必要に応じて、 アイコンの横にある矢印をクリックして以下のいずれかを選びます：
 - **完全一致** は、検索ボックスに入力した単語と完全に一致する単語だけを検索します。
例) 「correct」という単語を検索した場合、「incorrectly」や「correction」はヒットしません。
 - **大文字と小文字を区別する** は、クエリと同じ大文字と小文字の組み合わせで検索します。
例) 「Editor」を検索した場合、「editor」や「EDITOR」はヒットしません。

テキスト内の検索結果に**強調表示**、**下線**、**取り消し線**⁷³⁾を適用することができます。その手順は、まず検索結果で適用先の単語を選び、適用したいツールをクリックします（強調表示、下線、取り消し線）。

これにより、PDF文書内にコメントを作成し、ソース文書で変更が必要な箇所にマークをつけます。PDF文書のテキスト自体に影響を与えることはありません。

テキストマークアップで使用される色を変更するには、それぞれのツールの横にある矢印をクリックし、表示されるカラーパレットで目的の色を選択します。



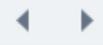
次/前の検索結果に移動するには、 ボタンを使います。F3キーを押すことで、次の検索結果を選択することもできます。

検索と置換

PDFエディタでは、単語やフレーズの検索・置換が行えます。手順は以下のとおりです：

1. 左側にあるペインの  タブをクリックするか、**表示 > 検索** をクリックして **検索** ペインを開きます。
2. **置換** タブを開きます。
3. **検索** テキストフィールドに、検索したい単語やフレーズを入力します。
文書内でクエリと一致する単語やフレーズが強調表示されます。
 検索結果はグループに分けられ、全グループ（テキスト、コメント、ブックマーク）を強調表示することもできます。



4. 必要に応じて、 アイコンの横にある矢印をクリックして以下のいずれかを選びます：
 - **完全一致** は、検索ボックスに入力した単語と完全に一致する単語だけを検索します。
例) 「correct」という単語を検索した場合、「incorrectly」や「correction」はヒットしません。
 - **大文字と小文字を区別する** は、クエリと同じ大文字と小文字の組み合わせで検索します。
例) 「Editor」を検索した場合、「editor」や「EDITOR」はヒットしません。
5. **置換後のテキスト** フィールドに元のテキストと置き換えるテキストを入力します。
6. 検索結果で、置換する単語やフレーズをマークします。
 複数の単語やフレーズを一度に置換する場合は、検索パネルで適切な値を選びましょう。
7. **置換** をクリックします。
これにより、選んだ単語やフレーズを指定したもので置換され、該当するエントリーは検索結果からなくなります。
 次/前の検索結果に移動するには、 ボタンを使います。**F3**キーを押すことで、次の検索結果を選択することもできます。
8. 変更を保存します。

検索と墨消し

PDFエディターを使用して、PDF文書を公開する前にPDF文書から機密情報を削除できます。手順は以下のとおりです：

1. 左側にあるペインの  タブをクリックするか、**表示 > 検索** をクリックして **検索** ペインを開きます。
2. そこから **墨消し** タブを開きます。
3. **検索** テキストフィールドで：
 - 検索する単語やフレーズを入力するか、
 -  アイコンをクリックしてドロップダウンリストから [キーワードリストを使って検索](#)⁶⁴を選択し、カスタムリストを使用してテキストを検索します。
4. 文書内でクエリと一致する単語やフレーズが強調表示されます。
 検索結果はグループに分けられ、全グループ（テキスト、コメント、ブックマーク）を強調表示することもできます。



5. 必要に応じて、 アイコンの横にある矢印をクリックして以下のいずれかを選びます：
 - **完全一致** は、検索ボックスに入力した単語と完全に一致する単語だけを検索します。
例) 「correct」という単語を検索した場合、「incorrectly」や「correction」はヒットしません。
 - **大文字と小文字を区別する** は、クエリと同じ大文字と小文字の組み合わせで検索します。
例) 「Editor」を検索した場合、「editor」や「EDITOR」はヒットしません。
6. 検索結果で、墨消ししたい単語やフレーズをマークします。
 複数の単語やフレーズを一度に墨消しする場合は、検索パネルで適切な値を選びましょう。

7. **墨消し** をクリックします。

これで、選択した単語やフレーズを削除し、その場所を塗りつぶします。

In the **Open Image** dialog box, select the files you want to open.

If you are using the default settings,  will analyze

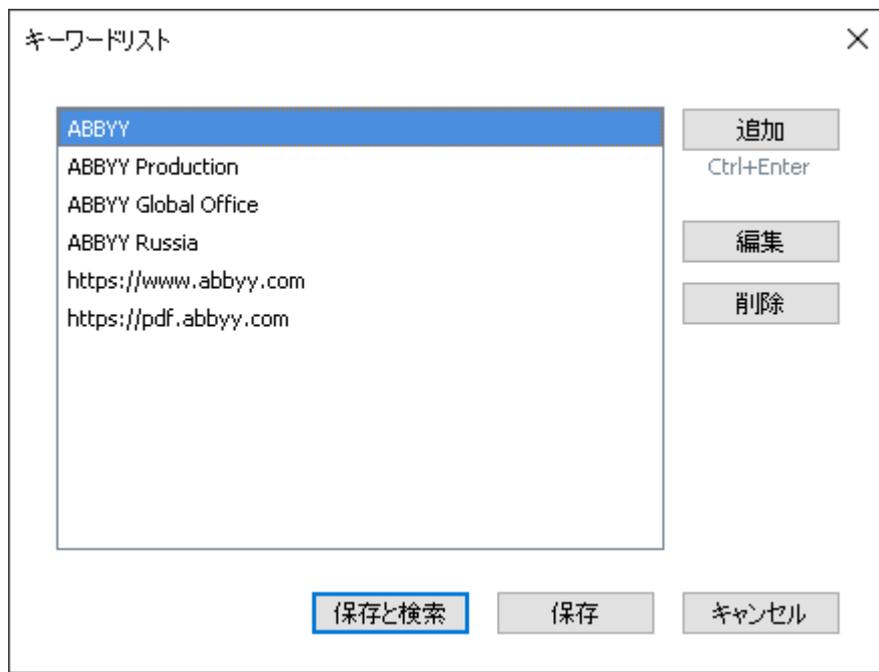
8. 変更を保存します。

キーワードリストを使用した検索と墨消し

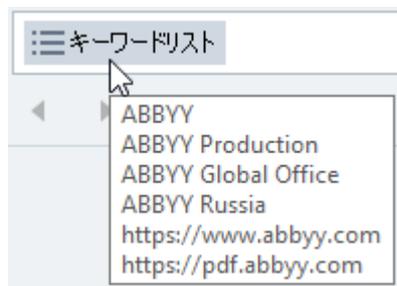
文書から繰り返し単語または単語の組み合わせ（組織の機密情報など）を検索して墨消しする必要がある場合は、これらの単語のキーワードリストを作成し、そのリストを使用して該当するテキストを検索して墨消し

ます。これを行うには、 アイコン（**検索テキストフィールド**にあります）をクリックし、ドロップダウンリストから次のいずれかを選択します：

- **リストにキーワードを追加** 現在テキストフィールドにある単語または単語の組み合わせをキーワードリストに追加。
- **キーワードリストを使って検索** カスタムキーワードリストを使用してテキストを検索。
- **キーワードリストを編集...** リストのキーワードを追加、変更、削除、および保存。
 リストに行った変更を保存し、変更したキーワードリストを使用して検索を実行するには、**保存と検索** をクリックします。



- 特定のリスト内のすべてのキーワードを表示するには、そのリストの名前にカーソルを合わせます。



- キーワードリストを閉じるには、名前の横にある  アイコンをクリックするか、キーワードリストを使って **検索** のチェックを外します。

PDF文書からのデータのコピー

PDFエディターは、文書全体を認識したり、編集可能なフォーマットに変換することなくPDF文書のあらゆるエリアをコピーできます。

また、任意のエリアを以下の形式でコピーすることができます：

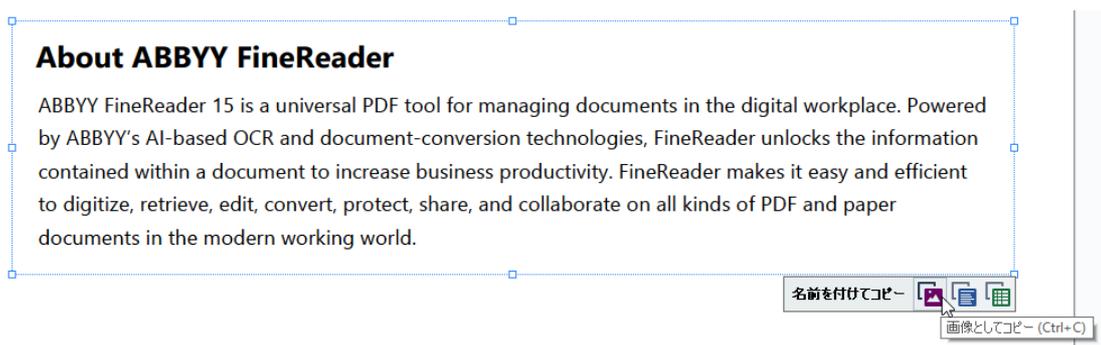
- [画像](#)^[66]。
- [テキスト](#)^[67]。
- [表](#)^[69]。

エリアを画像としてコピー

PDF文書のエリアを画像としてコピーするには：

1. コピーしたいエリアの周辺にマウスを使って長方形を描きます。
■ 印を付けたエリアは1ページに収まるサイズでなければなりません。

2. 印を付けたエリアの隣に  表示されるツールバーのアイコンをクリックします。



または、印を付けたエリアを右クリックしてから**画像としてコピー**ショートカットメニューをクリックするか、**Ctrl+C** ホットキーを使用します。



■ 印を付けたエリアからのテキストは画像としてクリップボードにコピーされます。

3. 目的のアプリケーションにコピーされた画像を貼り付けます。

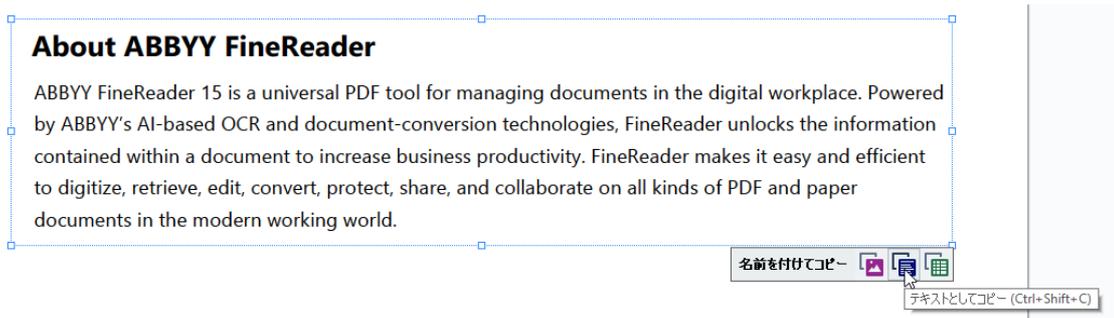
エリアをテキストとしてコピー

PDF文書のエリアをテキストとしてコピーするには、以下の2つの方法のうちのいずれかを使用します：

方法1:

1. コピーしたいエリアの周辺にマウスを使って長方形を描きます。
 印を付けたエリアは1ページに収まるサイズでなければなりません。

2. 印を付けたエリアの隣に  表示されるツールバーのアイコンをクリックします。



または、印を付けたエリアを右クリックしてから**テキストとしてコピー**ショートカットメニューをクリックするか、**Ctrl+Shift+C** ホットキーを使用します。



3. 目的のアプリケーションにテキストを貼り付けます。

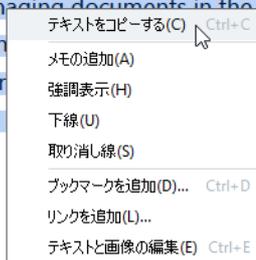
方法2:

1. マウスを使ってコピーしたいテキストに印を付けます。
 複数ページにわたるテキストを一度に印付けすることができます。
2. 印を付けたテキストを右クリックします。

- 表示されるテキストをコピーするショートカットメニューをクリックするか、**Ctrl+C** ホットキーを使用します。

About ABBYY FineReader

ABBYY FineReader 15 is a universal PDF tool for managing documents in the digital workplace. Powered by ABBYY's AI-based OCR and document-conversion technology, it unlocks the information contained within a document to increase business productivity. It makes it easy and efficient to digitize, retrieve, edit, convert, protect, share, and manage documents in the modern working world.



- 目的のアプリケーションにテキストを貼り付けます。

方法2はテキストレイヤーのある文書でのみ使用できます。PDF文書にテキストレイヤーがない場合には、ABBYY FineReader PDF 15は、[背景認識](#)⁵⁸処理の結果としてテキストレイヤーを作成します。

マウスのカーソルでテキストに印を付けられない場合には、**PDFエディタで背景認識をオンにする**ダイアログボックスでオプション[オプション](#)²⁸⁵が選択されていることを確認してください。

コピーされたテキストに明らかな差があり、認識エラーがある場合には、文書で正しいOCR言語が選択されていることを確認してください。

以下も参照してください: [OCR前に考慮すべき文書の機能](#)³¹⁴を参照してください。

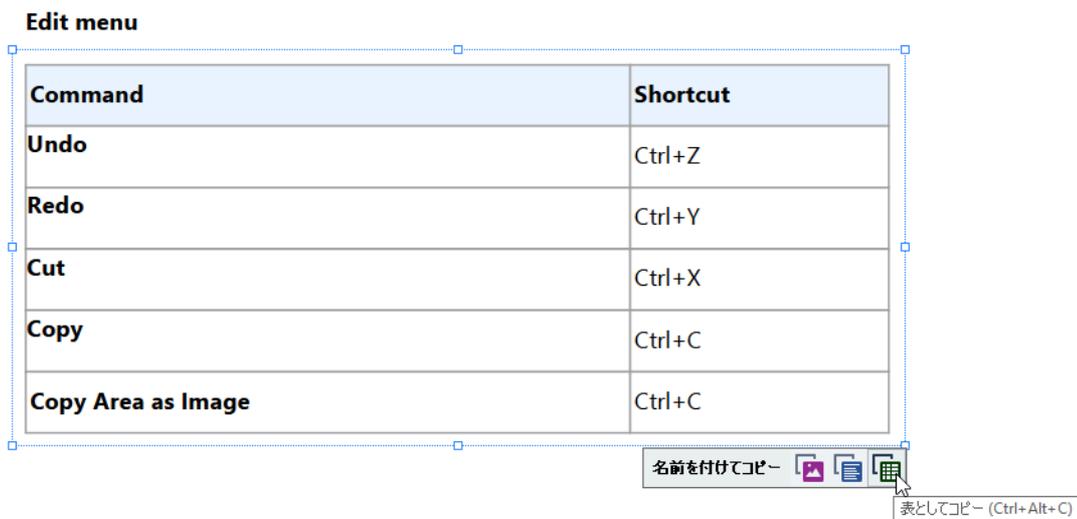
背景認識処理により作成されたテキストレイヤーを保存するには、**ファイル>文書の認識>文書の認識...**をクリックします。

以下も参照してください: [テキストの認識](#)⁹⁸を参照してください。

エリアを表としてコピー

PDF 文書のエリアを表としてコピーするには：

1. コピーしたいエリアの周辺にマウスを使って長方形を描きます。
 - ✎ 1つの表全体、またはその一部に印を付けたり、プレーンテキストまたは画像として印を付けることもできます。
 - ✎ 印を付けたエリアは1ページに収まるサイズでなければなりません。
2. 印を付けたエリアの隣に  表示されるツールバーのアイコンをクリックします。



または、印を付けたエリアを右クリックしてから表としてコピーショートカットメニューをクリックするか、**Ctrl+Alt+C** ホットキーを使用します。



✎ 表をコピーする前に、[その構造を変更することができます](#) ^[70]。

3. 目的のアプリケーションにコピーされた表を貼り付けます。

💡 PDFエディターを使用して、表をコピーする前に表の構造を変更できます。以下の操作が可能です：

- 垂直/水平セパレータの追加
- セパレーターを削除
- テーブルのセルを分割/結合

印を付けたエリアからのテキストが認識されると、表の編集ツールがエリアの

隣に表示されます。

Command	Shortcut
Undo	Ctrl+Z
Redo	Ctrl+Y
Cut	Ctrl+X
Copy	Ctrl+C
Copy Area as Image	Ctrl+C

このツールを使って表の構造を変更して、表の編集ツールバーの  アイコンを再度クリックします。編集された表はクリップボードにコピーされます。

✎ 元のファイルの表は変更されません。

💡 また、[元のファイル内で](#) ²¹⁶ OCR エディターで、表を編集することもできます。

💡 コピーされた表のデータが元の文書のデータと大きく異なる場合：

- 文書にテキストレイヤーがない場合には、正しい [OCR言語](#) ³¹⁴ が選択されていることを確認します。
- コピーしたいデータが含まれるページに不良な品質のテキストレイヤーが含まれる場合には、[テキストレイヤーを新しいものと](#) ⁹⁸ 交換します。

その後、再度データをコピーしてみてください。

PDF文書の確認

PDFエディターにはPDF文書を確認するための多数の機能が含まれます。文書を読みながら、コメントを追加したり、重要な部分にハイライトをしたり、メモを作成したり、特定のエリアを強調するために図形を描いたり、ページにスタンプしたりできます。

本章の内容

- [コメントの追加](#)^[72]
- [テキストのマークアップ](#)^[73]
- [描画ツール](#)^[75]
- [PDF文書にテキストを追加する](#)^[78]
- [スタンプを追加する](#)^[83]
- [PDF文書で共同作業を行う](#)^[79]

コメントペインに表示されます

PDFエディターはPDF文書のいかなる部分にもメモを追加するツールを提供するため、PDF文書内で議論したり、見直したりする工程が更にシンプルに実行できます。

1. もし **PDFツール** ツールバーが非表示の場合には、メインツールバーの **PDFツール** ボタンをクリックします。



2. **メモ** ツールを以下でクリックします：**PDFツール** ツールバー。
3. デフォルトのメモの色が好みでない場合には、文書の上に表示されるツールバーで別の物を選択します。
4. メモを添付する場所をページ内でクリックして、メモをタイプします。



- ✎ 既存のメモの色はショートカットメニューを使用して変更できます。

メモを開く、メモへの返信、メモの削除方法については以下を参照してください：[PDF文書で共同作業を行う](#)
[79](#)。

テキストのマークアップ

PDFエディターを使用して、文書のどこを変更すべきかを表示できます。追加された編集マークはすべて、テキスト自体を変更しませんが、どこにどんな変更をする必要があるかを表示することは稀です。

✎ テキストの編集に関連する注釈は、テキストレイヤーのある文書または背景認識プロセスで認識された文書でのみ利用可能です。

ABBYY FineReaderには以下のマークアップツールが含まれます：

	強調表示
	下線
	取り消し線
	メモを追加してテキストを挿入

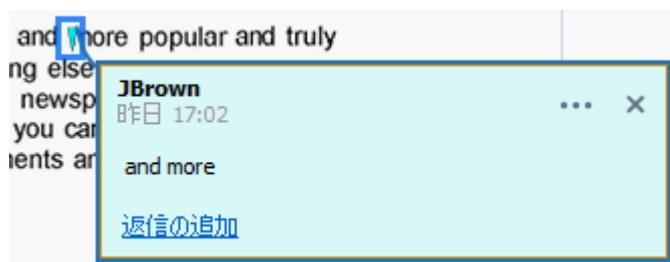
💡 すべての種類の注釈にダブルクリックしてコメントを追加できます。コメントに関する詳細は、次を参照してください：[PDF文書で共同作業を行う](#)^[79]。

強調表示、下線、取り消し線をテキストの一部に適用する：

- マークアップツールをメインツールバーで選択し、目的のテキストの一部を選択するか、
- 目的のテキストの一部を選択してから、マークアップツールをメインツールバーで選択します。

挿入ポイントを示す：

-  **PDFツール** ツールバーの、ツールをクリックして、テキストを挿入する場所をクリックします。



✎ 注釈の色を変更する：

- 注釈を右クリックしてショートカットメニューで目的の色を選択するか、
- メインツールバーでマークアップツールをクリックして、文書の上に表示されるツールバーのカラーボックスの1つをクリックします。

文書全体に目を通すことなく特定のテキストの一部をマークアップするために検索機能を使用できます。

1. ペインを開きます **検索**。

2. 検索する単語やフレーズを入力します。
3. オプションのグループの **検索** ペインで、マークアップする検索結果を選択して。希望するマークアップツールをクリックします。別の色を選択するには、マークアップツール自体ではなく、その隣の矢印をクリックして、表示されるカラーパレットで希望の色をクリックします。



デフォルトでは、ペインのマークアップツール **検索** は以下のマークアップと同じ色を使用します。PDFツールツールバー。

描画ツール

PDFエディターでは、PDFドキュメントのページにさまざまなマーキングを書き入れることができます。描いたさまざまな図形にコメントを追加することもできます。



1. PDFツール ツールバーで **描画** をクリックします。
2. ドロップダウンメニューから適切な描画ツールを選択してください。



- **インク**

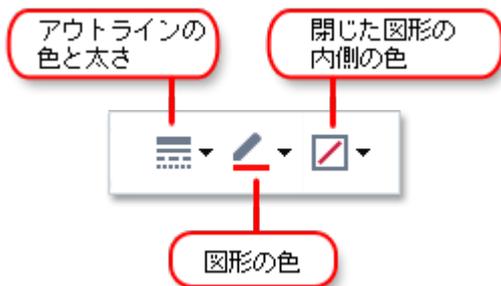
マウスの左ボタンを押さえることで、線を描いたり、任意の図形を描くことができます。

- **行**
直線を描く縦、横、または斜め（45度の角度）の線を描く場合には **Shift** キーを長押しします。
 - **矢印**
矢印を描きます。縦、横、または斜め（45度の角度）の線を描く場合には **Shift** キーを長押しします。
 - **長方形**
四角形を描きます。四角形を描く場合には、**Shift** キーを長押しします。
 - **オーバル**
オーバルを描く。円を描く場合には、**Shift** キーを長押しします。
 - **多角形**
多角形を描く。多角形の最初の頂点を配置する位置をクリックします。多角形を完了するには、最初の頂点をクリックします。
 - **クラウド**
雲を描く。雲の最初の頂点を配置する位置をクリックします。雲を完了するには、最初の頂点をクリックします。
 - **ポリライン**
波線を描く。描画を開始するページをクリックして、次のセグメントを開始したい場合に再度クリックし、波線を終了する場所をダブルクリックします。
 - **テキストボックス**
入れ子式のテキスト注釈がある長方形を描きます。詳細については、[PDFドキュメントへのテキストブロック注釈の追加](#)⁷⁸を参照してください。
3. 図形の描画が終了し、コメントを入力したい場合にはダブルクリックします。
-  ツールを使用している場合には、**インク** コメントを入力する前に描画ツールをオフにする必要があります。

ツールを使用して図形のセットを描き、**インク** そのすべてのセットにコメントする場合：

- **Shift** キーを長押しし、図形を描きます。マウスボタンはリリースできますが **Shift** キーは描画終了時にのみ解放します。
- 描画ツールをオフにして、セットの1つの形をダブルクリックしてコメントを入力します。

4. 描画ツールには変更可能な設定が複数あります。



これらのオプションを変更する：

- ページに描いた図形を右クリックして、ショートカットメニューのコマンドを使用します。
- 図形を描く前に **PDFツール** ツールバーで希望する設定を選択します。

📌 コメントの使用と編集の詳細については [PDF文書で共同作業を行う⁷⁹](#) を参照してください。

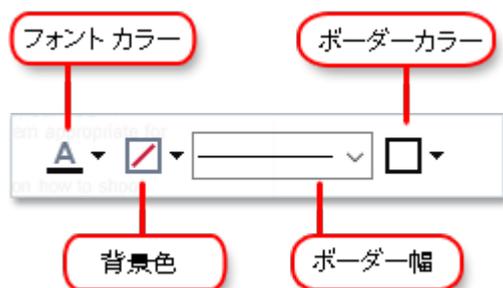
PDFドキュメントへのテキストブロック注釈の追加

PDFエディターを使うと、どんな種類のPDFにもテキストブロックを追加できます。

☑️テキストブロックは注釈です。テキストブロックのテキストはPDFドキュメントの本文ではありません。PDFドキュメントに本文を追加する場合の詳細情報は、[テキストの挿入と編集](#)^[86]を参照してください。

PDFドキュメントにテキストブロックを追加するには：

1. ツールバーの  アイコンをクリックし、ドロップダウンリストから  **テキストボックス**^(E) を選択します。
以下の下にテキスト編集ツールがあるツールバーが表示されます **PDFツール** ツールバーで。
2. テキストを追加する場所をクリックします。マウスボタンを解放せずにマウスのポインターをドラッグして、テキストブロックのサイズを変更できます。
3. テキストを入力します。フォントの種類、フォントサイズ、およびフォントの色を選択することができます。



4. 必要な場合は、テキストブロックのサイズを変更します。
5. テキストブロックの周囲に境界線を描画するには、境界線の太さと色を選択します。
6. テキストブロックの背景色を変更したり、**背景色の検出** ページの背景色を使用するオプションを使用できます。
☑️デフォルトでは透明の背景が使用されます。

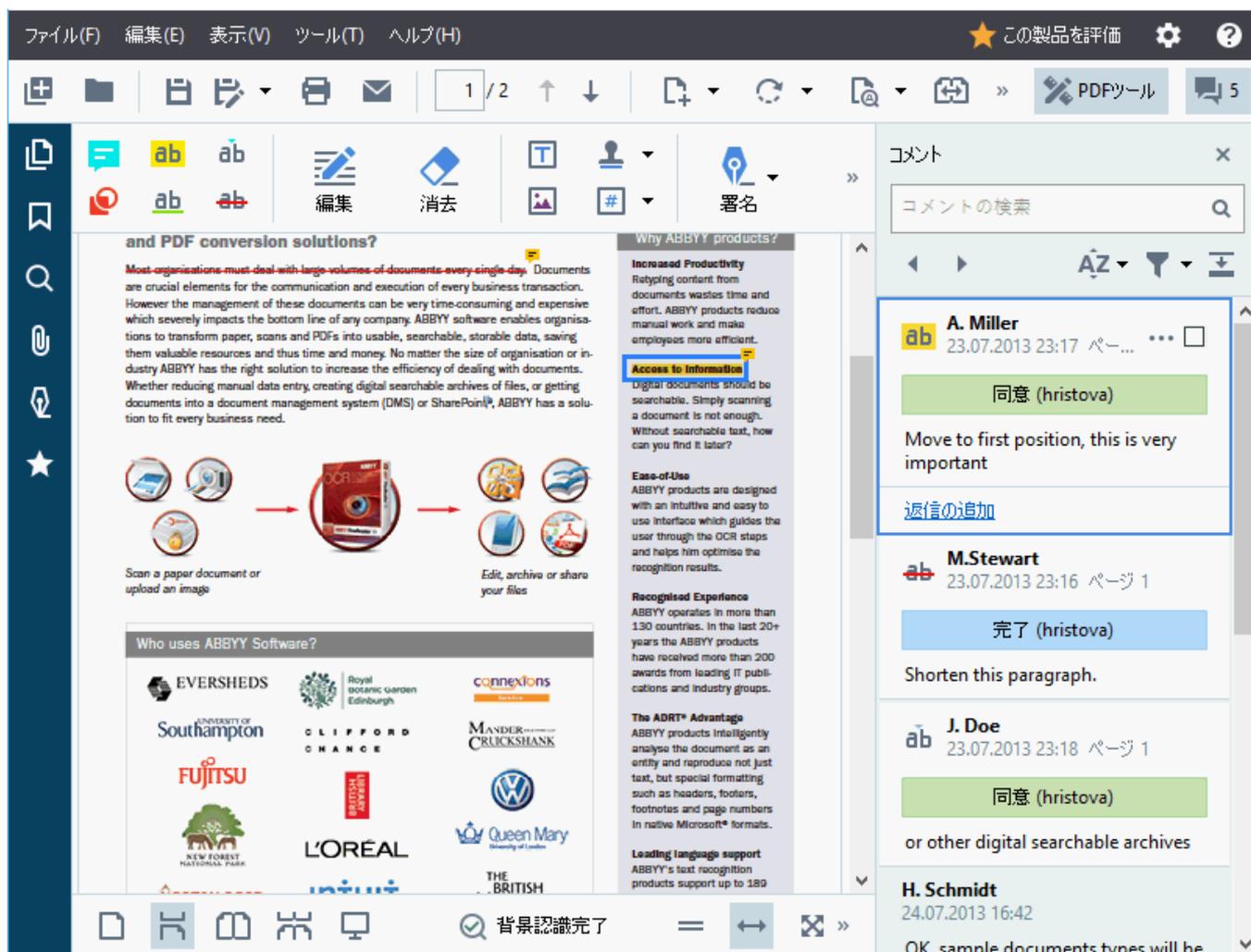
PDFエディターを使用して、応答型フィールドのないフォームにも入力できます。これを実行するには、ツールを使用してフォームの上に入力するだけです **エクスポート**。

☑️テキストブロックを追加する際、ブロックからのテキストが含まれる新規コメントが **コメントペイン**に表示されません。注釈のステータスを変更するのと同じ要領でコメントのステータスを変更できます。以下も参照してください：[PDF文書で共同作業を行う](#)^[79]。

PDF文書で共同作業を行う

PDFエディターで、他のレビューアーが入力したコメントを読んだり返信したりできます。ABBYY FineReader以外のアプリケーションで作成されたコメントでも同様です。コメントの提案に同意するか拒否するかをレビューアーに示すために、コメントのステータスを変更することもできます。

文書ですべてのコメントリストを表示するには **コメント** メインツールバーのボタンをクリックして  パインを開きます。



他の方法を使用して **コメント** パインを開くこともできます:

- 注釈、スタンプやコメントを右クリックして **コメントパインの表示** をクリックします。
- をクリックします **表示** を選択します **コメントパインの表示**。
- F7 を押します。

注釈にコメント追加する

- コメントを追加する注釈をダブルクリックするか
- 注釈を右クリックして **コメントの追加** ショートカットメニューでコマンドを選択します。

もし **コメント** ペインが非表示の場合には、コメントを入力できるコメントボックスが表示されます。また、**コメント** ペインが表示されている場合には、注釈と関連付けられているコメントボックスが強調表示されます。

コメントを開く

- 表示したいコメントが含まれる注釈を選択します。

もし **コメント** ペインが非表示の場合には、コメントを入力できるコメントボックスが表示されます。もし **コメント** ペインが表示されている場合には、注釈と関連付けられているコメントボックスが強調表示されます。

 コメントを常に表示する場合は、その注釈をダブルクリックします。コメントを非表示にするには、コメントボックスの右上角の  ボタンをクリックします。

コメントへの返信

1. 返信したいコメントが含まれる注釈を選択します。
2.  をクリックします **返信する** をクリックするか **Ctrl+Enter** を押して、返信を入力します。

注釈またはその関連付けられたコメントや返信を削除する

注釈を削除する：

- 削除したい注釈を選択して **Del** を押すか、注釈を右クリックしてショートカットメニューで **削除** をクリックします。
注釈に関連付けられているコメントも削除されます。
- ペインでコメントボックスを選択して **コメント**、**Del** を押すか コメントボックスを右クリックして、をクリックします **削除**。
コメントに関連付けられている注釈も削除されます。

ペインでコメントを削除する **コメント**：

- コメントボックス内の任意の場所を右クリックして **削除** をクリックします。
コメントに関連付けられた返信もすべて削除されます。

すべてのコメントおよび注釈を削除する：

- をクリックします **終了 > コメントとマークアップを削除...**

返信を削除するには：

- 返信を右クリックして **返信を削除** をクリックします。
同じ方法でペインで返信を削除できます **コメント**。

コメントにフラグを付けるまたはステータスを変更する

読んだコメントにステータスを割り当てたり、再確認するコメントにフラグを付けることができます。

コメントにフラグを付ける：

- ペインのコメントの隣にあるボックスをクリックするか、**コメント** コメントを右クリックしてショートカットメニューで **チェックマークを追加** をクリックします。

コメントのステータスを変更する：

- コメントまたはその注釈を右クリックして、ショートカットメニューで **ステータス** をクリックして、目的のステータスを選択します。
-  コメントボックスでボタンをクリックして、目的のステータスを選択します。

注釈やコメントのプロパティ

オプションのグループの **プロパティ...** 注釈またはコメントのダイアログボックスで、作成者または件名を変更したり、注釈やコメントのステータスがどのように変更されたかを確認できます。作成者の名前を変更したら **デフォルトに設定** ボタンをクリックして、以降は新しい名前を使用して注釈やコメントを作成することができます。

プロパティ 注釈やコメントのダイアログボックスを開く：

- 注釈、スタンプまたはコメントを右クリックしてショートカットメニューで **プロパティ...** をクリックします。

コメントペイン

コメントペインはコメントの有無にかかわらず文書に追加されたすべての注釈、テキストブロック、スタンプ、編集マークを表示します。

- コメントを移動するには、 ボタンを使用します。
- 特定のコメントを検索したり、ペイン上部の検索ボックスを使用して作成者に返信したり **コメント** できます。

コメントの並べ替え：

- コメントペインで、をクリックして  その後、目的の並べ替えオプションをメニューから選択します。

コメントは、タイプ、作成者、フラグのステータス、コメントのステータスでフィルターできます。

コメントのフィルター：

- コメントペインで、をクリックして  フィルターメニューを開き、その後 **すべてのコメントの表示** をクリックするか、**現在のコメントの非表示** コメントのフィルターに使用したい条件を選択します。

以下を使用してコメントをフィルターできます：

1. タイプ
2. 作成者
3. ページ
4. 日付
5. フラグステータス
6. ステータス

 フィルターをリセットするには、をクリックします **リセット**。

コメントの作成者と日付だけを確認したい場合には  をクリックして、コメントのテキストを非表示にします
再度テキストを表示するには、をクリックします  。

スタンプを追加する

PDFエディターを使用して、紙の文書にスタンプを押すように、PDF文書にスタンプを押すことができます。利用可能なスタンプのリストからスタンプを選択するか、テキスト、スタンプした日時、画像などを追加して独自の物を作成することができます。

ページにスタンプを押すには：

1. **PDFツール** ツールバーで  **スタンプの追加** ▼ をクリックして、目的のスタンプを選択します。
💡 使用するスタンプがメニューで利用可能でない場合には、**その他のスタンプをクリック**します。
2. ページにスタンプします。
3. 必要な場合には機能する場所にスタンプを移動します。

注釈にコメントを追加するのと同じ要領で、スタンプにコメントを追加したり、ステータスを変更したりできます。

以下も参照してください：[PDF文書で共同作業を行う](#)^[79]。

スタンプを作成する方法

PDFエディターでテキストスタンプと画像からのスタンプを作成できます。

画像からスタンプを作成するには：

1. **PDFツール** ツールバーで  **スタンプの追加** ▾ > **画像からスタンプを作成...**
2. 開いたダイアログボックスの **名前** フィールドでカテゴリを選択します。
3. をクリックします **画像を開く** をクリックしてハードディスクから画像を開くか、**クリップボードの画像を張り付ける** クリップボードにコピーされた画像がある場合には、をクリックします。
4. タブの **スタンプサイズ** 画像のサイズを調整したい場合には、スライダーを使用します。
5. をクリックします **保存**。

テキストスタンプを作成するには：

1. **PDFツール** ツールバーで  **スタンプの追加** ▾ > **テキストスタンプを作成...**
2. 開いたダイアログボックスの **名前** フィールドでカテゴリを選択します。
3. オプションのグループの **スタンプテキスト** フィールドでスタンプに含めたいテキストを入力します。
4. **日時を追加** ドロップダウンリストから使用する日付と時間フォーマットを選択します。
 ページにスタンプする際に、スタンプにはスタンプを押した日付と時間が指定したフォーマットで押されます。
 スタンプにはすべてのテキスト要素が **スタンプテキスト** フィールドのカーソルの位置に追加されます。スタンプ要素の順番はこのフィールドで変更したり、説明文を追加したり日付と時間のフォーマットを設定したりできます。日付と時間の詳細情報については、以下を参照してください：[スタンプとベイツナンバーの現在の日付と時間](#)^[330]。
5. オプションのグループの **フォントと境界線** オプションのグループでフォントのタイプ、サイズ、[スタイル](#)^[360] スタンプのテキストのために選択し、さらにスタンプの色を選択します。
6. ABBYY FineReaderのOCRエディターのテキストペインではなく、Microsoft Wordで **境界線の追加** スタンプに枠を付けたい場合には、オプションをオンにします。
7. **表示** ボックスにはスタンプのプレビューが表示され、変更を確認することができます。
8. をクリックします **保存**。

スタンプを編集するには：

1. **PDFツール** ツールバーで  スタンプの追加 ▾ > **スタンプの管理...**
2. 開いたダイアログボックスで、スタンプを選択して、をクリックします **編集...**
3. 希望する設定を指定して、**使用する**。

スタンプを削除するには：

文書からスタンプを削除するには、以下のいずれかを実行します：

- 文書でスタンプを選択して、次のキーを押します：**Del**。
- 文書でスタンプを右クリックして、ショートカットメニューで **削除...** をクリックします。
- ペインでスタンプのコメントを選択して **コメント** 次のキーを押します：**Del**。

スタンプをリストから削除するには：

1. **PDFツール** ツールバーで  スタンプの追加 ▾ > **スタンプの管理...**
2. 開いたダイアログボックスで、スタンプを選択して、をクリックします **削除...**

PDFでの作業

PDFエディターを使用して、PDFファイルを編集可能な形式変換する必要もなく、PDF文書の内容を変更できます。

本章の内容

- [テキストの挿入と編集](#) ^[86]
- [写真の挿入と編集](#) ^[95]
- [ハイパーリンクの挿入と編集](#) ^[96]
- [テキストの認識](#) ^[98]
- [ページでの作業](#) ^[99]
- [ブックマークの追加](#) ^[104]
- [ヘッダーとフッターを追加する](#) ^[106]
- [ウォーターマークを追加しています](#) ^[109]
- [添付ファイルの操作](#) ^[110]
- [メタデータの表示](#) ^[111]
- [ページ画像の補正](#) ^[112]

テキストの挿入と編集

ABBYY FineReader PDF 15 のPDFエディターを使うと、どんな* PDFドキュメントにもテキストの挿入、編集ができます:

- 他のアプリケーションを使って作成されたPDFドキュメント
- スキャンされたドキュメント
- 検索可能なPDFドキュメント

以下の機能が利用できます：

- 新しいテキストの追加
- テキストの削除
- クリップボードからテキストをコピーして貼り付け
- 既存のテキストブロック内のテキストの形式の編集
- テキストブロックのサイズ変更
- ページでのテキストブロックの移動
- ページの方向、傾き、歪みのあるテキストの修正およびスキャンドキュメント内に見つかったその他の欠陥の修正

*ベクトルグラフィックテキストを含むPDFドキュメントを除く

新しいテキストの挿入

以下の方法で新しいテキストをページに追加できます：

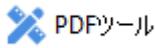
- **テキストの追加** [ツールを使用して新しいテキストブロックを追加します](#) ^[87]。
これが最も便利な挿入方法です：
 - 大量のテキスト
 - 独立したテキストブロック
- **既存のテキストブロックの編集** ^[89]。
比較的少量のテキストを既存のテキストブロックに追加する必要がある場合には、最も便利なテキスト挿入方法です。
- **ヘッダーとフッター** [ツールを使用してテキストを追加](#) ^[106]。
同一のテキストを複数のページに同時に追加する必要がある場合には、最も便利なテキスト挿入方法です。

テキストの追加 ツールを使った新しいテキストの追加

PDFドキュメントに新しいテキストブロックを追加するには：



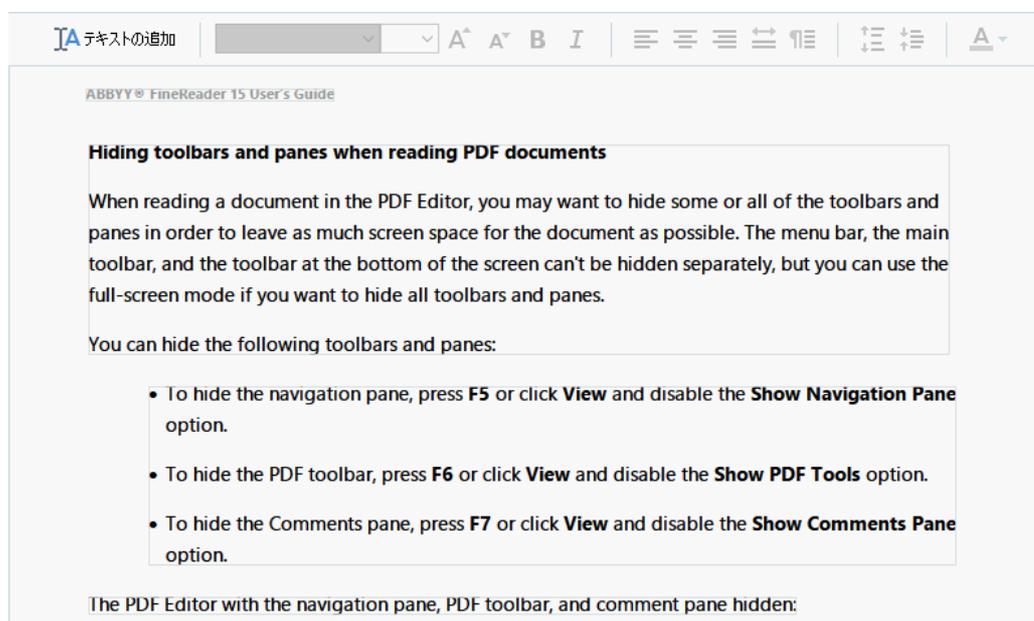
1. **編集** ボタンをクリックして、テキスト編集モードを開始します。または、**ツール > テキストと画像の編集**を選択するか、**Ctrl + E** ホットキーを使用します。

ヒント: ツールバーが表示されていない場合には右上隅の  **PDFツール** をクリックします。

注意: プログラムによりテキストの編集準備が整えられるまでしばらく待機する必要があることがあります。この時間、ページの準備インジケータがテキストペインの左側に表示されます。



テキストペインはツールバーの下に表示され、ページ上のテキストと画像は別のブロックとしてマークされます：



注意: スキャンされたドキュメントおよび検索可能なPDFで作業する場合、正しい言語を指定することが重要です。背景認識が無効になっている場合には、特に重要です。詳細情報は [OCRの前に考慮すべきドキュメントの特徴](#)^[314]を参照してください。

ヒント: スキャンされたドキュメントや検索可能なPDFでの作業を始める前に [ページの向き、傾き、テキストの歪みなどの欠陥を修正することでより良い結果が出ることがあります](#)^[93]。

2. **IA** **テキストの追加** テキストペインの下部にあるボタンをクリックします。または**Ctrl + T** ホットキーを使用できます。これにより**テキストペイン**の編集ツールが有効になります。

3. 新しいテキストブロックを追加したい特定の場所にカーソルを当てて、新しいテキストブロックのサイズに合う長方形のブロックを書くか、一度左クリックをしてテキストブロックのデフォルトの形を追加します。

注意: 新しいテキストブロックのサイズはページのサイズ以上にはできません。

注意: その他のオブジェクトの上に新しいテキストブロックを作成できます。

4. 作成したテキストブロックにテキストを入力します。

注意: 大量のテキストを追加する際には、ページの端まで移動しないよう注意してください。

5. テキストの追加を終了します。これを実行するには、テキストブロックの外の部分を左クリックするか、**Esc** キーを押します。

6. PDFエディターウィンドウの左上にある  ボタンをクリックしてドキュメントで行った変更を保存します。または **ファイル > 保存** とクリックするか、**Ctrl + S** ホットキーを使用できます。

7. テキスト編集モードを終了するには  ボタンをクリックするか、**Ctrl + E** ホットキーを使用します。

既存のテキストの編集

PDFドキュメント内のテキストを編集するには：



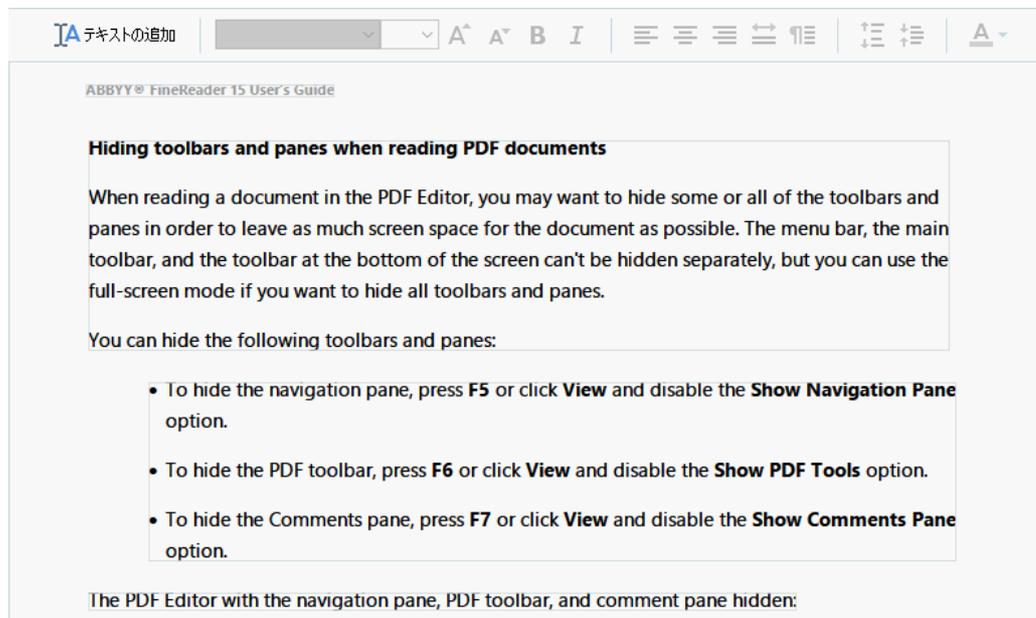
1. ツールバーの **編集** ボタンをクリックしてテキスト編集モードに入ります。または **ツール > テキストと画像の編集** とクリックするか、**Ctrl + E**ホットキーを使用します。

ヒント: ツールバーが表示されていない場合は、PDFエディターウィンドウの右上の **PDFツール** ボタンをクリックします。

注意: プログラムによりテキストの編集準備が整えられるまでしばらく待機する必要があることがあります。この時間に、ページの準備インジケータが **テキストペイン** の左側に表示されます。



テキストペインはツールバーの下に表示され、ページ上のテキストと画像は別のブロックとしてマークされます :



注意: スキャンされたドキュメントおよび検索可能なPDFで作業する場合、正しい言語を指定することが重要です。背景認識が無効になっている場合には、特に重要です。詳細情報は [OCRの前に考慮すべきドキュメントの特徴](#)³¹⁴を参照してください。

ヒント: スキャンされたドキュメントや検索可能なPDFでの作業を始める前に [ページの向き、傾き、テキストの歪みなどの欠陥を修正することにより良い結果が出る場合があります](#)⁹³。

2. PDFドキュメントの中でテキストを編集します。
以下を実行できます :

- **既存のテキストブロックに新しいテキストを追加**

これを実行するには、テキストブロックを作成したい場所にカーソルを移動させ、該当するテキストを入力するか、クリップボードからテキストを貼り付けます。

プログラムは適切なフォントを自動で選択します。

注意: 現在のフォントの名前はテキストペインのリストに表示されています。フォント名が角括弧に囲まれている場合は、フォントが編集済みのPDFドキュメントに組み込まれているものの、使用中のシステムにはインストールされていないことを意味します。新しいテキストを入力する場合にこのフォントを使用するには、まず使用するシステムにインストールしてください。そうしないと、プログラムはデフォルトのフォントを選択します。

- **既存のテキストブロックからテキストを削除する**

削除したいテキストを選択して削除します。

- **テキストブロックをすべて削除する**

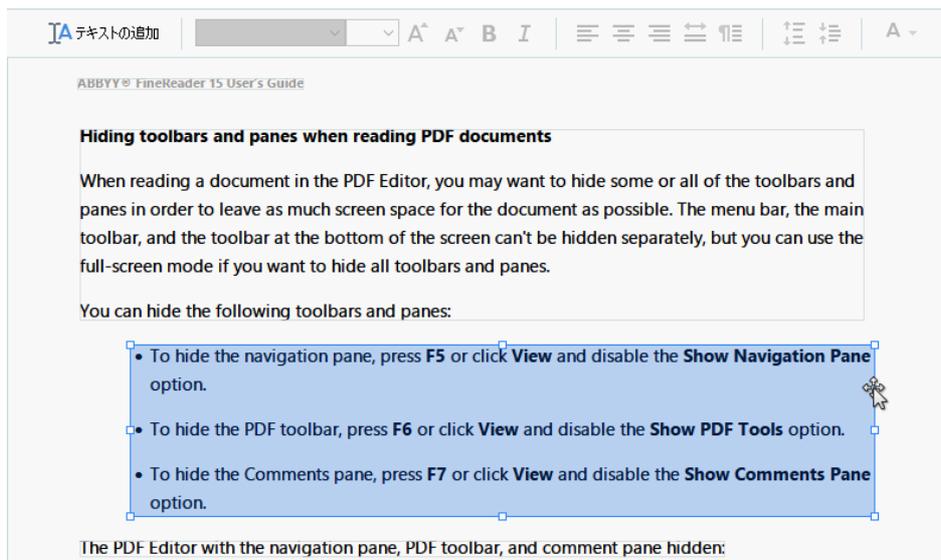
これを行うには：

- **Ctrl** ボタンを押しながら、テキストブロックを左クリックします。

または、テキストブロックの内側で左クリックして選択し、カーソルをブロックの一端に合わせ、カ

ーソルの見かけが変わったら左クリックして選択します 。

- **削除**を押してテキストブロックを削除します。



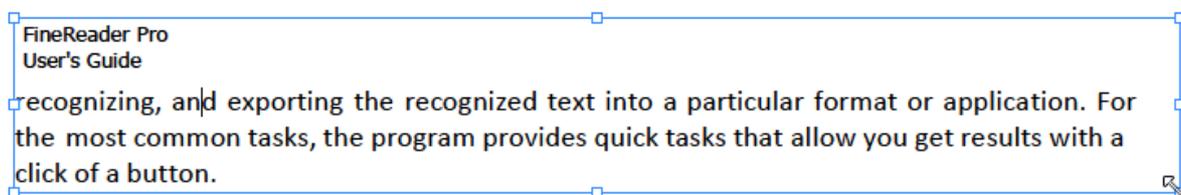
- **テキストの形式を変更する**

これを行うには、テキストブロックの中で該当するテキストを選択し、**テキストペイン**にあるツールを使って編集します：



- **テキストブロックのサイズを変更する**

これを行うには、テキストブロックの中を左クリックして、該当するテキストブロックを選択します。テキストブロックの端に小さな四角のアイコンが表示されます。



四角のアイコンのうちの一つにカーソルを当てます。カーソルの見かけが  に変わったら左マウスボタンを押しながらカーソルをドラッグして、テキストブロックのサイズを希望するサイズに変更します。

注意: テキストブロックのサイズを変更する際、ページの端まで移動しないよう注意してください。

- **ページ上でテキストブロックを移動する**

これを行うには、**Ctrl** ボタンを押しながら、マウスのカーソルをテキストブロックの上に当てます。左マウスボタンと**Ctrl** ボタンを押しながらブロックを適切な場所にドラッグします。**Ctrl** ボタンと左マウスボタンの両方を押さながら移動するか、テキストブロックの内側を左クリックして選択し、カーソルをその端に当てて、カーソルの見かけが



に変わったらマウスの左ボタンを長押ししながら移動します。

注意: テキストブロックを移動する際、ページ上に表示されている端まで移動しないよう注意してください。

3. テキストの編集を終了します。これを実行するには、テキストブロックの外側を左クリックするか **Esc** ボタンを押します。



4. ボタンを押すか、**Ctrl + E**ホットキーを使ってテキスト編集モードを閉じます。

5. PDFエディターウィンドウの左上の  ボタンをクリックして、ドキュメントに行った変更を保存します。または **ファイル > 保存** とクリックするか、**Ctrl + S** ホットキーを使用できます。

スキャンしたドキュメントでのテキスト編集を改善する

スキャンしたドキュメントおよび検索可能なPDFの編集を開始する前に、以下を実行してテキストの編集を改善することができます：

- ページの向き、傾き、テキストの歪みなどの欠陥を修正します

スキャンしたドキュメントの外見を修正するには、テキストツールバーの**傾きとページを修正**ボタンをクリックして、**現在のページの傾きや方向の修正**を選択します（特定のページまたはドキュメント全体に対して）。



注意：傾きとページを修正 ボタンはプログラムがテキストの傾きを検出したページのテキストペインにのみ表示されます。

- ページ/ドキュメントの再認識

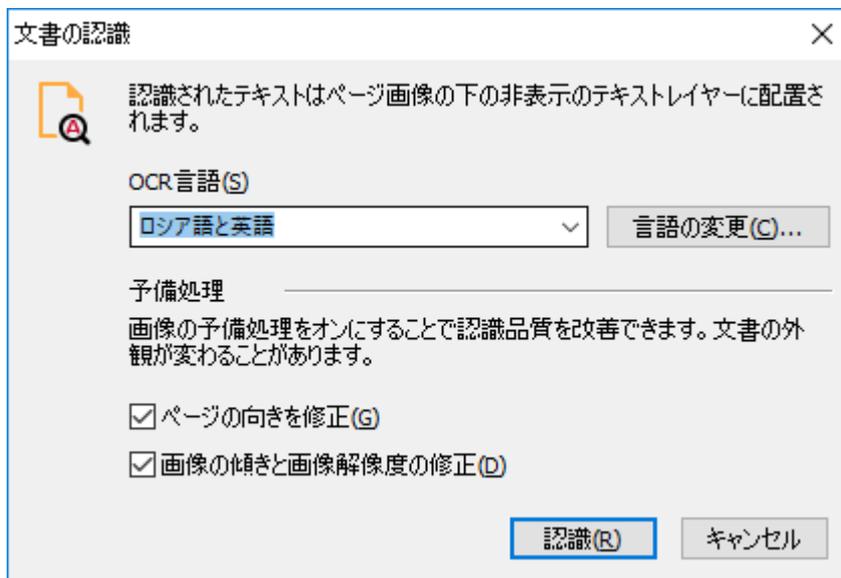
ページにテキストレイヤーが含まれる場合には、テキストの編集時に使用されます。ページを最初から認識するにはツールバーで、**テキストレイヤー**ボタンをクリックして**ページを認識して既存のテキストレイヤーと置き換える...**を選択します（特定のページまたはドキュメント全体に対して）。



これにより**文書の認識**ダイアログボックスが開きます。

上半分に表示されるドロップダウンリストから適切な言語を選択します。

ページの向きを修正 の隣のチェックボックスとウィンドウの下半分に表示される**画像の傾きと画像解像度の修正**にチェックを入れます。



認識をクリックします。

写真の挿入と編集

PDFエディターはすべてのPDF文書に写真を挿入できるようにします。



画像

1. **PDFツール ツールバー**。
2. 開いたダイアログボックスで、写真を選択して **開く**。
3. ページの目的の場所に写真を移動します。

写真を移動、回転、削除、サイズ変更できます。写真を移動する際、ページ上のその他のオブジェクトとオーバーラップする可能性があります。オーバーラップしている写真を全面に移動するには、右クリックして選択し、**画像を前に出す** を選択します。

写真を削除するには：

- 通常のPDF文書で写真を削除するには写真を右クリックしてショートカットメニューの **削除** をクリックします。
- 文書の画像の一部、また、写真など文書に含まれるすべてのものを削除できます。これを実行する



消去

には、**PDFツール ツールバー**で ツールをクリックし、消去したいエリアを。

- ☑ **消去** ツールは写真やテキストを削除し、空いた空間を塗りつぶすのに最適な背景色を自動で選択します。

ハイパーリンクの挿入と編集

ABBYY FineReader では、あらゆる種類の PDF 文書にハイパーリンクを挿入し、既存のハイパーリンクを編集することができます。

ハイパーリンクをマウスカーソルでポイントすると、そのアドレスがポップアップボックスに表示されます。リンクをたどる場合は、単にクリックするだけです。

PDF 文書にハイパーリンクを挿入する方法:

1. ハイパーリンクとして使用するテキストを入力します。
2. > を終了クリックするか、**リンクを追加...**テキストを選択して右クリックし、**リンクを追加...**ショートカットメニューをクリックします。

- 現在の文書で、特定のテキスト部分へリンクする

リンクエディターで:

- 選択して**この文書のページ**リンクが開くページの番号を入力するか、
- クリックして**宛先の選択...**ユーザーにリンクをクリックして欲しい場所にマウスカーソルを配置します。
- ウェブページへのリンク

リンクエディターで:

- 選択して**ウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンク**リンクしたいページの URL (例: <http://www.abbyy.com>) を入力します。
- 電子メールアドレスへのリンク

リンクエディターで:

- 選択して**ウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンク**"mailto:" の後に続く受信者の電子メールアドレス (例: mailto:office@abbyy.com) を入力します。
- ファイルへのリンク

リンクエディターで:

- 選択して**ウェブアドレス、電子メールアドレス、ファイルやその他の資料へのリンク**"file://" に続く、リンクによって開かれるファイルへのパス (例: file://D:/MyDocuments/ABBYYFineReader.pdf) を入力します。

ハイパーリンクを編集するには：

1. 編集するハイパーリンクを選択します。
2. 選択したリンクを右クリックし、**リンクの編集...**ショートカットメニューをクリックします。
3. リンクエディターで以下のいずれかを行います：
 - リンクが開くページの番号を変更するか、
 - クリックして**宛先の選択...**ユーザーにリンクをクリックして欲しい場所にマウスカーソルを配置します。
 - URL、電子メールアドレス、ファイルまたはその他のリソースへのパスを変更します。

 URL、電子メールアドレス、ファイルまたはその他のリソースへのパスをクリップボードにコピーすることができます。これを行うには、リンクをクリックして選択し、**リンクをコピー** URL、電子メールアドレス、パスをコピーします。

PDF 文書からハイパーリンクを削除する方法：

1. 削除するハイパーリンクを選択します。
2. 選択したリンクを右クリックし、**リンクを削除**ショートカットメニューをクリックします。

テキストの認識

[背景認識](#)⁵⁸は文書に一時的テキストレイヤーを追加するプロセスで、テキストのマーク付け、コピー、検索を実行できるようにします。PDF文書に恒久的テキストレイヤーを追加することで、これらの機能が他のユーザーにも使用できるようにすることが可能です。テキストレイヤーのある文書は元の文書と実質的に見分けがつかません。検索可能なPDF文書の既存のテキストレイヤーを置き換えることもできます。

1. メインツールバーで  ボタンの隣にある矢印をクリックして、ドロップダウンリストから **文書の認識...** を選択します。または、次のようにクリックします：**ファイル > 文書の認識 > 文書の認識...** または **Ctrl+Shift+R**と押します。
2. 開いたダイアログボックスで、適切なOCR言語を指定します。以下も参照してください：[OCR前に考慮すべき文書の機能](#)³¹⁴。
3. OCRの品質を向上するために、画像処理をオンにします。画像処理は文書の外観を変更する可能性があります。
 - **ページの向きを修正** - プログラムはテキストの方向を検出し、必要に応じて修正します。
 - **画像の傾きと画像解像度の修正** - プログラムは傾きを検出、補正し、適切な画像解像度を選択し、画像の向上に必要なその他の変更を加えます。
4. **認識** ボタンをクリックします。
5. その結果、出力文書には検索可能テキストレイヤーが含まれます。

ファイルからPDF文書にページを追加する際や、紙の文書をスキャンする際にもテキストレイヤーを追加できます。これを実行するには、**画像のテキストを認識する** ダイアログボックスでオプションを **画像処理設定**（このダイアログボックスは、>  > **画像処理設定** とクリックして開きます）、文書の言語を指定します。以下も参照してください：[ページでの作業](#)¹⁰²。

 認識されたテキストを確認する場合や、学習機能を使用して、非標準フォントや文字を認識させる場合、または、ABBYY FineReaderのその他の高度な機能を使用する場合には、 ボタンの隣の矢印をクリックしてから、**OCRエディタで認識、検証する** をクリックします。または、次のようにクリックします：**ファイル > 文書の認識 > OCRエディタで認識、検証する**。以下も参照してください：[PDF文書をOCRエディタに送信](#)¹⁶⁸。

ページでの作業

PDFエディターでPDF文書のページを削除したり、追加したり、並べ替えをしたり、空白のページを挿入したりできます。

PDFからページを追加しています...

1. メインツールバーで、 ページの追加 ▼ ボタンをクリックします。
2. **PDFから追加...** をクリックします。
 または、**PDFからページを追加...** (ページ ペインのショートカットメニュー) をクリックするか、
 ボタンをクリックすると表示されるドロップダウンメニューからクリックします。
3. 開いたダイアログボックスで、PDFドキュメントに追加する1つまたは複数のPDFファイルを選択し、追加するページ番号を指定します。新規ページを追加する場所を指定することもできます (例: 最初のページの前、現在のページの前、など)。
4. **開く** ボタンをクリックします。

選択したPDFファイルは、変更されることなく現在のPDF文書に挿入されます。

ファイルからページを追加する...

1. メインツールバーで  ページの追加 ▼ ボタンをクリックします。
2. をクリックします **ファイルから追加...**。
 または、次のようにクリックします: **ファイルからページを追加...** ペインのショートカットメニューまたは **ページ** ボタンをクリックすると表示されるドロップダウンメニューから  ボタンをクリックします。
3. 開いたダイアログボックスで、PDF文書に追加する1つまたは複数のファイルを選択して、追加するページ数を指定します。選択するファイルはサポートされる [される形式である必要があります](#)^[317]。新規ページを追加する場所を指定することもできます (例: 最初のページの前、現在のページの前、など)。
4. **設定...** ボタンをクリックして、目的の [画像処理のオプションを指定します](#)^[102]。
5. **開く** ボタンをクリックします。

選択したファイルはPDFに変換されて現在のPDF文書に挿入されます。

スキャンしたページの追加...

1. メインツールバーで  ページの追加 ▼ ボタンをクリックします。
2. をクリックします **スキャナから追加...**。
3. デバイスを選択して [スキャン設定を指定します](#) 。
4. **表示** ボタンをクリックするか、スキャンエリアの任意の場所をクリックして画像を表示します。
5. 必要な場合には **設定...** ボタンをクリックして、目的の [画像処理のオプションを指定します](#) 。
6. **スキャン** ボタンをクリックします。

スキャンされたページは現在のPDF文書に挿入されます。

空白のページの挿入...

1. オプションのグループの **ページ** ペインで、空白のページを挿入する前および後のページを選択します。
2. ページを右クリックして、ショートカットメニューで **空白のページを追加** をクリックし、その後 **現在のページの前** または **現在のページの後**。

 または、次のようにクリックします： ページの追加 ▼ > **空白ページの追加**。現在選択されているページの後に空白のページが追加されます。

ページの並べ替え...

- オプションのグループの **ページ** ペインで、1枚または複数のページを選択して、文書内の希望する場所にドラッグします。

ページを置き換えています...

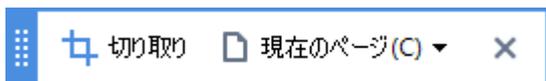
1. **ページ** ペインで置き換えたいページを選択します。
2. ページのコンテキストメニューまたは**ページ** ペインの  ボタンを押して**終了メニューのページを置き換える...** を選択します。
3. 表示されたダイアログボックスで、新しいページのあるPDF文書を選択します。
4. ページの置換ダイアログボックスで、現在の文書から置き換えるページの範囲と新しい文書のページ範囲を指定します。

ページの回転...

- オプションのグループの **ページ** ペインで、1枚または複数のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューで **ページを回転する** をクリックし、その後 **右に回転** または **左に回転**。または、ペインの上部で  ボタンをクリックして、その後、次のようにクリックします：**ページを回転する** > **右に回転**（または **左に回転** に設定）。

ページの切り取り...

1. **ページ** ペインで1ページまたは複数のページを選択します。
2. ページのコンテキストメニューまたは**ページ** ペインの  ボタンを押して**終了メニューのページを切り取る...** を選択します。
3. 切り取りフレームペインで：
 - 切り取りモードを選択する**各ページに個別のフレーム**か**すべてのページに単一のフレーム**、
 - 切り取りフレームのサイズを選択します
 - プログラムが自動で切り取りフレームのサイズを決定するオプションを使用します
 自動フレームのオプションは切り取りフレームの境界線をテキストの端に定め、文書ページの空白のエリアを削減します。
4. 手動で切り取りフレームを設定する場合はフレームの端を移動します
5. 切り取りフレームの設定後：



- 切り取る文書のページを選択します
- **切り取る** をクリックします

ページを削除...

- オプションのグループの **ページ** ペインで、1枚または複数のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューで **ページの削除...** をクリックするか **Del** キーを長押しします。

選択したページからPDF文書を作成...

- オプションのグループの **ページ** ペインで目的のページを選択したら右クリックして、ショートカットメニューで **選択したページでPDFを作成** をクリックします。

作成された文書は新しいウィンドウで開かれます。

画像処理のオプション

PDFエディターは画像およびOCRの品質を改善する複数の画像処理オプションを提供します。

紙の文書をスキャンする際や画像ファイルからPDF文書を作成する際に、画像処理オプションを指定できます。

- **画像品質** 写真の品質やファイルのサイズは、オプションのグループのドロップダウンリストから選択した **画像品質** 値で決定されます：
 - **最高の品質**
ページの画像や写真の品質を保持するには、この項目を選択します。ソース画像の元の解像度が保持されます。
 - **バランス保持**
ページ画像や写真の品質を適度に高いレベルに保ちつつPDF文書のサイズを抑えるには、このオプションを選択します。
 - **コンパクトサイズ**
小さなサイズのPDFファイルを作成する場合にはこのオプションを選択します。これにより、ページ画像や写真の品質が劣化する可能性があります。
 - **カスタム...**
ページの画像や写真を保存するためのカスタムオプションを指定する場合には、このオプションを選択します。開いたダイアログボックスで、目的の保存オプションを指定したら、**OKをクリック**します。
- **画像のテキストを認識する** 文書にテキストレイヤーを追加する場合にはこのオプションを選択します。

元の文書とほとんど同じ外観の検索可能なPDF文書が作成されます。

- **MRC圧縮を使用する(以下でOCR言語を指定)** 認識されたページにMRC圧縮アルゴリズムを適用する場合にはこのオプションを選択します。MRC圧縮は、ページ画像の視覚的品質を保ちつつ出力ファイルのサイズを削減します。

- **画像の文字をなめらかにするためにABBYY PreciseScanを適用する** ABBYY PreciseScanテクノロジーを適用する場合には、このオプションを選択します。ABBYY PreciseScanはズームインした時に文書の文字がピクセル化しないように、文字をなめらかにします。
- **OCR言語** 正しいOCR言語を選択するようにしてください。以下も参照してください: [OCR前に考慮すべき文書の機能](#)³¹⁴。

ブックマークの追加

PDFエディターを使用して、PDF文書にブックマークを追加できます。

ペインでブックマークを作成する **ブックマーク** ショートカットメニューを使用してブックマークを作成する。

1. ペインでブックマークを作成する **ブックマーク** ペインで :

- a. 左の垂直バーで  ボタンをクリックするか、**表示 > ブックマーク** をクリックします。ブックマークペインが開きます。
- b.  をクリックし、ブックマークの名前を入力します。
- c. デフォルトでは、新規作成されたブックマークは現在のページの先頭をポイントします。

2. ショートカットメニューを使用してブックマークを作成する :

- a. ブックマークしたい文書のテキストの断片、写真、またはその他の場所を選択します。
- b. 選択した部分を右クリックして、ショートカットメニューの **ブックマークを追加...** をクリックします。
- c. ペインでブックマーク名前を入力します **ブックマーク**。
 - ☑ テキストの断片をブックマークする場合、選択されたテキストがブックマークの名前として使用されます。
- d. 新規作成されたブックマークはテキストの断片、写真または選択した文書のその他の場所をポイントします。

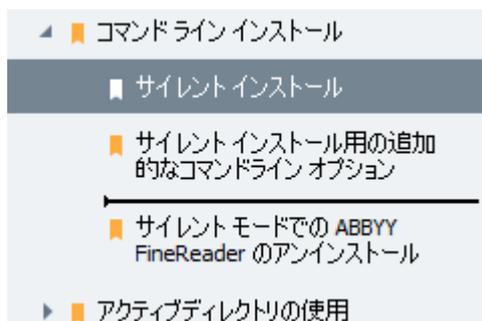
ブックマークに別の宛先を選択するには、**宛先の設定** ブックマークのショートカットメニューのをクリックして、文書内のブックマークを挿入したい場所をクリックします。

☑ ブックマークはネストできます。新規ブックマークは前に選択されたブックマークと同じレベルでネストされます。新規ブックマークがその文書で最初のブックマークの場合、ルートレベルに配置されます。

☑ または、次のようにクリックしてブックマークを作成することもできます : **終了 > ブックマークを追加...**

ブックマーク並べ換え...

1. ペインでブックマークを選択します **ブックマーク**。
2. マウスの左ボタンを押しながら、ブックマークを目的のロケーションにドラッグします。



📌 ネストされたブックマークを作成するには、既存の親ブックマークにドラッグして親ブックマークのアイコンが変わるまで待ってから、マウスの左ボタンを放します。または、ブックマークを右クリックして **1レベル左に移動** および **1レベル右に移動** コマンドをショートカットメニューで使用します。

💡 ブックマークの並べ替えまたはネストレベルの変更は文書の外観に影響しません。

ブックマークの名前変更...

1. ペインでブックマークを選択します **ブックマーク**。
2.  ボタンをクリックするか、ブックマークのショートカットメニューで **名前変更** をクリックします。
3. 新しい名前を入力します。

ブックマークの削除...

1. ペインでブックマークを選択します **ブックマーク**。
 2.  ボタンをクリックするか、ブックマークのショートカットメニューで **削除** をクリックします。
- 📌 ブックマークが同一レベルにネストされている場合には、一度に複数のブックマークを削除できます。**Ctrl** キーを押したまま、削除するブックマークを選択して **削除**。

💡 親ブックマークを削除すると、その子ブックマークもすべて削除されます。

ヘッダーとフッターを追加する

PDFエディターを使用して、PDF文書のページにヘッダーやフッターを追加することができます。ヘッダーおよびフッターとは、ページの最上部や最下部で繰り返されるテキストであり、ページ番号、作者の名前、作成の日時、あるいは文書のインデックスとして使用されるページナンバリングなどを記載できます。

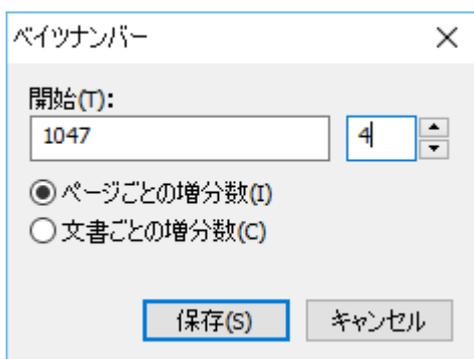
文書にヘッダーやフッターを追加する方法：

1. ボタンを  ヘッダーとフッター ▼ クリックします。
2. ドロップダウンメニューから、希望するヘッダーやフッターの種類を選択します。

ヘッダー/フッターの作成...

1. ボタンを  ヘッダーとフッター ▼ クリックし、その後ヘッダーとフッターを作成します...
2. 表示されるダイアログボックスで、ページ上の 6 つのロケーションのうち1 つを選びます。精度を高めるには、ヘッダーまたはフッターとページの対応する辺との間の正確な距離を入力します。
💡プレビューペインの下に [測定単位] ドロップダウンリストから、ヘッダー/フッターとページの端までの距離を測定する単位を選択することができます。
3. [テキスト] フィールドに、文書のすべてのページの上部または下部に配置するテキストを入力します。
4. ページ番号、日付、時刻、バイツナンバリングを追加する方法：

- ボタンをクリックし、ページ番号表示されるドロップダウンリストから目的のページ番号形式を選択します。
選択したフォーマットで、各ページ番号がそれぞれのページの上部または下部に表示されます。
- ボタンをバイツナンバーをクリックします。
デフォルトでは、ナンバリングは1から始まり、すべての文書ページに番号が付けられます。デフォルトの設定を変更するには、次をクリックします：**%0 から続行...**



ナンバリングは[開始番号] フィールドで指定した番号から開始され、設定に応じて、ページごとまたはドキュメントごとに増分されます。[保存] をクリックして、変更を適用します。

- [日付/時刻] ボタンをクリックし、必要な日付や時刻のフォーマットを選択します。
💡[日付/時刻] ドロップダウンリストの[ページ番号] で[バイツナンバリング] ボタンまたは項目をクリックするたびに、対応するアイテムがマウスカーソルの後の[テキスト] フィールドに追加されます。このフィールドでアイテムの順番を変更し、説明文を追加したり、日付や時間の形式をカスタマイズしたりすることができます。日付や時間の形式に関する詳細情報は、[\[スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間\]](#)を³³⁰参照してください。

5. [フォント] のセクションで希望のフォント、フォントのサイズ、[フォントのエフェクト](#)、³⁶⁰フォントの色を選択します。
6. [ページ] のセクションで、ヘッダー/フッターをすべてのページに表示するのか、一部のみに表示するのかを指定します。

- ヘッダー/フッターをすべてのページに表示するか、**すべて**[ページ範囲] を**選択**して特定のページ範囲を指定します。
- 奇数ページまたは偶数ページにのみヘッダー/フッターを配置することができます。これを行うには、ヘッダー/フッターを作成して**奇数ページ**選択するか、**偶数ページ**ドロップダウンリストから**選択**して[適用] します。

7. [保存] を**保存と追加**クリックして変更を保存し、新しく作成したヘッダー/フッターを文書に追加します。

 既存のスタイルから、新しくヘッダー/フッターを作成することができます。これを実行するには、

 **ヘッダーとフッター** ▼ ボタンをクリックして**ヘッダーとフッターを管理します...**選択します。[ヘッダーやフッターの管理] **ダイアログボックス**で、既存のヘッダー/フッターを選択してクリックします**コピー...**。

ヘッダー/フッターの編集...

1. ボタンをクリックして  **ヘッダーとフッター** ▼ 選択します。**ヘッダーとフッターを管理します...**
2. [ヘッダーとフッターの管理] **ダイアログボックス**で、変更するヘッダー/フッターを選択してクリックします**編集...**。
3. 必要な変更を実行してクリックします**保存**。

ヘッダー/フッターをリストから削除する...

1. ボタンをクリックして  **ヘッダーとフッター** ▼ 選択します。**ヘッダーとフッターを管理します...**
2. [ヘッダーとフッターの管理] **ダイアログボックス**で、削除するヘッダー/フッターを選択してクリックします**削除**。

ウォーターマークを追加しています

PDFエディターを使用して、PDF文書にウォーターマークを追加できます。ウォーターマークとは、ページコンテンツの上、または下に配置するテキストです。たとえば、ウォーターマークを使用すると、テキストの作成者を示したり、機密情報が記載されているページを特定することができます。

ウォーターマークを追加するには：



1. クリックして、**ウォーターマーク** 次にアイテムをクリック**ウォーターマークの追加**します。
2. 表示されるダイアログボックスで、ページ上の 9 つのロケーションのうち1 つを選びます。
💡ウォーターマークの場所をさらに調整するには、縦と横のオフセット値を変更します。。
3. フィールドで、**テキスト**ページに表示させたいテキストを入力します。
☑️**フォント**、フォントのサイズ、フォントの効果を選択し、そのセクションにおけるウォーターマークのテキストを変更する**フォーマット**ことができます。
4. ウォーターマークの方向や透明度の調整：
 - a. フィールドで、**回転**回転の角度を指定します（または、フィールドの右にあるスライダーを使うことも可能）。
 - b. フィールドで、**透明度**透明度の値を入力します（または、フィールドの右にあるスライダーを使うことも可能）。
5. ウォーターマークを配置する場所を選ぶか、**ページコンテンツの上部**または**背景のページコンテンツの下部**。
6. すべてのページでウォーターマークを表示するか、文書中の選択したページだけに表示するかを指定します：
 - a. 選択して**すべて**ウォーターマークをすべてのページに表示します。
 - b. 選択して**選択済み**ウォーターマークを、現在表示されているページだけに表示します。
 - c. 選択して**ページ範囲**ウォーターマークを一定のページ範囲に表示します。このオプションを選択する場合、下のフィールドでページ範囲を指定する必要があります。
7. ダイアログボックスのプレビューペインでウォーターマークを確認し、**ウォーターマークを追加**結果に問題がなければ、 をクリックします**保存と追加**。

💡同じ文書に、複数の異なるウォーターマークを追加することもできます。



文書から、ウォーターマークを削除するには、ウォーターマーク  をクリックし、ウォーターマークを削除するアイテムをクリックします。

 このコマンドは、文書から、すべてのウォーターマークを削除します。

添付ファイルの追加

どのようなフォーマットのファイルでもPDF文書に添付できます。

添付ファイルの表示方法：

- 左のパインの  ボタンをクリックするか、次のようにクリックします：**表示 > 添付**。

添付ファイルを開いたり、保存、名前の変更、削除を実行できます。

添付 ペインで：

- ファイルを選択します。

-  ツールバーで実行したいアクションに対応するツールをクリックします。またはショートカットメニューの対応するコマンドをクリックします

メタデータの表示

PDFエディターでPDF文書のタイトル、作成者、その他の情報を表示できます。この情報はメタデータと呼ばれます。メタデータの一部は作成者により入力されており、一部が自動的に生成されます。メタデータを使用して文書を検索することもできます。

メタデータを表示するには、**ファイル > ドキュメント プロパティ...** とクリックして、**ドキュメント プロパティ** ダイアログボックスを開きます。

PDF文書がパスワードによって保護されていない限り、作成者によって作成されたメタデータを変更または保存できます:

- **タイトル** 文書のタイトルが含まれます。
- **作成者** 文書の作成者が含まれます。
- **件名** 文書のタイトルが含まれます。
- **キーワード** 文書の検索で使用できるキーワードが含まれます。

 メタデータを削除するよう選択していない場合で、既存のオプションを上書きする新しいエクスポートオプションを指定していない場合には、様々な形式のファイルをPDFに変換する際に、元のメタデータは保持されます。

文書のメタデータには文書およびファイルに関する以下の情報も含まれます:

- **ファイル名** ファイル名が含まれます。
- **場所** 文書が保存されているフォルダーへのパスが含まれます。
- **ファイルサイズ** ファイルのサイズが含まれます。
- **ページサイズ** 現在のページのサイズが含まれます。
- **ページ** 文書のページ数が含まれます。
- **PDF作成者** 文書が作成されたアプリケーション名が含まれます。
- **アプリケーション** 文書のコンテンツが作成されたアプリケーション名が含まれます。
- **PDFバージョン** PDFのバージョンが含まれます。
 文書のメタデータにPDF/A または PDF/UAの準拠情報が含まれている場合、**ドキュメント プロパティ** ウィンドウに表示されます。
- **タグ付けされたPDF** 文書のタグに関する情報が含まれます。
- **高速ウェブ表示** 文書をオンラインで読み込む場合に高速化する、高速ウェブ表示技術を文書がサポートするかを指定します。
- **作成** 文書の作成日時が含まれます。
- **変更** 文書が最後に変更された日時が含まれます。

☑ ABBYY FineReaderでメタデータを表示、編集、[検索](#)^[59]、[削除を実行できます](#)^[161]。

ページ画像の補正

PDFエディターを使用して、画像ファイルから作成されたPDF文書の品質を高めることができます。入力画像のタイプによって、プログラムは適切な画像補正アルゴリズムを選択します。自動画像補正に加え、PDFエディターはページの方向、傾き、歪んだテキスト行などの欠陥を修正し、ABBYY PreciseScanテクノロジーで文字をなめらかに表示します。

ダイアログボックスで補正オプションを指定できます **画像の補正**（このダイアログボックスは、**終了 > ページ画像の補正...**とクリックすると開きます）。

- **ページの向きを修正** プログラムが自動でページの方向を検出、補正する場合には、このオプションを選択します。

最高の認識結果のためには、ページは標準の方向（つまり、横書きのテキスト行で、上から下に読む）であることが望まれます。そうでない場合には、文書の認識が正しく実行されない可能性があります。
- **画像の傾きと画像解像度の修正** プログラムが画像で多数の画像処理ルーチンを実行するようにしたい場合には、このオプションを選択します。

入力画像のタイプによって、傾き補正、台形歪みの補正、画像解像度の調整など、プログラムは適用する画像の修正を選択します。

☑ この操作が完了するまでにはしばらく時間がかかる場合があります。
- **ABBYY PreciseScan を適用して画像上の文字を滑らかにする** ABBYY PreciseScanテクノロジーを適用して、ズームインした際に文字がピクセル化しないようにする場合にはこのオプションを選択します。

☑ 正しいOCR言語を選択するようにしてください。以下も参照してください: [OCR前に考慮すべき文書の機能](#)^[314]。

インタラクティブPDFフォームを使った作業

インタラクティブPDFフォームは情報の収集に便利なツールです。印刷されたフォームよりも早く入力でき、ユーザーが入力する際にエラーが発生する可能性が低くなります。

インタラクティブPDFフォームには、以下の種類のフィールドが含まれます：[テキストフィールド](#)^[124]、[ドロップダウンリスト](#)^[129]、[チェックボックス](#)^[133]、[ラジオボタン](#)^[136]、[ボタン](#)^[139]、[署名フィールド](#)^[149]、[リストボックス](#)^[152]。

ABBYY FineReader PDF 15 には、インタラクティブPDFフォームの[入力](#)^[114]、[作成](#)^[116]、[編集](#)^[118]を実行できるPDFエディターが含まれます。

The screenshot displays the ABBYY FineReader PDF 15 interface with an interactive PDF form open. The form is titled 'Membership Application' and is divided into several sections:

- Club Information:** This section is completed by a club officer. It includes fields for Club number, Club name, and Club city.
- Applicant Information:** This section is completed by the applicant. It includes fields for Last name/Surname, First name, Middle name, and gender (Male/Female). It also includes a section for the monthly Toastrmaster magazine address, with fields for Company/In care of, Address line 1, Address line 2, City, State or province, Country, Postal code, Home phone number, Mobile phone number, and Email address.
- Membership Type:** This section is completed by a club officer. It includes checkboxes for New, Dual, Transfer (If applicant is transferring from another club, please fill in the three lines below), Reinstated (break in membership), and Renewing (no break in membership).
- New Member Kit Preference:** This section is completed by the applicant if a new member. It includes checkboxes for language preferences: English, العربية, 中国傳統, Français, Deutsch, 简体中国, 日本人, Español, and Accessible PDF on CD for the visually impaired (English only).

ABBYY FineReader PDF 15があれば、完了しているか、空白のフォームかに関わらず、さまざまなフォーマットのフォームの[印刷](#)^[169]、[保存](#)^[163]または[電子メール](#)^[168]での送信を簡単に行うことができます。

本章の内容

- [フォームへの入力](#)^[114]
- [フォームの作成](#)^[116]
- [フォームの編集](#)^[118]

フォームへの入力

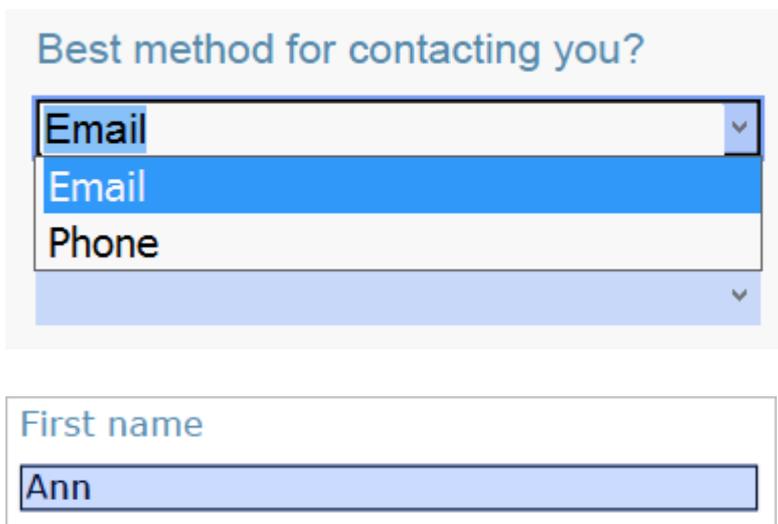
PDFエディターで応答型フォームの表示、入力印刷ができます。

1. 文書にフォームが含まれる場合、以下のメッセージが表示されます:



インタラクティブフォームのフィールドの強調表示を無効にするには、このメッセージボックスの **強調表示フィールド** を消去するか、**表示** をクリックして **強調表示フィールド** アイテムの隣のチェックボックスをクリアします。

2. フォームに入力するには、ドロップダウンリストから値を選択するか、キーボードを使用してテキストを入力します。



ABBYY FineReaderでは以下の操作も可能です：

- フォームへのデータの読み込み

ツール > フォームデータ > **ファイルからフォームデータを読み込み**とクリックして、参照し、フォームのデータがあるファイルを見つけたら **開く** をクリックします。フォームには選択したファイルのデータが入力されます。

フォームのデータはFDFまたはXFDFファイルから読み込むことができます。

- フォームデータを保存する

ツール > フォームデータ > **フォームデータをファイルに保存...**とクリックしてファイルの名前を指定し、出力フォーマットを選択してから、**保存** をクリックします。フォームのデータがファイルに保存されます。

フォームのデータはFDF、XFDF、HTLフォーマットで保存できます。

- フォームのフィールドをクリアする

をクリックします **終了** > **フォームデータ** > **フォームをリセット**。フォームのフィールドはすべて消去されます。

プログラムの設定でJavaScriptが無効の場合、PDFフォームの一部の要素は利用できません。例えば、データフォーマットの確認は利用できない場合があります。次のようにクリックしてJavaScriptをオンにできます：**オプション** > **その他** > **PDF文書でJavaScriptを有効にする**。

以下も参照してください: [PDFのセキュリティ機能](#)^[59]。

 現在のフォームでインタラクティブフィールドが強調表示されていない場合は、フォームの上部で**強調表示フィールド**オプションが選択されています。(または **強調表示フィールド**アイテムが**表示**メニューで選択されています)。オプションまたはメニューアイテムが選択されているものの、強調表示が見当たらない場合は、**エクスポート**ツールを使ってフォームに入力します。

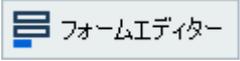
以下も参照してください: [PDFドキュメントへのテキストブロック注釈の追加](#)^[78]。

フォームの作成

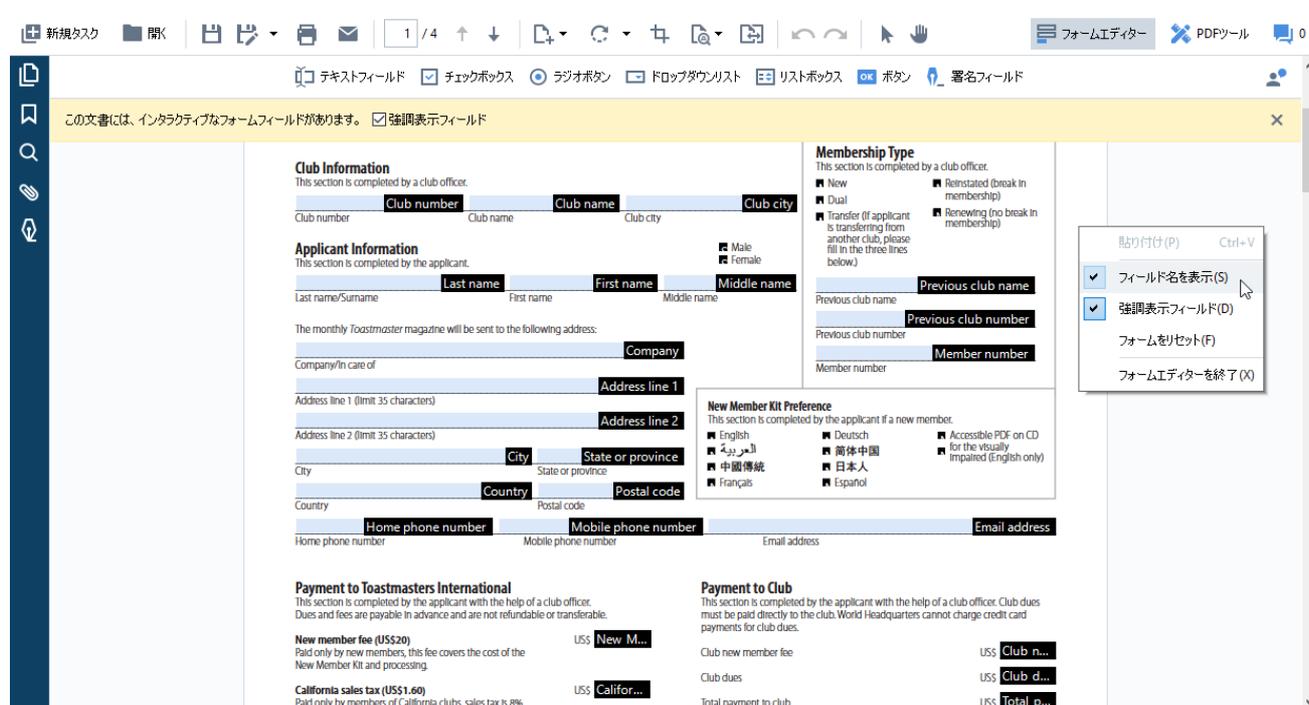
フォームを作成するには：

1. PDFエディターで新規文書を作成するか既存の文書を開きます。

以下も参照してください：[PDF文書の表示](#)^[52]

2. メインツールバーの  ボタンをクリックしてフォーム編集モードに切り替えます。これにより、さまざまな種類のインタラクティブフィールドをフォームに追加できるようにするツールを提供する新しいツールバーが開きます。

 フォームに既にインタラクティブフィールドが含まれる場合は、その名前がフォームに表示されます。フィールド名を表示させたくない場合には、フォーム内の任意の場所を右クリックして、ショートカットメニューの **フィールド名を表示アイテムの隣のチェックボックスをクリア** します。または、**表示 > フィールド名を表示** とクリックします。



 フォーム編集モードではメインPDFツールは利用不可になります。

3. 必要に応じて、フォームのフィールドを [追加](#)^[118] や [編集](#)^[118] して、[ページ内でその位置](#)^[120] を調整します。

 フィールドは、現在のページ内でのみ位置変更が可能です。

 ユーザーに表示されるとおりにフォームのフィールドを表示するには、[フォーム編集モードを終了](#)^[117] します。

以下の種類のフィールドを追加できます：

- [テキストフィールド](#)^[124]
- [ドロップダウンリスト](#)^[129]
- [チェックボックス](#)^[133]

- [ラジオボタン](#)  136
- [ボタン](#)  139
- [署名フィールド](#)  149
- [リストボックス](#)  152

4. メインツールバーの  フォームエディター ボタンをクリックして、フォーム編集モードを終了します。または、フォーム内の任意の場所を右クリックしてショートカットメニューで**フォームエディターを終了**をクリックするか、Esc キーを押します。

5. 文書を[保存](#)  163します。

 フォームをPDF文書として保存すると（**ファイル > 名前を付けて保存 > PDF ドキュメント...**）インタラクティブフィールドをそのまま保持できるため、任意のユーザーがPDFファイルを開いた場合にフォームに情報を入力することができます。その他のフォーマット（例：Microsoftワード）で保存すると、編集不可となります。

 PDFフォームに [入力するには](#)  114、[フォーム編集モードを終了します](#)  117。

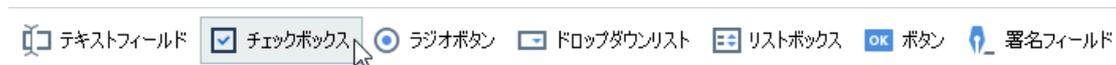
フォームの編集

PDFエディターでは、PDF文書のインタラクティブフォームのフィールドでさまざまな操作を実行できます。以下の操作が可能です：

- [フィールドを](#)^[118]追加。
- [フィールドの](#)^[118]サイズやその他のフィールドのプロパティを変更。
- [フィールドの](#)^[119]コピーまたはフィールドの[リンクされたコピー](#)^[120]を作成。
- [フィールドを現在のページの別の位置に](#)^[120]移動する。
- [複数のフィールドを](#)^[120]それぞれの関係で、または余白に沿って揃える。
- [フィールドを](#)^[121]削除。
- [すべてのフィールドから](#)^[122]データをクリアする。

フィールドの追加

1. 編集モードから[切り換え](#)^[116]。
2. フォームツールバーで追加したいフィールドのタイプをクリックします。



3. フィールドを追加する場所をクリックします。デフォルトのサイズのフィールドが追加されます。
 任意のサイズのフィールドを描くには、左マウスボタンをリリースせずにマウスのポインターを好みの方向にドラッグします。
ラジオボタンツールを選択した場合、フォームの内側でマウスをクリックするたびにラジオボタンがフォームに追加されます。必要な数のラジオボタンを追加したら、Escを押してツールをオフにします。

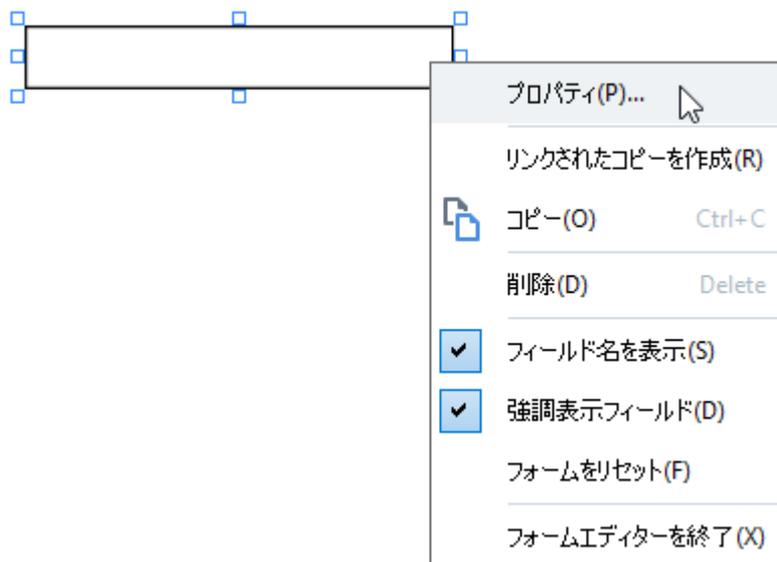
以下も参照してください：[ラジオボタン](#)^[136]

4. 必要な場合、フィールドを[編集します](#)。^[118]
5. [フォーム編集モードを終了します](#)^[117]。

フィールドの編集

1. 編集モードから[切り換え](#)^[116]。

2. 編集したいフィールドをダブルクリックします（または、ショートカットメニューで**プロパティ...**を右クリックして選択します）。



3. **プロパティ**ダイアログボックスでフィールドのプロパティを変更します。
 このダイアログボックスに表示されるプロパティのセットは選択したフィールドのタイプにより異なります。
 各フィールドのタイプのプロパティに関する詳細情報は以下のリンクをクリックしてご確認ください：

- [テキストフィールド](#)^[124]
- [ドロップダウンリスト](#)^[129]
- [チェックボックス](#)^[133]
- [ラジオボタン](#)^[136]
- [ボタン](#)^[139]
- [署名フィールド](#)^[149]
- [リストボックス](#)^[152]

4. **OK**をクリックして変更を保存します。
 キャンセルをクリックすると、すべての変更が破棄されます。
5. [フォーム編集モードを終了します](#)^[117]。

フィールドのコピー

1. **フォーム編集モード**^[116]で、コピーしたいフィールドを右クリックして、ショートカットメニューで **コピー** を選択します。または、マウスクリックでフィールドを選択して、キーボードでCtrl+Cを押します。
2. コピーしたいフィールドを右クリックして、ショートカットメニューで **貼り付け** を選択するか、キーボードでCtrl+Vを押します。

☑ コピーは **フィールド名**を除き、元のフィールドと同じプロパティが付与されます。

☑ 空の**署名フィールド**^[149]はコピーできます。

フィールドのリンクされたコピーを作成する

フォーム編集モード^[116]で、リンクされたコピーを作成したフィールドを右クリックしてショートカットメニューで **リンクされたコピーを作成** を選択します。リンクされたコピーはオリジナルフィールドの隣に表示されます。

☑ リンクされたコピーのあるフィールドにユーザーがデータを入力すると、すべてのコピーに自動で同じデータが入力されます。これは、同じデータを同じ文書内で複数回入力する場合に便利な機能です。

☑ リンクされたコピーは元のフィールドと同じプロパティを持ちます。リンクされたフィールドの任意のプロパティを変更できます。**フィールド名**を変更するとリンクされたコピーがシンプルなコピーに変更されます。つまり、元のフィールドから自動でデータが入力されなくなります。

ページ内でのフィールドの移動

フォーム編集モード^[116]で、移動したいフィールドをクリックして希望する場所にドラッグします。

☑ 複数のフィールドを移動する場合には、Ctrlキーを押しながら複数のフィールドを選びます。次に選択したフィールドのいずれかをクリックして希望する場所にドラッグします。

☑ フィールドは同じページ内でのみ移動できます。

複数のフィールドをそれぞれの関係で、または余白に沿って揃える

フォーム編集モード¹¹⁶⁾でページ内でフィールドを**移動**¹²⁰⁾し始めます。フィールドを各々の関係で、またはページの余白に沿って揃えるのに役立つ紫色のガイドが表示されます。

☑ ガイドが表示されないようにする場合は、フィールドをページ内で移動しながらCtrlキーを長押しします。

The screenshot shows a PDF form with several sections. At the top, there are tabs for 'Home phone number', 'Mobile phone number', and 'Email address'. The main content is divided into two columns. The left column is titled 'Payment to Toastmasters International' and contains fields for 'New member fee (US\$20)', 'California sales tax (US\$1.60)', 'Membership dues' (with a list of months and amounts), and 'Total payment to Toastmasters International'. The right column is titled 'Payment to Club' and contains fields for 'Club new member fee', 'Club dues', and 'Total payment to club'. Below these is a 'Payment Method' section with options for MasterCard, Visa, AMEX, Discover, Check or money order, and Other. A purple guide is visible, and a mouse cursor is hovering over a field in the 'Payment Method' section. The field is labeled 'Signature' and has a red highlight.

複数のフィールドの座標を指定する：

1. **フォーム編集モード**¹¹⁶⁾で座標を変更したいフィールドのいずれかを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。**プロパティ**ダイアログボックスが開きます。
2. **一般**タブで**X**や**Yボックス**¹²⁵⁾の値を変更します。
3. **OK**をクリックして変更を保存します。
4. 配置の変更を希望する残りのすべてのフィールドでステップ1～3を繰り返します。または、紫のガイドを使って上記の方法で残りのフィールドを揃えます。
 - ☑ フィールドを縦に揃える場合には、すべてのフィールドの**X**ボックスで同じ値を指定します。
 - ☑ フィールドを横に揃える場合には、すべてのフィールドの**Y**ボックスで同じ値を指定します。

フィールドを削除

フォーム編集モード^[116]で削除したいフィールドをクリックしてDeleteキーを押します。または、フィールドを右クリックしてショートカットメニューで**削除**を選択します。

☑ 複数のフィールドを削除するには、Ctrlキーを長押ししたまま複数のフィールドを選択して、Deleteキーを押します（削除するフィールドを右クリックしてショートカットメニューで**削除**を選択します）。

すべてのフィールドのデータを消去する

フォーム編集モード^[116]でPDF文書の任意の場所を右クリックして、ショートカットメニューで**フォームをリセット**を選択します。

フィールドのサイズ変更

1. **フォーム編集モード**^[116]でサイズ変更したいフィールドを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。**プロパティ**ダイアログボックスが開きます。
2. **一般**タブで、**幅**および**高さ**ボックスの**値を変更します**^[125]。
3. **OK**をクリックして変更を保存します。

☑ インタラクティブフィールドをクリックして、サイズ変更することもできます。サイズ変更ハンドルの上にマウスのポインターがになるまで当てて、希望する方向にハンドルをドラッグします。

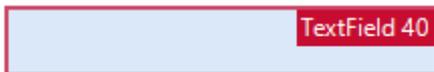
フィールドにポップアップヒントを追加する

1. **フォーム編集モード**^[116]で、ヒントを追加したいフィールドを右クリックして、ショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。**プロパティ**ダイアログボックスが開きます。
2. **一般**タブで、ヒントのテキストを**ツールチップボックスに入力します**^[125]。
☑ ラジオボタンの場合、全グループのヒントを一度**ラジオグループツールチップ**ボックスに入力します。
3. **OK**をクリックして変更を保存します。

フィールドを必須にする

1. [フォーマット編集モード](#)¹¹⁶で必須にしたいフィールドを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。**プロパティ**ダイアログボックスが開きます。
 [ボタン](#)¹³⁹以外のどのフィールドも必須にできます。
2. **一般**タブで**必須** オプションを選択します。
3. **OK**をクリックして変更を保存します。

フォーム編集モードで、必須フィールドの**名前**¹²⁵は赤で強調表示されます。



フォーム編集モードを終了すると、フォームの上の黄色のペインで**強調表示フィールド**オプションが選択されていると必須フィールドは赤のフレームで囲まれます（または**強調表示フィールド**アイテムが選択されている場合（**表示**メニューで））。



必須オプションは、ユーザーに特定のフィールドを完了する必要があることを伝えるだけです。ユーザーは[PDF フォームの必須フィールドを空白にしたまま保存、Eメールで送信、印刷](#)¹⁶³することができます。

テキストフィールド

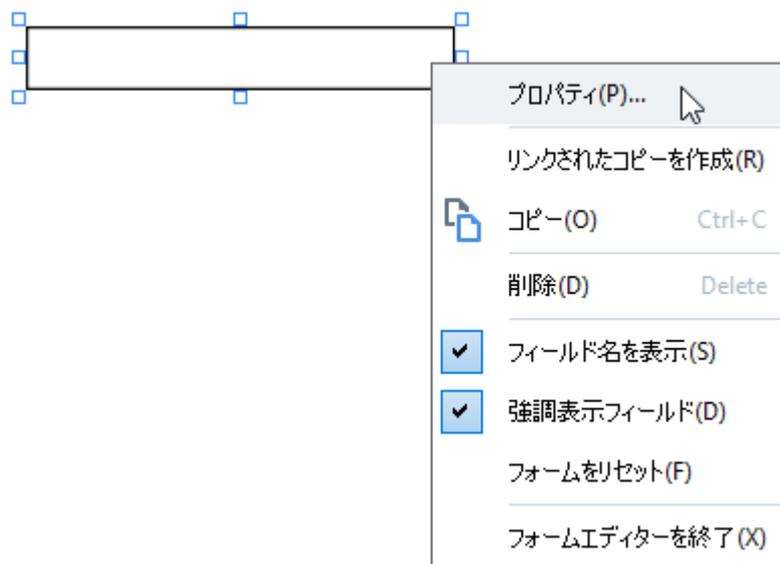
テキストフィールドテキストのデータのために意図されたフィールドです。

フォームにテキストフィールドを追加するにはフォーム編集モードに切り替えて  **テキストフィールド** ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#) ^[118]

テキストフィールドを編集するには、フィールドを右クリックして、ショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの編集](#)



テキストフィールドプロパティ

全般タブ

一般タブでは、テキストフィールドの全般的なプロパティ（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）を指定できます。

テキストフィールドプロパティ

一般 外観 形式

フィールド名: TextField 42

ツールチップ:

シンボルの最大数: 250

必須

読取り専用

幅: 5,64 高さ: 0,85 単位: センチメートル

X: 11,83 Y: 1,01

OK キャンセル

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#) ¹¹⁴モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

シンボルの最大数 - フィールドに入力できる最大文字数。値が指定されていない場合、任意の長さのテキストを入力できます。

必須 - このオプションが選択されている場合、フィールドは **必須** ¹²²としてマークされます。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはフィールドを編集できません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

- フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

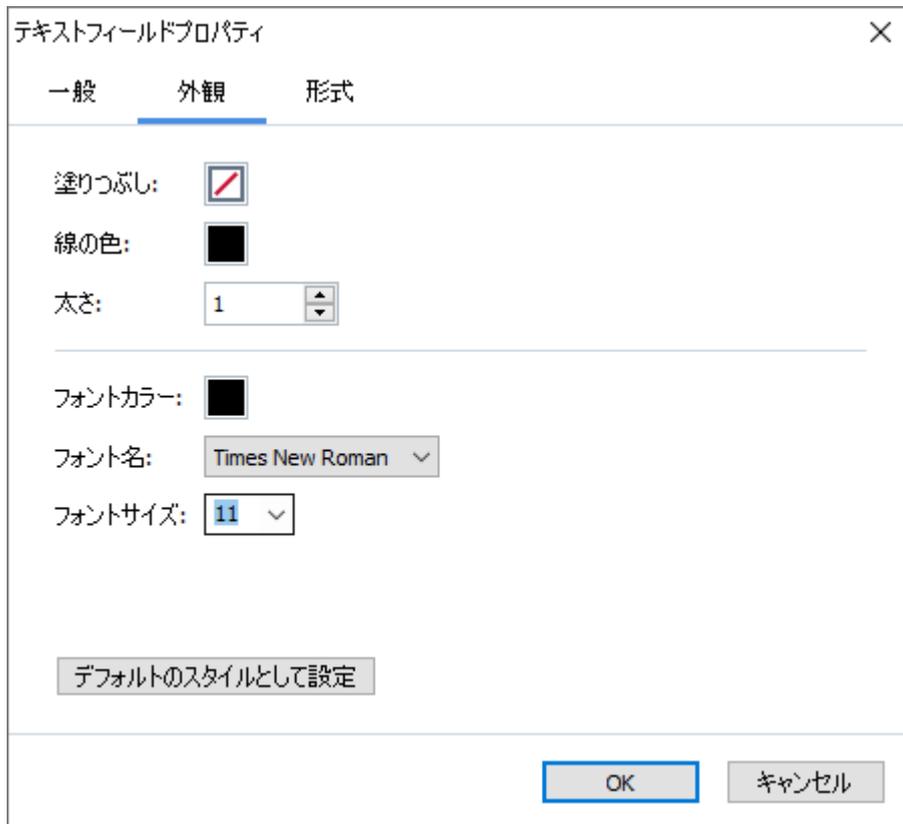
- フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定したフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さ、色、塗りつぶし、フォントのサイズ、色を指定できます。



塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - フィールドを囲む枠の色。

太さ - フィールドを囲む枠の太さ。

フォントカラー - フィールドに入力したテキストの色。

フォント名 - フィールドに入力したテキストに使用されるフォント。

フォントサイズ - フィールドに入力したテキストのサイズ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するテキストフィールドには、現在の設定が使用されます。

フォーマットタブ

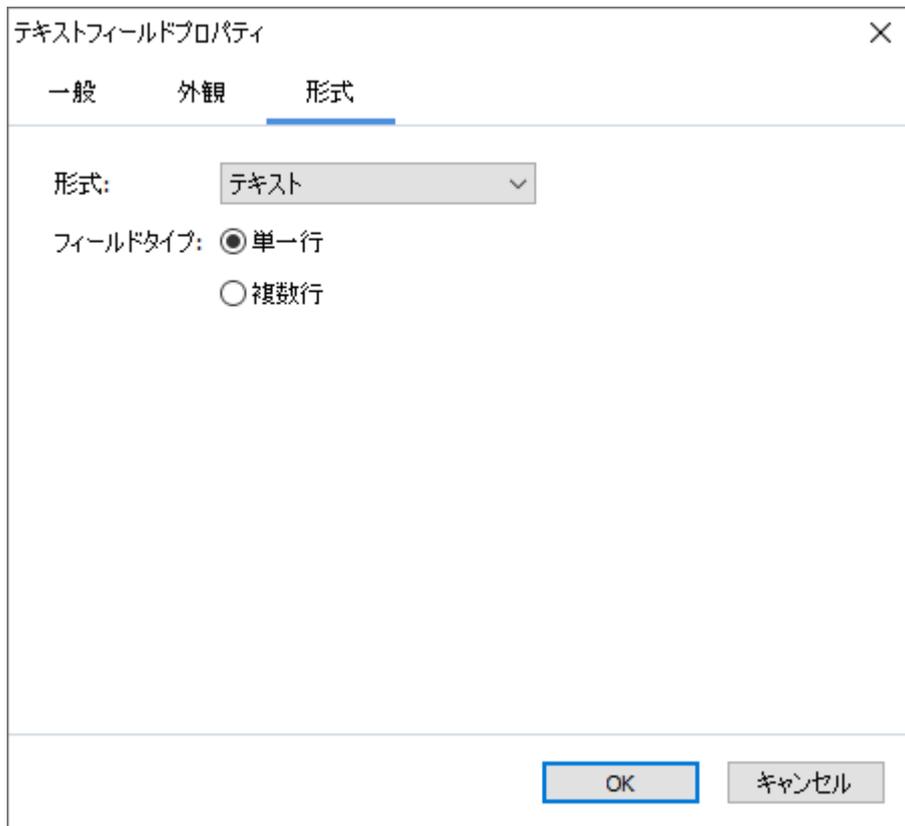
形式タブでは、希望するデータタイプを**形式**ドロップダウンリストから選択することでフィールドに入力できるデータのタイプを指定できます。2つのデータタイプが利用できます：

- [テキスト](#)¹²⁷
- [日付](#)

テキスト

テキストを形式ドロップダウンリストから選択して、ユーザーがこのフィールドに任意のテキストを入力できるようにします。

 このフォーマットはテキスト、数字、パスワード、Eメールアドレス、その他のテキスト形式のデータの入力に最適です。



テキストフィールドプロパティ

一般 外観 形式

形式: テキスト

フィールドタイプ: 単一行
 複数行

OK キャンセル

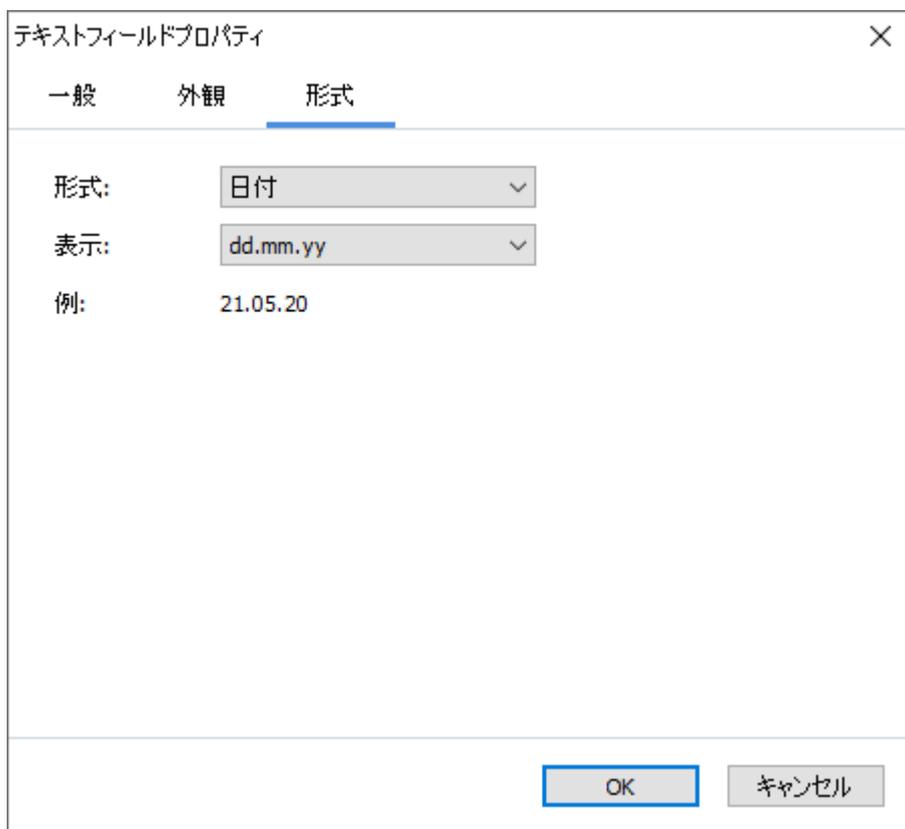
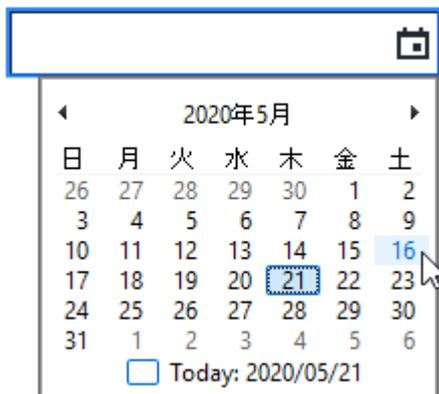
フィールドタイプ - フィールドに含まれるテキストの行数を表示します。

- **単一行** - フィールドには1行のみのテキストが含まれる可能性があります。
- **複数行** - フィールドには任意の数の行が含まれる可能性があります。

日付

日付を形式ドロップダウンリストから選択してユーザーがこのフィールドに日付を入力できるようにします。

☑ 入力モードで、このフィールドをクリックするとカレンダーが表示され、ユーザーが日付を簡単に選択することができます。



表示- 日付に使用されるフォーマット。

☑ ユーザーは任意のフォーマットで日付を入力できます。ただし、ユーザーが日付の入力を終わると、**表示**ボックスで指定されたフォーマットに削減されます。

ドロップダウンリスト

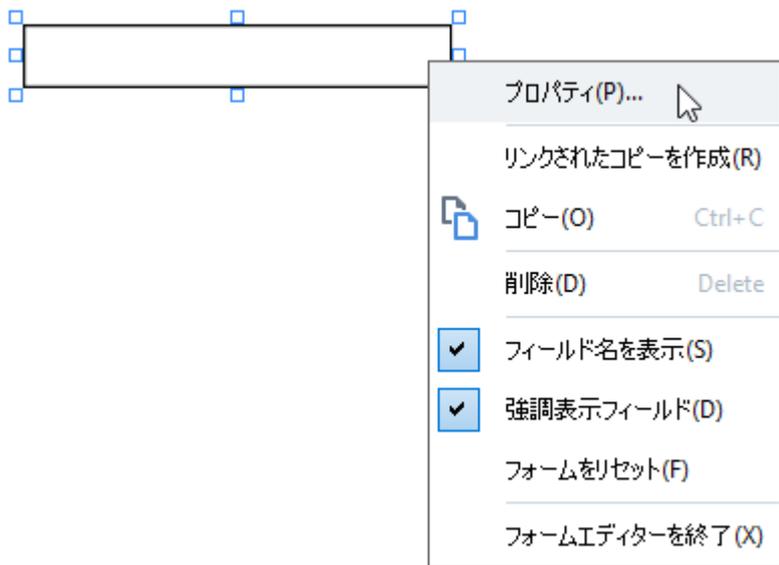
ドロップダウンリストユーザーがリストから値を選択するか、カスタム値を入力できるようにします。

フォームにドロップダウンリストを追加するには、フォーム編集モードに切り替えて  ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#) 

ドロップダウンリストを編集するには、ドロップダウンリストを右クリックしてショートカットメニューで **プロパティ...** を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの編集](#)



ドロップダウンリストのプロパティ

全般タブ

一般タブではドロップダウンリスト（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）の一般的なプロパティを指定できます。

ドロップダウンリストプロパティ

一般 外観 リストの項目

フィールド名: Drop-down List 1

ツールチップ:

必須
 読取り専用

幅 高さ 単位: センチメートル

5,64 0,85

X Y

1,27 0,66

OK キャンセル

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#) ¹¹⁴モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

必須 - このオプションが選択されている場合、フィールドは **必須** ¹²²としてマークされます。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはフィールドを編集できません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

- フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

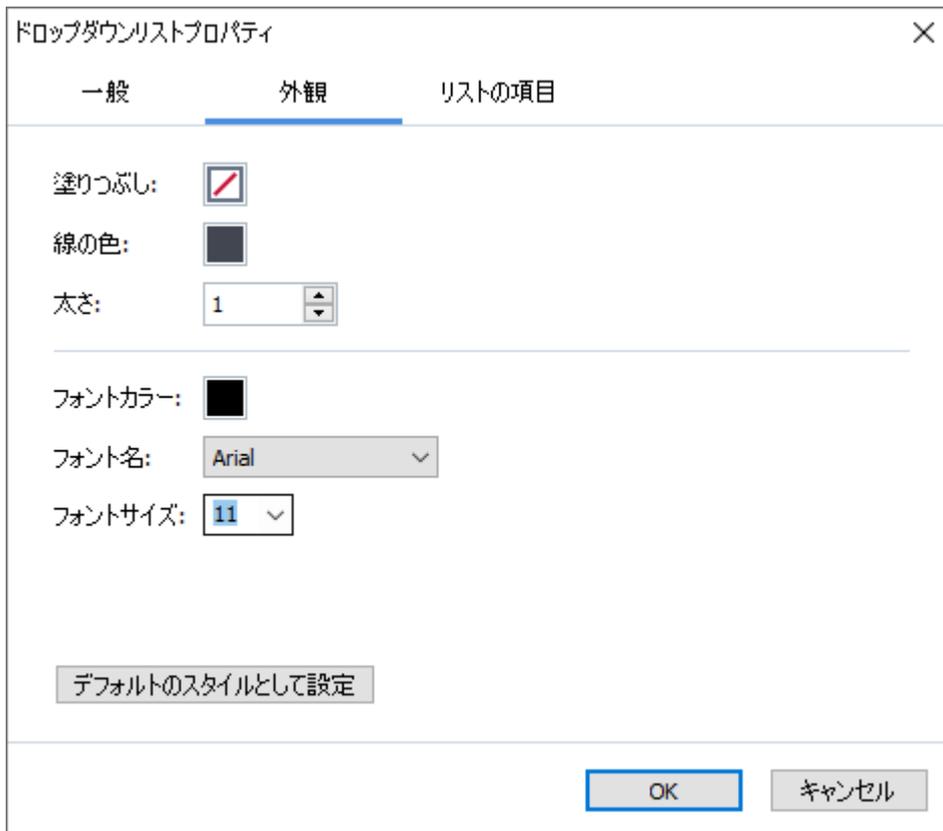
- フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定したフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さ、色、塗りつぶし、フォントのサイズ、色を指定できます。



塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - フィールドを囲む枠の色。

太さ - フィールドを囲む枠の太さ。

フォントカラー - ドロップダウンリストで選択したテキストアイテムの色。

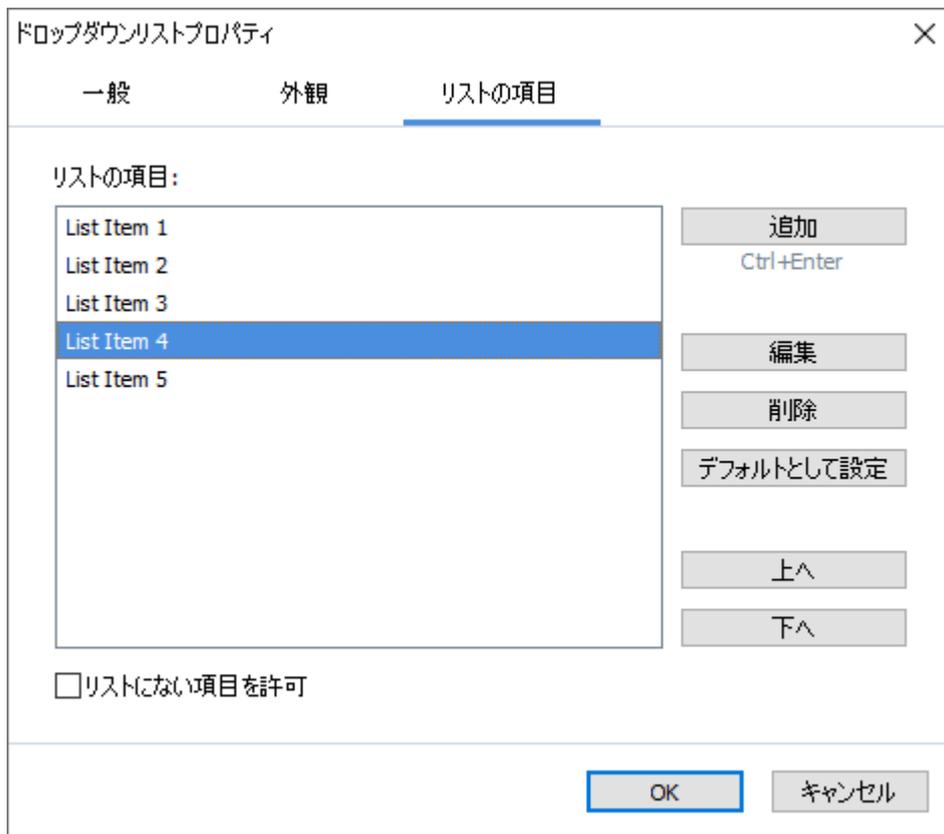
フォント名 - ドロップダウンリストで選択したテキストアイテムのフォント。

フォントサイズ - ドロップダウンリストで選択したテキストアイテムのサイズ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するドロップダウンリストには、現在の設定が使用されます。

リストの項目タブ

リストの項目タブでは、アイテムを追加、削除、変更して、アイテムのリストを編集できます。項目を上または下に移動したり、項目をデフォルトの選択肢にしたり、ユーザーがリストには含まれていないカスタム値を入力できるようにします。



リストの項目 - ドロップダウンリストに表示されるすべての項目を表示。

追加 - リストの最後に新しい項目を追加。

編集 - 選択した項目を変更する。

削除 - 選択した項目をリストから削除します。

☑ 複数の項目を削除するには、Ctrlキーを長押ししながら、1つずつ選択し、その後**削除**をクリックします。

デフォルトとして設定 - 選択した項目をデフォルトの選択肢にする。この選択肢はユーザーにデフォルトで提示されますが、ユーザーはリストの他の項目を自由に選択することもできます。ユーザーが[全フィールドからデータを消去したら](#)、¹²²デフォルトの選択肢が復元されます。

☑ 異なる項目をデフォルトの選択肢として指定するには、項目をクリックしてから**デフォルトとして設定**をクリックします。

デフォルトとして使用 - 以前にデフォルトの選択肢として指定した項目からデフォルトのステータスを削除する。

☑ デフォルトの選択肢を提案する必要がなくなった場合には、このボタンを使用します。

上へ - 選択した項目をリストの上位に移動させます。

下へ - 選択したファイルをリストの下位に移動させます。

リストにない項目を許可 - ユーザーがドロップダウンリストに含まれていないカスタム値を入力できるようにする。

チェックボックス

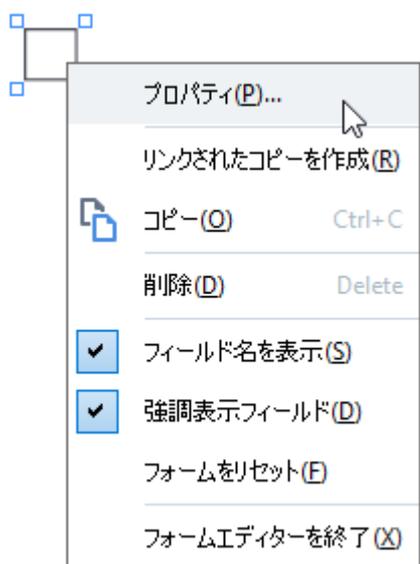
チェックボックスユーザーはオプションを選択するか、選択せずにそのままにするか（すなわちYesまたはNoのいずれかの選択）のいずれかを実行できます。

チェックボックスをフォームに追加するには、フォーム編集モードに切り替えて  ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#)

チェックボックスを編集するには、チェックボックスを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの編集](#)



チェックボックスのプロパティ

全般タブ

一般タブでチェックボックスの一般プロパティ（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）を指定できます。

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#) ¹¹⁴モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

デフォルトで有効 - このオプションが選択されている場合、このチェックボックスはデフォルトで選択されます。

必須 - このオプションが選択されている場合、フィールドは [必須](#) ¹²²としてマークされます。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはフィールドを編集できません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

- フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

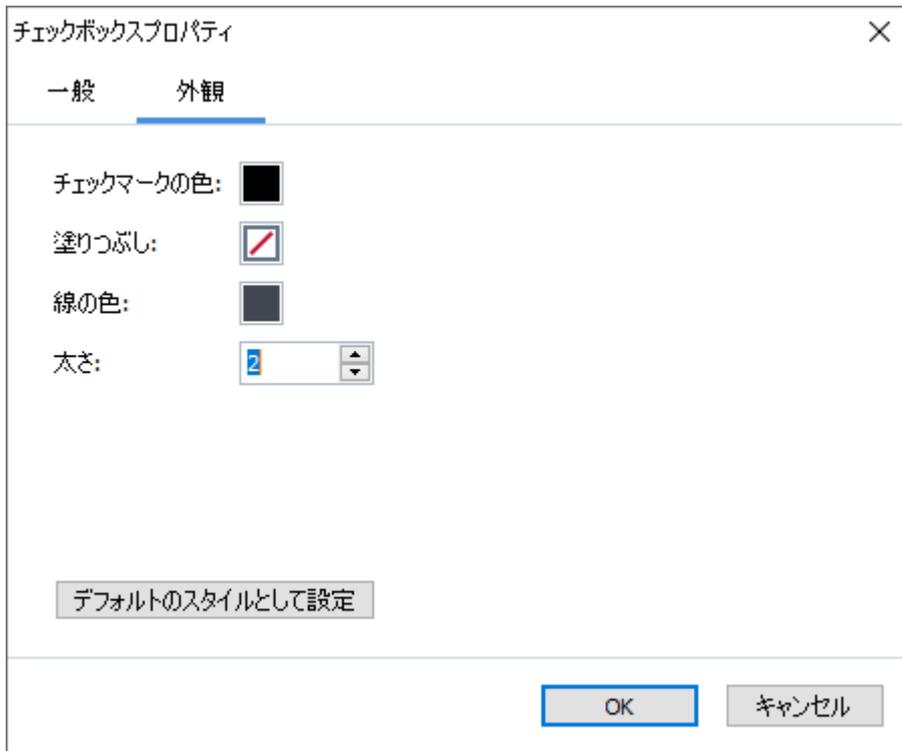
- フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定されたフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さ、色、塗りつぶし、チェックの色を指定できます。



チェックマークの色 - ボックス内のチェックの色。

塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - フィールドを囲む枠の色。

太さ - フィールドを囲む枠の太さ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するチェックボックスには、現在の設定が使用されます。

ラジオボタン

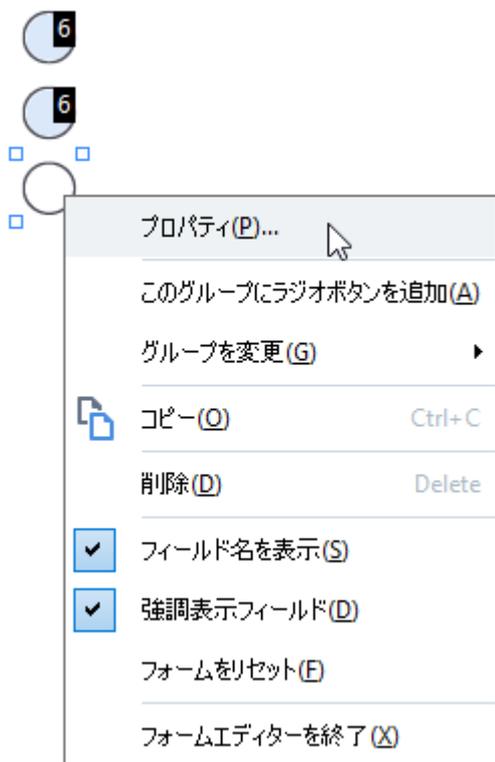
ラジオボタンユーザーが利用可能なオプションのグループから1つのオプションのみを選択できるようにします。

フォームにラジオボタンを追加するには：

1. 編集モードから[切り換え](#) 。
2.  **ラジオボタン** ツールをクリックします。
3. ラジオボタンを追加したい場所をクリックします。デフォルトのサイズのラジオボタンが追加されます。フォームをクリックし続けて、必要な数のラジオボタンを追加します。
 ユーザーに2つまたは複数のオプションの選択肢を提供するというラジオボタンの性質のため、少なくとも2つのラジオボタンを追加する必要があります。
4.  **ラジオボタン** ツールをもう一度クリックするかEscキーをクリックしてラジオボタンの追加を止めます。
 このツールをオフにする前に追加したすべてのラジオボタンはすべて1つのグループを形成します。別のグループのラジオボタンを追加する必要がある場合には、ステップ2～4を繰り返します。

ラジオボタンを編集するには、ボタンを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください：[インタラクティブフィールドの編集](#)



ラジオボタンプロパティ

全般タブ

一般タブでラジオボタンのグループの全般的なプロパティ（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）を指定できます。

ラジオグループ名 - このラジオボタンが含まれるグループの名前。この名前はフォーム編集モードに切り替えると、このグループ内のすべてのラジオボタンの上に表示されます。これは必須フィールドです。このフィールドに新しい名前を入力するか、グループのドロップダウンリストから既存のグループを選択して、ラジオボタンのグループを作成することができます。

ラジオグループツールチップ - [入力](#)^[114]モードでフィールドにポインタを当てるとヒントのテキストが表示されます。
 同じヒントがこのグループのすべてのラジオボタンに表示されます。

ラジオボタン名 - これは必須フィールドです。各ラジオボタンには固有の名前が必要です。

デフォルトで有効 - このオプションが選択されている場合、このラジオボタンはデフォルトで選択されます。

必須 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはこのグループのラジオボタンを選択する[必要](#)^[122]があります。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはこのグループのラジオボタンを選択することができません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

 - フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

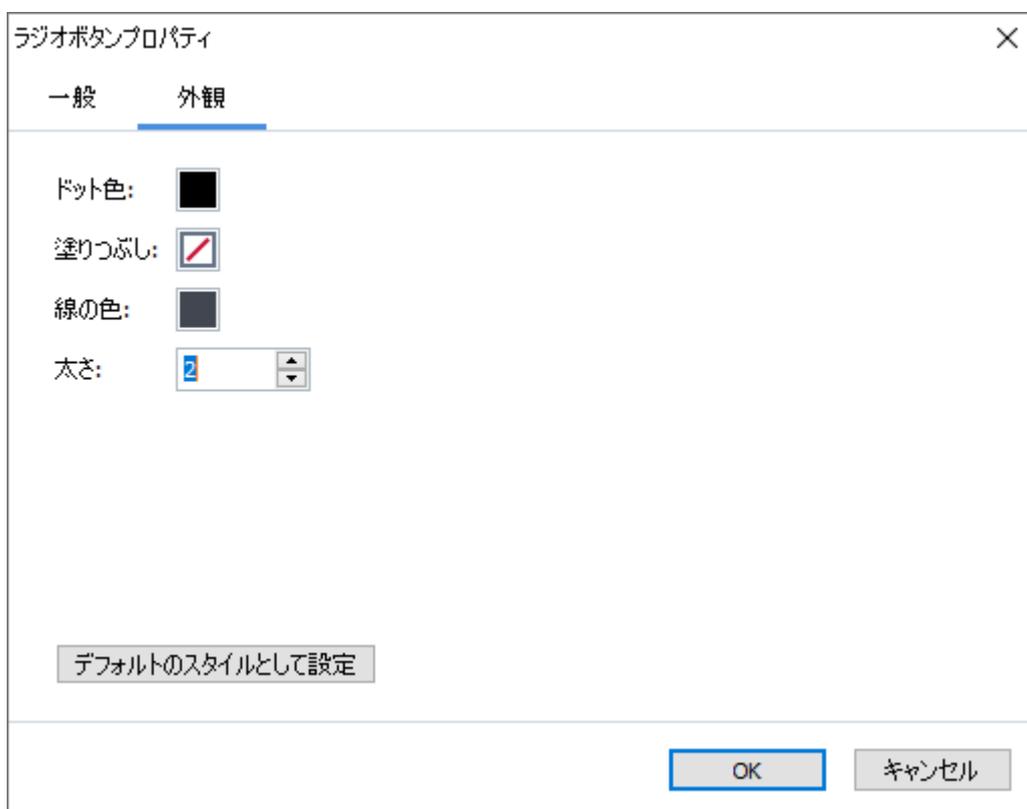
 - フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定したフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、線の太さ、色、塗りつぶし、点の色を指定できます。



ドット色 - 選択したラジオボタンの内側の点の色。

塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - ラジオボタンを囲む枠の色。

太さ - ラジオボタンを囲む枠の太さ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するラジオボタンには、現在の設定が使用されます。

ボタン

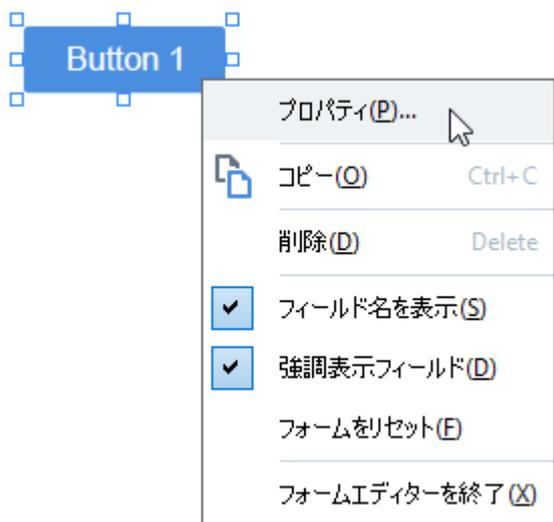
ボタンユーザーが特定のボタンに関連付けられたアクションを開始できるようにします。

フォームにボタンを追加するにはフォーム編集モードに切り替えて、 ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#)^[118]

ボタンを編集するには、ボタンを右クリックして、ショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブなフィールドの編集](#)



ボタンのプロパティ

全般タブ

一般このタブでは、ボタンの全般的なプロパティ（フィールド名、ボタンのテキスト、ポップアップヒント、ボタンのサイズなど）を指定できます。

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#)  モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

ボタンのテキスト - ボタンの上に表示されるテキスト。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはボタンをクリックすることができません。

幅および高さ - これらのボックスは **単位** ボックスで選択した単位でボタンのサイズを指定します。ボタンのサイズは0にできません。

 - ボタンの幅と高さはそれぞれ独立しています。

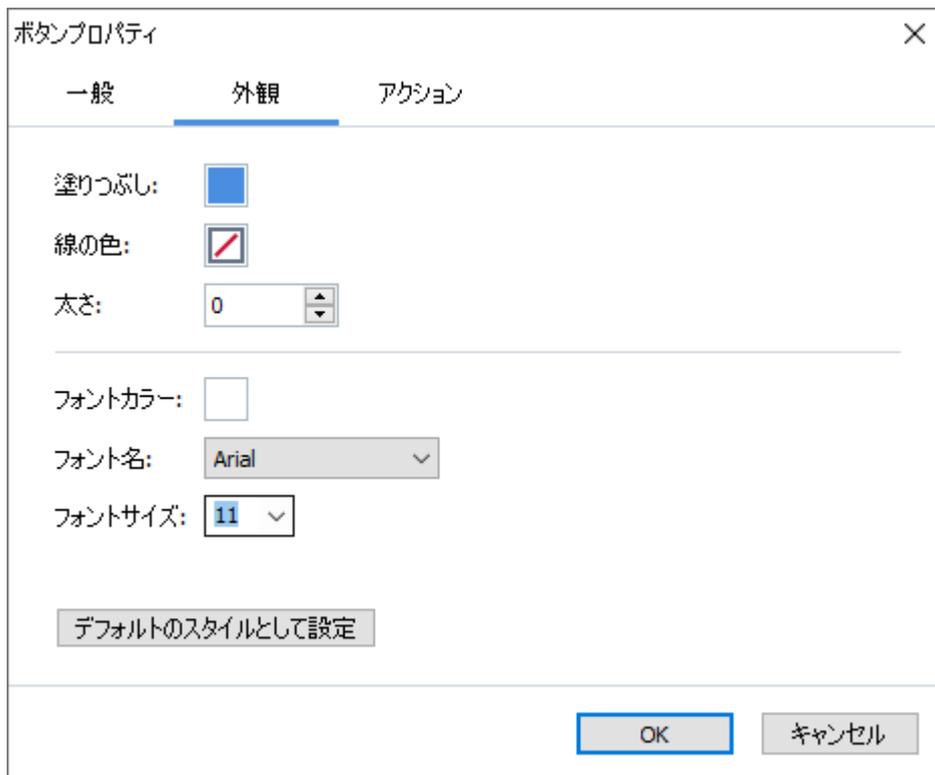
 - ボタンの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

XおよびY - これらのボックスにはボタンの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ**ボックスで指定したボタンのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さ、色、塗りつぶし、フォントのサイズ、色を指定できます。



塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - ボタンを囲む枠の色。

太さ - ボタンを囲む枠の太さ。

フォントカラー - ボタンの上に表示されるテキストの色。

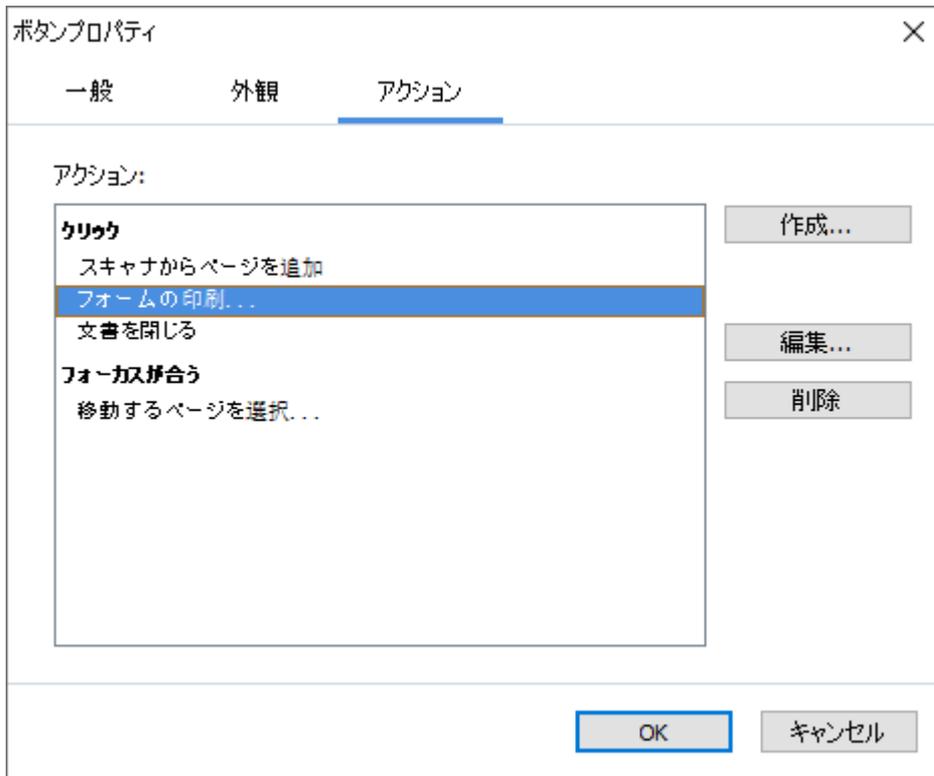
フォント名 - ボタンの上に表示されるテキストに使用されるフォント。

フォントサイズ - ボタンの上のテキストのサイズ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するボタンには、現在の設定が使用されます。

アクションタブ

アクション タブでは、特定のイベントによりトリガーされ、ユーザーアクティビティにつながるアクションの追加、削除、変更が可能です。



アクション特定のユーザーアクティビティによりトリガーされるすべてのアクションを一覧表示します。

作成...は[新しいアクション](#)¹⁴²を追加します。

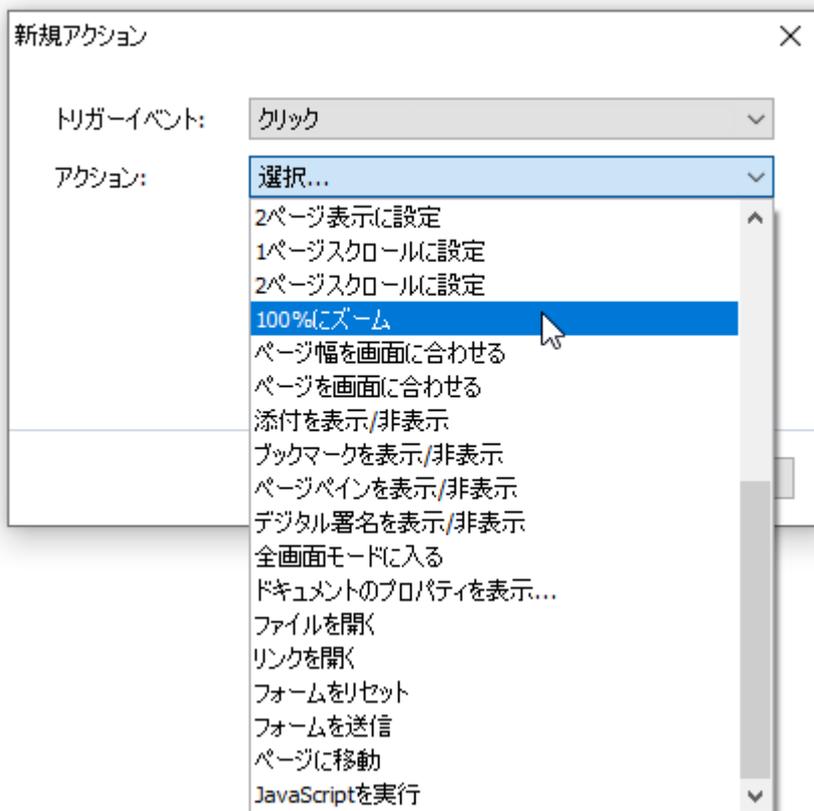
編集...選択したアクションを変更します。

削除選択したアクションを削除します。

新しいアクションの追加

ボタンに新しいアクションを追加するには：

1. 編集モードから[切り換え](#)^[116]。
2. [希望するボタンの](#)^[118][プロパティ](#)ダイアログボックスを開き[アクション](#)タブをクリックします。
3. [作成...](#)をクリックします。これで [新規アクション](#)ダイアログボックスが開きます。



4. アクションをトリガーするイベントを選択します。
 - **クリック** - ユーザーがボタンをクリックする。
 - **ドロップ** - マウスポインターがフォームのボタンの上に当てられている時、ユーザーが左マウスボタンをリリースする。
 - **マウスが重なる** - ユーザーがフォームのボタンの上にマウスのポインターを当てる。
 - **マウスが外れる** - ユーザーがマウスポインターをフォームのボタンから外す。
 - **フォーカスが合う** - ユーザーが **Tab** キーを使用してボタンにフォーカスを当てる。
 - **フォーカスが外れる** - ユーザーが **Tab** キーを使用してボタンからフォーカスを外す。
5. イベントによりトリガーされる[アクション](#)^[144]を選択します。

6. **保存**をクリックしてアクションを保存します。アクションは**アクションセクション**（**ボタンプロパティ**ウィンドウ）に表示されます。
 - ☑ アクションはイベントごとにグループ分けされています。イベントはアクションのシーケンスを開始するかもしれませんが。
 - ☑ アクションは、マウスを使ってグループ間で移動できます。
7. **OK**をクリックして変更を保存します。

可能なアクションのリスト

- **スキャナからページを追加**ユーザーがスキャンデバイスを選択し、スキャンパラメータを指定できる [スキャンダイアログボックスを開きます](#)^[37]。新しくスキャンされたページはPDF文書の最後に表示されます。
- **フォームに名前を付けて保存...**ユーザーがフォームをPDF、FDF、XFDF、またはHTML文書として保存できる保存ダイアログボックスを開きます。
- **文書を閉じる**現在の文書を閉じます。
- **フォームの印刷...**[印刷オプションダイアログボックス](#)^[169]を開きます。
- **アプリケーションを終了する**現在のアプリケーションを閉じます。
- **文書の検索...**[検索ペイン](#)^[59]を開きます。
- **最初のページに移動**現在の文書の最初のページに移動します。
- **最後のページに移動**現在の文書の最後のページに移動します。
- **次のページに移動**現在の文書の次のページに移動します。
- **前のページに戻る**現在の文書の前のページに移動します。
- **戻る**現在のページを開く前に開かれていたページに移動します。
- **進む**現在のページに戻る前のページに移動します。
- **移動するページを選択...**ユーザーが開きたいページのページ数を入力できるダイアログボックスを開きます。
- **1ページ表示に設定**[1ページに表示](#)^[53]に切り替える。
- **2ページ表示に設定**[2ページに表示](#)^[53]に切り替える。
- **1ページスクロールに設定**[ワンページスクロール](#)^[53]を有効にする。
- **2ページスクロールに設定**[2ページスクロール](#)^[53]を有効にする。
- **100%にズーム**ページを実際のサイズで表示する。
- **ページ幅を画面に合わせる**ページを水平方向で画面にフィットさせる。
- **ページを画面に合わせる**ページ全体を表示する。
- **添付を表示/非表示**[添付](#)^[110]ペインを開く。
- **ブックマークを表示/非表示**[ブックマーク](#)^[104]ペインを開く。
- **ページペインを表示/非表示**[ページ](#)^[99]ペインを開く。
- **デジタル署名を表示/非表示**[デジタル署名](#)^[156]ペインを開く。

- 全画面モードに入る**全画面**^[53]ビューに切り替える。
- **ドキュメントのプロパティを表示...**ドキュメント プロパティ ダイアログボックスを開き、**文書のメタデータを見直す**^[117]。
- **ファイルを開く**ファイルボックスで指定した文書を開く。**参照...**をクリックして開きたい文書を選択する。

The screenshot shows a dialog box titled "新規アクション" (New Action) with a close button (X) in the top right corner. It contains the following fields and controls:

- トリガーイベント:** A dropdown menu with "クリック" (Click) selected.
- アクション:** A dropdown menu with "ファイルを開く" (Open file) selected.
- ファイル:** An empty text input field.
- 参照...** A button located below the file input field, highlighted with a blue border.
- At the bottom right, there are two buttons: "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel).

- **リンクを開く**リンクボックスで指定したリンクを開く。

The screenshot shows a dialog box titled "新規アクション" (New Action) with a close button (X) in the top right corner. It contains the following fields and controls:

- トリガーイベント:** A dropdown menu with "クリック" (Click) selected.
- アクション:** A dropdown menu with "リンクを開く" (Open link) selected.
- リンク:** An empty text input field with a blue border.
- At the bottom right, there are two buttons: "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel). The "保存" button is highlighted with a blue border.

- **フォームをリセット**現在のフォームの全フィールドのデータを消去する。

- フォームを送信**送信先ボックスで指定した電子メールアドレスまたはサーバーにフォームデータを送信する。**ファイルフォーマット**ボックスでは、完了したフォームを送信する際に使用するフォーマットを選択できます。以下の4つから選択できます：PDF、FDF、XFDF、HTML。

新規アクション ×

トリガーイベント:

アクション:

送信先:

ファイルフォーマット:

フォームのフィールドはすべて送信されます。

- ページに移動**ページ番号ボックスで指定したページを開く。

新規アクション ×

トリガーイベント:

アクション:

ページ番号:

- JavaScriptを実行**JavaScriptボックスに入力されたコードを実行する。

新規アクション ×

トリガーイベント:

アクション:

JavaScript:

アクションの変更

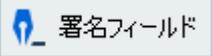
ボタンに関連付けられたアクションを変更するには：

1. 編集モードから[切り換え](#)^[116]。
2. [希望するボタンの](#)^[118][プロパティ](#)ダイアログボックスを開き[アクション](#)タブをクリックします。
3. 変更したいアクションをクリックしてから、[編集...](#)をクリックします。これで [アクションを編集](#)ダイアログボックスが開きます。
4. [トリガーイベント](#)^[143]および[アクション](#)^[144]ボックスの値を変更します。
5. [保存](#)をクリックします。変更は[アクション](#)セクション（[ボタンプロパティ](#)ダイアログボックス）に反映されます。
6. [OK](#)をクリックして変更を保存します。

署名フィールド

署名フィールドユーザーがPDF文書にデジタル署名を記載できるようにします。

以下も参照してください: [デジタル署名](#)^[156]

フォームに署名フィールドを追加するにはフォーム編集モードに切り替えて  ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#)^[118]

署名フィールドを編集するには、ボタンを右クリックして、ショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの編集](#)



署名フィールドプロパティ

全般タブ

一般タブでは署名フィールドの全般的なプロパティ（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）を指定できます。

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#)¹¹⁴モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

必須 - このオプションが選択されている場合、ユーザーは文書にデジタル署名を入力する**必要**¹²²があります。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはフィールドを編集できません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

- フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

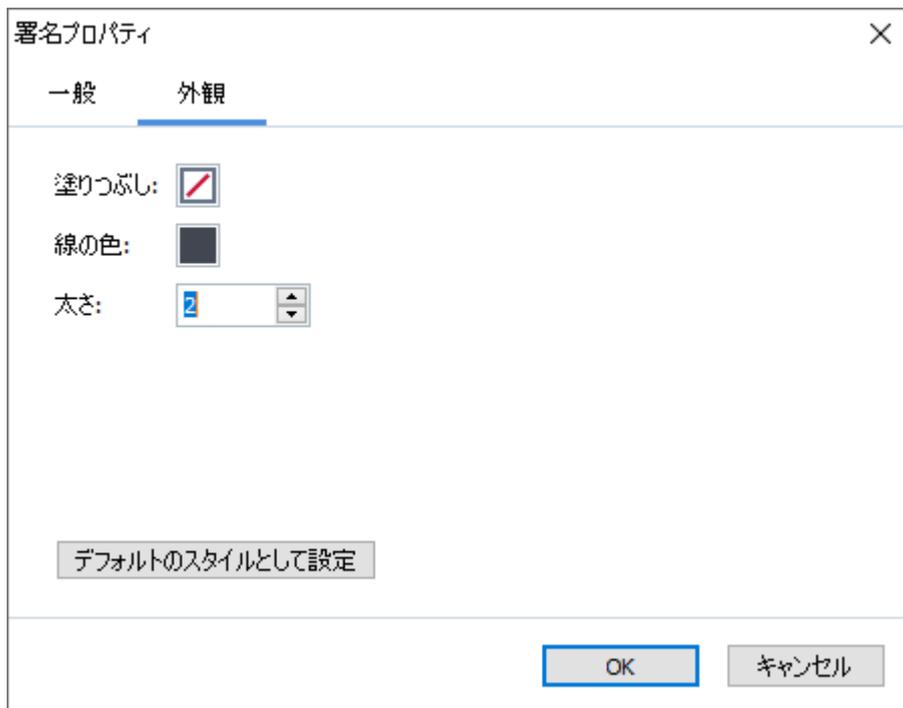
- フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定したフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さと色、塗りつぶしを指定できます。



塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - フィールドを囲む枠の色。

太さ - フィールドを囲む枠の太さ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成する署名フィールドには、現在の設定が使用されます。

リストボックス

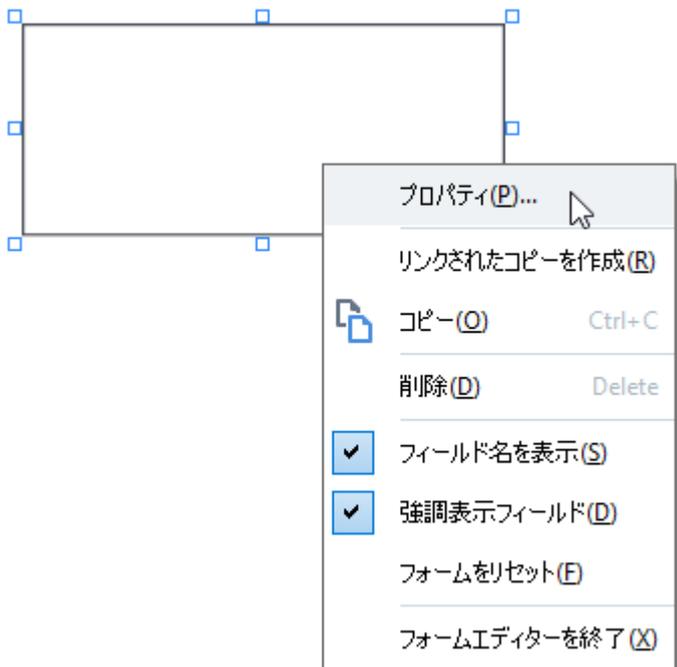
リストボックスユーザーがリストから1つ以上の値を選択できるようにします。

フォームにリストボックスを追加するには、フォーム編集モードに切り替え、 リストボックス ツールをクリックします。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの追加](#)^[118]

リストボックスを編集するには、リストボックスを右クリックしてショートカットメニューで**プロパティ...**を選択します。

以下も参照してください: [インタラクティブフィールドの編集](#)



全般タブ

一般タブでリストボックスの一般プロパティ（フィールド名、ポップアップヒント、サイズなど）を指定できます。

フィールド名 - これは必須のプロパティです。フォーム編集モードでフィールドの上に表示されます。各フィールドには固有の名前が必要です。フィールド名は、ピリオドで開始または終了したり、2つ以上連続するピリオドを含んではなりません。

ツールチップ - [入力](#) ¹¹⁴モードでフィールドにカーソルを当てた時に表示されるヒントのテキスト。

必須 - このオプションが選択されている場合、フィールドは [必須](#) ¹²²としてマークされます。

読取り専用 - このオプションが選択されている場合、ユーザーはフィールドを編集できません。

幅そして**高さ** - これらのボックスは **単位**ボックスで選択した単位でフィールドのサイズを指定します。フィールドのサイズは0にできません。

- フィールドの幅と高さはそれぞれ独立しています。

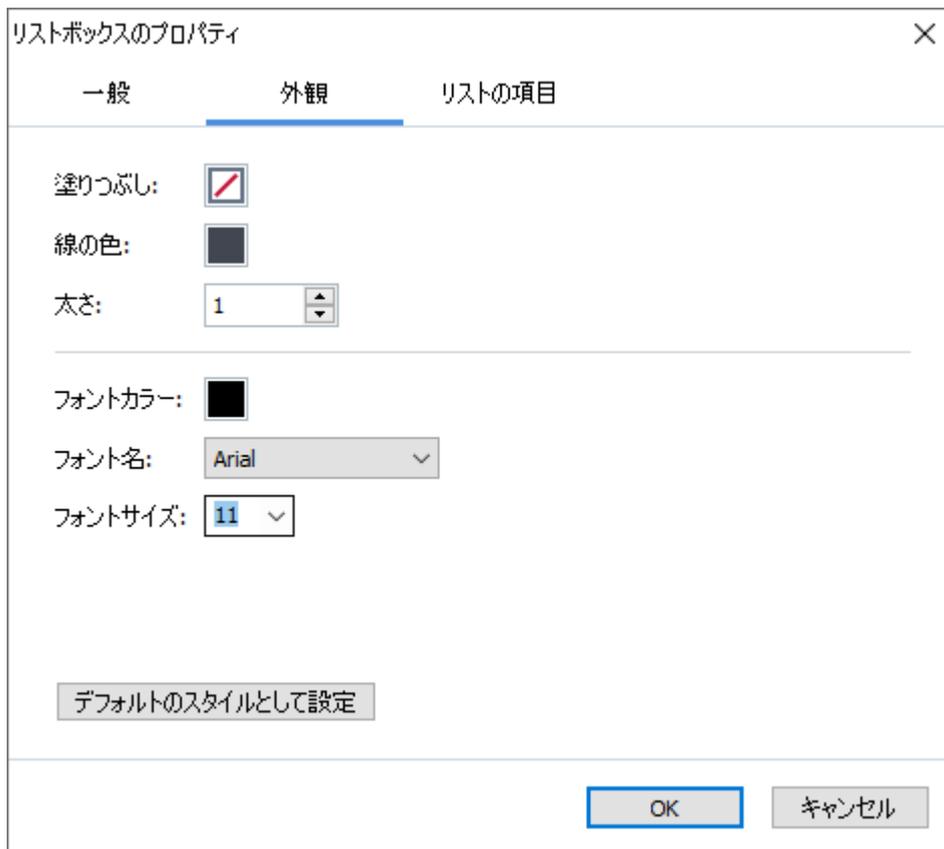
- フィールドの幅と高さは、それぞれの比率に従ってのみ変更できます。

Xおよび**Y** - これらのボックスにはフィールドの平行・垂直の座標が含まれます。座標はページの左上隅から始まります。

単位 - **幅**および**高さ** ボックスで指定したフィールドのサイズの計測単位。ボタンの幅と高さはセンチメートル、インチ、ポイントで指定できます。

外観タブ

外観タブでは、枠の太さ、色、塗りつぶし、フォントのサイズ、色を指定できます。



塗りつぶし - 塗りつぶし。

線の色 - フィールドを囲む枠の色。

太さ - フィールドを囲む枠の太さ。

フォントカラー - リストで選択したテキストアイテムの色。

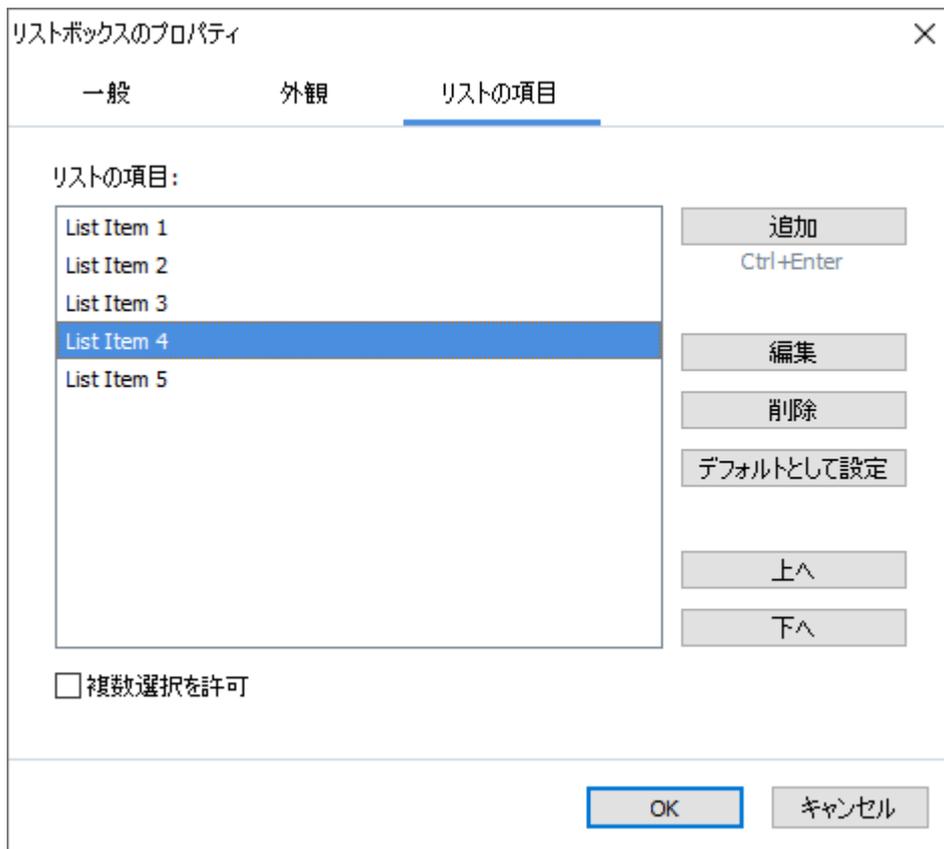
フォント名 - リストで選択したテキストアイテムのフォント。

フォントサイズ - リストで選択したテキストアイテムのサイズ。

デフォルトのスタイルとして設定 - 新しく作成するリストボックスには、現在の設定が使用されます。

リストの項目タブ

リストの項目タブでは、アイテムを追加、削除、変更して、アイテムのリストを編集できます。項目を上または下に移動したり、項目をデフォルトの選択肢にしたり、ユーザーがリストから複数の項目を選択できるようにします。



リストの項目 - リストボックスに表示される項目をすべて表示。

追加 - リストの最後に新しい項目を追加。

編集 - 選択した項目を変更する。

削除 選択した項目をリストから削除します。

☑ 複数の項目を削除するには、Ctrlキーを長押ししながら、1つずつ選択し、その後**削除**をクリックします。

デフォルトとして設定 - 選択した項目をデフォルトの選択肢にする。ユーザーが[全フィールドからデータを消去したら](#)、¹²²デフォルトの選択肢が復元されます。

☑ 異なる項目をデフォルトの選択肢として指定するには、項目をクリックしてから**デフォルトとして設定**をクリックします。

デフォルトとして使用 - 以前にデフォルトの選択肢として指定した項目からデフォルトのステータスを削除する。

☑ デフォルトの選択肢を提案する必要がなくなった場合には、このボタンを使用します。

上へ - 選択した項目をリストの上位に移動させます。

下へ - 選択した項目をリストの下位に移動させます

複数選択を許可 - ユーザーがリストから複数の項目を選択できるようにします。

PDFにデジタル署名

PDFエディターで文書にデジタル署名をしたり、文書に含まれるデジタル署名を検証したりできます。テキストや写真を署名を追加することもできます。

本章の内容

- [デジタル署名](#) ¹⁵⁶
- [テキストの署名](#) ¹⁵⁶
- [写真の署名](#) ¹⁵⁹

デジタル署名

PDFエディターで文書にデジタル署名をしたり、文書に含まれるデジタル署名を検証したりできます。デジタル署名は署名した人のアイデンティティを確立します。また、デジタル署名は署名された文書が変更されていないことを確認するためにも使用されます。

文書にサインする方法：



1. メイン ツールバーで、次のようにクリックします：署名 > **デジタル署名の追加...**
2. 署名を配置するエリアを選択するか、目的の場所をクリックします。
3. ドロップダウンボックスで使用する証明書を選択します **デジタル署名を選んで署名する**。証明書のプロパティを表示するには、それを選択して **証明書の表示...** をクリックします。
 - ☑ リストに使用したい証明書がない場合には、インストールする必要があります。証明書をインストールするには、Windows Explorerで右クリックして **証明書のインストール** をショートカットメニューでクリックし、証明書のインポートウィザードの指示に従います。
4. 必要に応じて、**理由** のドロップダウンリストから文書の署名理由を選びます。**場所と連絡先** フィールドは、それぞれ文書が署名された場所とあなたの連絡先を指定するために使用します。
 - ☑ **理由** フィールドには、ドロップダウンリストから値を選ぶか、カスタムテキストを入力することができます。
5. さらに、署名には以下を指定することができます：署名の日付と時間、署名の所有者情報、ならびに使用されたFineReaderプログラムの名前とバージョン。
 - ☑ また、表示したくないフィールド名のチェックを外すことで、署名に表示する情報を選ぶことができます。
 - ☑ 署名にフィールド名を表示したくない場合は、**ラベルを表示** のチェックを外します。
6. 必要に応じて、**タイムスタンプサーバーを設定する**^[157] をクリックしてサーバーURLを指定します。接続を確立するためにログイン認証情報が必要な場合は、ログインとパスワードを入力します。
7. **罫線と背景** オプションを選べば、署名に罫線とグレーの背景を付けることができます。
8. 署名に画像を追加する場合は **デジタル署名にカスタム画像を追加** を選択します。それから **画像を選択...** ボタンをクリックして画像ファイルを参照します。画像は署名の左に表示されます。
9. **保存と署名** をクリックします。
10. 文書を保存します。

こちらの手順で、指定したパラメータのデジタル署名を文書に追加することができます。

署名には署名した時の文書のバージョンに関する情報が含まれます。既に署名された文書に新しい署名を追加しても、前に追加された署名は有効なままとなります。

文書の署名のプロパティを表示する：

- ショートカットメニューで署名を右クリック **署名プロパティの表示...** するか、
- ペインの署名をダブルクリックします **デジタル署名**。

PDF文書を開く際、ABBYY FineReaderは文書内にデジタル署名がある場合には、自動で検証します。検証結果はペインに表示され、**デジタル署名** 文書内で使用されている署名に関する詳細情報に関する情報も提供されます。

署名を削除するには：

- 署名を右クリックして、**署名の削除** をショートカットメニューでクリックします。

 対応するデジタル署名を持つ場合のみ文書から署名を削除できます。

 文書には1つ以上のデジタル署名を追加できます。

タイムスタンプサーバー設定

タイムスタンプの使用で、署名が無効になってしまう可能性を減らすことができます。PDF文書にタイムスタンプを付けるには、タイムスタンプサーバーへの接続が必要です。タイムスタンプサーバーへの接続を設定するには、**タイムスタンプサーバーを設定する** をクリックして表示されるダイアログボックスで以下のサーバーオプションを指定してください：

- **デフォルト** デフォルトのタイムスタンプサーバーを使用する場合。
- **カスタム** カスタムタイムスタンプサーバーのURLを指定する場合。サーバー接続の確立に認証情報が必要な場合は、ログインとパスワードを入力して、**OK** をクリックします。
ログインとパスワードは暗号化されてご利用中のコンピューターのWindowsストレージ内にあるWindows 資格情報（**資格情報マネージャ > Windows 資格情報**）に保存されます。2回目以降、サーバーに接続する際に認証情報を入力する必要はありません。

これにより、文書署名の後に文書が署名された時間にタイムスタンプサーバーの時間を指定します。

テキストの署名

PDFエディターを使用して、PDF文書にテキスト署名を追加できます。



1. **PDFツール** ツールバーで **署名** > **テキスト署名を作成...**
 作成済みのテキスト署名が既にある場合には、利用可能な署名一覧から1つ選択します。または、次のようにクリックします：**その他の署名** > **テキスト署名を作成...**
2. オプションのグループの **テキスト署名を作成** 開いたダイアログボックスで、署名のためのテキストを入力します。
3. 必要な場合には署名のスタイルを変更します。
4. をクリックします **保存**。
5. ページに表示する署名を配置します。
6. 署名のサイズを変更したり、回転させたり、文書内の別の位置に移動したりできます。

テキスト署名は文書に表示されます。

署名の編集



1. **PDFツール** ツールバーで **署名** > **その他の署名** > **署名の管理...**
2. 開いたダイアログボックスで、署名を選択して、をクリックします **編集...**
 テキストおよび写真の署名の両方を編集できます **写真の署名**  159
3. 開いたダイアログボックスで、署名のパラメーターを変更して、をクリックします **保存**。
 編集された署名を文書に追加したい場合には、をクリックして **使用する** ページの希望する場所に配置します。

署名の削除

署名を削除するには：

- 文書の署名を選択して **Del** キーを押すか、
- 文書の署名を右クリックしてショートカットメニューの **削除...** をクリックします。

利用可能な署名のリストから署名を削除するには：



1. **PDFツール** ツールバーで **署名** > **その他の署名** > **署名の管理...**

2. 開いたダイアログボックスで削除する署名を選択して、をクリックします **削除...**。

☑ テキストと写真の署名の両方を削除できます [写真の署名](#) ¹⁵⁹。

💡 文書には1つ以上の署名を追加できます。

写真の署名

ABBYY FineReaderを使用してPDF文書に写真の署名を追加できます。



1. **PDFツール** ツールバーで **署名** > **画像から署名を作成...**

☑ 作成済みの署名が既にある場合には、利用可能な署名一覧から1つ選択します。または、次のようにクリックします：**その他の署名** > **画像から署名を作成...**

2. オプションのグループの **画像から署名を作成** ダイアログボックスで **画像を開く** をクリックして、画像ファイルを選択するか、**クリップボードの画像を張り付ける** をクリックして、クリップボードに保存されている署名を貼り付けます。

3. 署名のサイズを変更したり、背景を透明にしたりできます。

4. をクリックします **保存**。

5. ページに表示する署名を配置します。

6. 署名のサイズを変更したり、回転させたり、文書内の別の位置に移動したりできます。

写真の署名は文書に表示されます。

☑ 文書には任意の数の署名を追加できます。

💡 写真の署名を編集または削除できます。以下も参照してください：[テキストの署名](#) ¹⁵⁸。

PDF文書をパスワードで保護

PDF文書を作成する際に不正アクセス、編集、印刷から保護するためにパスワードを設定できます。

本章の内容

- [パスワードと許可](#) ¹⁶⁰
- [PDFからの機密情報の削除](#) ¹⁶¹

パスワードと許可

PDF文書を作成する際に、不正アクセス、編集、印刷から保護するためにパスワードを設定できます。PDF文書は文書を開くパスワードおよび/または許可パスワードで保護することができます。

PDF文書が不正アクセスから保護されている場合、文書の作成者が指定した文書を開くパスワードを入力した後でのみ開くことができます。文書が不正な編集や印刷から保護されている場合、これらのアクションは文書の作成者が指定した許可パスワードを入力した後でのみ実行できます。許可パスワードを使用して保護されたPDF文書を開くこともできます。

文書をパスワードで保護するには、以下の手順に従います。

1.  **パスワードのセキュリティ** **PDFツール** ツールバーのボタンをクリックするか、次のようにクリックします：
ツール > セキュリティ設定。

セキュリティ設定 ダイアログボックスが開きます。

2. 文書が不正に開かれないようにするには、**文書を開くためのパスワードでアクセスを制限する** オプションをクリアします。
3. 文書を開くパスワードを入力して確認します。
 **文字を非表示** オプションをクリアします。この場合、入力した文字は画面に表示されるため、パスワードを再入力する必要がありません。
4. 不正な印刷、編集、コピーから文書を保護する場合には、**許可パスワードで印刷と編集を制限する** オプションをクリアします。
5. 許可パスワードを入力して確認します。
 **文書を開くパスワードと許可パスワードは別々のものにする必要があります。**
6. **印刷** ドロップダウンリストから文書の印刷解像度を選択します。
7. **編集** ドロップダウンリストから、許可する編集操作を選択します。
8. 他のユーザーが文書のコンテンツをコピーおよび編集できるようにする場合には、対応するオプションを選択します。
9. 暗号化レベルと暗号化するコンポーネントを選択します。
10. をクリックします **OK**。

再度パスワードを確認するよう求めるメッセージが表示されます。開いた文書に変更を保存するか、新規に文書を作成できます。

PDFからの機密情報の削除

PDFエディターを使用して、PDF文書を公開する前にPDF文書から機密情報を削除できます。テキストおよび画像の両方を編集することができます。

1. **PDFツール** ツールバーで  データの修正 ▼ をクリックするか、このツールの横にある矢印をクリックして、を選択します **編集モード**。
2. 編集されたテキストを塗りつぶす四角の色を変更するいは、ツールバーの7つのカラーボックスのうちのいずれかをクリックするか、矢印をクリックしてパレット内のその他の希望する色を選択します。さらに多くの色を表示するには、をクリックします **色の詳細...**。



3. 削除するテキストおよび/または画像を選択します。

結果として、選択されたコンテンツは文書から削除され、使用された箇所すべてが選択した色で塗りつぶされます。

文書の本文にはないオブジェクトやデータ（例：コメント、注釈、ブックマーク、添付、メタデータなど）を削除できます。

1. ボタンの隣の矢印をクリックして  データの修正 ▼ を選択します **オブジェクトとデータの削除...**。
2. 開いたダイアログボックスで削除するオブジェクトとデータを選択して、をクリックします **適用**。

 ABBYY FineReaderでは **検索** 機能を使用して、機密データを削除できます。以下も参照してください：[検索と墨消し](#)^[63]。

PDF文書の作成

本章の内容

- [選択したページからPDF文書を作成](#)^[162]
- [仮想プリンターを使用してPDF文書を作成する](#)

📄 ファイル、スキャン、デジタル写真からのPDF文書の作成に関する詳細手順は、以下を参照してください：
[PDF文書の作成](#)^[23] および [PDFへのスキャン](#)^[42]。

選択したページからPDF文書を作成

PDFエディターを使用して洗濯したページからPDF文書を作成できます。

1. ペインで **ページ** PDFを作成したいページを選択します。
2. ページを右クリックしてショートカットメニューで **選択したページでPDFを作成** をクリックします。
3. 作成された文書は新しいPDFエディターウィンドウで開かれます。

仮想プリンターを使用してPDF文書を作成する

プリンターを選択できるすべてのアプリケーションからPDF文書を作成できます。PDF-XChange 5.0 For ABBYY FineReader 15 が使用されます。

1. PDFを作成したい文書を開きます。
2. 印刷オプションダイアログボックスを開きます。
3. 利用可能なプリンターのリストで、以下を選択します：**PDF-XChange 5.0 For ABBYY FineReader 15**。
4. 必要であれば、をクリックして **プリンターの設定...** PDF作成設定を調整します。
5. をクリックします **印刷** PDF文書の作成を開始します。
6. 開いたダイアログボックスで、ファイルの名前と場所を変更し、保存した後で、文書を表示するために開いたり、電子メールで文書を送信したりできます。PDFにファイルを追加を選択して、既存のPDF文書にPDF文書を追加することもできます。

PDF文書の保存とエクスポート

PDFエディターを使ってPDF文書を保存、印刷、電子メールで送信したり、さらに処理するためにOCRエディターに送信したりできます。

本章の内容

- [PDF文書の保存](#)  164
- [PDF/Aの保存](#)  165
- [その他の形式への保存](#)  167
- [PDF文書のサイズの削減](#)  167
- [PDF文書をOCRエディターに送信](#)  168
- [PDF文書をメールで送信](#)  168
- [PDF文書の印刷](#)  169

PDF文書の保存

PDFエディターを使用してPDF文書全体または一部のページのみを保存できます。保存には複数のオプションがあります。

- 現在のPDF文書に作成した変更を保存するには、次のようにクリックします：**ファイル > 保存**。または、次のようにクリックします：（メインツールバーで）。
 - 現在のPDF文書を別の名前で保存、または別のフォルダに保存するには、次のようにクリックします：**ファイル > 名前を付けて保存 > PDF ドキュメント...**。または、次のようにクリックします： **名前を付けて保存** ▾（メインツールバーで）その後、をクリックします。**PDF ドキュメント...**。
 - 文書をユーザーがコンテンツの選択、コピー、編集を実行できるPDF文書として保存するには、次のようにクリックします：**ファイル > 名前を付けて保存 > 検索可能PDF文書**。または、次のようにクリックします：**名前を付けて保存**（メインツールバーで）その後、をクリックします。**検索可能PDF文書**。
その結果、PDF文書は現在選択されている保存オプションで検索可能なPDF文書に変換されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、目的の保存オプションを [PDFタブで選択します](#)²⁹⁰。
 - テキストレイヤーなしでPDFを保存するには（そうしたPDF文書はコンテンツを検索、選択、コピー、編集できません）、次のようにクリックします：**ファイル > 名前を付けて保存 > 画像のみのPDF文書**。または、次のようにクリックします：**名前を付けて保存**（メインツールバーで）その後、をクリックします。**画像のみのPDF文書**。
その結果、PDF文書は現在選択されている保存オプションで、画像のみのPDFに変換されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、目的の保存オプションを [PDFタブで選択します](#)²⁹⁰。
-  文書の一部のページのみを変換するには **ページ** ペインで、保存するページを選択して、ショートカットメニューで **名前を付けて保存** をクリックします。

PDF/Aの保存

PDFエディターを使用してPDF/Aで文書を保存できます。このフォーマットは長期間の保存を意図しています。

PDF/A文書には正しく表示するのに必要なすべての情報が含まれます：

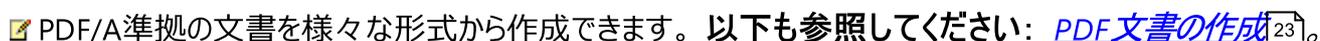
- すべてのフォントは文書に埋め込まれています（非表示のテキストを除く）。
- 埋め込まれたフォントのみ使用されます。
- デバイスに関わらず、すべての色が正しく表示されます。
- 文書で使用されるメタデータは該当する基準に適合します。

以下はサポートされていません：

- オーディオ、ビデオ、3Dオブジェクト
- スクリプト
- 暗号化
- 外部コンテンツへのリンク
- 著作権で保護されたコンテンツ (例：LZW)。

PDF/A で PDF 文書を保存するには：

1. をクリックします **ファイル > 名前を付けて保存 > PDF ドキュメント...**。または、ペインの上部で  **名前を付けて保存** ボタンをクリックして、その後、をクリックします **PDF ドキュメント...**。
2. 開いたダイアログボックスで、文書の名前およびロケーションを指定します。
3. **PDF/A を作成する** を選択したら、その後PDF/A [バージョンをドロップダウンリストから](#) ¹⁶⁵を選択します。
4. をクリックします **保存**。

 PDF/A準拠の文書を様々な形式から作成できます。以下も参照してください：[PDF文書の作成](#) ²³¹。

PDF/Aバージョン

PDF/A-1	PDF/A-2	PDF/A-3
B、A	B、A、U	B、A、U

- 2005: **PDF/A-1** はPDF 1.4に基づき、以下の機能をサポートします：

- – アクセス可能 – 追加文書の要件 (タグ)
- **B** – ベーシック – 基本的な適合レベル

ISO 19005-1:2005 (Cor 1: 2007, Cor 2: 2011)

- 2011: **PDF/A-2** はPDF 1.7に基づき、追加機能をサポートします :

- **U** - Unicode
- JPEG2000圧縮
- 透明性
- PDF/A添付
- デジタル署名

ISO 19005-2:2011

- 2012: **PDF/A-3** は追加機能をサポートします :

- すべての形式のファイルの添付

ISO 19005-3:2012.

その他の形式への保存

PDFエディターを使用してPDF文書全体またはそれぞれのページを様々な形式で保存できます。Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、HTML、画像形式など。

1. をクリックします **ファイル > 名前を付けて保存** その後、目的の形式をクリックします。または、次のようにクリックします：  **名前を付けて保存** ▾ その後、目的の形式をクリックします。
2. 開いたダイアログボックスで、文書の名前およびロケーションを指定します。
3. の隣のドロップダウンリストを開き、**ファイル オプション** すべてのページで1つのファイルを作成するか、ページごとに分割するかを指定します。
4. をクリックします **保存**。
5. その後、PDF文書は現在選択されている保存オプションで選択した形式に保存されます。

保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、目的の保存オプションを選択します。または、次のようにクリックします： **ツール > オプション...** > **書式設定**^[290]。オプションダイアログボックスが開き、選択したフォーマットのタブを表示します。

 文書の一部のページのみを変換するには、**ページ** ペインで変換するページを選択し、右クリックしたらショートカットメニューで **名前を付けて保存** をクリックし、その後、出力フォーマットをクリックします。

 PDFおよび画像ファイルを様々な形式の文書に変換できます。以下も参照してください： [Microsoft Word 文書の作成](#)^[25]、[Microsoft Excel 文書の作成](#)^[27]、[その他の形式](#)^[28]。

PDF文書のサイズの削減

ページ画像または多数の写真が含まれるPDF文書は非常に大きくなる場合があります。PDFエディターを使用して、そうした文書のサイズを削減できます。

1. をクリックします **ファイル > ファイルサイズの縮小...**
2. 開いたダイアログボックスでは、以下のオプションを利用できます：
 - **画像品質** - 文書内の写真の品質を下げてファイルのサイズを削減する場合には、このオプションを選択します。
 - **MRC圧縮を使用する(以下でOCR言語を指定)** - ページの画像の視覚的品質を保持しながら、ファイルのサイズを大幅に削減するMRC圧縮アルゴリズムを認識されたページに適用する場合にはこのオプションを選択します。
 - **OCR言語** - 必ず正しいOCR言語を選択するようにしてください。
3. をクリックします **適用**。

圧縮されたPDF文書は新しいウィンドウで開かれます。

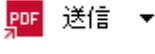
PDF文書をOCRエディターに送信

PDFエディターを使用してPDF文書を [OCRエディター](#)^[173] ここでは、認識エリアを設定、認識されたテキストの確認、プログラムを非標準フォントや文字を認識するよう学習機能を使用したり、ABBYY FineReaderのその他の高度な機能を使用できます。

- OCR エディターに、PDF 文書を送信するには、ボタンの隣の矢印をクリックし  ボタンをクリックし、その後 **OCRエディタで認識、検証する**。
- 文書の一部のページのみをOCRエディターに送信するには、**ページ** ペインで送信したいページを選択して右クリックし、ショートカットメニューで **選択したページをOCRエディタに送信** をクリックします。

 OCR エディターに、文書を送信する際、以下のドキュメントオブジェクトの一部が失われます：

- 添付
- ブックマーク
- コメント
- 注釈

 PDFエディターで文書の作業が終了した後は、文書をOCRエディターに送り返すことができます。これを実行するには、ボタンの隣の矢印をクリックし  ボタンをクリックし、その後 **PDFエディタに送信...**。または、次のようにクリックします：**ファイル > 送信先 > PDFエディタ...**

PDF文書をEメールで送信

PDFエディターを使用してPDF文書をEメールで送信できます。

1.  メインツールバーのボタンをクリックするか、次のようにクリックします：**ファイル > 電子メール...**
2. 開いたダイアログボックスで、必要な場合には文書名を変更します。
3. Eメールで送信するページを選択します。
4. をクリックします **電子メールメッセージの作成**。

Eメールが作成され、PDF文書はこのメッセージに添付されます。受信者のアドレスを入力してメッセージを送信します。

PDF文書の印刷

PDFエディターを使用してPDF文書を印刷できます。印刷する前に、コンピュータに接続されたローカルまたはネットワークプリンターがあること、プリンターのドライバーがインストールされていることを確認してください。

- 1  メインツールバーのボタンをクリックするか、次のようをクリックします：**ファイル > 印刷...**
- 2 開いたダイアログボックスで、目的の印刷設定を指定します：
 - **プリンター** - 利用可能な印刷デバイスを1つ選択します。
 - **コピー** - 印刷する部数を指定します。
 - **ページからプリント** - 印刷するページを指定します（ページすべて、選択したページのみ、またはページの範囲を印刷するかを選択できます）。
 - **ページ設定** - 紙のサイズおよび方向を指定します。
 - **縮尺と位置** - 1枚の印刷ページに配置する文書のページ数および画像の縮小率や両面印刷などのその他の印刷設定を指定します。
 - **モノクロ** - 白黒で文書を印刷する場合にはこのオプションを選択します。
 - **ファイルに印刷** - 文書のすべてのページを1つのファイルに保存する場合にはこのオプションを選択します。
 - **注釈とマークアップを印刷** - コメントを印刷する場合にはこのオプションを選択します。
- 3 をクリックします **印刷**。

PDF文書の分割

PDFエディターを使って、PDF文書を複数のより小さなサイズの文書に分割することができます。ファイルサイズ、ページ数またはトップレベルのブックマークで文書を分割できます。

章の内容:

- [ファイルサイズで分割](#)¹⁷⁰
- [ページ数で分割](#)¹⁷¹
- [ブックマークで分割](#)¹⁷²

ファイルサイズで分割

PDF文書をファイルサイズで分割するには以下を実行します：

1. PDFエディターを使って文書を開き **ファイル** > を選択します **文書を分割 ...**

2. 表示されるダイアログボックスで：

a. **分割方法** > **ファイルサイズで** を選択します。

b. **ファイルサイズ** を指定します。これは、新規文書で許可される最大のファイルサイズです。

 指定されたファイルサイズは元のファイルサイズよりも小さくなければなりません。

 新規文書のサイズはPDF文書のコンテンツにより指定されたサイズよりも大きくなる可能性があります（例：文書に大量の画像、フォント、インタラクティブフォームが含まれる場合など）。

c. 必要な場合には、**ファイル名** を変更します。新規文書すべての名前の後には、連番が付けられます。これは、それぞれの文書名を一意に保つためです。名前の前または後に連番を振るを有効にして、桁数を指定します。

 例：パラメータ "**名前**: Document, **カウント**: **名前の後**, **桁数**: 3"は、以下の文書名を作成します：
Document001.pdf、Document002.pdf、Document003.pdfなど。

 ソース文書の名前がデフォルトで使用されます。

d. ソース文書をソース文書フォルダに保存するか、別のロケーションを指定します。

 添付ファイルは同じディレクトリの **添付** と呼ばれる別のフォルダに送信されます。新規文書ではブックマークは保持されません。

3. **分割** をクリックします。

分割が終了すると、新規ファイルが含まれるフォルダが新しいウィンドウで開きます。

ページ数で分割

PDF文書をページ数で分割するには以下を実行します：

1. PDFエディターを使用して文書を開き、**ファイル >** を選択します **文書を分割 ...**
2. 表示されるダイアログボックスで：
 - a. **分割方法 > ページ数で** を選択します。
 - b. **ページ数** を指定します。これは、新規文書で許可される最大のページ数です。
 - c. 必要な場合には、**ファイル名** を変更します。新規文書すべての名前の後には、連番が付けられます。これは、それぞれの文書名を一意に保つためです。名前の前または後に連番を振る場合には、桁数を指定します。

☑例：パラメータ"：**名前**: Document, **カウント**: **名前の後**, **桁数**: 3"では、以下の文書名が作成されます：Document001.pdf、Document002.pdf、Document003.pdfなど。

☑ソース文書の名前がデフォルトで使用されます。
 - d. ソース文書をソース文書フォルダに保存するか、別のロケーションを指定します。

☑添付ファイルは同じディレクトリの **添付** と呼ばれる別のフォルダに送信されます。新規文書ではブックマークは保持されません。
3. **分割** をクリックします。

分割が終了すると、新規ファイルが含まれるフォルダが新しいウィンドウで開きます。

ブックマークで分割

 PDFエディターでトップレベルのブックマークを使ってPDF文書を分割できます。ブックマークに直接保存されたアイテムごとに1つの新規文書が作成されます。

ブックマークでPDF文書を分割するには、以下を実行します：

1. PDFエディターを使用して文書を開き、**ファイル >** を選択します **文書を分割 ...**
 2. 表示されるダイアログボックスで：
 - a. **分割方法 > ブックマークで(トップレベルのみ)** を指定します。
 - b. ファイルの命名方法を **ファイル名** ドロップダウンリストから選択します：
 - **ブックマーク名と同じ** ブックマークに従って新規文書に名前を付けるデフォルトでは、新規文書名には連番が付けられます。名前の前または後に連番を振るを有効にして、桁数を指定します。
 -  例：パラメータ"**カウント: 名前の後, 桁数: 3**"では、以下の文書名が作成されます：Introduction001.pdf、Chapter_1002.pdf、Chapter_2003.pdfなど。Introduction、Chapter_1、Chapter_2はブックマーク名です。
 -  チェックを外すと**数字を追加**連番が無効になり、番号が付けられません。
 - 必要な場合には、**カスタム名** を使って文書名を変更します。新規文書すべての名前の中には、連番が付けられます。これは、それぞれの文書名を一意に保つためです。名前の前または後に連番を振る場合には、桁数を指定します。
 -  例：パラメータ"：**名前: Document, カウント: 名前の後, 桁数: 3**"では、以下の文書名が作成されます：Document001.pdf、Document002.pdf、Document003.pdfなど。
 -  ソース文書の名前がデフォルトで使用されます。
 - c. ソース文書をソース文書フォルダに保存するか、別のロケーションを指定します。
 -  添付ファイルは同じディレクトリの **添付** と呼ばれる別のフォルダに送信されます。新規文書ではブックマークは保持されません。
3. **分割** をクリックします。

分割が終了すると、新規ファイルが含まれるフォルダが新しいウィンドウで開きます。

OCRエディター

OCRエディターは、光学文字認識テクノロジーを使用して文書スキャン、PDF、デジタル写真をはじめとする画像ファイルを編集可能な形式に高度変換します。

OCRエディターでは、OCRエリアの設定、認識されたテキストの確認、プログラムに非標準の文字やフォントを認識させる学習機能、その他OCR品質の最大化を目的とした拡張機能の使用が可能です。

本章の内容

- [OCRエディターの起動](#) ^[173]
- [OCRエディターのインターフェイス](#) ^[174]
- [文書の取得](#) ^[178]
- [文書の認識](#) ^[181]
- [OCR結果の向上](#) ^[188]
- [テキストの確認と編集](#) ^[210]
- [PDF文書からのテキスト、表、写真のコピー](#) ^[66]
- [OCR結果の保存](#) ^[218]

OCRエディターの起動

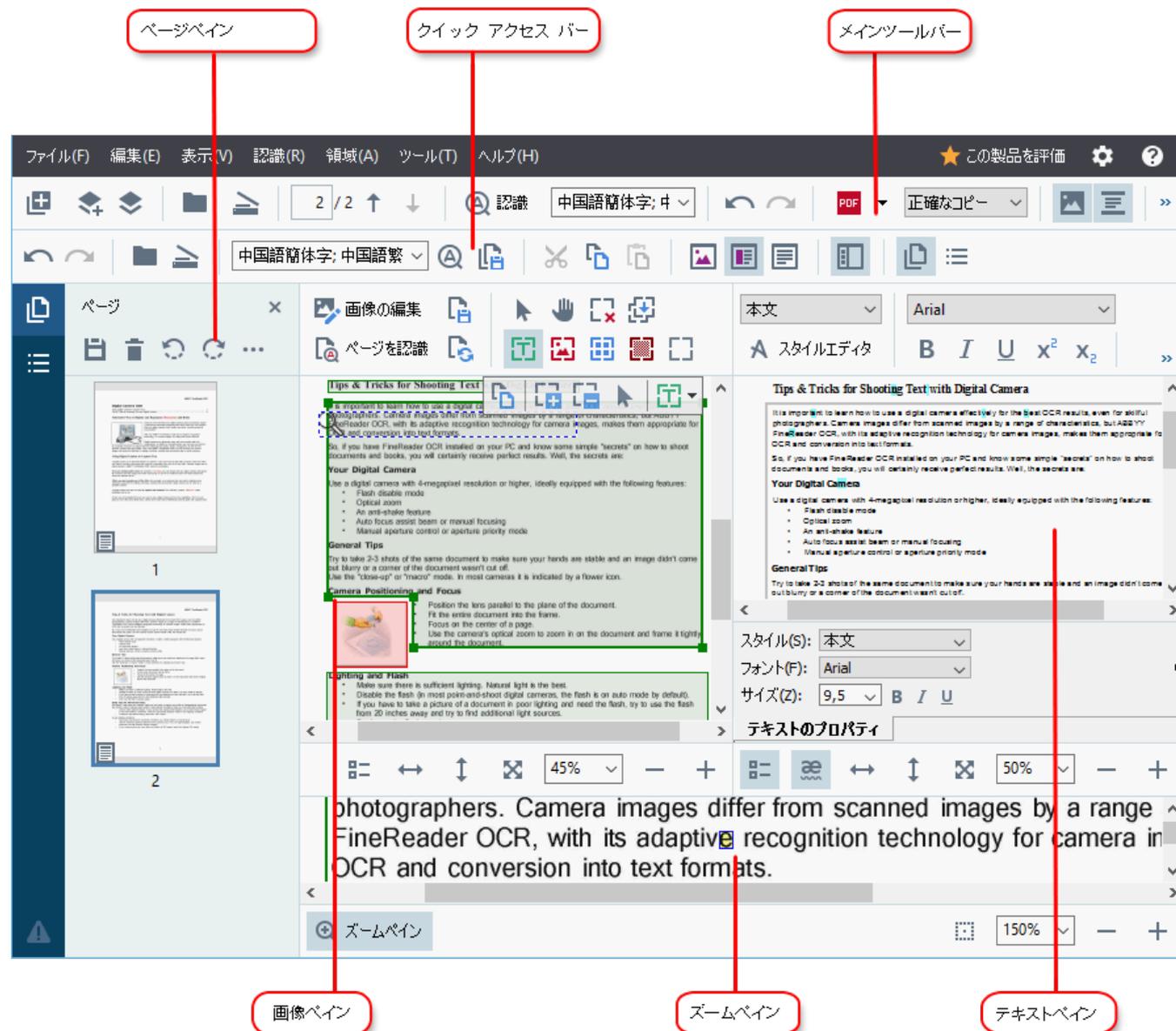
OCRエディターを開く方法はいくつかあります：

- まず **新規タスク** ウィンドウで、以下の順にクリックします：
 - [新しいタスク](#) ^[15] > **開く** > **OCRエディタで開く**
 - または **新しいタスク** > **ツール** > **OCRエディタ**
 - または **新しいタスク** > **ファイル** > **OCRエディタで開く**
- PDFエディターで、以下の順にクリックします：
 - [PDFエディター](#) ^[52] > **ツール** > **OCRエディタ**。
- Windowsの **スタート** メニューを開き、ABBY FineReader PDF 15 > **ABBY FineReader 15 OCRエディタ** とクリックします（Windows 10の場合は[スタート]  > **すべてのプログラム** > ABBY FineReader PDF 15 > **ABBY FineReader 15 OCRエディタ** とクリックします）。

ヒント。 最後に使用されたプロジェクトと新規プロジェクトのどちらをOCRエディターの起動時に開くか設定できます。これを実行するには **新しいタスク** > **オプション** > **全般** とクリックして、**新規OCRプロジェクトを開く** または **最後に使用したOCRプロジェクトを開く** を選択します。

OCRエディターのインターフェイス

OCRエディターウィンドウには、現在のOCRプロジェクトが表示されます。OCRプロジェクトでの作業に関する詳細は、[OCRプロジェクト](#)^[182]を参照してください。



- まず **ページペイン**には、OCRプロジェクトに含まれているページが表示されます。ページビューには、サムネイル（上図）と詳細という2つのモードがあります。詳細モードでは、文書のページとそのプロパティのリストが表示されます。表示を切り換えるには、**ページペイン**の任意の場所を右クリックし、**ナビゲーションペイン** > **サムネイル** または **ナビゲーションペイン** > **詳細**と選択します。もしくは、表示 OCRエディターウィンドウ上部のメニューを使用します。
- この **画像ペイン**には、現在のページの画像が表示されます。ここでは、[認識エリア](#)^[192]を編集し、[エリアプロパティ](#)^[196]を変更できます。
- この **テキストペイン**には、認識されたテキストが表示されます。ここでは、スペルチェックを実行し、認識されたテキストを編集できます。

- まず **ズーム** ペインには、テキスト行の拡大画像、または現在作業中のその他の画像エリアが表示されます。この **画像** ペインにはページ全体が表示され、**ズーム** ペインでは特定の画像のフラグメントを検査できます。たとえば、文字の画像と **テキスト** ウィンドウの認識された文字との比較が可能です。画像のスケールを変更するには、 ペイン下部のコントロールを使用します。

ツールバー

OCRエディターには複数のツールバーがあります。ツールバーボタンを使えば、プログラムコマンドに簡単にアクセスできます。対応するキーボードショートカットキーを押しても、同じコマンドを [呼び出すことが](#)³⁶⁶ できます。

この **メイン ツールバー** は、最もよく行われる操作のボタンセットが特徴です。これらのボタンを使って、文書を開いたり、ページをスキャンしたり、画像を開いたり、ページを認識したり、結果を保存することができます。メインツールバーはカスタマイズできません。



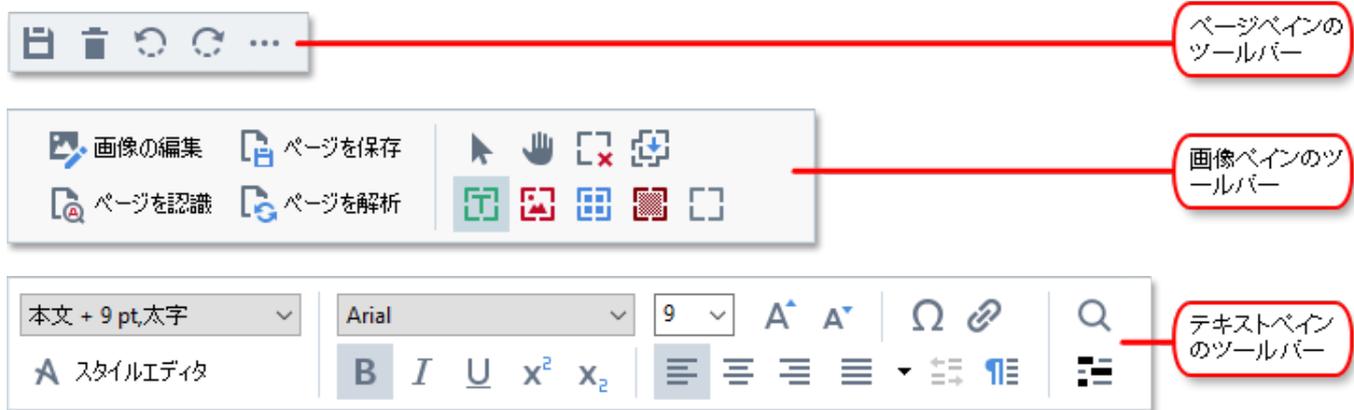
この **クイック アクセス バー** は完全にカスタマイズ可能で、最もよく使用するボタンが含まれています。デフォルトでは、このツールバーは表示されません。ツールバーを表示するには、**表示 > ツールバー** とクリックし、**クイック アクセス バー** を選択します。もしくは、メインツールバーの任意の場所を右クリックして **クイック アクセス バー** を選択します。



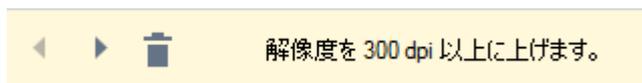
この **クイック アクセス バー** をカスタマイズするには：

- まず **表示 > カスタマイズ...** とクリックし、**ツールバーとショートカットのカスタマイズ** ダイアログボックスを開きます。
- 次に **ツールバー** タブで、**カテゴリー** ドロップダウンリストからカテゴリーを選択します。
 なお、**コマンド** リストで利用できるコマンドのセットは状況に応じて変わります。コマンドは、メインメニューと同じ方法でグループ分けされています。
- コマンドを追加または削除する場合は、**コマンド** リストからコマンドを選択し、>> をクリックして **クイック アクセス バー** に追加するか、<< をクリックして削除します。
- 変更を保存する場合は **OK** をクリックします。
- もし **クイック アクセス バー** をデフォルトの状態にリセットしたい場合は、**すべてリセット** ボタンをクリックします。

ツールバー（**ページ**、**画像**、および **テキスト** ペイン）には、各ペインに表示されるオブジェクトに適用できるコマンドのボタンが含まれています：



次に **警告** ペインには、警告とエラーメッセージが表示されます。



この **警告** ペインを表示するには、**表示 > 警告を表示**

とクリックするか、 OCRエディターウィンドウの左下角にあるボタンをクリックします。

表示されている警告とエラーは、ページペインで選択されているページに関するものです。警告とエラーを確認し、不要なメッセージを削除するには、 ボタンを使用します。

OCRエディターワークスペースのカスタマイズ

- 不要なペインを一時的に非表示にできます。ペインの表示/非表示を切り替えるには、**表示**メニューか、以下のキーボードショートカットを使用します：
- **F5** — ページペインの表示と非表示を切り替えます。
- **F6** — 画像ペインの表示と非表示を切り替えます。
- **F7** — 画像およびテキストペインの表示と非表示を切り替えます。
- **F8** — テキストペインの表示と非表示を切り替えます。
- **Ctrl+F5** — ズームペインの表示と非表示を切り替えます。
- ペインのサイズを変更するには、マウスカーソルをいずれかの境界線に置き、二重矢印が表示されたら目的の方向に境界線をドラッグします。
- なお、ページまたはズームペインの位置を変更するには、**表示**メニューか、ペインのショートカットメニューを使用します。
- また、警告ペインの表示と非表示を切り替えるには、**表示**をクリックし、**警告を表示**アイテムを選択、または選択解除します。
- また、プロパティバー（画像またはテキストペイン下部）の表示と非表示を切り替えるには、ペインのコンテキストメニューで**プロパティ**アイテムを選択または選択解除するか、 ボタンをクリックします。
- ペインのプロパティによっては、[エリアとテキスト](#)  タブ オプション（ダイアログボックス）でカスタマイズできるものがあります。

現在のOCRプロジェクトのページはすべて、ページペインで表示されています。2つのページビューを利用できます。

このページペインでのページの表示方法を変更するには：

- まず  ボタンと  ボタン（ページペイン）を使用します。
- 次に **表示** > **ナビゲーションペイン**とクリックします。

- 次に ページペインの任意の場所を右クリックし、コンテキストメニューで **ナビゲーションペイン** をクリックした後、目的のアイテムを選択します。

ページを開くには、**ページペイン**（サムネイルビュー）でサムネイルをダブルクリックするか、その番号（詳細ビュー）をダブルクリックします。選択されたページの画像が **画像ペイン** に表示されます。OCRがそのページで既に実行されている場合は、認識されたテキストが **テキストペイン** に表示されます。

文書の取得

OCRエディターの起動後は、画像ファイルかPDFを開く必要があります。本章では、OCRエディターで処理する画像やPDF文書の取得方法について説明します。

本章の内容

- [画像やPDFを開く](#)¹⁷⁹
- [紙の文書のスキャン](#)

 OCRの品質は、ABBY FineReaderで開く画像やPDFの品質によります。文書のスキャンや写真撮影に関する情報、およびスキャンや写真でよく発生する不具合を除去する方法については、[画像処理のオプション](#)³¹⁷ および [手動による画像の編集](#)¹⁸⁹ を参照してください。

画像やPDFを開く

ABBYY FineReaderでは、PDF、および [サポートされている形式](#)^[317]の画像ファイルを開くことができます。

画像やPDFファイルを開くには、以下の手順を実行します：

1. OCRエディターで、ツールバーの  をクリックするか、**ファイル > 画像を開く...** とクリックします。
2. 開かれるダイアログボックスで、画像ファイルまたはPDFファイルを選択します。
3. ページが複数あるファイルを選択した場合は、開くページの範囲を指定できます。
4. 画像を自動処理したい場合は、**ページ画像が追加されたら自動的にページを処理する** を選択します。

ヒント。 画像のどの不具合を修正するべきか、または文書を自動的に分析および認識すべきかなど、プログラムが画像に対して実行する操作を指定できます。画像処理オプションを指定するには、**オプション...** ボタンをクリックします。詳しくは [画像処理のオプション](#)^[317] を参照してください。

 新しいページを開く時にOCRプロジェクトが既に開いている場合、選択されたページはこのプロジェクトの最後に追加されます。開いているOCRプロジェクトがない場合、選択されたページから新しいプロジェクトが作成されます

 ページやOCRプロジェクトでの操作に関する詳細は、[OCRプロジェクト](#)^[182]を参照してください。

 PDFファイルによっては、作成者によってアクセスが制限されている場合があります。そのような制限として、パスワードによる保護、および文書を開いたり内容をコピーする際の制限があります。そのようなファイルを開こうとすると、ABBYY FineReaderがパスワードを入力するよう求めます。

紙の文書のスキャン

文書をスキャンするには：

1. OCRエディターで、ツールバーの  **スキャン** をクリックするか、**ファイル > ページのスキャン...** とクリックします。
2. スキャンデバイスを選択し、[スキャン設定](#)^[280] を指定します。
3. 次に **プレビュー** ボタンをクリックするか、画像エリア内部の任意の場所をクリックします。
4. 画像を確認します。満足できない場合はスキャン設定を変更し、**プレビュー** ボタンを再度クリックします。
5. 次に **設定...** とクリックし、[画像処理のオプション](#)^[287] を指定します。
これらのオプションによって、出力文書の外観とプロパティが決定します。
6. 次に **スキャン** とクリックします。

7. スキャンが完了するとダイアログボックスが開き、以下の2つの選択肢が表示されます：



- 現在のスキャン設定を使ってさらにページをスキャンする場合は、**もっとスキャンする** をクリックします。
 - スキャンされたページを表示する場合は **プレビュー** をクリックします。
 - ダイアログボックスを閉じる場合は  をクリックします。
8. 新しいページをスキャンする時にOCRプロジェクトが既に開いている場合、スキャンされたページはこのプロジェクトの最後に追加されます。開いているOCRプロジェクトがない場合、スキャンされたページから新しいプロジェクトが作成されます

 最適なスキャン設定の選択に関するヒントについては、[スキャンのヒント](#)^[280] を参照してください。

文書の認識

ABBY FineReaderは、光学文字認識（OCR）テクノロジーによって文書の画像を編集可能なテキストに変換します。OCRの前に、プログラムは文書全体の構造を分析し、テキスト、バーコード、写真、表を含んでいるエリアを検出します。最高のOCR結果を得られるよう、正しい [OCR言語](#)^[314]、[認識モード](#)^[320]、[印刷タイプ](#)^[315] を選択するようにしてください。

デフォルトでは、OCRプロジェクトに含まれる画像はプログラムで選択されている設定によって自動的に認識されます。

ヒント。新しく追加した画像の自動分析とOCRは、[画像処理](#)^[287] タブ（オプション ダイアログボックス）で無効にできます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

場合によってはOCRプロセスを手動で開始する必要があります。これには、自動OCRを無効にしたり、画像にエリアを手動で設定したり、[オプション](#)^[285] ダイアログボックスで以下のいずれかのパラメーターを変更した場合などが該当します：

- OCR言語（**言語** タブ）
- OCRオプション（**OCR** タブ）
- 使用されるフォント（**OCR** タブ）

OCRプロセスを手動で開始するには：

- メインツールバーで  **認識** ボタンをクリックします。
- または **認識 > すべてのページを認識** とクリックします。

ヒント。選択されたエリアやページを認識させるには、**エリア** または **認識** メニューを使用するか、エリアやページを右クリックしてコンテキストメニューを呼び出します。

 **以下も参照してください：**：

- [OCRオプション](#)^[320]
- [OCRの実行前に考慮しておくべき文書機能](#)^[314]
- [エリアの編集](#)^[192]
- [OCR結果の向上](#)^[188]

OCR プロジェクト

このプログラムの使用中に作業を途中で [OCRプロジェクト](#) に保存し、後で同じ地点からその作業を再開できます。OCRプロジェクトには、ソース画像、画像で認識されたテキスト、プログラム設定、ユーザー [パターン](#)、言語、作成済みの言語グループが含まれています。

このセクションでは、以下のトピックについて取り上げます：

- [以前保存したOCRプロジェクトを開く](#)
- [前のバージョンのABBYY FineReaderの設定を使用](#)
- [OCRプロジェクトへの画像の追加](#)
- [OCRプロジェクトからのページの削除](#)
- [OCRプロジェクトの保存](#)
- [OCRプロジェクトを閉じる](#)
- [OCRプロジェクトを複数のプロジェクトに分割](#)
- [OCRプロジェクトでのページの並べ替え](#)
- [文書メタデータでの作業](#)
- [パターンや言語での作業](#)

OCRプロジェクトを開く

OCREディターを開始すると、新しいOCRプロジェクトがデフォルトで作成されます。この新しいOCRプロジェクトで作業するか、既存のプロジェクトを開きます。

既存のOCRプロジェクトを開くには：

1. まず **ファイル > OCRプロジェクトを開く...** とクリックします。
2. 開かれるダイアログボックスで、開くOCRプロジェクトを選択します。

前のバージョンのプログラムで作成されたOCRプロジェクトを開くと、ABBYY FineReaderはこれを現行のバージョンで使用されている新しい形式に変換しようとしています。この変換は一度実行すると元に戻せないため、別の名前でOCRプロジェクトを保存するよう求めるメッセージが表示されます。前のプロジェクトで認識されたテキストは、新しいプロジェクトには持ち越されません。OCRプロジェクトでページを認識するには、 **認識** ボタンをクリックします。

ヒント。 OCREディターの起動時に、最後に使用されたOCRプロジェクトが開かれるようにするには、**最後に使用したOCRプロジェクトを開く** **まず全般タブ（オプションダイアログボックス）** を選択します。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。

また、Windows ExplorerでOCRプロジェクトを右クリックして **ABBYY FineReader PDF 15**で**OCRプロジェクトを開く**を選択することもできます。OCRプロジェクトは、 アイコンでマークされています。

前のバージョンのABBYY FineReaderの設定を使用

ABBYY FineReaderでは、前のバージョンで作成されたファイルからユーザー辞書やプログラム設定をインポートできます。

ABBYY FineReader 10、11、12で作成された辞書を使用するには：

1. まず **ツール > 辞書を表示...** とクリックします。
2. 次に **ユーザー辞書** ダイアログボックスで、辞書の言語を選択して **表示...** をクリックします。
3. 次に **...の辞書** ダイアログボックスで **インポート...** をクリックし、辞書へのパスを指定します。
4. 辞書ファイルを選択して **開く** をクリックします。

OCRプロジェクトへの画像の追加

1. まず **ファイル > 画像を開く...** とクリックします。
2. 開かれるダイアログボックスで、1つまたは複数の画像を選択して **開く** をクリックします。画像は開いているOCRプロジェクトの最後に追加され、そのコピーがOCRプロジェクトフォルダーに保存されます。

また、Windows Explorerで画像を右クリックし、ショートカットメニューで **ABBYY FineReader PDF 15** で**変換する > OCRエディタで開く**と選択することもできます。選択されたファイルは新しいOCRプロジェクトに追加されます。

また、文書のスキャンも追加できます。以下も参照してください：[紙の文書のスキャン](#)

OCRプロジェクトからのページの削除

- まず **ページ** ペインでページを選択し、**削除** をクリックします。
- または **終了 > ページの削除...** とクリックします。
- または **ページ** ペインでページを右クリックし、てショートカットメニューで **削除...** を選択します。

また **ページ** ペインでは、1ページまたは複数のページを選択して削除できます。

OCRプロジェクトの保存

1. まず **ファイル > OCRプロジェクトを保存...** とクリックします。
2. 開かれるダイアログボックスで、OCRプロジェクトの名前を入力し、保存先のフォルダーを指定します。

 OCRプロジェクトを保存する時は、ページ画像と認識されたテキストだけでなく、プロジェクトでの作業中に作成されたパターンや言語もすべて保存されます。

OCRプロジェクトを閉じる

- OCRプロジェクトを閉じるには、**ファイル > 閉じる** とクリックします。

OCRプロジェクトを複数のプロジェクトに分割

ページが複数ある大量の文書进行处理する時は、まず文書をすべてスキャンした後で、分析、認識したほうが効率的な場合が多々あります。ただし、紙の文書の元の書式設定をそれぞれ正しく維持できるよう、ABBYY FineReaderは各文書を別々のOCRプロジェクトとして処理する必要があります。ABBYY FineReaderには、スキャンしたページを別々のOCRプロジェクトにグループ分けするツールが含まれています。

OCRプロジェクトを分割するには：

1. まず **ページ** ペインの任意の場所を右クリックし、ショートカットメニューで **新規OCRプロジェクトを新しいページに移動する...** を選択します。
2. 開かれるダイアログボックスで、**OCRプロジェクトを追加** ボタンをクリックし、必要な数のOCRプロジェクトを作成します。
3. 以下のいずれかの方法で、**ページ** ペインから別のOCRプロジェクトにページを移動させます：
 - ページを選択してマウスでドラッグします。
複数のOCRプロジェクト間でページを移動させる場合は、ドラッグアンドドロップを使用することもできます。
 - また、**移動** ボタンと **戻す** ボタンも使用できます。ページを現在のプロジェクトに移動させるには、**移動** ボタンを使います。
 - また、**Ctrl+右矢印** を押すと、選択したページが **ページ** ペインから現在のOCRプロジェクトに移動します。**Ctrl+左矢印** または **削除** を押すと、元のプロジェクトに戻ります。
4. 完了したら **作成** をクリックしてOCRプロジェクトを新規作成するか、**すべて作成** をクリックして一度にすべてのプロジェクトを作成します。

ヒント。 また、選択したページを **ページ** ペインから別のOCREディターのインスタンスにドラッグアンドドロップすることもできます。選択されたページはOCRプロジェクトの最後に追加されます。

OCRプロジェクトでのページの並べ替え

1. まず **ページ** ペインで、1ページまたは複数のページを選択します。
2. 次に **ページ** ペインの任意の場所を右クリックし、ショートカットメニューで **ページの並び替え...** を選択します。
3. 次に **ページの並べ替え** ダイアログボックスで、以下のいずれかを選択します：
 - **ページの並び替え (取り消し不可)**
選択したページ以降のすべてのページ番号が連続して変更されます。

- **両面スキャンの後にページ順を元に戻す**

このオプションによって、両面印刷文書の元のページ番号付けを復元できます。このオプションは、自動フィーダーのスキャナーを使用して、最初に奇数ページをすべてスキャンした後に偶数ページをすべてスキャンする場合に便利です。偶数ページには、普通の順序と逆の順序のいずれかを選択できます。

💡 このオプションは、連続するページが3ページ以上選択されている場合にのみ機能します。

- **ブックのページを差し替える**

このオプションは、左から右に書く言語の書籍をスキャンした後、正しい言語を指定せずに見開きページを分割する場合に便利です。

💡 このオプションは、連続するページが2ページ以上選択され、そのうちの少なくとも2ページが見開きページになっている場合にのみ機能します。

☑ この操作をキャンセルするには、**直前の処理を元に戻す** を選択します。

4. 次に **OK** をクリックします。

これによって **ページ** ペインのページが新しい数に従って並べ替えられます。

☑ この **サムネール** ビューでは、選択したページをOCRプロジェクトの目的の場所にドラッグするだけでページ番号付けを変更できます。

メタデータ

文書メタデータには、文書の作成者、件名、キーワードなどの詳細情報が含まれています。文書メタデータを使用して、ファイルを並べ替えたり文書プロパティを確認したりできます。また、メタデータを使用して文書を検索することもできます。

PDFおよび特定の種類の画像ファイルを認識する時、ABBYY FineReaderはソース文書メタデータをエクスポートします。メタデータは必要に応じて編集できます。

文書メタデータを追加または変更するには：

1. まず **書式設定**^[290] タブ（**オプション** ダイアログボックス）を開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。
2. 次に **メタデータの編集...** ボタンをクリックし、開かれるダイアログボックスで、文書の名前、作成者、件名、キーワードを入力します。
3. 最後に **OK** をクリックします。

パターンや言語での作業

ユーザーパターンや言語を保存し、読み込むことができます。

☑ パターンの詳細については、以下を参照してください：[文書に非標準フォントが含まれる場合](#)^[203]。言語の詳細については、以下を参照してください：[プログラムが一部の文字を認識できなかった場合](#)^[207]。

パターンや言語をファイルに保存するには：

1. まず **OCR** タブ（**オプション** ダイアログボックス）を開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。
2. 開かれるダイアログボックスで **パターンと言語を保存...**
3. をクリックし、ファイルの名前を入力して **保存** をクリックします。

ユーザー言語、言語グループ、辞書、パターンが保存されているフォルダーへのパスがこのファイルに含まれるようになります。

パターンと言語を読み込むには：

1. まず **OCR** タブ（**オプション** ダイアログボックス）を開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックします。
2. 次に **パターンと言語を読み込む...**
3. を **読み込みオプション** ダイアログボックスでクリックし、必要な*.fbtファイルを選択して **開く** をクリックします。

OCRプロジェクトでのグループ作業

ABBYY FineReaderには、ネットワークを通じて他のユーザーと文書で作業できるツールが装備されています。同じユーザー言語とその言語用に作成された辞書を、複数のユーザーで共有できます。

ユーザー辞書と言語を複数のユーザーが利用できるようにするには：

1. OCRプロジェクトを作成または開き、プロジェクト用のスキャンとOCRのオプションを選択します。
2. ユーザー辞書を保存するフォルダーを指定します。このフォルダーにはすべてのユーザーがアクセスできる必要があります。

 デフォルトでは、%Userprofile%

\AppData\Roaming\ABBYY\FineReader\15\UserDictionariesに保存されます。

ユーザー辞書の保存先に別のフォルダーを指定するには：

- a. まず **エリアとテキスト** タブ（ **オプション** ダイアログボックス）を開きます。このダイアログボックスは、 **ツール > オプション...** とクリックすると開きます。次に **ユーザー辞書...** ボタンをクリックします。
 - b. 開かれるダイアログボックスで **参照...** ボタンをクリックし、フォルダーへのパスを指定します。
3. **ユーザーパターンと言語を**  ファイル（*.fbt）に保存します：
 - a. まず **OCR** タブ（ **オプション** ダイアログボックス）をクリックします。このダイアログボックスは、 **ツール > オプション...** とクリックすると開きます。
 - b. 次に **パターンと言語を保存...** とクリックします。
 - c. 次に **保存オプション** ダイアログボックスで、ファイルの保存先フォルダーを指定します。このフォルダーにはすべてのユーザーがアクセスできる必要があります。
 4. これで、他のユーザーもこのユーザー言語と辞書にアクセスできるようになります。実際にアクセスする場合、他のユーザーは手順3で作成した*.fbtファイルを読み込み、手順2で作成したユーザー辞書の保存先フォルダーへのパスを指定する必要があります。

 ユーザーがユーザー辞書、パターン、言語にアクセスできるようになるには、保存先フォルダーの読み取り/書き込み許可が必要です。

利用可能なユーザー言語とそのパラメーターのリストは、 **OCR** タブ（ **オプション** ダイアログボックス）をクリックします。このダイアログボックスは、 **ツール > オプション...** とクリックすると開きます。

ユーザー辞書が複数のユーザーによって使用されている場合、ユーザーは対応する辞書に対して単語を追加または削除できますが、言語のプロパティは変更できません。

ユーザーによってユーザー辞書が編集されている場合、他のユーザーはこの辞書を使ってOCRとスペルチェックを実行できますが、単語の追加や削除はできません。

ユーザーが行うユーザー辞書への変更は、この辞書の保存先フォルダーを選択したすべてのユーザーが利用できるようになります。変更を有効になるよう、ユーザーはABBYY FineReaderを再起動する必要があります。

OCR結果の向上

内容:

- [文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合](#) 
- [エリアが正しく検出されない場合](#) 
- [紙の文書の複雑な構造が再現されない場合](#) 
- [同じレイアウトの文書を大量に処理する場合](#) 
- [表や写真が検出されない場合](#) 
- [バーコードが検出されない場合](#) 
- [正しくないフォントが使用されている場合や、一部の文字が "?" や "□" に置き換えられている場合](#) 
- [印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合](#) 
- [文書に多く専門用語が含まれている場合](#) 
- [プログラムが特定の文字を認識できない場合](#) 
- [縦書き、または反転したテキストが認識されなかった場合](#) 

文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合

スキャンされた画像やデジタル写真で見られるテキスト行の歪み、傾斜、ノイズなどの不具合によって、認識の品質が低下する場合があります。ABBYY FineReaderには、このような不具合を解決できるさまざまな [自動](#)³¹⁷⁾ および [手動](#)¹⁸⁹⁾ のツールが装備されています。

手動による画像の編集方法

自動事前処理機能を無効にしたか、特定のページを事前処理する場合は、画像エディターを使って手動でページ画像を編集できます。

画像を手動で編集する方法は以下のとおりです：

1. OCRエディターを開き、画像エディターを開きます：
2. ツールバー  画像の編集 (画像 ペイン) をクリックするか
3. 、終了 > ページの画像の編集... とクリックします。



4. この操作によって **画像エディタ** が開き、現在選択されているページが表示されます。画像エディターの右端のパネルに、画像編集用のツールが含まれています。

5. 使用するツールをクリックして画像に適用します。変更が **画像** ペインに表示されます。大半のツールは、文書の特定のページやすべてのページに適用できます。ツールの **選択範囲** ドロップダウンリストを使えば、編集するページを指定できます。**ページ** ペインで複数のページが選択されている場合は、偶数または奇数ページ、現在のページ、選択されているページなどを選択できます。
6. 画像の編集が終了したら、画像エディター上部にある **画像エディタの終了** ボタンをクリックします。

画像エディターには以下のツールが含まれています：

- **推奨される前処理**

プログラムは、画像のタイプに応じてどのような修正が必要かを自動的に判断し、適用します。適用される修正には、ノイズやボケの削除、テキストより背景色を明るくするための色の反転、傾きの補正、テキスト行の直線化、台形歪みの修正、画像境界線の切り取りなどがあります。

- **傾き修正**

画像の傾きを補正します。

- **テキスト行の直線化**

画像のテキスト行の歪みを修正します。

- **画像修正**

このグループのツールを使用すれば、テキスト行をまっすぐにしたり、ノイズやボケを削除したり、文書の背景色を白に変更することができます。

- **台形歪みの修正**

台形歪みの補正や、使用できるデータが含まれていない画像の端の削除を実行します。このツールが選択されると、画像に青いグリッドが表示されます。グリッドの角を画像の角にドラッグし、グリッドの横線がテキスト行に平行になるようにします。変更を適用するには、**修正** ボタンをクリックします。

- **回転して反転**

このグループのツールを使用すれば、画像を回転したり、画像のテキストを正しい方向になるよう垂直または平行方向に変更できます。

- **分割**

このグループのツールを使用すれば、画像を部分に分割できます。書籍をスキャンしている時に見開きのページを分割する必要がある場合に便利です。

- **切り取り**

有用な情報が含まれていない画像の端を削除します。

- **反転**

画像の色を反転させます。テキストの色が非標準（暗い背景に明るいテキスト）の場合に便利です。

- **解像度**

画像の解像度を変更します。

- **明るさとコントラスト**

画像の明るさとコントラストを変更します。

- **レベル**

このツールを使用すれば、シャドウ、ライト、ハーフトーンの濃淡を変更することにより、画像のカラーレベルを調整できます。

画像のコントラストを上げるには、**入力レベル**ヒストグラムの左右のスライダーを移動させます。最も明るい色と暗い色の範囲が255のインクリメントに分けられています。左のスライダーは画像の中で最も暗いと認識された部分の色を設定し、右のスライダーは画像の中で最も明るいと認識された部分の色を設定します。中央のスライダーを右に移動すると画像が暗くなり、左に移動すると画像が明るくなります。

出力レベルスライダーを調整して画像のコントラストを下げます。

- **消しゴム**

画像の一部を消去します。

- **カラーマークの削除**

テキスト認識の邪魔にならないよう、どのような色のスタンプやペンで記入されたマークでも削除できます。このツールは白い背景を持つスキャン文書用途としており、デジタル写真やカラー背景の文書では使用しないようにしてください。

エリアが不正確に検出された場合

ABBYY FineReaderは、認識を実行する前にページ画像を分析し、画像に含まれているさまざまなタイプのエリアを検出します。**テキスト、写真、背景の写真、表、そしてバーコード** エリアです。この分析によって、どのエリアをどの順序で認識するかが決定されます。ユーザーインターフェイスでは、エリアタイプは境界線の色で区別されています。

特定のエリアをクリックすると、そのエリアが強調表示され、[アクティブになります](#)^[360]。また、**Tab** キーを押してエリアをナビゲートすることもできます。エリアの番号は、**Tab** キーを押した時の選択順序となります。デフォルトでは、これらのエリア番号は **画像** ペインに表示されませんが、各エリアの **エリアプロパティ** ペインに表示できます。エリア番号は、**エリアの並べ替え** ツールが選択された時に表示されます。

エリアを手動で設定および編集できるツールが、**画像** ペイン上部のツールバー、および **テキスト、写真、背景の写真** および **表** エリアのポップアップツールバーにあります（エリアを選択するとポップアップツールバーが表示されます）。



位置の調整やエリアタイプの変更後は、必ず画像を再認識させてください。

エリア編集ツールで実行できる操作は以下のとおりです：

- [新規エリアの作成](#)^[192]
- [エリアの境界線の調整](#)^[193]
- [エリアの部分の追加または削除](#)^[193]
- [エリアの選択](#)^[194]
- [エリアの移動](#)^[194]
- [エリアの並べ替え](#)^[194]
- [エリアの削除](#)^[194]
- [エリア内のテキストの方向を変更](#)^[194]
- [エリアの境界線の色を変更](#)

エリアの新規作成

1. ツールバー（**画像** ペイン上部）でツールを選択します：

 これによって **認識エリア** [360] を設定します。

 これによって **テキストエリア** [360] を設定します。

 これによって **写真エリア** [360] を設定します。

 これによって **背景の写真エリア** [360] を設定します。

 これによって **表エリア** [360] を設定します。

2. マウスの左ボタンを押したまま、マウスポインターを動かしてエリアを設定します。

ヒント。 新しいエリアの設定は、**画像** ペインのツールバーでツールを選択しなくてもできます。以下のキーの組み合わせで、画像にエリアを設定できます：

- **Ctrl+Shift** で **テキスト** エリアを設定します。
- **Alt+Shift** で **写真** を設定します。
- **Ctrl+Alt** で **表** を設定します。
- **Ctrl+Shift+Alt** で **背景の写真** エリアを設定します。

エリアのタイプは変更できます。変更したいエリアを右クリックし、ショートカットメニューで **領域の種類を変更** をクリックして目的のエリアタイプを選択します。

エリアの境界線の調整

1. エリアの境界線にマウスポインターを置きます。
2. マウスの左ボタンを押したまま、目的の方向に境界線をドラッグします。

 エリアのいずれかの角にマウスポインターを置けば、境界線の縦と横を同時に調整することもできます。

エリアの部分の追加/削除

1. まず、 または  ツールを、**テキスト**、**写真** または **背景の写真** エリアのツールバーから選択します。
2. エリアの内部にマウスポインターを置き、画像の一部を選択します。エリアに対し、このセグメントが追加または削除されます。
3. 必要に応じてエリアの境界線を調整します。

注意：

1. これらのツールは、**テキスト**、**写真**、および**背景の写真** エリアでのみ使用できます。エリアのセグメントは、**表** や **バーコード** エリアでは追加も削除もできません。

2. エリアの境界線は、サイズ変更ハンドルを使用して調整することもできます。最終的なセグメントは、マウスであらゆる方向にドラッグできます。新しいサイズのハンドルを追加する場合は、マウスポインターを境界線上の目的のポイントに置き、**Ctrl+Shift** キーを押しながら（ポインターが十字マークに変わります）、境界線をクリックします。新しいサイズのハンドルがエリアの境界線上に表示されます。

エリアの選択

- まず  ツール（**画像** ペイン上部のツールバー）で選択し、**Ctrl** キーを押しながら、選択するエリアをクリックします。選択したエリアを選択解除するには再度クリックします。

エリアの移動

- エリアを選択し、**Ctrl** キーを押しながらドラッグします。

エリアの並べ替え

1. まず、 ツール（**画像** ペイン上部のツールバー）を選択するか、**領域** > **エリアの並べ替え** とクリックします。
2. 出力文書で表示したい順序でエリアを選択します。

 画像のテキストの方向に関係なく、エリアにはページ分析中に左から右へ自動的に番号が付けられます。

エリアの削除

- 削除したいエリアを選択し、**削除** キーを押します。
- 削除するエリアを選択して右クリックし、ショートカットメニューで **削除** をクリックします。
- 次に  ツールを選択し、削除するエリアをクリックします。

すべてのエリアを削除には：

- まず **画像** ペインの内側を右クリックし、ショートカットメニューで **エリアとテキストを削除** をクリックします。

 既に認識されている画像からエリアを削除すると、そのエリアに含まれているテキストもすべて **テキスト** ペインから削除されます。

テキストの方向の変更

- エリアを右クリックしてショートカットメニューの **プロパティ** をクリックすると、**領域のプロパティ** ペインにプロパティが表示されます。このダイアログボックスのドロップダウンリストで、**向き** テキストの方向を選択します。

テキストエリアでのテキストプロパティの編集に関する詳細は、[エリアプロパティの編集](#)¹⁹⁶ を参照してください。

エリアの境界線の色を変更するには：

1. まず **ツール > オプション...** とクリックして **オプション** ダイアログボックスを開き、**エリアとテキスト** タブをクリックします。
2. 色を変更したいエリアを選択した後、目的の色を選択します。

エリアプロパティの編集

ABBYY FineReaderは、自動文書分析を実行する際に文書のページにあるさまざまなタイプのエリア（表、写真、テキスト、およびバーコードを検出します。また、文書構造の分析も行い、見出しやその他のレイアウト要素（ヘッダー、フッター、キャプションなど）を識別します。

一部のエリア（テキストおよび表）で不正確に定義されているプロパティは、手動で変更できます。

1. まず **画像** ペインか **ズーム** ペインでエリアを選択し、**領域のプロパティ** ペインにプロパティを表示します。このペインでは、以下の編集可能プロパティが表示されます：

- **言語**

詳しくは [OCR 言語](#)^[314] を参照してください。

- **機能**

ヘッダー、フッター、脚注といったテキストの機能を表示します（**テキスト** エリアにのみ該当）。

- **向き**

詳しくは [縦書き、または反転したテキストが認識されなかった場合](#)^[209] を参照してください。

- **印刷タイプ**

詳しくは [OCRの前に考慮しておくべき文書機能](#)^[315] を参照してください。

- **反転**

詳しくは [縦書き、または反転したテキストが認識されなかった場合](#)^[209] を参照してください。

- **CJK テキストの向き**

詳しくは [複雑なスクリプト言語を使った作業](#)^[326] を参照してください。

注意：

- a. この  /  ボタンは、**画像** ペインの幅が足りず、プロパティダイアログボックス全体を表示できない場合に使用し、このダイアログボックスをナビゲートします。
- b. テキストのプロパティ（**テキスト** エリア）によっては、これらのエリアのショートカットメニューを使って変更できます。

2. 目的の変更を行った後は、認識されたテキストにその変更が反映されるよう、文書を必ず再認識させてください。

 エリアの詳細については、[エリアの編集](#)^[192] を参照してください。

紙の文書の複雑な構造が再現されない場合

文書の認識プロセスを実行する前に、ABBYY FineReader では文書の論理的構造の分析を行い、テキスト、画像、表、およびバーコードを含むエリアを検出します。その後、プログラムはこの分析に基づいてエリアを識別し、認識順序を決定します。この情報は、元の文書の書式を再生する上で役立ちます。

既定により、ABBYY FineReader では文書を自動的に分析します。ただし、書式設定が非常に複雑な場合は一部のエリアが正しく検出されないことがあり、その場合は、それらのエリアを手動で修正できます。

エリアを修正するには、次のツールを使用します。

- [画像] ウィンドウのツールバーにあるエリアの手動調整ツール
- [画像] ウィンドウまたは [ズーム] ウィンドウで選択したエリアを右クリックして使用できるショートカットメニューのコマンド
- [領域] メニューのコマンド

必要な調整を行った後で OCR プロセスを再起動します。

🔗 [「エリアが正しく検出されない場合」^{\[192\]}](#) も参照してください。

認識設定、エリア プロパティ、および保存設定も、元の文書のレイアウトが良好に保持される程度に影響を及ぼします。詳細については、「[OCR オプション](#)^[320]」、「[エリア プロパティの調整](#)^[196]」、および「[OCR 結果の保存](#)^[218]」のセクションを参照してください。

同じレイアウトの文書を大量に処理する場合

同じレイアウト文書（フォームやアンケート用紙など）を大量に処理する場合、ページごとにレイアウトを分析すると非常に時間がかかります。時間を節約するため、類似する文書セットを1部だけ分析し、検出されたエリアをテンプレートとして保存することができます。その後、同じセットの他の文書にこのテンプレートを使用できます。

エリアテンプレートを作成するには：

1. OCRエディターを画像を開き、レイアウトを自動的に分析するか、エリアを手動で設定します。
2. まず **領域 > 領域テンプレートを保存...** とクリックします。開かれるダイアログボックスで、エリアテンプレートの名前を指定し、**保存**をクリックします。

 エリアテンプレートを使用できるようにするには、同じ解像度でセット内のすべての文書をスキャンする必要があります。

エリアテンプレートを適用するには：

1. まず **ページ** ペインで、テンプレートを適用するページを選択します。
2. 次に **領域 > 領域テンプレートを読み込む...** とクリックします。
3. 次に **領域テンプレートを開く** ダイアログボックスで、目的のテンプレートファイル（*.blk）を選択します。
4. 同じダイアログボックスの **適用先**の横にある **選択したページ** を選択し、選択されたページにテンプレートを適用します。

ヒント。 文書の全ページにテンプレートを適用する場合は **すべてのページ** を選択します。

5. 次に **開く**をクリックします。

表や写真が検出されない場合

表が検出されない場合

表エリア³⁶⁰は、表または表形式で配置されたテキストを示します。表が自動的に検出されない場合は、**[表]** ツールを使用して表を囲む表エリアを描画します。

1. **[画像]** ウィンドウの上部にあるツールバーで  ツールを選択し、マウスを使って画像にある表を囲む四角形を描画します。
2. 表を右クリックし、ショートカットメニューで **[表構造の分析]** をクリックするか、**表エリア**のポップアップツールバーで  ボタンをクリックします。
3. ポップアップ ツールバー、**表エリア**のショートカットメニュー、または **[領域]** メニューのコマンドを使用して結果を編集します。
4. OCR プロセスを再度実行します。

すでに認識されたエリアの種類を変更できます。エリアの種類を **[表]** に変更するには、そのエリアを右クリックし、ショートカットメニューで **[領域の種類を変更]** > **[表]** をクリックします。

ABBYY FineReader で表の行と列が自動的に正しく検出されなかった場合は、レイアウトを手動で調整して OCR プロセスを再度実行することができます。

- **[領域]** メニューのコマンドまたは表エリアのショートカットメニューにあるコマンドを使用し、次の操作を行います。
 - **表構造の分析** (表の構造を自動的に分析し、縦横の罫線を引く手間を省きます)
 - **セルの分割、セルの結合** および **行の結合** (正しく識別されなかった行または列を修正できます)
- 選択した表のポップアップ ツールバーを使用し、縦または横の罫線の追加、表の罫線の削除、表構造の分析、表のセルの分割、または表のセルもしくは行の結合の操作を行います (**[表]** エリアをクリックし、ポップアップ ツールバーから適切なツールをクリックします) :



ヒント。 ポップアップ ツールバーで  ツールをクリックし、オブジェクトを選択します。

注意

1. セル分割のコマンドは、それ以前に結合した表のセルにのみ適用可能です。
2. 表のセルまたは行を結合するには、画像上でセルまたは行を選択してから、適切なツールまたはメニュー コマンドを選択します。

3. 表に縦のテキストセルが含まれている場合は、まずテキストのプロパティを変更しなければならないことがあります。
4. 表のセルに画像のみが含まれている場合は、[領域のプロパティ] ペインで [選択したセルを画像として扱う] オプションを選択します (エリアを右クリックし、ショートカットメニューで [プロパティ] をクリックします)。

セルに画像とテキストの組み合わせが含まれている場合は、画像を選択してセル内の専用のエリアに変えます。

 以下も参照してください:

- [縦書きのテキストまたは反転したテキストが認識されない場合](#)^[209]
- [エリアが正しく検出されない場合](#)^[192]
- [エリアプロパティの調整](#)^[196]

画像が検出されない場合

[画像](#)^[360] エリアは、文書に含まれる画像を示します。テキストの一部の認識を行わない場合は、[画像] エリアを使用することもできます。画像が自動的に検出されない場合は、[画像] ツールを使用して画像を囲む画像エリアを手動で描画します。

1. [画像] ウィンドウの上部にあるツールバーで  ツールを選択し、マウスを使って画像を囲む四角形を描画します。
2. OCR プロセスを再度実行します。

画像に重ねて印刷されたテキストが文書にある場合は、その画像を囲む [背景画像](#)^[360] エリアを描画します。

1. [画像] ウィンドウで、ツールバーにある  を選択し、画像の周囲に枠を描画します。
2. OCR 処理を開始します。

既存のエリアを [画像] または [背景画像] に変更できます。エリアを右クリックして、[領域の種類を変更] > [画像] または [領域の種類を変更] > [背景画像] をクリックします。

 エリアの種類および編集に関する詳細は、「[エリアが正しく検出されない場合](#)^[192]」を参照してください。

バーコードが検出されない場合

[バーコードエリア](#)にはバーコードが含まれています。文書に含まれているバーコードを画像としてではなく文字と数字の列として表示させたい場合は、そのバーコードを選択し、エリアタイプをバーコードに変更します。

☑ デフォルトでは、バーコードの認識は無効になっています。この機能を有効にするには、**ツール > オプション ...** とクリックして **オプション** ダイアログボックスを開き、**OCR** タブをクリックして **バーコードを文字列に変換** オプションを選択します。

バーコードエリアの設定して認識させるには：

1. まず **画像** ペインか **ズーム** ペインで、バーコードの周囲にエリアを設定します。
2. このエリアを右クリックし、ショートカットメニューで **領域の種類を変更 > バーコード** をクリックします。
3. OCRプロセスを実行します。

ABBYY FineReader PDF 15 が読む取ることができるバーコードのタイプは以下のとおりです：

- Code 3 of 9
- Check Code 3 of 9
- Code 3 of 9 without asterisk
- Codabar
- Code 93
- Code 128
- EAN 8
- EAN 13
- IATA 2 of 5
- Interleaved 2 of 5
- Check Interleaved 2 of 5
- Matrix 2 of 5
- Postnet
- Industrial 2 of 5
- UCC-128
- UPC-A

- UPC-E
- PDF417
- Aztec Code
- Data Matrix
- QR code
- Patch code

 デフォルトのバーコードタイプは **自動検出** です。このバーコードタイプは自動検出されます。ただし、すべてのバーコードを自動検出できるわけではないため、[領域のプロパティ](#)^[177] ペインで適切なタイプを手動で選択することが必要な場合もあります。

ABBYY FineReaderが自動検出できるバーコードのタイプは以下のとおりです： Code 3 of 9、Code 93、Code 128、EAN 8、EAN 13、Postnet、UCC-128、UPC-E、PDF417、UPC-A、QR code。

正しくないフォントが使用されている場合や、一部の文字が "?" や "□" に置き換えられている場合

文字ではなく、"?" や "□" が **テキスト** ペインに表示されている場合は、認識されたテキストの表示用に選択されたフォントに、テキストで使用されているすべての文字が含まれているかどうか確認します。

 以下も参照してください：[必要なフォント](#)^[333]。

OCRプロセスを再実行せずに、認識されたテキストのフォントを変更できます。

短い文書でフォントを変更するには：

1. 一部の文字で誤ったフォントが使用されているテキストフラグメントを選択します。
2. 選択した部分を右クリックし、ショートカットメニューの **プロパティ** をクリックします。
3. 目的のフォントを、**フォント** ドロップダウンリスト（**テキストのプロパティ** ペイン）から選択します。選択されたテキストフラグメントのフォントが変更されます。

スタイルが使用されている長い文書で、[フォントを変更するには](#)^[214]：

1. まず **ツール > スタイル エディタ...** とクリックします。
2. 次に **スタイル エディタ** ダイアログボックスで、編集したいスタイルを選択し、フォントを変更します。
3. 次に **OK** とクリックします。このスタイルを使用しているすべてのテキストフラグメントのフォントが変更されます。

 OCRプロジェクトが別のコンピューターで認識、または編集された場合、お使いのコンピューターではその文書のテキストが正しく表示されないことがあります。そのような場合は、このOCRプロジェクトで使用されているフォントがすべて、お使いのコンピューターにインストールされているかどうか確認してください。

印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合

認識させたい文書に装飾フォントや特殊文字（数学記号など）が含まれている場合は、学習機能モードを使用して認識精度を向上させることをお勧めします。

☑ それ以外の場合は、学習にかかる時間と労力に比べて認識品質の改善効果が微小であるため、学習機能モードの使用はお勧めできません。

学習機能モードでは [ユーザーパターン](#)^[360] が作成されます。このユーザーパターンは、テキスト全体にOCRを実行する際に使用できます。

- [ユーザーパターンの使用](#)^[203]
- [ユーザーパターンの作成と学習機能](#)^[203]
- [ユーザーパターンの選択](#)^[205]
- [ユーザーパターンの編集](#)

ユーザーパターンの使用

文書の認識でユーザーパターンを使用するには：

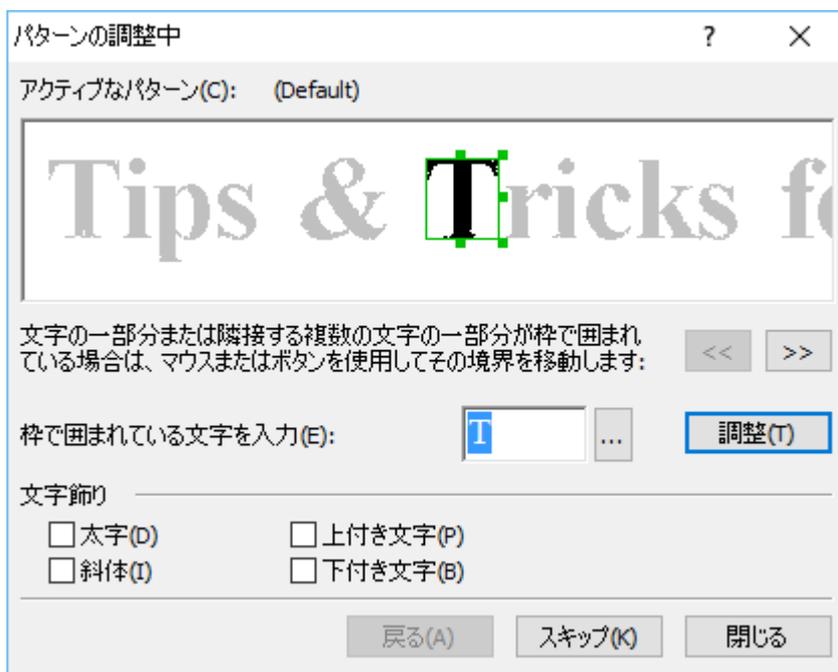
1. まず **ツール > オプション...** とクリックして **オプション** ダイアログボックスを開き、**OCR** タブをクリックします。
2. 次に **ユーザーパターンを使用** オプションを選択します。
☑ もし **組み込みパターンも使用** オプション（**ユーザーパターンを使用** オプションの下）が選択されている場合、ABBYY FineReaderは作成されたユーザーパターンに加え、ビルトインのパターンを使用します。
3. 次に **パターン エディタ...** ボタンをクリックします。
4. 次に **パターン エディタ** ダイアログボックスでパターンを選択し、**OK** をクリックします。
5. OCRエディターウィンドウ上部のメインツールバーにある  **認識** ボタンをクリックします。

ユーザーパターンの作成と学習機能

新しい文字や合字を認識するようユーザーパターンを学習させるには：

1. まず **ツール > オプション...** とクリックして **オプション** ダイアログボックスを開き、**OCR** タブをクリックします。
2. 次に **新しい文字や連結線の認識のために学習機能を使用** オプションを選択します。
☑ もし **組み込みパターンも使用** オプション（**新しい文字や連結線の認識のために学習機能を使用** オプションの下）が選択されている場合、ABBYY FineReaderは作成されたユーザーパターンに加え、ビルトインのパターンを使用します。

3. 次に **パターン エディタ...** ボタンをクリックします。
■ アジア言語についてはパターン学習機能がサポートされていません。
4. 次に **パターン エディタ** ダイアログボックスを開き、**新規...** ボタンをクリックします。
5. 次に **パターンの作成** ダイアログボックスで、新しいパターンに名前を付け、**OK**をクリックします。
6. 次に **OK** を **パターン エディタ** ダイアログボックスでクリックした後に、**OK** を **オプション** ダイアログボックスでクリックします。
7. 次に  **ページを認識** ボタン（**画像** ペイン上部のツールバー）をクリックします。
 プログラムが認識できない文字を検出した場合、**パターンの調整中** ダイアログが開き、この文字が表示されます。



8. プログラムに、新しい **文字** や **合字の読み方を学習** させます。
 合字とは2つまたは3つの文字を隙間なく組み合わせたもの（fi、fl、ffiなど）のことであり、プログラムにとっては分割が困難です。実際は、これらの文字を1つの複合文字として扱うとより良い結果が得られます。
■ 太字や斜体で印刷された単語、または上付き文字や下付き文字の単語は、「**文字飾り**」の下の対応するオプションを選択すれば、認識されたテキストでも書式設定が保持されます。前に学習した文字に戻る場合は、**戻る** ボタンをクリックします。フレームが前の場所にジャンプし、最後に学習した「文字画像 - キーボード文字」のペアリングがパターンから削除されます。この **戻る** ボタンは1つの単語を形成する文字の間を移動するもので、単語の間は移動しません。

重要！

- ABBYY FineReader PDF 15 の学習機能は、OCR言語のアルファベットに含まれている文字に対してのみ実行できます。キーボードで入力できない文字を読み取れるようプログラムに学習させるには、2つの文字の組み合わせを使用して存在しないそのような文字を表すか、必要な文字を **文字の挿入** ダイアログボックスから目的の文字をコピーします。このダイアログボックスを開くには、 とクリックします。
- 各パターンには最大1,000の新しい文字を含めることができます。ただし、合字を作成し過ぎないようにしてください。OCR品質に逆効果が発生する場合があります。

ユーザーパターンの選択

ABBYY FineReaderでは、[パターンを使用して](#) OCR品質を改善できます。

1. まず **ツール > パターン エディタ...** とクリックします。
2. 次に **パターン エディタ** ダイアログボックスで、リストのいずれかのパターンを選択し、**アクティブに設定** ボタンをクリックします。

留意点：

1. プログラムが類似する2文字を識別できず、同じ1つの文字として認識する場合があります。たとえば、直線状（'）、左向き（'）、右向き（'）の引用符は1つの文字（直線状の引用符）としてパターンに保存されます。つまり、たとえ学習させようとしても、認識されたテキストで左向きや右向きの引用符が使用されることはありません。
2. ABBYY FineReader PDF 15 は、文字画像によっては対応するキーボード文字を前後のコンテキストに基づいて選択することがあります。たとえば、小さい円の画像はその直後に別の文字があれば小文字の「o」として認識され、その直後に数字があれば数字の「0」として認識されます。
3. パターンは、そのパターンの作成に使用されたものと同じフォント、フォントサイズ、解像度の文書でのみ使用できます。
4. ファイルにパターンを保存し、別のOCRプロジェクトに使用できます。以下も参照してください：[OCRプロジェクト](#).
5. フォントが異なるテキストを認識する場合は、必ずユーザーパターンを無効にしてください。これを実行するには、**ツール > オプション...** とクリックして **オプション** ダイアログボックスを開き、**OCR** タブをクリックして、**組み込みパターンを使用する** オプションを選択します。

ユーザーパターンの編集

OCRプロセスを起動する前に、新しく作成したパターンを編集してください。不正確な学習機能をパターンに適用すると、OCR品質に逆効果となる場合があります。パターンには、 文字全体か [合字全体のみ](#) 含まれるようにする必要があります。端が切れている文字、アルファベットのペアリングが間違っている文字は、パターンから削除しなければなりません。

1. まず **ツール > パターン エディタ...** とクリックします。

- 次に **パターン エディタ** ダイアログボックスで編集するパターンを選択し、**編集...** ボタンをクリックします。
- 次に **ユーザー パターン** ダイアログボックスで文字を選択して **プロパティ...** ボタンをクリックします。

開かれるダイアログボックスで：

- まず **文字** フィールドに、文字に対応するアルファベットを入力します。
- 次に **飾り文字** フィールドで、目的のフォント効果（太字、斜体、下付き文字、上付き文字）を指定します。

不正確に学習された文字を削除するには、**削除** ボタン（**ユーザー パターン** ダイアログボックス）をクリックします。

文書に多く専門用語が含まれている場合

ABBYY FineReader は、認識した単語を内蔵の辞書と照らし合わせて確認します。認識するテキストに特殊な用語、略語、名称が多数含まれている場合、それらを辞書に追加することにより、認識精度を高めることができます。

- [**ツール**] メニューで [**辞書を表示...**] をクリックします。
- [**ユーザー辞書**] ダイアログ ボックスで任意の言語を選択し、[**表示...**] をクリックします。
- [**辞書**] ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで、単語を入力して [**単語を追加**] をクリックするか、単語を選択して [**削除**] をクリックします。

追加しようとしている単語が辞書にすでに含まれている場合、その単語がすでに辞書に含まれていることを通知するメッセージが表示されます。

ABBYY FineReader の以前のバージョン (9.0、10、11、12 および 14) で作成されたユーザー辞書をインポートできます。

- [**ツール**] メニューで [**辞書を表示...**] をクリックします。
- [**ユーザー辞書**] ダイアログ ボックスで任意の言語を選択し、[**表示...**] をクリックします。
- [**辞書**] ダイアログ ボックスが開きます。このダイアログ ボックスで [**インポート...**] ボタンをクリックし、インポートする辞書ファイルを選択します (ファイルの拡張子は、*.pmd、*.txt、または *.dic である必要があります)。

プログラムが特定の文字を認識できない場合

ABBYY FineReader PDF 15 は、テキストの認識時に [文書の言語に関する](#)^[314] データを使用します。一般的でない要素（コード番号など）を伴う文書の場合、プログラムはその文書の言語に含まれていない文字を一部認識できないことがあります。そのような文書を認識させるため、必要な文字をすべて含んでいるカスタム言語を作成できます。また、[複数のOCR言語のグループを作成し、](#)^[208] 文書の認識時にそのグループを使用することもできます。

ユーザー言語の作成方法

1. まず **オプション** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。次に **言語** タブをクリックします。
2. 次に **新規...** ボタンをクリックします。
3. 開かれるダイアログボックスで **既存の言語に基づいて新しい言語を作成する** オプションを選択し、新しい言語のベースとして使用する言語を選択して **OK** をクリックします。
4. これによって **言語のプロパティ** ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで：
 - a. 新しい言語の名前を入力します。
 - b. ダイアログボックスで選択した **新しい言語またはグループ** 言語が **ソース言語** ドロップダウンリストに表示されます。このドロップダウンリストから別の言語を選択することもできます。
 - c. この **アルファベット** にはベース言語のアルファベットが含まれています。アルファベットを編集したい場合は、 ボタンをクリックします。
 - d. また、**辞書** オプショングループには、プログラムがテキストの認識や結果の確認で使用するオプションが複数含まれています：
 - **なし**
この言語には辞書がありません。
 - **組み込み辞書**
プログラムのビルトイン辞書が使用されます。
 - **ユーザー辞書**
次の **編集...** ボタンをクリックし、辞書の用語を指定するか、既存のカスタム辞書か Windows-1252エンコードによるテキストファイルをインポートします（用語はスペースまたはアルファベット以外の文字で区切る必要があります）。
 **ユーザー辞書からの単語は、認識されたテキストのスペルチェック時にスペルミスとしてマークされません。すべて小文字でも、すべて大文字でも、最初の文字だけ大文字でも構いません。**

辞書の単語

スペルチェック時にスペルミスと判断されない単語

abc	abc、Abc、ABC
Abc	abc、Abc、ABC
ABC	abc、Abc、ABC
Abc	aBc、abc、Abc、ABC

- この **正規表現** では、正規表現を使用したユーザー辞書を作成できます。

📌 以下も参照してください: [正規表現](#)³³⁵。

e. 言語には複数のプロパティを追加できます。プロパティを変更するには、**詳細...** ボタンをクリックして **言語の詳細プロパティ** ダイアログボックスを開き、以下を指定します：

- 単語の最初または最後の文字
- 単語とは別に表示されるアルファベット以外の文字
- 単語内に表示されることがあるものの、無視しなければならない文字
- この言語を使って認識されたテキストでは表示できない文字（禁止文字）
- テキストにアラビア数字、ローマ数字、略語が含まれている可能性がある **オプション**

5. これで、新しく作成された言語をOCR言語の選択時に選択できるようになります。

📌 OCR言語に関する詳細については [OCR言語](#)³¹⁴ を参照してください。

デフォルトでは、ユーザー言語はOCRプロジェクトのフォルダーに保存されます。また、すべてのユーザーパターンと言語を1つファイルとして保存することもできます。これを実行するには、**オプション** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。次に **OCR** タブをクリックし、**パターンと言語を保存...** ボタンをクリックします。

言語グループの作成

特定の言語の組み合わせを定期的に使用することになる場合は、利便性が高まるよう、その言語をグループにまとめてしてください。

1. まず **オプション** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。次に **言語** タブをクリックします。
2. 次に **新規...** ボタンをクリックします。
3. 次に **新しい言語またはグループ** ダイアログボックスで **新しい言語グループを作成する** オプションを選択し、**OK** をクリックします。

4. これによって **言語グループのプロパティ** ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、言語グループの名前を指定し、グループに含める言語を選択します。
 テキストに特定の文字が含まれていないことがわかっている場合は、その文字を「禁止文字」として明確に指定してください。この操作を行うと、OCRの速度と精度が向上します。そのような文字を指定するには、**詳細...** ボタン（**言語グループのプロパティ** ダイアログボックス）をクリックし、**禁止文字** フィールドに禁止文字を入力します。
5. 次に **OK** をクリックします。

新しいグループが [メインツールバーの言語のドロップダウンリスト](#) に¹⁷⁵表示されます。

デフォルトでは、ユーザー言語グループは [OCRプロジェクト](#) ¹⁸²のフォルダーに保存されます。また、すべてのユーザーパターンと言語を1つファイルとして保存することもできます。これを実行するには、**オプション** ダイアログボックスを開きます。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。次に **OCR** タブをクリックし、**パターンと言語を保存...** ボタンをクリックします。

ヒント。 メインツールバーの言語ドロップダウンリストで、言語グループを選択できます。

1. メインツールバーの言語ドロップダウンリストから **その他の言語...** を選択します。
2. 次に **言語エディタ** ダイアログボックスで **OCR 言語を手動で指定** オプションを選択します。
3. 目的のな言語を選択し、**OK** をクリックします。

縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合

認識されたテキストの一部について、テキストの向きが正しく検出されなかった場合、またはテキストが[反転している](#) ³⁶⁰ (すなわち、濃い色の背景に薄い色のテキストが印刷されている) 場合、そのテキストには多数のエラーが含まれている可能性があります。

この問題を解決するには

1. **[画像]** ウィンドウで、縦書きまたは反転したテキストを含むエリアまたは表のセルを選択します。
2. **[領域のプロパティ]** ペインで (ペインを表示するには、エリアを右クリックし、ショートカットメニューで**[プロパティ]** をクリックします)
 - **[CJK テキストの向き]** ドロップダウン リストからテキストの方向を選択します
または
 - **[反転済み]** ドロップダウン リストで **[反転]** を選択します。
3. OCR プロセスを再度実行します。

エリアに関する詳細は、「[エリアが正しく検出されない場合](#)」¹⁹²を参照してください。

テキストの確認と編集

OCR プロセスが完了すると、認識されたテキストは **[テキスト]** ウィンドウに表示されます。ユーザーが OCR エラーを簡単に見つけて修正できるように、信頼性が低いと認識された文字は強調表示されます。

認識したテキストは、**[テキスト]** ウィンドウで直接、または **[検証]** ダイアログ ボックスで変更できます (ダイアログ ボックスを開くには **[認識]** > **[テキストの検証]** をクリックします)。**[検証]** ダイアログ ボックスでは、信頼性が低い単語の見直し、スペル ミスの修正、およびユーザー 辞書への新しい単語の追加を行うことができます。

ABBYY FineReader では、出力文書の書式を変更することもできます。認識されたテキストの書式設定を行うには、**[テキスト]** ウィンドウのメイン ツールバーにあるボタン、または **[テキストのプロパティ]** ペインのボタンを使用します (ペインを表示するには、**[テキスト]** ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、ショートカット メニューで **[プロパティ]** をクリックします)。

✎ テキストを読み込む際、ABBYY FineReader はテキストで使用されているスタイルを識別します。識別されたすべてのスタイルは、**[テキストのプロパティ]** ペインに表示されます。スタイルを編集し、テキスト全体の書式を素早く変更することができます。認識したテキストを DOCX、ODT または RTF の形式で保存すると、既存のすべてのスタイルが保持できます。

✎ 以下も参照してください:

- [\[テキスト\] ウィンドウでのテキストの確認](#) ²¹¹
- [スタイルの使用](#) ²¹⁴
- [ハイパーリンクの編集](#) ²¹⁵
- [表の編集](#) ²¹⁶
- [機密情報の削除](#) ¹⁶¹
- [編集可能な文書の保存](#) ²²¹

認識されたテキストを確認

認識したテキストは、[\[テキスト\] ウィンドウ](#)^[211]で直接、または [\[検証\] ダイアログ ボックス](#)^[211]で編集できます (ダイアログ ボックスを開くには [\[認識\]](#) > [\[テキストの検証\]](#) をクリックします)。[\[検証\]](#) ダイアログ ボックスでは、信頼性が低い単語の見直し、スペル ミスの修正、およびユーザー辞書への新しい単語の追加を行うことができます。

[テキスト] ウィンドウでのテキストの確認

[テキスト] ウィンドウで、認識結果の確認、編集、および書式設定を行うことができます。

ウィンドウ左側のセクションにある [テキスト] ウィンドウのツールバーには、スペル チェックを行うボタンが含まれています。次または前の信頼性が低い単語または文字に移動するには、 /  ボタンを使用します。信頼性が低い文字が強調表示されていない場合は、[テキスト] ウィンドウのツールバーにある  ボタンをクリックします。

[テキスト] ウィンドウで信頼性が低い単語を確認するには

1. [テキスト] ウィンドウでその単語をクリックします。[\[画像\]](#) ウィンドウでその単語が強調表示されます。同時に、[\[ズーム\]](#) ウィンドウにその単語の拡大画像が表示されます。
2. 必要に応じて、[テキスト] ウィンドウで単語を修正します。

ヒント。  ボタンをクリックすると、キーボードにない記号を挿入できます。また、[\[検証\]](#) ダイアログ ボックスを使用することもできます。

この方法は、ソース文書と出力文書と比較する必要がある場合に便利です。

テキストの書式設定ツールは、

- [\[テキスト\]](#) ウィンドウのツールバーにあります。



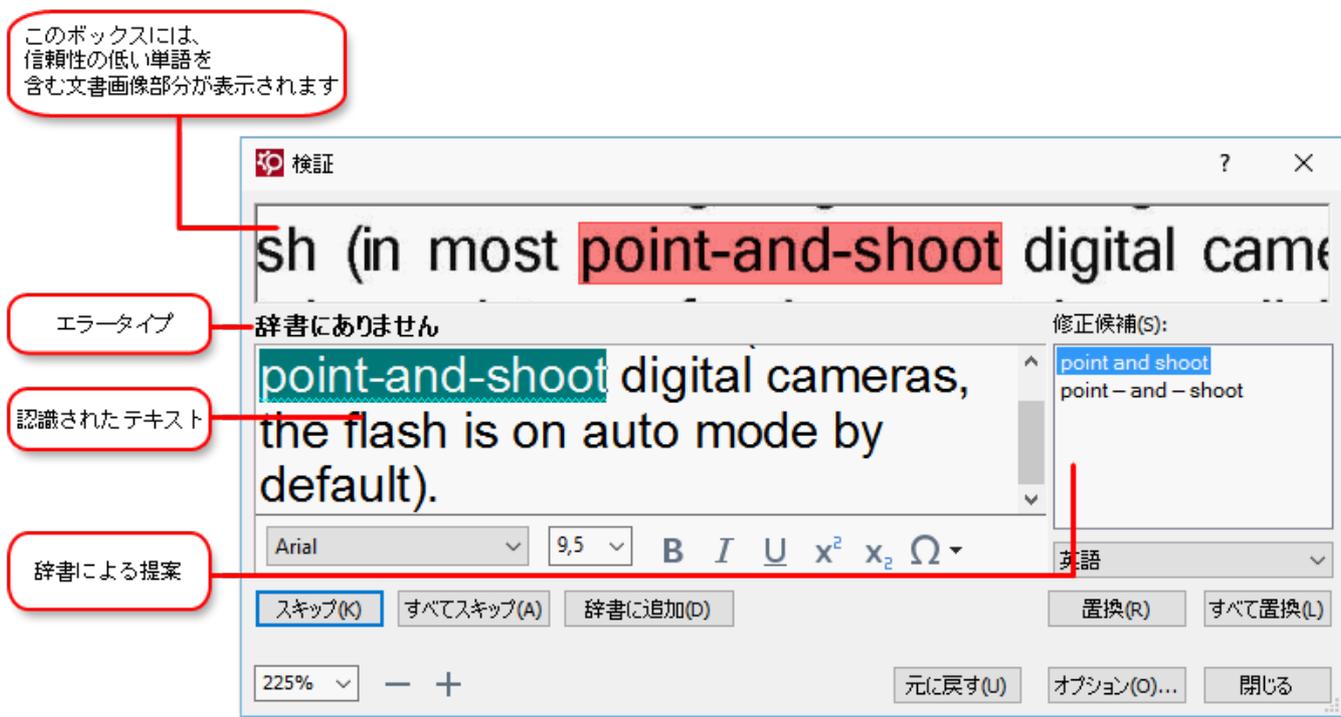
- [\[テキストのプロパティ\]](#) ペイン (このペインを表示するには、[\[テキスト\]](#) ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、ショートカットメニューで [\[プロパティ\]](#) をクリックします)

 [\[テキスト\]](#) ウィンドウが狭く、ペイン全体を表示できない場合は、 ボタンおよび  ボタンを使って [\[テキストのプロパティ\]](#) ペインを動かします。

 [メイン ウィンドウ](#)の外観を変更する方法、およびツールバーにある使用可能なツールについては、「[\[メイン ウィンドウ\]](#)^[174]セクションと「[\[ツールバー\]](#)^[175]」セクションをご覧ください。

[検証] ダイアログ ボックスでの認識済みテキストの確認

ABBYY FineReader は、信頼性が低い文字を含む単語を確認して修正できる [検証] ダイアログ ボックスを備えています。[検証] ダイアログ ボックスを開くには、メイン ツールバーで  をクリックするか、[認識] > [テキストの検証] をクリックします。



[検証] ダイアログ ボックスでは次の操作が可能です。

- 強調表示された単語を変更せずにスキップする [スキップ] をクリックすると、強調表示が解除されます。
- 強調表示された単語を修正候補の 1 つで置き換えます。右側のボックスにある修正候補を選択し、[置換] をクリックします。
- 強調表示された単語を辞書に追加するには、[辞書に追加] ボタンをクリックします。今後プログラムがこの言葉を検出した場合に、エラーとして扱うことはありません。
 **以下も参照してください:** [ユーザー辞書での作業](#)^[213]。
- フォントを変更し、文字飾りを適用します。
- キーボードにない文字をテキストに挿入します。キーボードにない文字を選択するには、 ボタンをクリックしてから [その他の記号...] をクリックします。[記号] ダイアログ ボックスで、[サブセット] ドロップダウンリスト (基本的なギリシャ文字または通貨記号など) から必要なサブセットを選択します。次に、挿入する文字をダブルクリックします。代わりに、[文字コード] ボックスでその文字の Unicode のコードを指定することもできます。

ヒント。 確認オプションを変更するには、[オプション...] をクリックします。

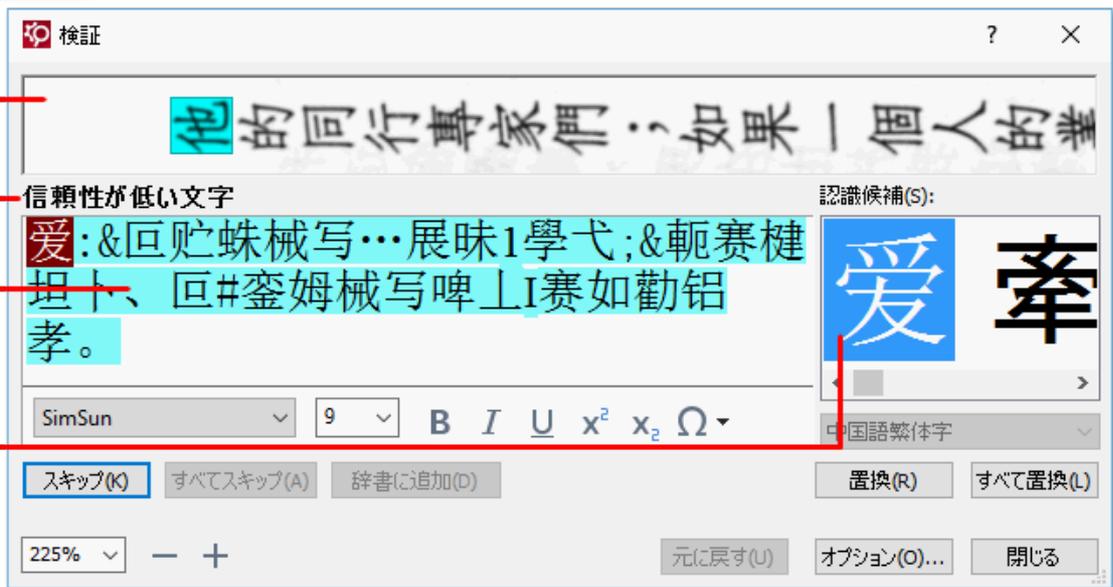
中国語、日本語、韓国語で書かれたテキストを確認する際、プログラムは信頼性が低い文字として認識された文字と外観が類似した文字について提案を行います。

このボックスには、信頼性の低い単語を含む文書画像部分が表示されます

エラータイプ

認識されたテキスト

辞書による提案



ユーザー辞書での作業

テキストを読み込む際、ABBYY FineReader は認識した単語を辞書と照らし合わせて確認します。テキストに特殊な用語、略語や固有名詞が多数含まれている場合、ユーザー辞書にそれらを追加することにより、OCR の品質を高めることができます。

✎ サポートされている言語^[304]の一部についてはユーザー辞書が使用できないことがあります。

ユーザー辞書に単語を追加するには、以下のいずれかの操作を行います。

- [認識] メニューで [テキストの検証] をクリックしてから、[検証] ダイアログ ボックスで [辞書に追加] をクリックします。
- [テキスト] ウィンドウで、追加する単語を右クリックし、ショートカットメニューで [辞書に追加] をクリックします。

✎ 単語を辞書に追加する際、正しい言語が選択されていることを確認してください。

スタイルの使用

テキストを認識する際、ABBY FineReader は元の文書で使用されているスタイルと書式を検出します。これらのスタイルと書式は出力文書で再現されます。[テキスト] ウィンドウで文書のスタイルの見直しおよび編集を行い、新しいスタイルを作成して、認識したテキストの書式を設定できます。

テキストの一部にスタイルを適用するには

1. [テキスト] ウィンドウでテキストの任意の部分を選択します。
2. ショートカットメニューで [プロパティ] をクリックします。
3. [テキストのプロパティ] ペインの [スタイル] リストから必要なスタイルを選択します。

📌 認識したテキストを DOCX、ODT または RTF の形式で保存すると、既存のすべてのスタイルが保持できます。

以下も参照してください: 「[編集可能な文書の保存](#)^[221]」。

スタイルの変更、作成、および結合

1. [ツール] メニューで [スタイル エディタ...] をクリックします。
2. [スタイル エディタ] ダイアログ ボックスで任意のスタイルを選択し、名前、フォント、フォント サイズ、文字ピッチ、縮尺を調整します。
3. 新しいスタイルを作成するには、[新規] をクリックします。新たに作成されたスタイルが既存のスタイルのリストに追加され、調整を行うことができます。
4. 複数のスタイルを 1 つに結合するには、結合するスタイルを選択し、[結合...] をクリックします。[スタイルの結合] ダイアログ ボックスで、選択したスタイルと結合するスタイルを指定します。
5. [OK] をクリックし、変更内容を保存します。

同じスタイルで印刷されたテキストの一部から別の一部に移動できます。[スタイル エディタ] で任意のスタイルを選択し、[前の部分] または [次の部分] をクリックします。

ハイパーリンクの編集

ABBY FineReader ではハイパーリンクを検出し、そのリンク先アドレスを出力文書で再生します。検出したハイパーリンクは下線が引かれ、青で表示されます。

認識した文書を [テキスト] ウィンドウで表示しているとき、ハイパーリンクの上にマウス ポインタを置くと、そのアドレスが表示されます。ハイパーリンクのリンク先に移動するには、ショートカット メニューで [ハイパーリンクを開く] をクリックするか、Ctrl キーを押しながらハイパーリンクをクリックします。

ハイパーリンクのテキストまたはアドレスを追加、削除、または変更するには

1. [テキスト] ウィンドウで、必要なハイパーリンクのテキストを選択します。
2. ハイパーリンクを削除するには、そのハイパーリンクを右クリックし、ショートカット メニューで [ハイパーリンクを削除] をクリックします。
3. ハイパーリンクを追加または変更するには、リンクのショートカット メニューで [ハイパーリンク...] をクリックするか、または [テキスト] ウィンドウの上部にあるメイン ツールバーで  をクリックします。[ハイパーリンクの編集] ダイアログ ボックスでは次の操作が可能です。
 - [表示するテキスト] フィールドでリンクのテキストを編集します。
 - [リンク先] グループでハイパーリンクの種類を選択または変更します。
 - インターネットのページにリンクするには、[Web ページ] を選択します。
[住所] フィールドで、ページのプロトコルと URL (<http://www.abby.com> など) を指定します。
 - ファイルにリンクするには、[ローカル ファイル] を選択します。
[参照...] をクリックし、ハイパーリンクのリンク先のファイル (例: file:///D:/MyDocuments/ABBY FineReaderGuide.pdf) を参照します。
 - ユーザーがハイパーリンクをクリックするだけで、ハイパーリンクに含まれるアドレスに電子メールメッセージを送信できるようにするには、[電子メール アドレス] を選択します。
[住所] フィールドで、プロトコルと電子メール アドレス (例: <mailto:office@abby.com>) を指定します。

表の編集

認識された表は **テキスト** ペインで編集できます。以下のコマンドを使用できます：

- 表のセルを結合させる
結合させたい表のセルをマウスで選択し、**領域** > **表のセルを結合** とクリックします。
- 表のセルを分割する
分割したい表のセルをクリックし、**領域** > **表のセルを分割** とクリックします。
 このコマンドは結合した表のセルにのみ適用できます。
- 表の行を結合させる
結合させたい表のセルをマウスで選択し、**領域** > **表の行を結合** とクリックします。
- セルのコンテンツを削除する
コンテンツを削除したいセルを選択し、**削除** キーを押します。

 デフォルトでは、表の編集ツールはツールバーに表示されません。表の編集ツールは、**ツールバーとショートカットのカスタマイズ** ダイアログボックスでツールバーに追加できます。このダイアログボックスを開くには、**表示** > **ツールバー** > **カスタマイズ...** とクリックします。

 ツールバーへのボタンの追加方法の詳細は [ツールバー^{\[175\]}](#) を参照してください。

機密情報の削除

この ABBYY FineReader PDF 15 では、認識されたテキストから機密情報を削除できます。

1. そのためには **ツール** > **編集モード** とクリックするか、 ボタン（**テキスト** ペイン上部にあるメインツールバー内）をクリックします。
2. 次に **テキスト** ペインで、削除したいテキストをマーカーで塗りつぶします。

ヒント。 間違って塗りつぶした場合は、**Ctrl+Z** と押すか、メインツールバーの **元に戻す** ボタンをクリックして、最後に実行した操作を取り消します。

3. 文書を保存します。

編集されたテキストは、出力文書ではドット（.）で表示されます。選択した保存形式がテキストや背景色に対応している場合、消されたテキストフラグメントは黒の長方形で表示されます。

編集モードを無効にするには、

- 再度 **ツール** > **編集モード** とクリックするか、
- メインツールバーの  ボタンを再度クリックします。

文書からのコンテンツのコピー

ABBYY FineReaderでは、テキスト、写真、表を文書からコピーして他のアプリケーションに貼り付けることができます。文書全体を認識したり編集可能な形式に変換せずに、スキャンしたページや画像からコンテンツをコピーできます。選択されたコンテンツはクリップボードにコピーされます。その後、クリップボードからの貼り付けをサポートしているアプリケーションに貼り付けることができます。

コンテンツをコピーするには：

1. まず 、、 または  ツール（**画像** ペイン）を使い、コピーしたい文書のフラグメントを選択します。
2. そのフラグメントを右クリックし、ショートカットメニューで **テキストの認識およびコピー** をクリックするか、ポップアップツールバーの  ボタンをクリックします。
3. 別のアプリケーションにコンテンツを貼り付けます。

複数のページを保存するには：

1. ページを **ページ** ペインで選択します。
2. 選択したページを右クリックし、**名前を付けて保存** をクリックして目的の形式を選択するか、**送信先** を選択して、認識されたページの挿入先となるアプリケーションを選択します。

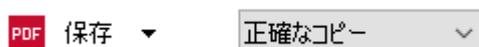
OCR結果の保存

OCR結果は、ファイルに保存するだけでなく、別のアプリケーションやPDFエディターに送信したり、クリップボードにコピーしたり、電子メールで送信することができます。OCR結果をKindle.comに送信し、Kindle形式に変換してKindleデバイスにダウンロードできるようにすることも可能です。文書全体でも、一部のページだけでも保存できます。

 **必ず、保存をクリックする前に適切な保存オプションを選択してください。**

認識されたテキストを保存するには：

- 1 メインツールバーで、**保存** ボタンの横にある矢印をクリックし、文書の保存モードと保存するページオブジェクトを選択します。



 各モードの下に、利用可能なファイル形式が表示されています。

保存モードには以下の5つがあります：

- **正確なコピー** 元の文書の形式に対応する形式の文書を生成します。販促用パンフレットなど、複雑な形式の文書に最適です。ただし、このオプションでは出力文書のテキストと形式の変更能力が制限されますのでご注意ください。
 - **編集可能コピー** 元の文書とは若干異なる形式の文書を生成します。このモードで生成された文書は編集が簡単です。
 - **フォーマット済みテキスト** フォント、フォントサイズ、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確なスペースや場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えになります（右から左に書かれるスクリプトのテキストは右揃えになります）。
 このモードでは、縦書きのテキストが横書きに変更されます。
 - **プレーンテキスト** テキストの書式設定は保持されません。
 - **柔軟なレイアウト** 技術的に可能な限り元の文書に近い位置にオブジェクトを配置したHTML文書を生成します。
- 2 まず **書式設定**^[290] タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、目的の保存オプションを選択し、**OK** をクリックします。
 - 3 次に **メインツールバー**^[175] で、**保存** ボタンの右にある矢印をクリックして適切なオプションを選択するか、**ファイル** メニューのコマンドを使用します。

 ABBYY FineReaderでは、ページを画像として保存できます。以下も参照してください：[画像の保存](#)^[226]。

サポートされているアプリケーション：

- Microsoft Word 2016（16.0）、2013（15.0）、2010（14.0）、2007（12.0）
- Microsoft Excel 2016（16.0）、2013（15.0）、2010（14.0）、2007（12.0）

- Microsoft PowerPoint 2016 (16.0) 、2013 (15.0) 、2010 (14.0) 、2007 (12.0)
- Apache OpenOffice Writer 4.1
- LibreOffice Writer 5.1
- Adobe Acrobat/Reader (8.0以降のバージョン)

📌 ABBYY FineReaderと上記のアプリケーションとの間で最高の互換性を実現できるよう、アプリケーションの最新アップデートをインストールするようにしてください。

📌 以下も参照してください: :

- [PDFでの保存](#)  ²²⁰
- [編集可能文書の保存](#)  ²²¹
- [表の保存](#)  ²²³
- [電子書籍の保存](#)  ²²⁴
- [HTMLでの保存](#)  ²²⁵
- [ページの画像の保存](#)  ²²⁶
- [OCR結果をPDFエディターに送信](#)  ²²⁰
- [OCR結果を電子メールで送信](#)  ²²⁸
- [OCR結果をKindleに送信](#)  ²²⁹

PDFでの保存

ABBY FineReaderでは、PDF文書全体、または特定のページを保存できます。保存には複数のオプションがあります。

- ユーザーがコンテンツを選択、コピー、編集できるPDF文書を保存するには、メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの **横にある矢印**を^[175]クリックし、**検索可能PDF文書**を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > 検索可能なPDFとして保存...**とクリックします。文書が検索可能なPDFとして保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**PDF**^[290] タブで目的の保存オプションを選択します。
- ユーザーがコンテンツを選択、コピー、編集できないPDF文書を保存するには、メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの **横にある矢印**を^[175]クリックし、**画像のみのPDF文書**を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 画像のみのPDFとして保存...**とクリックします。文書が画像のみのPDFとして保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**PDF**^[290] タブで目的の保存オプションを選択します。

☑ 文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > 検索可能PDF文書**（または **画像のみのPDF文書**）とクリックします。

💡 また、**書式設定**^[290] > **PDF** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...**とクリックします。

編集可能文書の保存

ABBY FineReaderでは、OCR結果を編集可能形式で保存できます。形式を選択する際は、文書の使用方法を検討してください。

- [DOC\(X\)/RTF/ODTで文書を保存する](#)^[221]
- [PPTXで文書を保存する](#)^[221]
- [プレーンテキスト \(TXT\) を保存する](#)

DOC(X)/RTF/ODT

DOCX/RTF/ODTでテキストを保存する

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある [矢印をクリックし](#)^[175]、**Microsoft Word 文書**、**RTF文書** または **ODT文書** を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存** をクリックして、必要な形式を選択します。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、[DOC\(X\)/RTF/ODT](#)^[295] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > Microsoft Word ドキュメント** とクリックします。**RTF ドキュメント ODT 文書**

 また、[書式設定](#)^[290] > **DOC(X) / RTF / ODT** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

PPTX

テキストをPPTX形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある [矢印をクリックし](#)^[175]、**Microsoft PowerPointプレゼンテーション** を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > Microsoft PowerPoint プレゼンテーション** とクリックします。

文書がPPTX形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、[PPTX](#)^[298] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > Microsoft PowerPoint プレゼンテーション** とクリックします。

 また、[書式設定](#)^[290] > **PPTX** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

TXT

テキストをTXT形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある **矢印をクリック**^[175]、**TXT文書**を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...**を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > TXT ドキュメント**とクリックします。

文書がTXT形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**TXT**^[299] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > テキスト ドキュメント**とクリックします。

 また、**書式設定**^[290] > **TXT** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

表の保存

ABBY FineReaderでは、表をXLS、XLSX、CSV形式で保存できます。

XLSおよびXLSX

テキストをXLSまたはXLSX形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある [矢印をクリックし](#)^[175]、**Microsoft Excel** ワークブックを選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > Microsoft Excel** ワークブックとクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、[XLS\(X\)](#)^[297] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > Microsoft Excel** ワークブックとクリックします。

 また、[書式設定](#)^[290] > **XLS(X)** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

CSV

テキストをCSV形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある [矢印をクリックし](#)^[175]、**csv文書** を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > csv文書**

文書がCSV形式で保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、[CSV](#)^[298] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > csv** ドキュメントとクリックします。

 また、[書式設定](#)^[290] > **csv** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

電子書籍の保存

ABBYY FineReader PDF 15 では、紙の書籍をスキャンしてEPUB、FB2、DjVu形式に変換できます。生成された電子書籍は、iPadをはじめとするタブレットやその他のモバイルデバイスで読むことができるほか、[Kindle.com アカウント](https://www.amazon.com)に²²⁹⁾アップロードすることもできます。

☑ 電子書籍はHTML形式で保存することも可能です。詳細は [HTMLでの保存](#)²²⁵⁾ を参照してください。

FB2またはEPUBでの保存

テキストをFB2またはEPUB形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある矢印をクリックし、**FB2文書** または **EPUB文書** を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、**他の形式で保存...** をクリックして、必要な形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > FB2文書**（または **EPUB文書**）とクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**EPUB/FB2**³⁰¹⁾ タブで目的の保存オプションを選択します。

☑ 文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > Electronic Publication (EPUB)**（または **FictionBook (FB2)**）とクリックします。

💡 また、**書式設定**²⁹⁰⁾ > **EPUB / FB2** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

DjVuでの保存

テキストをDjVu形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある¹⁷⁵⁾ 矢印をクリックし、**DjVu文書** を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > DjVu ドキュメント** とクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、「保存」ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**DjVu**³⁰²⁾ タブで目的の保存オプションを選択します。

☑ 文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > DjVu ドキュメント** とクリックします。

💡 また、**書式設定**²⁹⁰⁾ > **DjVu** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

HTMLでの保存

テキストをHTML形式で保存するには：

- メインツールバーの **名前を付けて保存** ボタンの横にある **矢印をクリックし**^[175]、**HTML文書**を選択します。必要な形式がリストに表示されない場合は、開かれるダイアログボックスで **他の形式で保存...** を選択し、目的の形式を選択します。または、**ファイル > 名前を付けて保存 > HTML ドキュメント** とクリックします。

指定した形式で文書が保存されます。保存オプションを変更するには、保存ダイアログボックスで **オプション...** ボタンをクリックし、**HTML**^[300] タブで目的の保存オプションを選択します。

文書の一部のページのみ保存する場合は、**ページ** ペインで保存するページを選択し、ショートカットメニューで **名前を付けて保存 > HTML ドキュメント** とクリックします。

 また、**書式設定**^[290] > **HTML** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で、追加の保存オプションを選択できます。このダイアログボックスを開くには、**ツール > オプション...** とクリックします。

画像の保存

ABBY FineReaderでは、スキャンも含め、認識されたテキストとページ画像の両方を保存できます。

画像を保存するには：

1. まず **ページ** ペインで、保存するページを選択します。
2. 次のようにクリックします：**ファイル > 名前を付けて保存 > ページ画像...**
3. 開かれるダイアログボックスで、ファイルの保存先となるディスクとフォルダーを選択します。
4. 画像を保存する形式を選択します。
 - 💡 複数のページを1つのファイルに保存する場合はTIFF形式を選択し、**全ページの1つのファイルを作成**を選択します。
 - 📄 詳細は [サポートされている画像形式](#)^[31]を参照してください。
5. ファイル名を指定し、**保存**をクリックします。

ヒント。 TIFFで保存する場合は画像形式と圧縮方法を選択できます。画像圧縮を行えば、ファイルサイズを縮小できます。画像圧縮で使用される方法はそれぞれ圧縮率とデータロスが異なります。圧縮方法を選択する際は、圧縮後の画像品質とファイルサイズが2大要因となります。

ABBY FineReaderで提供されている圧縮方法は以下のとおりです：

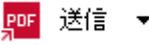
- **ZIP** データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは、単色の大きなセクションが含まれている画像に使用されます。たとえば、スクリーンショットや白黒画像に適しています。
- **JPEG** この圧縮アルゴリズムは、写真などのグレーおよびカラー画像に使用されます。この方法では高密度の圧縮が可能ですが、データロスと画像品質の低下（不鮮明な輪郭と色彩の劣化）を引き起こします。
- **CCITT Group 4** データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは、グラフィカルプログラムやスキャン画像で作成された白黒画像での使用が一般的です。**CCITT Group 4** は、事実上すべての画像で使用できる一般的な圧縮方法です。
- **Packbits** データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムは白黒スキャンに使用されます。
- **LZW** データロスは発生しません。この圧縮アルゴリズムはグラフィックデザインやグレースケール画像で使用されます。

画像のみのPDFに保存する場合、プログラムは [書式設定](#)^[29] > **PDF** タブ（**オプション** ダイアログボックス）で指定したパラメーターを使用します。このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます。

OCR結果をPDFエディターに送信

ABBYY FineReaderでは、OCR結果をOCRエディターから [PDFエディター](#) に送信できます。送信後は、メモやコメントを文書に追加したり、ABBYY FineReaderがPDF文書での作業用に提供しているその他の機能を使用できます。

OCR結果をPDFエディターに送信するには：

- ツールバーで、 ボタンの横にある矢印をクリックし、以下を選択します：**PDFエディターに送信...**
- 次のようにクリックします：**ファイル > 送信先 > PDFエディタ...**

PDFエディターで文書の作業が終了した後は、文書をOCRエディターに送り返すことができます。これを実行するには、OCRエディターウィンドウ上部のツールバーで  ボタンの横にある矢印をクリックし、ドロップダウンリストから **OCRエディタで認識、検証する** を選択します。文書の一部のページのみを送信する場合は、**ページ** ペインで送信したいページを選択して右クリックし、ショートカットメニューで **選択したページをOCRエディタに送信** をクリックします。

 OCRエディターに送り返す場合、以下の文書オブジェクトは失われます：

- 添付ファイル
- ブックマーク
- コメント
- 注釈

OCR結果を電子メールで送信

ABBYY FineReader を利用すると、HTML を除く [サポートされているいずれかの形式で](#)³¹¹ 認識結果をメール送信できます。

文書をメール送信するには

1. [ファイル] メニューで [電子メール] > [ドキュメント...] をクリックします。
2. 表示されたダイアログ ボックスで以下を選択します。
 - 文書を保存する形式
 - 次の保存オプションのうちいずれか 1 つ。すべてのページを 1 つのファイルに保存する、各ページを個別のファイルに保存する、または空白ページに基づいて文書をファイルに分割する
3. [OK] をクリックします。添付ファイルのある電子メール メッセージが作成されます。受信者を指定して、メッセージを送信します。

また、文書ページの画像を電子メールで送信することもできます。

ページ画像を送信するには

1. [ファイル] メニューで [電子メール] > [画像...] をクリックします。
2. 表示されたダイアログ ボックスで以下を選択します。
 - 文書を保存する形式
 - 複数ページのファイルとして画像を送信する必要がある場合は、**[複数ページの画像ファイルとして送信する]** を選択します。
3. [OK] をクリックします。ファイルが添付された電子メール メッセージが作成されます。受信者を指定して、メッセージを送信します。

OCR結果をKindleに送信

ABBYY FineReader では、認識結果を Kindle.com のサーバーに電子メールで送信できます。Kindle.com に送信された結果は Kindle 形式に変換され、ご使用の Kindle 機器にダウンロードできるようになります。

 この機能を使用するには、Kindle.com の Kindle アカウントが必要です。

1. [メイン ツールバー](#)^[175] の [保存] ボタンの横にある矢印をクリックし、[Amazon Kindleに送信...] をクリックします。
2. 次の項目を指定します。
 - Kindle アカウントのアドレス
 - 次の保存オプションのうちいずれか 1 つ。すべてのページを 1 つのファイルに保存する、各ページを個別のファイルに保存する、または空白ページに基づいて文書をファイルに分割する
 - ファイル名
3. [OK] をクリックします。

添付書類付きの電子メール メッセージが作成されます。この電子メール メッセージを Kindle.com に送信すると、まもなく変換済みのファイルが作成されて、ご使用の Kindle 機器にダウンロードできるようになります。

その他のアプリケーションとの統合

ABBYY FineReaderはWindows Explorerと統合してPDF文書、Office文書、画像ファイルの処理を、それらを右クリックするだけで実行できます。

ABBYY FineReader PDF をMicrosoft Officeと統合することで、PDF文書を作成したり、直接Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Microsoft Outlookから文書の変換や比較を起動することができます。

Microsoft SharePointサーバーに保存されているPDF文書に変更を加えて保存することもできます。FineReader PDFモバイルアプリケーションを使用して文書を作成し、コンピュータ上のFineReaderPDFで引き続き作業したり、OneDrive、Googleドライブ、DropboxなどのクラウドストレージクライアントからのPDF文書を処理したりできます。

本章の内容

- [Windows Explorerとの統合](#) ²³¹
- [Microsoft Officeとの統合](#) ²³⁴
- [Microsoft SharePointとの統合](#) ²⁴⁵
- [モバイルアプリケーションとの統合](#) ²⁴⁵
- [クラウドストレージ](#) ²⁵⁰

Windows Explorerとの統合

ABBYY FineReaderはWindows Explorerと統合されます。その結果、ABBYY FineReaderのコマンドは、サポートされる形式のファイルを右クリックすると [表示されます](#)^[311]。このため、PDF文書を開き、OCRを画像ファイルに実行し、ファイルを変換したり、複数のファイルを1つのPDFに組み合わせたり、ファイルを比較したりできます。

Windows Explorerから直接PDFを開いて処理するには：

1. Windows Explorerで1つまたは複数のPDFファイルを選択します。
2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します：
 - **ABBYY FineReader PDF 15 で編集する** PDFエディターでPDFを開く
 - ☑ PDFエディターでPDF文書の作業を実行する方法の詳細については [PDF文書での作業を参照してください](#)^[51]。
 - **ABBYY FineReader PDF 15 で変換する** - PDFファイルを様々な形式に変換します：
 - 検索可能な PDF 文書に変換する
 - 画像のみの PDF 文書に変換する
 - Microsoft Word ドキュメントに変換
 - Microsoft Excel 文書に変換する
 - 他のフォーマットに変換する
 - **OCRエディタで開く** PDFファイルをOCRエディターで開く。
 - ☑ OCRエディターでの作業に関する詳細は、[OCRエディターの操作を参照します](#)^[173]。
 - ☑ Windows 10複数のファイルを選択して、ショートカットメニューで **ABBYY FineReader PDF 15 で変換する** をクリックすると **新規タスク** ウィンドウでタスクを開始します。使用可能な変換設定に関する詳細情報は以下を参照してください：[PDF文書の作成](#)^[23]、[Microsoft Word 文書の作成](#)^[25]、[Microsoft Excel 文書の作成](#)^[27]、[その他の形式](#)^[28]。
 - **次と比較する...** ABBYY ドキュメントの比較 アプリケーションでPDFファイルを開く。
 - ☑ 文書の比較に関する詳細情報は、以下を参照してください：[ABBYY ドキュメントの比較](#)^[260]。
 - **単一の PDF に結合する...** 複数のファイルを1つのPDFに結合。
 - **ドキュメントの比較...** 同じドキュメントの2つのバージョンの比較。

Windows Explorerから直接編集可能な形式のファイル进行处理：

1. Windows Explorerで編集可能な形式のファイルを選択します。
2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します：

- **ABBYY FineReader PDF 15によるPDFへの変換...** ファイルをPDFに変換。
Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPointファイルからPDF文書を作成する際、ABBYY FineReaderは元の文書の構造、ブックマーク、強調表示を保持します。
- **PDFに変換して、送信する...** ファイルをPDFに変換し、電子メールメッセージにそれらを添付します。
- **次と比較する...** ABBYY ドキュメントの比較 アプリケーションでPDFファイルを開きます。
- **単一の PDF に結合する...** 複数のファイルを1つのPDFに結合。
- **ドキュメントの比較...** 同じドキュメントの2つのバージョンの比較。

Windows Explorerから直接画像ファイル进行处理するには：

1. Windows Explorerで画像ファイルを選択します。
2. ファイルを右クリックして、以下のコマンドのいずれかを選択します：
 - **ABBYY FineReader PDF 15 で変換する** 画像ファイルをさまざまな形式に変換します。
 - 検索可能な PDF 文書に変換する
 - 画像のみの PDF 文書に変換する
 - Microsoft Word ドキュメントに変換
 - Microsoft Excel 文書に変換する
 - 他のフォーマットに変換する
 - **OCRエディタで開く** 画像ファイルをOCRエディターで開きます。
 - **単一の PDF に結合する...** 複数のファイルを1つのPDFに結合。
 - **次と比較する...** ABBYY ドキュメントの比較 アプリケーションで画像ファイルを開く。

 選択されたファイルの数と形式によりコマンドは実際にはWindows Explorerのショートカットメニューで利用可能です。

ABBYY FineReaderコマンドがWindows Explorerのショートカットメニューに表示されない場合には...

ABBYY FineReaderコマンドがWindows Explorerのショートカットメニューに表示されないのは、ABBYY FineReaderとWindows Explorerを統合しないことがプログラムのインストール時に選択されたためです。

ABBYY FineReaderとWindows Explorerを統合する：

1. をクリックします [スタート] > **設定** > **コントロール パネル**（または次のようにクリックします： [スタート]  > **オプション** > **システム** > **アプリケーション** Windows 10の場合) そして、をクリックします **プログラムと機能**。
2. インストールされたアプリケーションのリストで **ABBYY FineReader** 次のようにクリックします： **変更/削除**。
3. セットアッププログラムで表示される指示に従います。

Microsoft Officeとの統合

ABBY FineReaderをインストールすると、Microsoft Officeと統合されます。その結果、Microsoft Word、Microsoft Excel、Microsoft PowerPoint、Microsoft Outlookに**ABBY FineReader PDF 15**のアドインが表示され、PDF文書の作成ができるようになり、これらのアプリケーションから直接変換や文書の比較を起動することができるようになります。

📌 タブの機能はアプリケーションにより異なります。

📌 統合は、Microsoft Office 365およびMicrosoft Office 2019のどちらとも実行されます。

ABBY FineReader PDF 15のリボンタブがMicrosoft Officeツールバーで見つからない場合

Microsoft Officeのパラメータで対応するアドインを有効にしていなければ、**ABBY FineReader PDF 15**リボンタブがアプリケーションのツールバーに表示されないことがあります。その場合は以下の手順に従ってください（Microsoft Wordを使用している場合）：

- **Wordのオプションウィンドウ（ファイル > オプション）**で、**アドインタブ**を開きます。次に **管理**ドロップダウンリストから**COMアドイン**を選び、**設定...**をクリックします。表示されたダイアログボックスで、**ABBY FineReader 15 MSWord COMアドイン**を選び、**OK**をクリックします。

これにより、**ABBY FineReader PDF 15**リボンタブがMicrosoft Wordのツールバーに表示されます。

ABBY FineReader 15 MSWord COMアドインオプションがCOMアドインのダイアログで見つからない場合は、Microsoft Office統合がABBY FineReaderのインストール中に無効にされたか、削除されている可能性があります。

アドインをインストールするには、以下の手順に従います：

1. **プログラムと機能**に移動します（[スタート] > **設定** > **コントロール パネル**または[スタート]  > **オプション** > **システム** > **アプリケーション** Windows 10の場合）。
2. インストールされているプログラムのリストで**ABBY FineReader PDF 15**を選んで**変更/削除**をクリックします。
3. **カスタムインストレーションダイアログ**で、適切なコンポーネントを選択します。
4. その後で**設定ウィザード**の指示に従います。

このセクションの内容：

- [Microsoft Wordとの統合](#) ^[235]
- [Microsoft Excelとの統合](#) ^[239]
- [Microsoft PowerPointとの統合](#) ^[241]

- [Microsoft Outlookとの統合](#) ²⁴³

Microsoft Wordとの統合

Microsoft Wordと統合することで、次のことが簡単にできるようになります：Word文書でPDFファイルを作成してメールで送信する、画像ファイルや紙の文書からWordを作成する、Microsoft Wordから直接Word文書を前のバージョンと比較する。

1. Microsoft Wordで必要なWord文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15** ツールバーで、以下のいずれかをクリックします：
 - **PDFの作成**でアクティブなWord文書を使ってPDF文書を作成し、保存する
 - **PDFを作成してメールで送信する**でアクティブなWord文書を使ってPDF文書を作成し、メールで送信する
 - **Wordへスキャン**でスキャナーまたはカメラを使ってWord文書を作成する
 - **Wordに変換**で画像ファイルを使ってWord文書を作成する
 - **文書と比較する...**でアクティブなWord文書を以前のバージョンと比較する

このセクションの内容:

- [Word文書を使ったPDF文書の作成](#) ²³⁶
- [画像ファイルを使ったWord文書の作成](#) ²³⁷
- [Word文書の比較](#) ²³⁸

Word文書を使ったPDF文書の作成

Word文書を使ってPDF文書を作成する方法

PDF文書を作成して保存する手順は以下のとおりです：

1. Microsoft Wordで必要なWord文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで、**PDFの作成**をクリックします。
3. 表示されるダイアログボックスで：
 - a. 出力するPDF文書の名前とフォルダを指定します。
 - b. 出力文書をPDFビューワーで開く場合は**ドキュメントを開く**を選択します。
 - c. **保存**をクリックします。

☑ 必要があれば、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**プリファレンス**をクリックして、[PDF作成設定を指定します](#)^[236]。

これにより、指定した設定で現在のWord文書をPDF文書として保存します。

Word文書を使ってPDF文書を作成し、メールで送信する方法

PDF文書を作成してメールで送信するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Wordで必要なWord文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**PDFを作成してメールで送信する**をクリックします。

これによりPDF文書が新しい空のメールに添付されます。

☑ 必要であれば、PDF文書の作成に使用するページ範囲を指定することもできます。それには、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで**プリファレンス**をクリックし、表示されたダイアログボックスで**指定するページを開く**を選択します。このオプションを有効にすると、新しいPDF文書を作成する際にページ選択のダイアログが表示されるようになります。また、他の[PDF作成設定を指定することもできます](#)^[236]。

Word文書のPDF作成設定

このダイアログには以下の設定が含まれています：

• PDF/Aの作成

PDF/A準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。右側のドロップダウンリストから必要なPDF/Aタイプを選びます。

• PDF/UAの作成

PDF/UA準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。こうした文書の表示は元の文書と異なる場合があります。

• パスワード保護文書

無断でPDF文書が閲覧・印刷・編集されないよう保護するためのパスワードを設定する場合は、このオプションを選択します。次に**設定...**をクリックし、**表示されたダイアログボックスで**¹⁶⁰適切なセキュリティパラメータを指定します。

• PDFタグの作成

PDF文書を作成すると、PDFタグも自動的に生成されます。

テキストや画像のほかに、PDFファイルには文書の構造に関する論理構造、イラスト、表などの情報を含むことができます。この情報はPDFタグの形で保存され、例えば携帯デバイスのように画面のサイズが変わってもPDF文書を快適に閲覧できるようにします。

• 見出しからブックマークを作成

PDF文書を作成すると、文書の構造に基づいて目次が作成されます。

• 次のページに適用する

PDF文書を作成する際に指定されたページが使われます。

○ すべて

このオプションを選択すると、すべてのページを使ってPDF文書を作成します。

○ 指定するページを聞く

新しいPDF文書を作成する際、毎回ページ選択ダイアログボックスが表示されます。

画像ファイルを使ったWord文書の作成

画像ファイルや紙の文書を使ってWord文書を作成するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Wordを起動します。
2. **ABBYY FineReader PDF 15** ツールバーで次のいずれかをクリックします：
 - **Wordへスキャン**でスキャナーやカメラを使ってWord文書を作成します。
これにより、ABBYY FineReader PDF 15のスキャナー画像変換ダイアログボックスが開きます。このダイアログボックスで、必要となる**スキャン設定やパラメータをすべて指定**⁴⁴¹し、必要な画像をスキャンします。
 - **Wordに変換**で画像ファイルを使ってWord文書を作成します。
表示されるダイアログボックスで以下を指定します：
 1. **文書の言語**。詳しくは、**認識言語**³¹⁴を参照してください。
 2. **文書レイアウト**⁴⁴¹。出力文書の用途に合わせて必要な設定を選択します。
 3. オプションをクリックして**オプションダイアログ**（ツール > オプション...）の**DOC(X)/RTF/ODT**²⁹⁵ブックマークで**書式設定**²⁹⁰を開き、追加のオプションを指定します。
 4. **OK**をクリックします。

表示されるダイアログボックスで必要な画像をすべて選択して変換の終了を待ちます。

出力されたMicrosoft Word文書が画面に表示されます。必要な変更を行って、文書を保存します。

Word文書の比較

Word文書を以前のバージョンと比較するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Wordで必要なWord文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15** ツールバーで次をクリックします：**文書を比較する...**
3. これにより、指定された文書がABBYY Compare Documentsのウィンドウで開きます。次に、比較する2番目の文書を選択します。文書の比較に関する詳しい情報は、[文書の比較をご覧ください](#)^[262]。

Microsoft Excelとの統合

Microsoft Excelと統合することで、Excel文書から簡単にPDF文書を作成したり、それを直接Microsoft Excelからメールで送信することができます。

Excel文書を使ってPDF文書を作成する方法

PDF文書を作成して保存する手順は以下のとおりです：

1. Microsoft Excelで必要な文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**PDFの作成をクリック**します。
3. 表示されたダイアログボックスで、以下のことを行います：
 - a. 出力するPDF文書の名前とフォルダを指定します。
 - b. 出力文書をPDFビューワーで開く場合は**ドキュメントを開く**を選択します。
 - c. **保存**をクリックします。

 必要があれば、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**プリファレンス**をクリックして、[PDF作成設定を指定](#)します^[239]。

これにより、指定した場合に指定フォルダへPDF文書を保存して、それをPDFビューワーで開きます。

Excel文書を使ってPDF文書を作成し、メールで送信する方法

PDF文書を作成してメールで送信するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Excelで必要な文書を作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**PDFを作成してメールで送信する**をクリックします。

これによりPDF文書が新しい空のメールに添付されます。

 必要であれば、文書の特定のシートを指定してPDF文書を作成することもできます。それには、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで**プリファレンス**をクリックし、表示されたダイアログボックスで**指定するスプレッドシートを開く**を選択します。このオプションを有効にすると、新しいPDF文書を作成する際に毎回シート選択ダイアログが表示されます。また、他の[PDF作成設定を指定することもできます](#)^[239]。

Excel文書のPDF作成設定

このダイアログには以下の設定が含まれています：

• PDF/Aの作成

PDF/A準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。右側のドロップダウンリストから必要なPDF/Aタイプを選びます。

- **PDF/UAの作成**

PDF/UA準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。こうした文書の表示は元の文書と異なる場合があります。

- **パスワード保護文書**

無断でPDF文書が閲覧・印刷・編集されないよう保護するためのパスワードを設定する場合は、このオプションを選択します。次に**設定...**をクリックし、表示されたダイアログボックスで[適切なセキュリティパラメータ](#)¹⁶⁰を指定します。

- **次のスプレッドシートに適用する**

アクティブなシート、すべてのシート、選択した領域など、指定したシートだけでPDF文書を作成する場合にはこのオプションを選びます。PDF文書を作成する際に常にシート選択ダイアログを表示したい場合は**指定するスプレッドシートを聞く**を選択します。

Microsoft PowerPointとの統合

Microsoft PowerPointと統合することで、Microsoft PowerPointのプレゼンテーションを使って簡単にPDF文書を直接PowerPointから作成することができます。

PowerPointのプレゼンテーションを使ってPDF文書を作成する方法

PDF文書を作成して保存する手順は以下のとおりです：

1. Microsoft PowerPointで必要なプレゼンテーションを作成、もしくは開きます。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで、**PDFの作成**をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで、以下のことを行います：
 - a. 出力するPDF文書の名前とフォルダを指定します。
 - b. 出力文書をPDFビューワーで開く場合は**ドキュメントを開く**を選択します。
 - c. **保存**をクリックします。

必要であれば、PDFファイルを作成するスライドの番号を指定します。それには、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで**プリファレンス**をクリックし、表示されたダイアログボックスで**指定するスライドを聞く**を選択します。このオプションを有効にすると、新しいPDF文書を作成する際に毎回スライド選択ダイアログが表示されるようになります。また、他の**PDF作成設定を指定することもできます**^[241]。

これにより指定のフォルダに出力PDF文書が保存され、PDFビューワーから開けるようになります。

PowerPointプレゼンテーションのPDF作成設定

このダイアログには以下の設定が含まれています：

- **スピーカーノートを変換する**
作成者のコメントを保存するには、このオプションを選択します。
- **非表示のスライドも含める**
PDF文書を作成する際、非表示のスライドを自動的に保存するにはこのオプションを選択します。
- **PDF/Aの作成**
PDF/A準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。右側のドロップダウンリストから必要なPDF/Aタイプを選びます。
- **PDF/UAの作成**
PDF/UA準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。こうした文書の表示は元の文書と異なる場合があります。
- **パスワード保護文書**
無断でPDF文書が閲覧・印刷・編集されないよう保護するためのパスワードを設定する場合は、このオプションを選択します。次に**設定...**をクリックし、表示されたダイアログボックスで**適切なセキュリティパラメータ**^[160]を指定します。

• PDFタグの作成

PDF文書を作成すると、PDFタグも自動的に生成されます。

テキストや画像のほかに、PDFファイルには文書の構造に関する論理構造、イラスト、表などの情報を含むことができます。この情報はPDFタグの形で保存され、例えば携帯デバイスのように画面のサイズが変わってもPDF文書を快適に閲覧できるようにします。

• 次のスライドに適用する

PDF文書を作成する際に指定したスライドが使われます。

○ すべて

このオプションを選択すると、すべてのスライドからPDF文書を作成されます。

○ 指定するスライドを聞く

新しいPDF文書を作成する際に、毎回スライド選択ダイアログが表示されます。

 **指定するスライドを聞く**オプションは**スピーカーノートを変換する**オプションが選択されていない場合に限り利用できます。

Microsoft Outlookとの統合

Microsoft Outlookと統合すると、メール、メールフォルダ、メールの添付を使って直接Microsoft OutlookからPDF文書を簡単に作成できるようになります。

メールの本文からPDF文書を作成する方法

メール本文を使ってPDF文書を作成するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Outlookで、PDF文書の作成に使用するメールを選択します。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで、**PDFに変換する**をクリックします。
 PDF文書の作成に複数のメールを使用する場合は、すべてを一度に選択します。
3. 表示されたダイアログボックスで、PDF文書の名前と出力先となるフォルダを選択し、**ドキュメントを開く**を選びます（出力文書をPDFビューワーで開く場合）。
 また、選択したメール（もしくは複数のメール）のコンテキストメニューで関連するコマンドを指定することもできます。

必要があれば、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**プリファレンス**をクリックして、**PDF作成設定を指定します**^[244]。

これにより指定のフォルダに出力PDF文書が保存され、PDFビューワーから開けるようになります。

すべてのメール添付ファイルは、出力PDF文書にPDF添付として保存されます。

メールフォルダを使ってPDF文書を作成する方法

メールフォルダを使ってPDF文書を作成するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Outlookで、PDF文書の作成に使用するメールフォルダを指定します。
2. **ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーで、**フォルダからPDFを作成する**をクリックするか、フォルダのコンテキストメニューで適切なコマンドを選択します。
3. 出力するPDF文書の名前と出力場所を指定します。
4. 出力後文書をPDFビューワーで開く場合は**ドキュメントを開く**を選択します。

必要があれば、**ABBYY FineReader PDF 15**ツールバーの**プリファレンス**をクリックして、**PDF作成設定**^[244]を指定します。

これにより指定のフォルダに出力PDF文書が保存され、PDFビューワーから開けるようになります。

すべてのメール添付ファイルは、出力PDF文書にPDF添付として保存されます。

メールの添付ファイルを使ってPDF文書を作成する方法

メールの添付ファイルを使ってPDF文書を作成するには、以下の手順に従います：

1. Microsoft Outlookで、PDF文書を作成したいメール添付ファイルを1つまたは複数選択します。

2. **ABBYY FineReader PDF 15** ツールバーまたはメールメッセージのコンテキストメニューから **添付から PDF を作成する** を選びます。
 1つまたは複数のメール添付ファイルでPDF文書を作成するには、必要な添付ファイルを選び、コンテキストメニューの **添付からPDFを作成する** を選択します。
3. ABBYY FineReader PDF 15 画像変換ウィンドウが表示されます。このウィンドウで、適切な [変換パラメータおよび設定](#)^[23] を指定して **PDF に変換する** をクリックします。
4. 出力PDF文書を保存するフォルダを指定します。

これにより、出力PDF文書は指定したフォルダに保存されます。

PDF作成設定

このダイアログには以下の設定が含まれています：

- **PDF/Aの作成**

PDF/A準拠の文書を作成する場合は、このオプションを選択します。右側のドロップダウンリストから必要なPDF/Aタイプを選びます。

- **パスワード保護文書**

無断でPDF文書が閲覧・印刷・編集されないよう保護するためのパスワードを設定する場合は、このオプションを選択します。次に **設定...** をクリックし、表示されたダイアログボックスで [適切なセキュリティパラメータ](#)^[160] を指定します。

Microsoft SharePointとの統合

ABBYY FineReaderを使用してMicrosoft SharePointドキュメントライブラリに保存されたファイルを開いて、編集、保存を実行できます。

Microsoft SharePointに保存されたPDF文書を処理するには：

1. ABBYY FineReader PDFエディターでMicrosoft SharePointサーバーに保存されているPDF文書を開きます。
2. 以下の手順で文書をチェックアウトして他のユーザーが変更できないようにします：

- 画面上部に表示されるメッセージの**チェックアウト** ボタンをクリックします、

これは共有文書です。文書をチェックアウトすることで、他のユーザーが変更することを防げます。完了したら、[ファイル] > [SharePoint] > [チェックイン]とクリックして文書をチェックインしてください。

チェックアウト



- または、**ファイル > SharePoint® > チェックアウト**をクリックします。

 文書が他のユーザーによって既にチェックアウトされている場合には、お使いのコンピュータに文書のコピーを保存します。

3. PDF文書を編集します。
 -  PDFエディターでPDF文書の作業を実行する方法の詳細については [PDF文書での作業を参照してください](#)。^[51]
4. 文書をチェックインして、他のユーザーに変更が表示されるようにします。これを実行するには、以下の順にクリックします：**ファイル > SharePoint® > チェックイン...**
 -  サーバーに変更を保存したくない場合には、「**チェックアウトの破棄...**」をクリックします。
5. バージョン管理がサーバーでオンになっている場合には、開いたダイアログボックスで、文書の**バージョンタイプ**を選択し、コメントを入力します。
生成されるEブックの文書のフォントを埋め込むには **現在のバージョンをチェックした後、文書をチェックアウトしたままにする** 文書をチェックインせずに、すべての変更をサーバーにアップロードする場合には、オプションを選択します。
6. **チェックイン**をクリックします。

注：OneDriveのクラウドストレージを使用している場合、そこに保存されている文書をチェックアウトすることはできません。OneDriveのクライアントがファイルのコピーをPC上のローカルに作成し、サーバーと同期させます。この場合、PDF文書は通常ファイルとして扱われます。

モバイルアプリケーションとの統合

ABBYY FineReader は FineReader PDF モバイルアプリケーションと統合されているため、スマートフォンで文書を作成し、コンピュータで引き続き作業することができます。

スマートフォンで文書を作成し、コンピューターに送信してさらに編集するには、スマートフォン（iOSまたはAndroid）にFineReader PDFモバイルアプリケーションと、Googleドライブクラウドストレージクライアントをインストールして設定する必要があります。

1. FineReaderPDFモバイルアプリケーションをiOSまたはAndroidにインストールします（[AppStore](#)および[GooglePlay](#)で入手できます）。
 - ☑ FineReader PDFモバイルアプリケーションのスキャン機能およびテキスト認識機能の詳細については、[ABBYYのウェブサイト](#)を参照してください。
2. パソコンにGoogleドライブクラウドストレージクライアントをインストールして設定します。
 - ☑ GoogleのウェブサイトからWindows用のGoogleドライブをダウンロードします。
 - ☑ クラウドストレージクライアントの設定の詳細については、[クラウドストレージ](#)²⁵⁰を参照してください。

環境を設定したら、スマートフォンで次の手順を実行します：

スマートフォンで

1. モバイルアプリケーションを開いて、文書を作成します。
2. **Google Drive (FineReader)**へのエクスポートを使用して、その文書をPCに送信します。
 - 💡 この手順では、Googleドライブで認証を受ける必要があります。

3. エクスポートする文書に適した形式とサイズを選択します。

📄 文書は、JPGファイルまたはPDFファイルとしてコンピュータに送信できます。

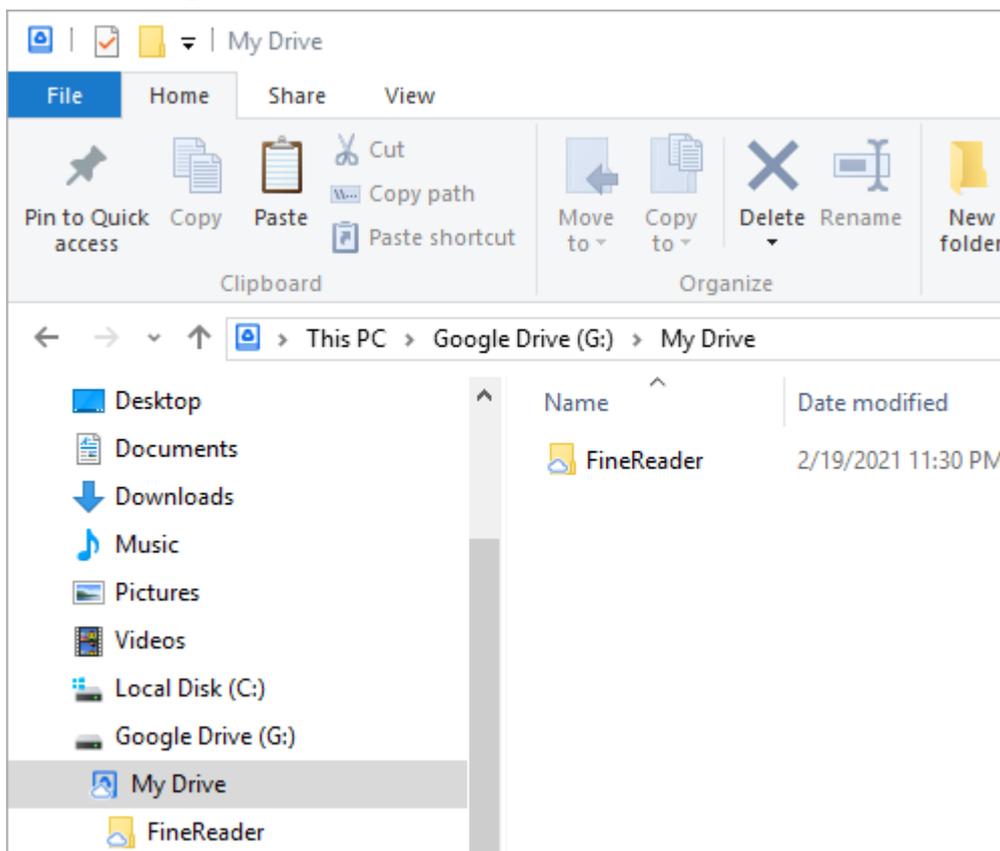
コンピュータで

4. ABBYY FineReader を使用して、GoogleドライブストレージクライアントによってPC上に作成したローカル FineReader フォルダから該当する文書を開きます。これを行うには：

a. ホーム画面で、**フォルダを選択**（モバイル アプリケーションタブにあります）をクリックします。



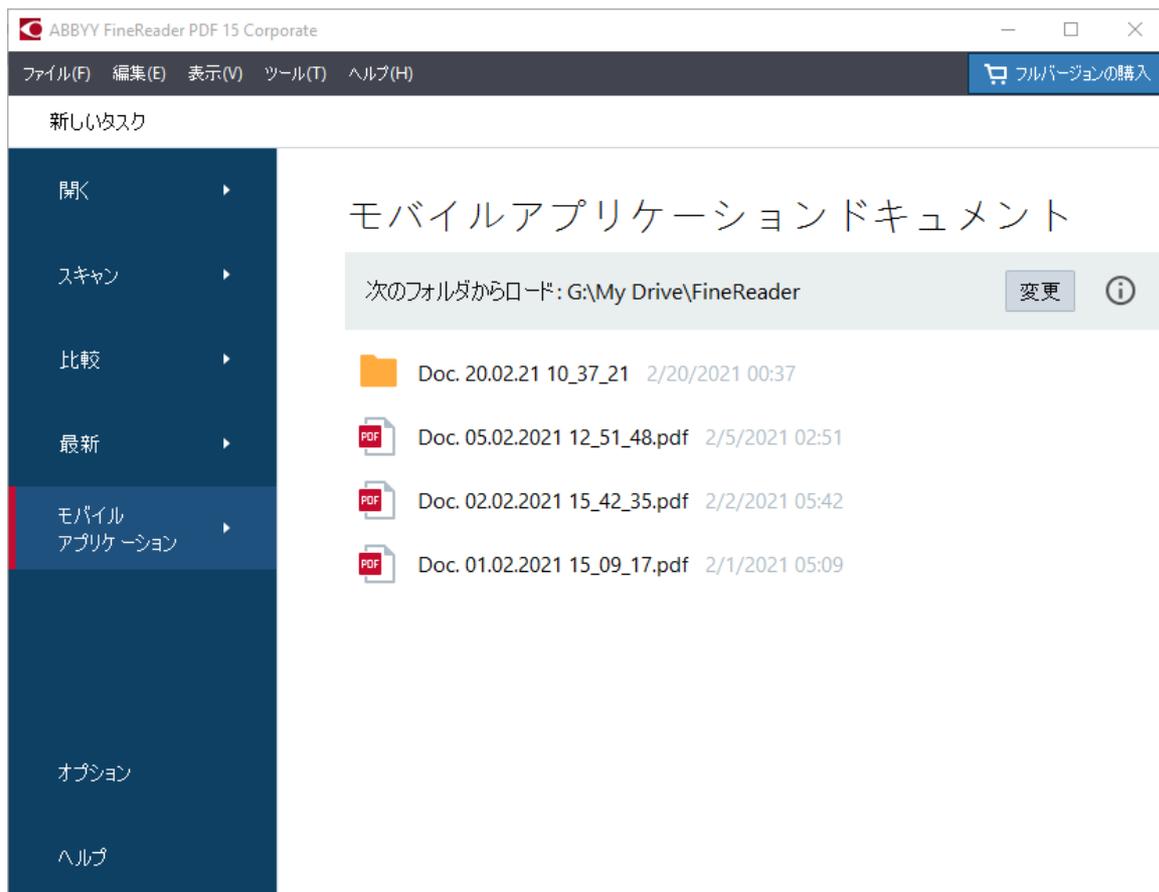
b. ローカルのGoogleドライブクラウドストレージで FineReader フォルダを選択します。



✎ ローカルのGoogleドライブストレージに FineReader フォルダがない場合は、モバイルアプリケーションで文書を開き、**Google Drive (FineReader)**へエクスポートを使用してPCに送信します。

これが完了すると、モバイルアプリケーションを使用して作成したすべてのファイルとフォルダが FineReader PDF アプリケーション画面に表示されます。文書とフォルダは作成日で並べ替えられ、最後に作成された文書またはフォルダがリストの一番上に表示されます。

- c. 表示されるモバイルアプリケーションの文書とフォルダのリストから、該当する文書またはフォルダを選択します。



- PDFファイルを選択すると、ABBYY FineReader PDF エディターで文書が開かれて、表示および編集することができます。
- 文書画像を含むフォルダを選択すると、JPGファイルからPDF文書を作成するためのダイアログが開きます。
 - ☑ 画像をPDFファイルに変換する方法の詳細については、[PDF文書の作成](#)^[23]を参照してください。
 - ☑ サポートされている [他の形式のファイルを選択すると](#)^[311]、FineReader PDF はPDF文書を作成し、PDFエディターで開いて表示および編集します。

💡 他の形式のファイルからPDFファイルを作成することは、FineReaderPDFの一部のバージョンではできません。

5. 変更を行って、文書を保存します。

- ☑ 文書を保存すると、そのローカルコピーがサーバーと同期されます。

☑ 必要であれば、別のクラウドストレージ（OneDriveやDropboxなど）で動作するように FineReader を設定することもできます。これを行うには、必要なクラウドストレージクライアントをインストールし、そのクライアントがPC上に作成したフォルダを選択します。クラウドストレージクライアントの設定の詳細については、[クラウドストレージ](#)^[250]を参照してください。

クラウドストレージ

ABBYY FineReaderは、以下のクラウドストレージサービスに保存されたPDF文書进行处理することができます。： OneDrive、Google Drive、Dropbox。クラウドストレージクライアントがファイルのコピーをPC上のローカルに作成し、サーバーと同期させます。そのため、通常の文書を同じようにクラウドのPDF文書で作業することができます。

クラウドのPDF文書进行处理するには、以下の手順で行います：

1. 適切なクラウドストレージクライアントをインストールします：

- Microsoft OneDrive
 OneDriveクライアントの詳細情報は、[Microsoftの公式ウェブサイト](#)をご覧ください。
- Google Drive
 Google Driveクライアントの詳細情報は、[Googleの公式ウェブサイト](#)をご覧ください。
- Dropbox
 Dropboxクライアントの詳細情報は、[Dropbox公式ウェブサイト](#)をご覧ください。

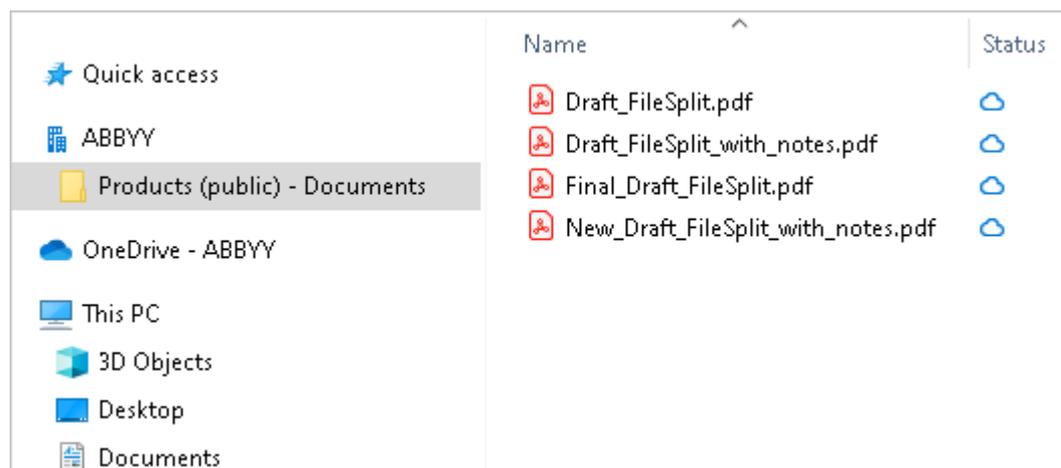
クライアントの設定が終わると、クラウドストレージにアップロードされたすべてのファイルを含むフォルダがウィンドウズのエクスプローラーに表示されます。

2. ABBYY FineReaderで、この新しいフォルダから適切なPDF文書を開き、編集して保存します。

 詳しくは、[PDFエディター](#)⁵¹をご覧ください。

以下はOneDriveクラウドストレージサービスのPDF文書で作業する場合の例です。

OneDriveクライアントをインストールして設定した後、PCのハードドライブには以下のフォルダが表示されます：



アイコンが通知エリアに表示され、サーバーとのファイルの同期が始まります。

 それらのファイルには  アイコンが付きます。ABBYY FineReaderで作業する間、これらのファイルはハードディスク上の容量を使いません。

1. ABBYY FineReaderで、フォルダから文書を開きます。

📁 ファイルを開くと、PCにダウンロードされて  アイコンが付きます。

2. 文書を変更して保存してください。

📁 次に、そのファイルのローカルコピーが、サーバーのファイルと同期されます。ファイルのマークが  アイコンに変わります。

3. ファイルがOneDriveにアップロードされると、再びマークが  アイコンに変わります。

📁 重要なファイルをマークしていつでもアクセスできるようにするには、ファイルのドロップダウンメニューからこのデフォルトで常に保持するを選びます。これにより、ファイルは  アイコンでマークされ、オフラインのときでもアクセスできるようになります。

💡 種類を問わず、クラウドストレージサービスを使用した実際の処理は、上記に説明したものと異なる場合があります。

OCR の自動化およびスケジューリング

- [自動文書処理](#)^[252]

複数の文書を処理する場合、同じ動作を複数回繰り返すことが少なくありません。ABBYY FineReaderには、共通した操作をワンクリックで実行できるようにする[自動タスクが組み込まれています](#)^[15]。さらに柔軟な対応が必要な場合は、利用可能な幅広い処理手順で自動タスクをカスタマイズできます。

- [スケジュールされた処理](#)^[255]

ABBYY FineReaderには ABBYY Hot Folder というスケジューリング アプリケーションが含まれており、コンピュータが使用されていない夜間などに文書を処理できます。スケジュールされたタスクは特定のフォルダを対象に作成でき、必要な画像を開く、認識する、保存するという設定をすべて備えています。

ABBYY FineReaderを使用して文書処理を自動化する

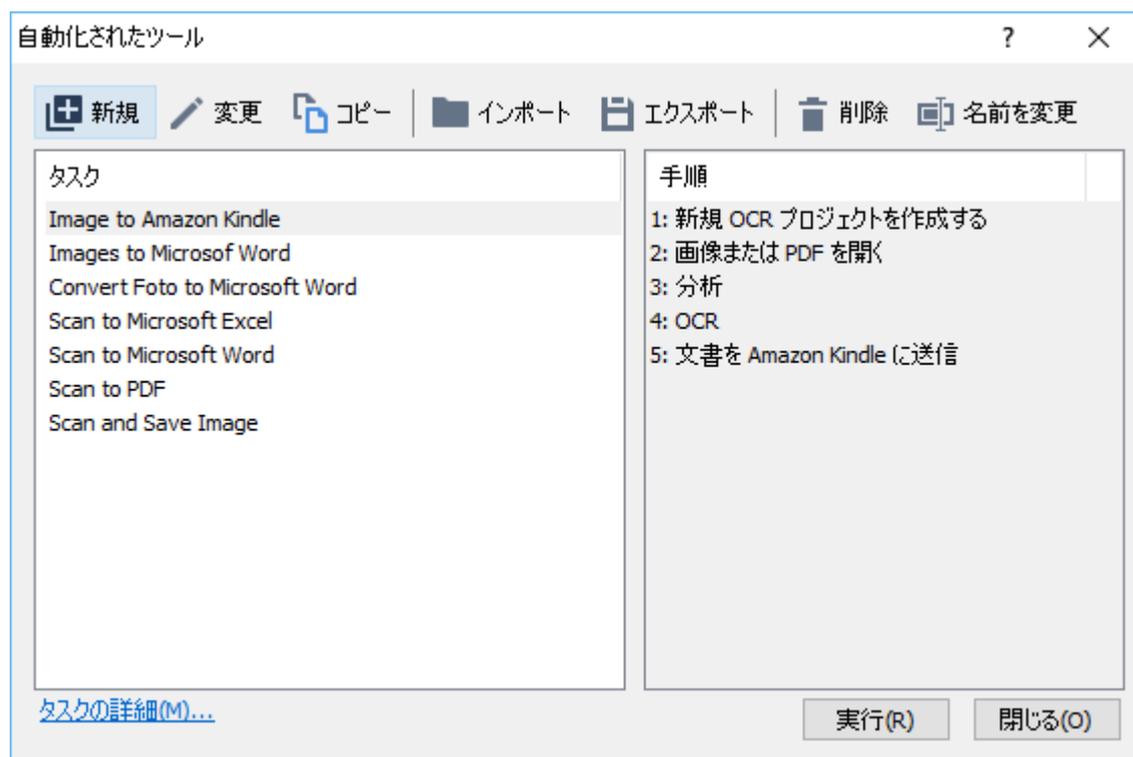
(以下の製品の一部のバージョンでは利用できません ABBYY FineReader。) 以下も参照してください:

<http://www.ABBYY.com/FineReader>

ABBYY FineReaderでは、文書にビルトインまたはカスタムの自動化されたタスク処理を実行できます。タスクは以下で整理できます: [自動化されたタスク...](#)  ダイアログボックスを開きます。

- とクリックして、**自動化されたツール** ダイアログボックスで **ツール > 自動化されたツール**。

ダイアログボックスの上のツールバーには、**自動化されたツール** タスクの作成、変更、コピー、削除、インポート、エクスポートのためのボタンが含まれます。



自動化されたタスクを使用して文書処理するには **タスク** ウィンドウでタスクを開始します。

自動化されたタスクのカスタム作成

ビルトインの自動化されたタスクで利用できない処理ステップを含める必要がある場合、独自の自動化されたタスクを作成できます。自動化されたタスクの手順の順番はOCRエディターでの処理操作の順番に従う必要があります。

1. ツールバーで、をクリックします **新規**。
2. 左のペインで使用するOCRプロジェクトを選択します:

- **新規 OCR プロジェクトを作成する**

このオプションを選択すると、タスク開始時に新規OCRプロジェクトが作成されます。文書処理する際にどの文書オプションを使用するかを指定する必要があります。プログラムで指定されたグローバルオプションまた特定のタスクで指定されたオプションかのいずれかです。

- **既存の OCR プロジェクトを選択する**
 タスクで、既存のOCRプロジェクトから画像を処理したい場合にはこのオプションを選択します。
 - **現在の OCR プロジェクトを使用する**
 タスクで、現在のOCRプロジェクトから画像を処理したい場合にはこのオプションを選択します。
3. 画像を取得する方法を選択します：
- **画像または PDF を開く**
 タスクで画像またはPDF文書を特定のフォルダーから処理したい場合にはこのオプションを選択します（この場合フォルダーを指定する必要があります）。
 - **スキャン**
 一部のページをスキャンする場合にはこのオプションを選択します（現在のスキャン設定が使用されます）。
- 注意：**
- a. 以下のいずれかの場合には、この手順は任意です：先に **既存の OCR プロジェクトを選択する** または **現在の OCR プロジェクトを使用する** コマンドを選択した場合。
 - b. 既に画像のあるOCRプロジェクトに画像が追加されると、新規追加された画像のみが処理されます。
 - c. 処理するOCRプロジェクトに既に認識されたページ、および分析されたページが含まれる場合には、認識されたページは再度処理されず、分析されたページは認識されます。
4. **分析** 画像でエリアを検出する手順を追加し、このステップを設定するには：
- **レイアウトを自動的に分析する**
 ABBYY FineReaderは画像を分析し、コンテンツに基づき、エリアを特定します。
 - **領域を手動で描画する**
 ABBYY FineReaderは適切なエリアを手動で設定するよう求めます。
 - **領域テンプレートを使用する**
 プログラムが文書を分析する際に既存の [エリアテンプレート](#)^[360] を使用したい場合にはこのオプションを選択します。テンプレートを指定するか、タスクを開始する度にいずれかのテンプレートを選択するプロンプトをプログラムに表示させる必要があります。詳細は以下を参照してください：[同じレイアウトの文書を大量に処理する場合](#)^[198]。
5. 画像を認識する必要がある場合には **OCR** 手順を追加します。プログラムはこの手順で選択されたOCRオプションを使用します **OCRプロジェクト**。
- 手順を追加すると **OCR**手順は **分析** 自動で追加されます。
6. **OCR** 選択した形式で認識されたテキストを保存する場合、テキストまたは画像を電子メールで送信する場合、OCRプロジェクトのコピーを作成する場合には、手順を追加します。タスクには複数の保存手順が含まれます：

- **ドキュメントを保存する**

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを保存するフォルダーを指定できます。

☑ タスクが開始されるたびに、新しいフォルダーを指定することを避けるために、を選択します **タイムスタンプ付きのサブフォルダを作成する**。

- **ドキュメントを送信する**

ここでは結果として生成されるファイルを開くアプリケーションを選択できます。

- **ドキュメントを電子メールで送信**

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを送信する電子メールアドレスを指定できます。

- **画像を保存する**

ここではファイルの名前、形式、オプション、画像ファイルを保存するフォルダーを指定できます。

☑ すべての画像を1つのファイルに保存するには、を選択します **複数ページからなる1つの画像ファイルとして保存する** (TIFF, PDF, JB2, JBIG2, DCX形式の画像のみ該当)。

- **画像を電子メールで送信する**

ここではファイルの名前、形式、オプション、ファイルを送信する電子メールアドレスを指定できます。

- **OCRプロジェクトを保存**

ここではOCRプロジェクトを保存するフォルダーを指定できます。

結果を保存するためにプログラムが使用すべきオプションを指定します。保存時にプログラムで指定されたグローバルオプションまたは特定のタスクに指定したオプションのいずれかを選択できます。

7. タスクから不要なステップを削除するには  ボタンをクリックします。

☑ 時に、1つの手順を削除することで別の手順も削除される場合があります。例えば、**分析** 手順を削除すると、**OCR** 手順も削除されます。OCRは画像を分析せずには実行できないためです。

8. 必要な手順をすべて設定したら、をクリックします **完了**。

新規作成されたタスクは **タスク** ウィンドウに表示されます。

☑ 自動化されたタスクを保存するには、ダイアログボックスの上部に表示される **エクスポート** ツールバーで、をクリックして **自動化されたツール** タスクの名前とフォルダーを指定します。

☑ 前に作成された自動化されたタスクを読み込むには **インポート** ツールバーで、をクリックして **自動化されたツール** インポートするタスクのファイルを選択します。

ABBYY Hot Folderを開く時、

ABBYY FineReader の一部のバージョンでは利用できません。以下も参照してください:

<http://www.ABBYY.com/FineReader>

ABBYY FineReaderには **ABBYY Hot Folderが含まれます**。ABBYY Hot FolderはABBYY FineReaderで自動処理されるべき画像が含まれるフォルダーを選択できるスケジューリングエージェントです。ABBYY FineReaderをスケジュールしてコンピュータを使用しない時（夜間など）に文書を処理するようスケジュールできます。

フォルダー内の画像を自動で処理するためには、そのフォルダーのための処理タスクを作成し、画像を開く、OCR、および保存オプションを指定します。ABBYY FineReaderが新しい画像があるかどうかを確認するためにフォルダーをチェックする頻度も指定します（定期または1度のみ）そして、タスクの開始時間を設定します。

💡 タスクを開始するには、コンピュータはオンでログオンしていなければなりません。

ABBYY Hot Folderのインストー

デフォルトでは、ABBYY Hot Folderは ABBYY FineReader PDF 15 と一緒にお使いのコンピュータにインストールされています。ABBYY FineReader PDF 15 のカスタムインストール中に **ABBYY Hot Folder** のコンポーネントをインストールしないよう選択した場合には、以下の方法で後でインストールできます。

ABBYY Hot Folder のインストール：

1. **[スタート]** ボタンをクリックして **タスクバー** その後 **コントロール パネル**。
2. をクリックします **プログラムと機能**。
 - ☑ Windows 10 を使用している場合には、次のようにクリックします：**[スタート]**  **> オプション > システム > アプリケーション**。
3. **ABBYY FineReader PDF 15** を インストールされたプログラムから選択して、クリックします **変更**。
4. オプションのグループの **カスタム セットアップ** ダイアログボックスで **ABBYY Hot Folder** アイテムを選択します。
5. インストールウィザードの手順に従います。

ABBYY Hot Folderを起動します

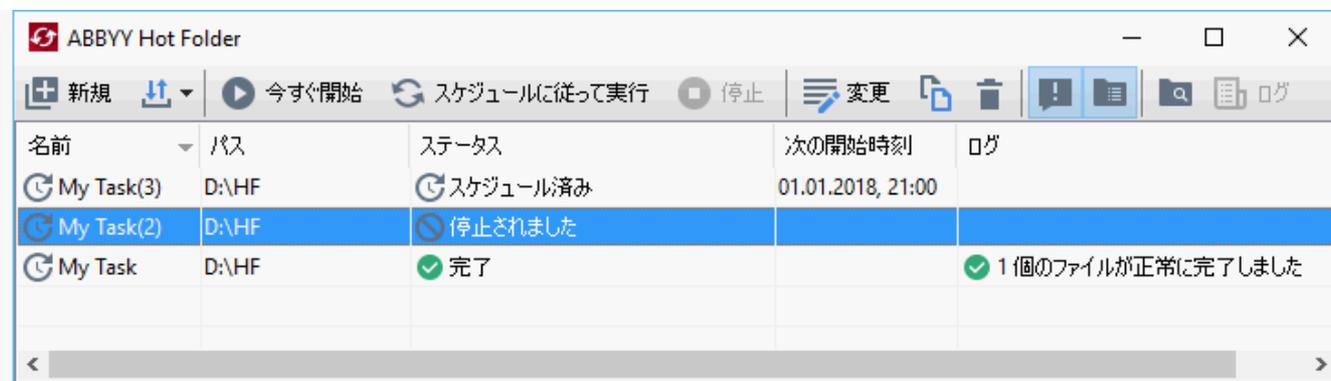
ABBYY Hot Folder:

- をクリックします **[スタート]** > **ABBYY FineReader PDF 15** その後 **ABBYY Hot Folder** (**[スタート]**  **> すべてのプログラム > ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY Hot Folder** Windows 10 を使用している場合) または
- 次のようにクリックします：**ABBYY FineReader PDF 15** その後 **Hot Folder** または

-  Windowsタスクバーのアイコンをクリックします（このアイコンは少なくとも1つのタスクを設定後に表示されます）。

ABBYY Hot Folder を開く時、メインウィンドウが開きます。

ウィンドウ上部のツールバーボタンを使用してコピーおよび削除タスクを設定したり、処理を開始したり、レポートを表示したりします。



ABBYY Hot Folder のメインウィンドウに設定タスクが表示されます。各タスクのために、フォルダー、ステータスへの完全なパスおよび、次の処理セッション時間が表示されます。

タスクのステータスに以下のいずれかが表示される場合があります：

ステータス	説明
 実行しています...	フォルダーの画像は処理中です。
 スケジュール済み	ホットフォルダに画像があるかどうかの確認を、開始時刻に 1 回のみ行うことを選択しました。開始時間は 次の開始時刻 列に表示されます。
 監視しています...	ホットフォルダに画像があるかどうかの確認を、繰り返し行うことを選択しました。開始時間は 次の開始時刻 列に表示されます。
 停止されました	ユーザーによって処理が一時停止されました。
 完了	処理が完了しました。
 エラー (ログを参照)	このフォルダーの画像を処理中にエラーが発生しました。エラーの完全なテキストはタスクログにあります。エラーの原因を見つけるには失敗したフォルダを選択して、ツールバーの ログの表示 ボタンをクリックします。

後日使用するためにタスクを保存することができます：

1. をクリックします  > **エクスポート...**
2. 開いたダイアログボックスでタスクの名前、保存するフォルダを指定します。

3. をクリックします **保存をクリックします。**

以前保存されたタスクを読み込むには：

1. 次のようにクリックします： > **インポート...**
2. 開いたダイアログボックスで、タスクを選択して **開くをクリックします。**

新しいタスクを作成するには：

1. ABBYY Hot Folderのツールバーで **新規作成** ボタンをクリックします。
2. オプションのグループの **タスク名** フィールドで、タスク名を入力します。
3. タスクのスケジュールを指定します：
 - **1 回実行する**（指定した時間に一度タスクが実行されます）
 - **反復**（タスクは指定された通りに毎分、毎日、毎週、毎月一度実行されます）
4. 処理する画像が含まれるフォルダーまたはOCRプロジェクトを指定します。
 - **フォルダからのファイル** ローカルまたはネットワークフォルダーで画像の処理を実行できます。
 - **FTP からのファイル** FTPサーバーのフォルダーで画像の処理を実行できます。
 - FTPサーバーへのアクセスにログインおよびパスワードが必要な場合には、**ユーザー名** フィールドと **パスワード** フィールドのそれぞれに入力します。ログインおよびパスワードが必要でない場合には、**匿名のユーザー** オプションをクリアします。
 - **Outlook からのファイル** メールボックス内の画像を処理できます。
 - **OCRプロジェクト** FineReader文書内に保存された画像を開きます。
 文書の色に関する詳細情報は [OCR前に考慮すべき文書の機能を参照してください。](#)³¹⁴
 の下で **元のファイル** 元のファイルを保存、削除、移動するかのいずれかを指定します。
5. オプションのグループの **画像を分析、認識する** 手順で、文書の分析とOCRオプションを設定します。
 - **ドキュメントの言語** ドロップダウンボックスから、認識するテキストの言語を選択します。
 複数のOCR言語を選択できます。
 - の下で **文書処理設定** 文書を認識または分析またはページ画像を処理するのかを指定します。必要な場合には、追加のOCRおよび画像の予備処理オプションを指定します。その場合には次のようにクリックします：**認識オプション...** または **予備処理オプション...**
 - プログラムは自動でエリアを検出すべきか、そのためにエリアテンプレートを使用するかを指定します。

6. **結果の保存** ドロップダウンリストから、文書の保存方法を選択します。

a. **名前を付けて保存** ドロップダウンリストから、宛先のフォーマットを選択します。

ヒント。 追加の保存オプションを指定したい場合には、**オプション...** をクリックします。

 PDFに保存する場合、画像のテキストは認識すべきか、画像は画像のみのPDF文書に変換すべきかを指定します。

b. オプションのグループの **フォルダ** フィールドで、処理後に文書を保存するフォルダーを指定します。

c. **出力** ドロップダウンリストから保存方法を選択します：

- **各ファイルに対して個別のドキュメントを作成する(フォルダ階層を保持)** ファイルごとに別々の文書を作成。
- **各フォルダに対して個別のドキュメントを作成する(フォルダ階層を保持)** 特定のファイルに保存されたすべてのファイルで1つの文書を作成。
- **すべてのファイルのために1つのドキュメントを作成する** すべてのファイルで1つの文書を作成。

d. オプションのグループの **ファイル名** フィールドで、処理後に文書に割り当てる名前を入力します。

ヒント。 処理の結果を複数のフォーマットで保存するために、フォルダーに複数の保存手順を指定できます。

7.  をクリックします **タスクの作成**。

設定されたタスクはABBYY Hot Folderメインウィンドウに表示されます。

 タスクファイルは以下に保存されます：**%Userprofile%\AppData\Local\ABBYY\FineReader\15\HotFolder**。

 タスクを開始するには、コンピュータはオンでログオンしていなければなりません。

タスクが完了するたびに通知メッセージを表示するには、 をクリックします。

Windows のタスクバーの上にポップアップ ウィンドウが開き、通知メッセージが表示されます。

タスクのプロパティの変更

既存のタスクのプロパティを変更することができます。

1. プロパティを変更するタスクを中止します。
2. ABBYY Hot Folderウィンドウ上部のツールバーの **変更** をクリックします。
3. 必要な変更を実行して、 をクリックします。 **タスクの作成**。

処理ログ

ホットフォルダー内の画像は、指定された設定に沿って処理されます。ABBYY Hot Folder では、すべての処理の詳細なログを記録します。

ログファイルには以下の情報が含まれます：

- タスクの名前と設定
- エラーと警告（ある場合）
- 統計 (処理されたページの数、エラーと警告、不明確な文字の数)

ログを有効にするには、 ツールバーの、をクリックします。

ログは、認識したテキストのファイルが入っているフォルダに、TXTファイルとして保存されます。

ログの表示：

1. ABBYY Hot Folder のメイン ウィンドウで、ログを確認するタスクを選択します。
2. **ログ** ABBYY Hot Folder ウィンドウ上部のツールバーのボタンをクリックします。

ABBYY ドキュメントの比較

ABBYY ドキュメントの比較は、異なるファイル形式で保存された同一のドキュメントの2つのバージョンの差異を比較できるようにする汎用ソフトウェアソリューションです。

ABBYY ドキュメントの比較は、テキスト内の重大な不整合を検出するため、誤ったバージョンのドキュメントを承認したり発行したりするのを防止するのに役立ちます。

主な機能

- 異なるファイル形式のドキュメントを比較できます。Microsoft Word文書とPDFバージョン、スキャンとODTバージョン以外にもABBYY FineReader PDF 15 がサポートする様々な形式の組み合わせで比較できます。
- 便利な横並び表示で差異を精査できます。結果ペインで差異を確認すると、両方のバージョンの対応するテキストの一部が強調表示されます。
- テキストの削除、追加、編集などの大規模な変更のみを表示します。形式、フォント、スペース、タブなどの小さな差異は無視されます。
- ドキュメントをマイクロソフトワードファイルとして保存すると、変更履歴機能を利用して差異が表示されます。
注: 保存されたドキュメントは元のドキュメントの認識されたバージョンであるため、見かけ上の差異や認識エラーがある可能性があります。そのため、この種のドキュメントは差異の表示のためだけに使用する必要があります。
- PDFドキュメントとしてドキュメントを保存すると、差異はコメントとしてマークされます。
- 比較結果を差異を記載したマイクロソフトワードの表形式で保存します。

本章の内容

- [ABBYY ドキュメントの比較の起動](#) ²⁶¹
- [文書の比較](#) ²⁶²
- [メインウィンドウ](#) ²⁶⁴
- [比較結果の向上](#) ²⁶⁵
- [比較結果の表示](#) ²⁶⁷
- [比較結果の保存](#) ²⁶⁹

ABBYY ドキュメントの比較の起動

ABBYY ドキュメントの比較 を起動する方法は多数あります :

- **新しいタスク**^[15] ウィンドウを開き、**比較** タブをクリックし、**ABBYY ドキュメントの比較 を開く** タスクをクリックします。
- オプションのグループの **新しいタスク** ウィンドウで、以下の順にクリックします : **ツール > ドキュメントの比較** (同様に ABBYY ドキュメントの比較 は **PDFエディター**^[51] と **OCRエディター**^[173] から開始できます)。
- をクリックします **[スタート] > ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY ドキュメントの比較**
 (Windows 10 の場合、次のようにクリックします : **[スタート]**  その後 **すべてのプログラム > ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY ドキュメントの比較**。)

ABBYY ドキュメントの比較 で文書を開く方法は、この他にもいくつかあります :

- PDFエディターの  **比較** メインツールバーで、ボタンをクリックします。
- PDFエディタで、以下の順にクリックします : **ファイル > 文書の比較**。
 PDFエディターで開かれる文書は、ABBYY ドキュメントの比較 でも開かれます。その後、比較する別のバージョンの文書を開く必要があります。
- **Windows Explorer** で^[231] ファイルを右クリックしたらショートカットメニューで **次と比較する...** をクリックします。
- Windows Explorer で、2つのファイルを選択して、そのうちの1つを右クリックして、ショートカットメニューで **ドキュメントの比較...** をクリックします。

 ABBYY ドキュメントの比較 は ABBYY FineReader。以下も参照してください:

<http://www.ABBYY.com/FineReader>

文書の比較

文書の2つのバージョンを比較するには、以下の手順を完了させます：

1. ABBYY ドキュメントの比較 を起動します。

以下も参照してください：[ABBYY ドキュメントの比較の起動](#)^[261]。

2. ABBYY ドキュメントの比較 で文書を開きます。文書はサポートされる形式のいずれかでなければなりません [サポートされている文書の形式](#)^[311]。

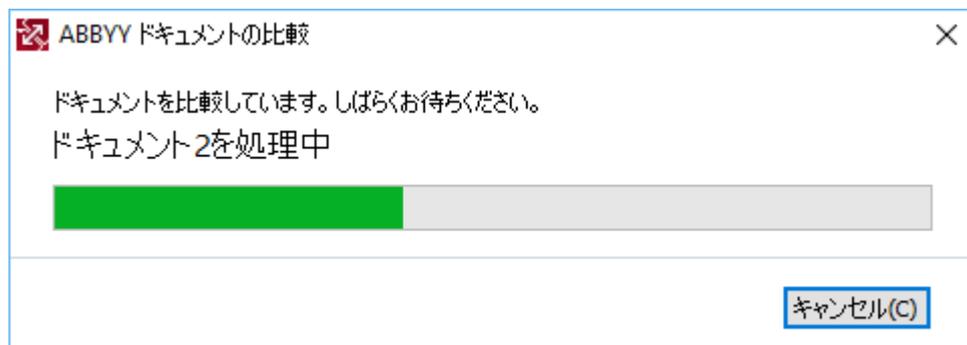
文書を開くには以下のいずれかを実行します：

- 2つの表示エリアのいずれかに文書をドラッグしてドロップします。
- 表示エリアの任意の場所をクリックしてファイルの場所を参照します。
-  表示エリアのツールバーのボタンをクリックして目的の文書を参照します。
- 表示エリアのうちの1つをクリックして、その後次のようにクリックします：**ファイル > ドキュメントを開く...**
 次のようにキーを押して、表示エリアを切り替えることができます：**Ctrl+Tab** または **Alt+1/Alt+2**。
- ABBYY ドキュメントの比較 は最近比較された文書のペアを記憶します。
最近比較された文書のペアを開くには、表示エリアの上部のドロップダウンリストから選択します。
- 最近比較された文書のペアを開くには、次のようにクリックします：**ファイル > 最近の比較** その後、リストから文書のペアを選択します。
 最近比較された文書のペアを **新しいタスク** ウィンドウから開くこともできます：**比較** タブをクリックして、**最新の比較** から文書のペアを選択します。

3. 生成されるEブックの文書のフォントを埋め込むには [タブのリストから](#)^[304] 選択します **比較**。

4. **比較 比較** 比較メニューで **文書の比較** コマンドを **ボタンをクリック** します。

ウィンドウが表示され、進捗バー、比較のヒント、警告が表示されます。



ドキュメントを比較した後、差異のリストが**差異** タブに表示されます。差異はすべて両方のドキュメントで強調表示されます。

以下の形式で**比較の結果を保存**できます：

- マイクロソフトのワードファイルでは差異は変更履歴を使用して表示されます。
注：保存されたドキュメントは元のドキュメントの認識されたバージョンであるため、視覚的な差異や認識エラーがある可能性があります。そのため、この種のドキュメントは差異の表示のためだけに使用する必要があります。
- それには、コメント付きのPDFドキュメントを使用します。
- マイクロソフトワード表には差異が含まれます。

比較の結果を保存するには、**保存...ボタン（差異タブ）** をクリックします。デフォルトでは、差異は最後に選択したファイル形式で保存されます。別の形式で保存したい場合は、**保存...ボタンの隣にあるドロップダウンリスト**で適切な形式を選択します。



以下も参照してください：[比較結果の表示](#)^[267]、[比較結果の保存](#)^[269]。

メインウィンドウ

ABBYY ドキュメントの比較 [を起動す](#)ると、メインウィンドウが開きます。



- **表示エリア1** は最初の文書を表示します
- **表示エリア2** は2番目の文書を表示します。

ヒント。文書が表示される方法を変更できます。

- ズームインは以下の操作で実行できます：**Ctrl+=**ズームアウトは以下の操作で実行できます：**Ctrl+-**または、**Ctrl+0** でズームレベルをリセットできます。また、文書のショートカットメニューのコマンドや **− ↔ +** 文書の上のボタンを使用して実行できます。
- 次のようにクリックして表示エリアが表示される方法を変更します：**表示 > ドキュメントペインを横に分割**。これで表示ペインが横に分割されます。つまり、1つの文書が別の文書の上に表示されます。
- **比較** 右端のペインのタブには比較設定が含まれます。

- **差異** 右端のペインのタブには2つの文書の差異のリストが含まれます（文書の比較語にのみリストが表示されます）。

検出可能な検出可能な差異の種類、差異を移動する方法の詳細は以下を参照してください：[比較結果の表示](#)²⁶⁷。

比較結果の向上

ABBYY ドキュメントの比較 はより正確な文書の比較を達成するために多数の追加オプションを提供します。これらのオプションを設定するには、以下のいずれかを実行します：

- 右端のペインで **比較** タブをクリックします。
- 次のようにクリックします：**比較** > **詳細設定**。

比較タブ

このタブには、次の設定が含まれています：

- **句読点の差異を見つける**
句読点およびハイフンの差異を検出する場合にこのオプションを選択します。
- **1文字の差異を見つける**
スペリングの差異を検出するためにこのオプションを選択します。

詳細オプション

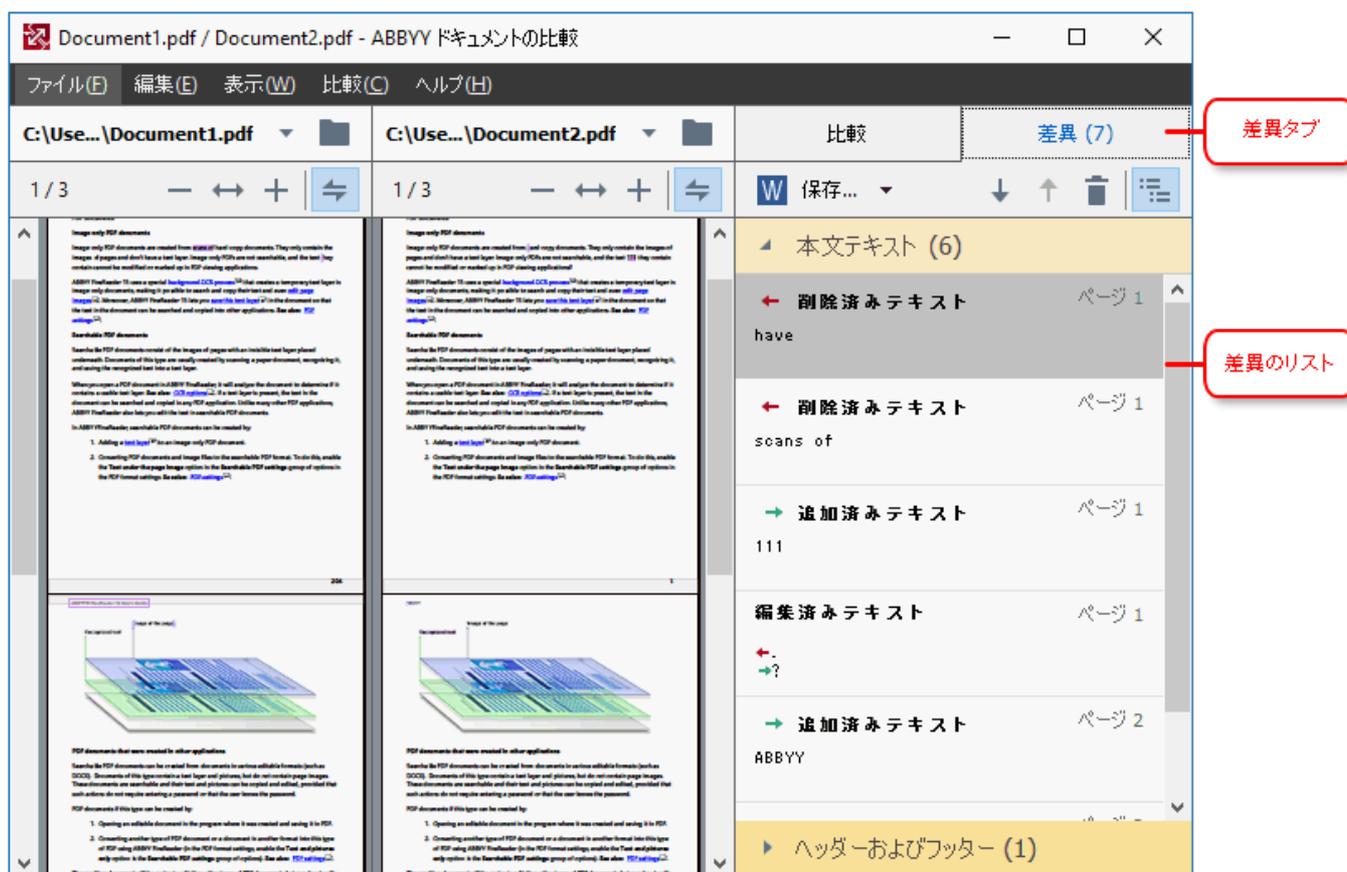
以下の詳細オプションが利用可能です：

- **PDF認識モード**
正しい認識モードを選択することがPDF文書の正確な比較には不可欠です。
ABBYY ドキュメントの比較 はこれらのPDF認識モードを提供します：
 - **PDFからのテキストのみ使用**
これはテキストレイヤーのあるPDF文書のデフォルトモードです。ABBYY ドキュメントの比較 はテキストレイヤーを使用して比較します。
 - **OCRかPDFのテキストかを自動選択**
このモードが選択された場合、ABBYY ドキュメントの比較 は元のテキストレイヤーの品質を確認します。プログラムが元のテキストレイヤーが良好であると判断した場合、元のテキストレイヤーを使用します。そうでない場合には、文書を認識し、その結果生成されたテキストレイヤーを使用します。
 - **OCRの使用**
このモードでは、プログラムは光学文字認識を使用して文書からテキストを抽出します。
このモードでの比較にはより長い時間がかかりますが、より信頼性の高い比較結果が達成されます。

 これらのオプションはテキストレイヤーと写真のあるPDF文書での使用が意図されています。そうしたPDF文書は一般的に編集可能な文書ファイルをPDFに変換することで作成されています。検索可能PDF文書や画像のみのPDF文書などのその他の種類のPDF文書には、追加のOCRオプションは不要で、常に **OCRの使用** モードで処理されます。
- **ヘッダーとフッターを自動で見つける**
文書にヘッダーやフッターがない場合にはこのオプションをオフにします。
- **高度なオプションをリセットする**
デフォルトの設定に戻す場合にこのコマンドを選択します。

比較結果の表示

プログラムが検出した差異は、2つのテキストで強調表示され、右側のペインに個別に表示されます。



ABBYY ドキュメントの比較 は以下の種類の差異を見つけることができます：

- **削除済みテキスト**
- **追加済みテキスト**
- **編集済みテキスト**

差異のリストの各アイテムには、削除済み、挿入済み、編集済みテキストの一部および各文書でのそのテキストが出現するページの数が含まれます。クリップボードに差異をコピーするには、右クリックしてショートカットメニューで **差異をコピーする** をクリックするか、選択して、次のようにクリックします：**終了 > 差異をコピーする**。

テキストの一部が新旧両方のバージョンで編集されている場合には、右端のペインに表示されます。

検出された差異の数は二か所に表示されます：

- 文書と比較後、表示エリアの上部に表示される赤いバー：

本文テキストで見つかった差異：9。合計：17。

- 右端のペインの **差異** タブのタイトルの隣：差異 (17)。

タブで差異を選択すると、**差異** 両方の文書の異なるテキストが隣り合わせに表示されます。

差異を移動するには、以下のいずれかを実行します：

- いずれかの文書で差異をクリックします。
- レイアウトが複雑な大型文書には [キーボードショートカットを使用します](#)  **Ctrl+ 右矢印/Ctrl+ 左矢印**。
- タブの  および  ボタンを使用します **差異**。
- をクリックします **比較** その後 **次の差異** または **前の差異**。

 2つのバージョンを同時にスクロールして変更を横並びに表示できます。

同時スクロールはデフォルトでオンになっています。これをオフにするには次のようにクリックします：**幅に合わせる表示** で **スクロールの同期** をクリアするか、文書を右クリックして **スクロールの同期** オプションをショートカットメニューでオフにするか、 文書の上のボタンをクリックします。

差異のグループ分け

ABBYY ドキュメントの比較 は検出した際をグループ分けして、小さな差異を無視し、重要な不一致に焦点を当てることができるようにします。

検出された差異は以下の3つのグループのいずれかに配置されます：

- **本文**
このグループには2つの文書の本文で見つかった大きな差異が含まれます。
- **ヘッダーとフッター**
このグループには2つの文書のヘッダーとフッターの差異が含まれます（例：ページ番号の差異）。
- **ナンバリング**
このグループには、2つの文書に含まれるナンバリングの差異が含まれます。例えば、リストの番号の差異などです。

差異のグループ分けをオフにするには、 右端のペインの **差異** ボタンをクリックします。

リストから差異を削除するには、次のいずれかを実行します：

- タブの  ボタンをクリックする **差異**。
- 差異を右クリックしてショートカットメニューの **差異を無視する** をクリックします。

 複数の差異を同時に削除するには、**Ctrl** キーを長押しします。

 同一の差異をすべて無視する場合には、ショートカットメニューから**同一の差異を無視する**コマンドを選択してください。

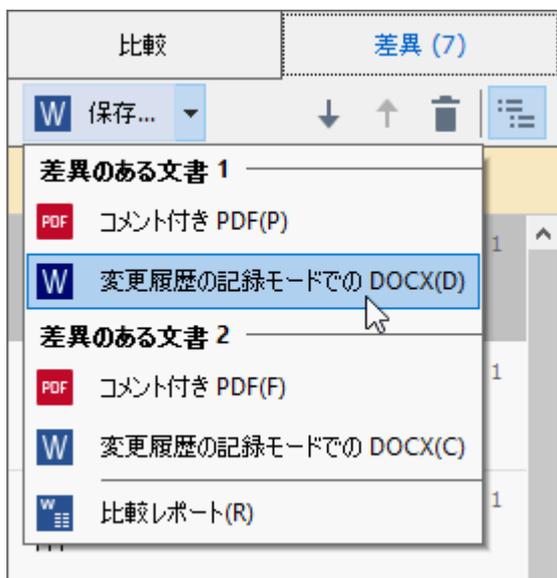
 リストから削除した差異は、比較レポートには表示されません。

比較結果の保存

以下を保存できます：

1. ドキュメントの1つをマイクロソフトワードファイルとして保存すると、変更履歴機能を使用して差異が表示されます。

これを実行するには**保存...ボタン（差異タブ）**をクリックして、**変更履歴の記録モードでのDOCX**を**ドキュメント1 / ドキュメント2**に対して選択します。



注: 保存されたドキュメントは元のドキュメントの認識されたバージョンであるため、視覚的な差異や認識エラーがある可能性があります。そのため、この種のドキュメントは差異の表示のためだけに使用する必要があります。

2. PDFファイルとして保存されたドキュメントのうちの1つにコメント形式で検出された差異を表示します。
これを実行するには**保存...ボタン（差異タブ）**をクリックし、**コメント付きPDF**を**ドキュメント1 / ドキュメント2**に対して選択します。
3. マイクロソフトワード表形式の差異リスト。
これを実行するには**保存...ボタン（差異タブ）**をクリックして、**比較レポート**を選択します。

ABBYY Screenshot Reader

ABBYY Screenshot Readerはスクリーンショットの作成、画面からのテキストの取得に簡単に使用できるアプリケーションです。

ABBYY Screenshot Readerの機能:

- スクリーンショットの作成
- スクリーンショットを編集可能なテキストにします
- ABBYY OCRテクノロジーのすべての利点

ABBYY Screenshot Reader のインターフェースは、簡単で直感的です。つまり、スクリーンショットを作成したり、そこからテキストを認識したりするために専門的な知識は一切必要ありません。アプリケーションのウィンドウを開き、スクリーンショットを撮るコンピュータ画面のセクションを選択するだけです。スクリーンショットを認識し、画像や認識されたテキストを保存することができます。

 ABBYY Screenshot Readerは特定のABBYY製品の登録ユーザーにのみ利用可能です。ABBYY FineReader PDF 15 の登録方法の詳細は、以下を参照してください：[ABBYY FineReaderの登録](#)^[358]。

- [ABBYY Screenshot Reader のインストールと起動](#)^[270]
- [スクリーンショットの作成とテキストの認識](#)^[271]
- [追加オプション](#)^[273]
- [ヒント](#)

ABBYY Screenshot Reader のインストールと起動

デフォルトでは、ABBYY Screenshot Reader は次の製品と共にコンピュータにインストールされます： ABBYY FineReader PDF 15。

ABBYY Screenshot Readerを開始するにはタスクバーのABBYY Screenshot Reader アイコンを  クリックします。

 ABBYY Screenshot Reader は複数の方法で開始できます：

- ペインを開きます **新しいタスク** ABBYY FineReader PDF 15 のウィンドウを開き、メニューの、をクリックします。 **Screenshot Reader ツール**。
- PDFエディターを開き、メニューで、をクリックします。 **Screenshot Reader ツール**。
- OCRエディターを開き、メニューで、をクリックします **Screenshot Reader ツール**。

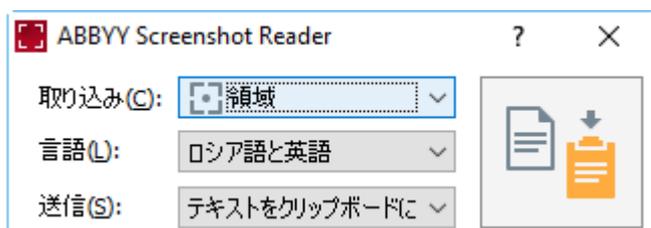
- Microsoft Windows で、ボタンをクリックし、その後、スタートメニューで次のようにクリックします： [スタート] ボタンをクリックし、その後 **ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY Screenshot Reader**。

Windows 10 を使用している場合には、次のようにクリックします：  ボタンをクリックし、その後 **すべてのプログラム > ABBYY FineReader PDF 15 > ABBYY Screenshot Reader**。

スクリーンショットの作成とテキストの認識

ABBYY Screenshot Reader は、コンピュータ画面上の選択されている領域のスクリーンショットを作成し、これをファイルに保存したり、クリップボードにコピーしたり、[OCRエディター](#)^[173]。

ABBYY Screenshot Reader 展開時に **ABBYY Screenshot Reader** お使いのコンピューターの画面に表示されます。



ABBYY Screenshot Reader ウィンドウには、コンピュータ画面上のテキストと表を認識するツールが含まれています。これらのツールで、選択されている画面エリアのスクリーンショットを作成したり、アプリケーションをセットアップしたりできます。

スクリーンショットを作成したり、テキストの一部を認識するには、次の手順を実行します：

1. 画面キャプチャ方法を **キャプチャ** ドロップダウン リストから選択します。
 - **領域**
キャプチャするエリアを選択することができます。
 - **ウィンドウ**
画面の一部をキャプチャ（例：ウィンドウ、ウィンドウの一部またはツールバー）します。
 - **画面**
画面全体をキャプチャします。
 - **スケジュールされた画面**
5秒遅延してから画面全体をキャプチャします。
2. 認識する言語を **言語** ドロップダウンリストから選択します。
3. オプションのグループの **送信** ドロップダウンリストで、画像または認識されたテキストを送信するアプリケーションを選択します。
テキストとスクリーンショットは：

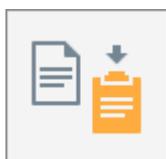
- クリップボードにコピーされます（以下を選択した場合： **テキストをクリップボードにコピー**、**テーブルをクリップボードにコピー** または **画像をクリップボードにコピー 送信** ドロップダウンリスト）。
- 新規文書に配置されます（以下を選択した場合： **テキストを Microsoft Word に**[1] または **テーブルを Microsoft Excel に**[2] を **送信** ドロップダウンリスト）。
- ファイルとして保存（以下を選択した場合： **テキストをファイルに**、**テーブルをファイルに** または **画像をファイルに 送信** ドロップダウンリスト）。**名前を付けて保存** ダイアログボックスが開き、ファイル名とファイルの形式を指定する必要があります。
- OCRエディターで開かれた場合 ABBYY FineReader PDF 15（**画像を OCR エディタへ**[3] を **送信** ドロップダウンリスト）。画像エリアにテキストと写真の両方が含まれる場合このアイテムを選択します。
- 新規作成された電子メールメッセージに*.bmp ファイルとして添付（以下を選択した場合： **画像を電子メールに 送信** ドロップダウンリスト）。

 このアイテムには以下が必要です：

[1] **Microsoft Word**

[2] **Microsoft Excel**

[3] **ABBYY FineReader PDF 15**



4. ボタンをクリックします。

スクリーンショットリストで選択した項目に応じて、スクリーンショットが自動的に作成されるか、目的のエリアを選択できる取り込みツールが表示されます。

- **領域 キャプチャ** ドロップダウンリストから、を選択した場合、画面のそのエリアは選択されます。
- エリアの境界線を調整するにはマウスのポインターを境界線にあてて、マウスの左ボタンを押しながらドラッグします。エリアを移動するには、エリアを選択してマウスの左ボタンを長押ししながら移動します。希望のエリアを選択したら、**取り込む** ボタンをクリックします。
- **ウィンドウ キャプチャ** ドロップダウンリストから選択したら、希望するエリアにマウスのポインターを当てて色のフレームが表示されたら、マウスの左ボタンを押します。
- **画面** または **スケジュールされた画面** キャプチャドロップダウンリストから選択したらスクリーンショットは、そのまま作成されます。

注：

1. 画面の取り込みを取り消す場合には **Esc** キーを押すか、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 認識をキャンセルするには **停止** ボタンをクリックするか **Esc** キーを押します。

追加オプション

追加オプションを選択するには、タスクバーのABBYY Screenshot Reader  アイコンを右クリックして、その後、オプションをクリックします。次のオプションが利用可能です：

- **常に前面に表示**

アプリケーション間を移動する際に、ABBYY Screenshot Reader ツールバーをその他すべてのウィンドウの上部に保持する

- **起動時に実行**

ABBYY Screenshot Reader をコンピューターを起動するたびに開く。

- **サウンドを有効にする**

ABBYY Screenshot Reader が画像のコピーをクリップボードにコピーするたびに通知音を出す。

ヒント

1. 複数の言語で書かれたテキストの操作

1つの言語でのみ記述されているテキストフラグメントを選択します。認識処理を開始する前に、**言語** ドロップダウンリストから選択した言語はテキストの言語と同じであることを確認します。正しくない場合には、正しいものを選びなおします。

2. 必要な言語がリストにない場合には、**その他の言語...** **言語** ドロップダウンリストから選択して、開いたダイアログボックスから目的の言語を選択します。

認識言語一覧に必要な言語がない場合：

- ABBYY Screenshot Reader はこの言語をサポートしません。サポートされる言語の完全なリストは、<http://www.abbyy.com> を参照してください。サポートされる言語のリストはアプリケーションのエディション毎に異なる可能性があります。
- この言語は、カスタムインストール中に無効になっている可能性があります。OCR 言語をインストールする：
 - a. 次のようにクリックしてコントロールパネルを開きます： **[スタート]** > **コントロール パネル**。
 - b. オプションのグループの **コントロール パネル** ウィンドウで **プログラムの追加と削除** アイテムを選択します。

 Windows 10 を使用している場合には、次のようにクリックします：**Windows** ボタンをクリックし、その後 **オプション** > **システム** > **アプリケーション**。
 - c. **ABBYY FineReader PDF 15** をインストールされているソフトウェアのリストから選択して **変更** ボタンをクリックします。
 - d. 目的の言語をダイアログボックスから選択します **カスタム セットアップ** ダイアログボックスを開きます。
 - e. 画面に表示されるセットアッププログラムの手順に従います。

3. 選択したエリアにテキストと画像の両方が含まれている場合：
 オプションのグループの **送信** をクリックします **画像を OCR エディタ**へ。スクリーンショットは ABBYY FineReader PDF 15 の OCR エディターの OCR プロジェクトに追加され、そこで処理、認識を実行できます。OCR エディターが既に開いている場合には、画像は言外の OCR プロジェクトに追加されます。それ以外の場合には、新規 OCR プロジェクトが作成され、画像がこの新規プロジェクトに追加されます。

参照

本章では、よく寄せられる質問の回答を提供します。

本章の内容

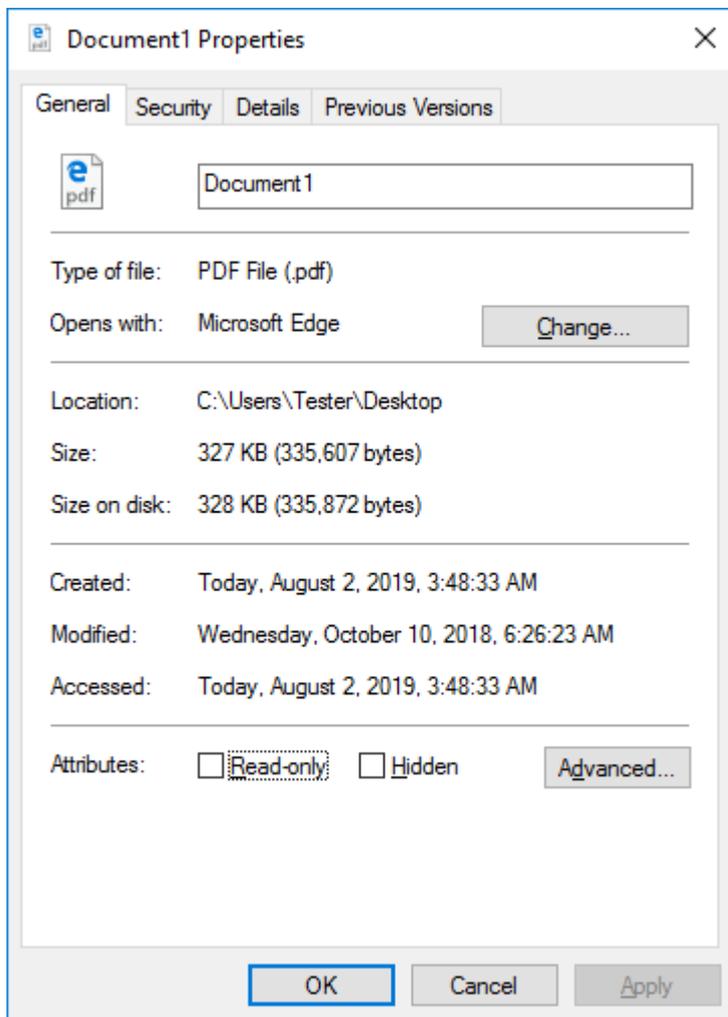
- [PDF 文書のタイプ](#) ^[277]
- [スキャンのヒント](#) ^[280]
- [文書の写真撮影](#) ^[283]
- [オプションダイアログボックス](#) ^[285]
- [書式（フォーマット）設定](#) ^[290]
- [サポートされている OCR および文書の比較言語](#) ^[304]
- [サポートされている文書の形式](#) ^[311]
- [OCR 前に考慮すべき文書の機能](#) ^[314]
- [画像処理のオプション](#) ^[317]
- [OCR オプション](#) ^[320]
- [複雑なスクリプト言語を使った作業](#) ^[323]
- [サポートされているインターフェイスの言語](#) ^[329]
- [スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間を](#) ^[330]
- [サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント](#) ^[333]
- [正規表現](#) ^[335]

ABBYY FineReader PDF 15をデフォルトのPDFビューアに設定する方法

ABBYY FineReader PDF 15 をデフォルトのPDFビューアに設定するには：

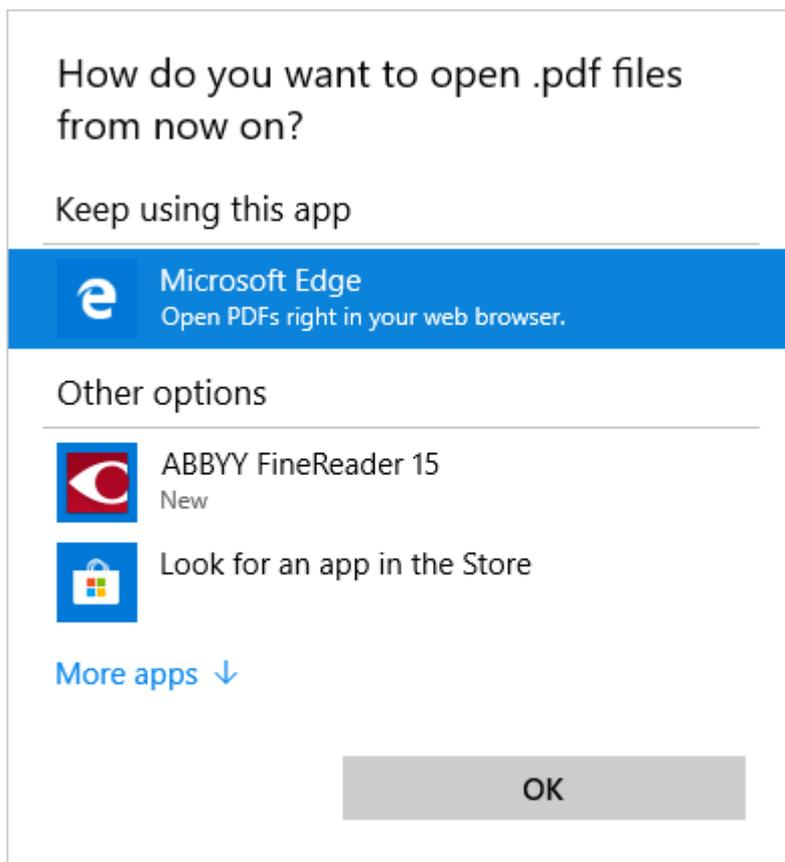
1. Windows Explorerで任意のPDFファイルを右クリックして、ショートカットメニューでプロパティをクリックします。

プロパティダイアログボックスが開きます。



2. **全般**タブで**変更**ボタンをクリックして、PDFファイルを開く際に使用するアプリケーションを変更します。

アプリケーションのリストが開きます。



3. アプリケーションのリストで、ABBYY FineReader PDF 15 を選択します。
注:リストに ABBYY FineReader PDF 15 が見当たらない場合には、スクロールダウンしてください。より多くのアプリケーションを表示するには**もっと表示**をクリックします。
4. **OK** をクリックします。

PDF文書のタイプ

PDF文書の特徴は、作成されたプログラムによって決定されます。一部のPDF文書は検索可能でコピー可能なテキストがありますが、その他のものはABBY FineReaderのような特別なアプリケーションで開いた時のみ可能となります。3種類のPDF文書があります。

画像のみのPDF文書

画像のみのPDF文書は、ハードコピーの文書のスキャンから作成されます。ページの画像のみが含まれ、テキストレイヤーがありません。画像のみのPDFでは検索が実行できず、そのテキストにPDF表示アプリケーションで変更またはマーク付けを実行できません。

ABBY FineReader PDF 15 は特別な [背景OCRプロセスを使用して](#)、^[58] 画像のみの文書に一時的なテキストレイヤーを作成し、テキストを検索、コピーできるようにするだけでなく、[ページ画像の編集さえも可能にします](#)^[86]。さらに ABYY FineReader PDF 15 を使用して [このテキストレイヤーを文書に保存することができるため](#)、^[98] その他のアプリケーションでも検索やコピーができるようになります。以下も参照してください: [PDF設定](#)^[290]。

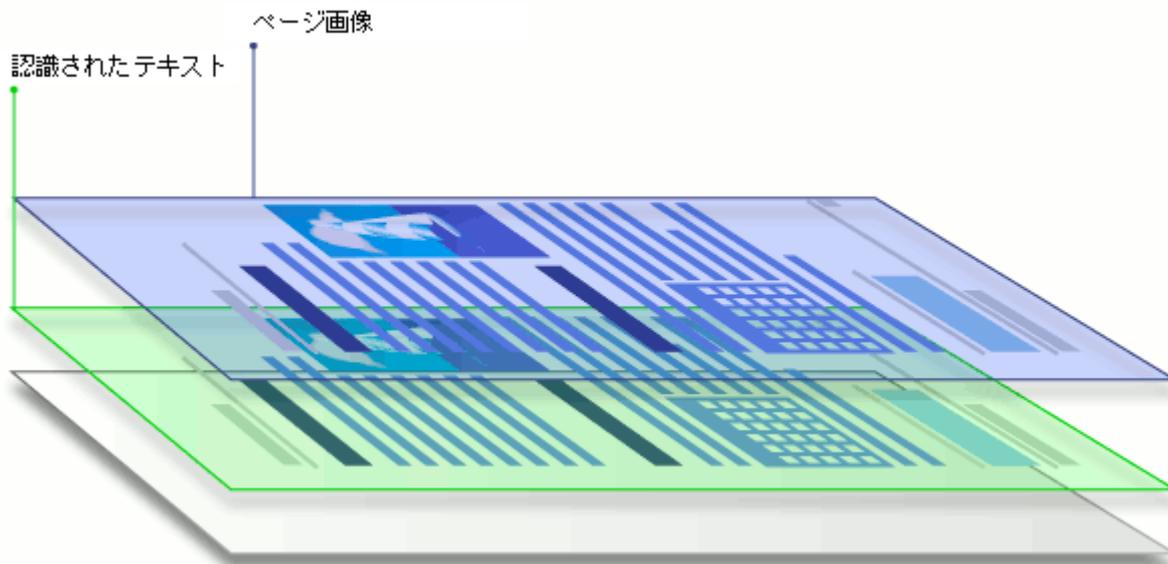
検索可能なPDF文書

検索可能なPDF文書はページの画像とその下にある目に見えないテキストレイヤーから構成されます。この種類の文書は通常、紙の文書をスキャン、認識、認識されたテキストのテキストレイヤーへの保存というプロセスで作成されます。

PDF文書をABYY FineReaderで開くと、文書を分析し、使用可能なテキストレイヤーがあるかどうかを確認します。以下も参照してください: [OCRオプション](#)^[320]。テキストレイヤーが存在する場合には、文書に含まれるテキストは検索可能ですすべてのPDFアプリケーションでコピーできます。その他のPDFアプリケーションと異なり、ABYY FineReaderでは検索可能なPDF文書のテキストを編集できます。

ABYY FineReaderを使用して検索可能なPDF文書を作成する方法は次の通りです：

1. 画像のみのPDF文書に [テキストレイヤーを](#)^[98] 追加する。
2. PDF文書と画像ファイルを検索可能なPDF形式に変換する。これを実行するには、**ページ画像の下にテキスト** ダイアログボックスでオプションを **検索可能なPDF設定** PDFフォーマットの設定でオプションのグループを有効にします。以下も参照してください: [PDF設定](#)^[290]。



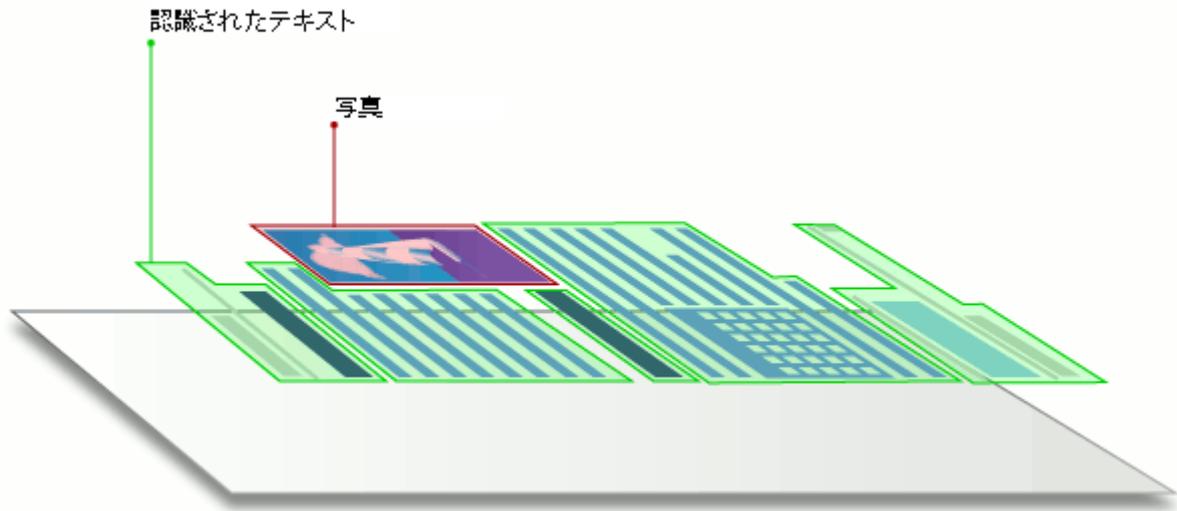
その他のアプリケーションで作成されたPDF文書

検索可能なPDF文書は（DOCXのような）様々な編集可能な書式から作成できます。このタイプの文書にはテキストレイヤーと写真が含まれますが、ページの画像は含まれません。これらの文書は、パスワードを入力する必要がないか、ユーザーがパスワードを知っている場合には検索可能で、テキストと写真をコピー、編集できます。

このタイプのPDF文書を作成する方法は次の通りです：

1. 編集可能な文書を作成されたプログラムで開いてPDFとして保存します。
2. 別のタイプのPDF文書を変換するか、ABBYY FineReaderを使用して別の形式の文書をこのタイプのPDFに変換します（PDF形式の設定で **テキストと画像のみ** ダイアログボックスでオプションを **検索可能なPDF設定** オプションのグループでオンにします）。以下も参照してください：[PDF設定](#)²⁹⁰。

結果として生成される文書は、その他のタイプのPDF文書よりも簡単に編集できますが元の文書とは違う外観になる可能性があります。



スキャンのヒント

ABBYY FineReaderのダイアログボックスでスキャン設定を実行できます。

- スキャナーがコンピューターに適切に接続されていて、電源がオンになっていることを確認します。スキャナーの付帯文書を参照して設定が正しく実行されていることを確認します。必ず、スキャナーに付帯するソフトウェアをインストールするようにします。スキャナーの中には、接続されているコンピューターがオンにされる前に、起動するものもあります。
- スキャナーでページをできるだけまっすぐに配置するようにします。スキャナーに文書の表面を下において、適切に調整されていることを確認します。歪んだ画像は正しく変換されない可能性があります。
- 通常のプリンターで印刷された文書をスキャンする必要がある場合には、グレースケールモードで、300 dpi の [解像度](#)^[281]を使用します。認識の品質は、ハードコピーの文書の品質と文書のスキャンに使用される設定に依存します。劣悪な画像の品質は変換の品質に悪影響を及ぼす可能性があります。文書に適したスキャンパラメーターを必ず選択 [するようにします](#)^[314]。

スキャンインターフェースを開く方法はいくつかあります：

- **新しいタスク** 画面で **スキャン** タブをクリックしたら、**OCRエディタにスキャン** またはこのタブの別のタスクをクリックします。
- オプションのグループの **OCRエディタ** メインツールバーの **スキャン** メインツールバーで、ボタンをクリックします。
- PDFエディターの  **ページの追加** ▾ ボタンをクリックして、その後、をクリックします **スキャナから追加...** をクリックします。



以下のスキャン設定を指定できます：

カラーモード

スキャンモードの設定：カラー、グレースケール（OCRに最適）または白黒。

明るさ

スキャンの明るさの変更。

ABBYY FineReaderはスキャン中に **明度 (明るさ)**  設定が低すぎたり、高すぎたりする場合には警告メッセージを表示します。白黒モードでスキャンする際にも明度設定を調整する必要があるかもしれません。

 50%に設定するとほとんどの場合でうまく機能します。

結果の画像にあまりに多くの崩れた文字やつぶれた文字がある場合には、以下の表を使用して問題を解決してください。

画像の欠陥	推奨事項
 brightness	画像が文字認識に適さない。
 文字が細すぎるまたは崩れている	<ul style="list-style-type: none"> • 明度を下げて画像を暗くする。 • グレースケールスキャンモードを使用します (このモードでは自動で明度を調整します)。
 文字が太く隣の文字とくっついている	<ul style="list-style-type: none"> • 画像を明るくするために明度を上げます。 • グレースケールスキャンモードを使用します (このモードでは自動で明度を調整します)。

スキャン解像度

スキャン解像度の変更。

認識品質は文書の画像の解像度によります。劣悪な画像の品質は変換の品質に悪影響を及ぼす可能性があります。

文書を300 **dpi**でスキャンすることが推奨されます .

 OCRで最適な結果を得るためには、垂直解像度と水平解像度が同じである必要があります。

解像度の設定が高すぎる (600 dpi以上) とOCRが遅くなります。解像度をこれ以上にしてもOCR結果を大幅に高めることはありません。

解像度を非常に低くしても (150 dpi以下) OCR結果に悪影響を及ぼします。

以下の場合には画像の解像度を調整する必要があります :

- 画像の解像度が 250 dpi 未満または 600 dpi 以上。
- 画像の解像度が非標準の場合。
一部のFAXでは、解像度が204 x 96 dpiになることがあります。

画像の切り取り

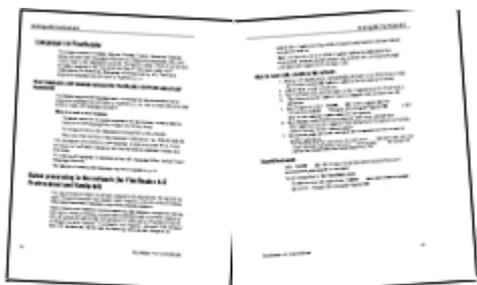
プリセットのスキャンエリアサイズを選択するか、手動でスキャンエリアを指定できます。

複数ページから成る文書のスキャンオプション:

スキャナーに次の機能がある場合には、複数ページスキャンのための設定を指定します：両面スキャン、自動フィード（ADF）、自動スキャンの遅延など。

見開きページのスキャン

本をスキャンする際、スキャンされた画像には通常2つの見開きページが含まれます。



OCR品質を改善するために、見開きページの画像は2つの別々の画像に分割される必要があります。ABBYY FineReader PDF 15 にはOCRプロジェクト内でそうした画像を別々のページに自動分割する特殊モードがあります。

見開きページをスキャンする場合、または両面ページをスキャンする場合には、以下の指示に従ってください：

1. をクリックします **ツール > オプション...** とクリックして、**オプション** ダイアログボックスを開き、タブをクリックします **画像処理**。
2. 生成されるEブックの文書のフォントを埋め込むには **見開きページを分割する** ダイアログボックスでオプションを **画像の予備処理設定 (変換およびOCRに適用)** を選択します。
 スキャンが正しい方向であることを確認するか **ページの向きを修正** オプションをクリアします。見開きページのスキャンが正しい方向でない場合には（上下逆）見開きページは分割されません。
3. 見開きページのスキャン

この他にも指定できる画像処理オプションがあります。以下も参照してください：[画像処理のオプション](#)


手動で見開きページを分割することもできます：

1. 画像ペインの  **画像の編集** ツールバーの **ボタン** をクリックして 画像エディターを開きます。
2. 左端のセクションのツールを使用して **分割** ページを分割します。

以下も参照してください：

- [画像処理のオプション](#) 
- [OCR前に考慮すべき文書の機能](#) 
- [文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合](#) 

文書の写真撮影

スキャンは文書の画像を取得する唯一の方法ではありません。カメラや携帯電話を使用して文書の写真を撮影して、[ABBYY FineReader で写真を開いて](#)、 それを認識できます。

文書の写真を撮影する場合には、認識に適した写真にするために多くの要素を考慮する必要があります。これらの要素は以下のセクションで詳細に説明されます：

- [カメラの要件](#) 
- [照明](#) 
- [写真の撮影](#) 
- [画像の改善方法](#)

カメラの要件

信頼性の高い認識を実行できる文書の画像を取得するためには、以下の要件を満たすカメラを使用してください。

推奨されるカメラの特徴

- 解像度：イメージセンサー: A4 ページで 500 万画素。名刺のような小さな文書の撮影には小さなセンサーが十分かもしれません。
- フラッシュ機能をオフにする
- 手動口径制御、すなわち、Av または フル手動モードが使用可能
- 手動フォーカス
- 手ぶれ防止（画像の安定化）機能または三脚を使用できること。
- 光学ズーム

最小要件

- イメージセンサー: A4 ページで 2 万画素。
- 可変焦点距離。

 カメラに関する詳細な情報については、お使いのデバイスに付帯する文書を参照してください。

照明

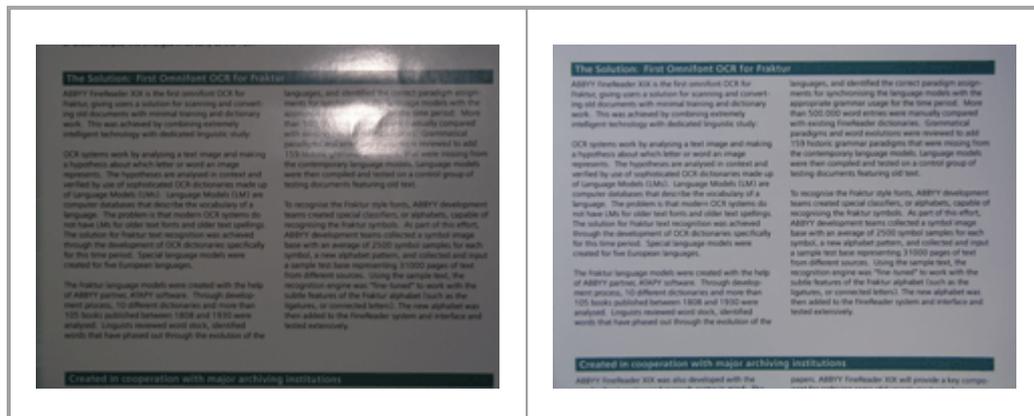
照明は結果の写真の品質に大きな影響を与えます。

最高の結果は、明るく、平均的な照明、できれば日中の光で獲得できます。晴れた明るい日には、開口数を増加してよりシャープな写真を取得できます。

フラッシュと追加照明の使用

- 人工照明を使用する場合には、2つの照明を設置し、影やグレアが発生しないようにしてください。
- 十分な光がある場合には、フラッシュをオフにしてシャープなハイライトと影を防止します。フラッシュを薄暗い条件下で使用する場合には、約50 cmの距離から撮影するようにしてください。

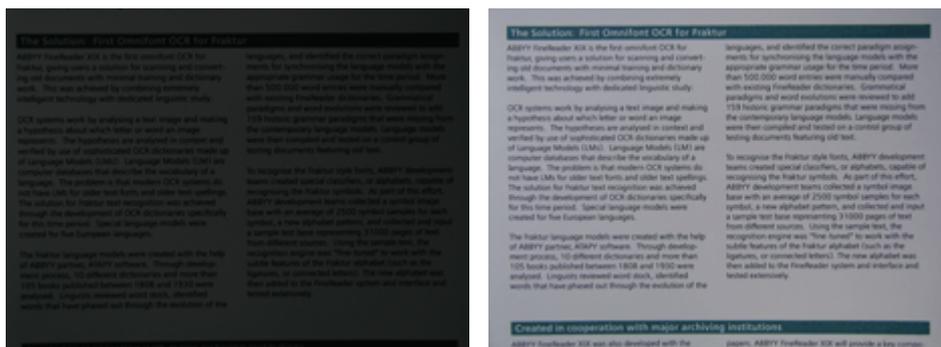
 光沢のある紙に印刷された文書の写真を撮影する際には、フラッシュを使用しないよう推奨されます。グレアのある画像と良い品質の画像の比較：



画像が暗すぎる場合

- 開口部の絞り値を低めに設定します。
- 高い ISO 値を設定します。
- 劣悪な照明条件でオートフォーカスが失敗したら、手動フォーカスを使用します。

暗すぎる画像と良い品質の画像の比較：



写真の撮影

良い品質の文書の写真を取得するには、カメラを正しく構えるようにして、これらのシンプルな推奨事項に従ってください。

- 可能な限り三脚を使用します。
- レンズを撮影するページと平行にします。ズームインした時に、ページ全体がフレームに収まるようにカメラと文書の距離を選択します。多くの場合に、この距離は50から60センチになります。

- (特に暑い本の場合には) 文書のページや本のページを均等に広げてください。テキストが正しく変換されない場合があるため、テキスト行は20度以上傾かないようにしてください。
- シャープな画像を取得するために、画像の中央部に焦点を当ててください。



- 劣悪な照明条件下での長時間の暴露によりぼやけた写真になる可能性があるため、手ぶれ防止機能をオンにしてください。
- 自動シャッターリリース機能を使用してください。これにより、シャッターリリースボタンを押したときにカメラが動くのが防止されます。三脚を使用する場合でも自動シャッターリリースの使用が推奨されます。

以下の場合に画像を改善する方法:

- 画像が暗すぎるまたはコントラストが低すぎる:
解決方法: 明るい照明を使用してください。不可能な場合には、開口部の絞り値を設定してください。
- 画像のシャープさが足りない。
解決方法: 劣悪な照明条件下または至近距離から写真を撮影する場合には、オートフォーカスが正しく機能しないことがあります。明るい照明を使用してください。三脚とセルフタイマーを使用して、写真を撮るときにカメラを移動しないでください。

画像が若干ぼやけている場合、**画像修正** OCRエディターの画像エディターのツールでより良い結果が達成される可能性があります。以下も参照してください: [文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合](#)¹⁸⁹。

- 画像の一部が、十分にシャープではない。
解決方法: 絞り値を高く設定してください。最大の光学ズームで遠距離から写真を撮ります。画像の中央と端の間に焦点を当てます。
- フラッシュでグレアが生じる。
解決方法: フラッシュをオフにするまたはその他の光源を使用してカメラと文書の距離を増やします。

オプションダイアログボックス

オプションダイアログボックスには、文書のスキャン方法、開く方法、認識して様々な形式に保存する方法を決定したり、OCR言語の変更、インターフェースの言語の変更、入力文書の印刷タイプ等のオプションを決定するための様々なオプションが含まれます。

 複数の方法を使用して **オプション** ダイアログボックスを開くことができます：

- オプションのグループの **新しいタスク** 画面で **オプション** 左下角のボタンをクリックします。
- オプションのグループの **新しいタスク** 画面で、次のようにクリックします：**ツール > オプション...**。
- PDFエディタで、以下の順にクリックします：**ツール > オプション...**。
- OCRエディターで、以下の順にクリックします：**ツール > オプション...**。

ダイアログボックスを開くボタン、リンク、コマンドは **オプション** 画面でファイルを変換またはスキャンした場合にも利用可能で、**新しいタスク** ツールバーでも、PDFエディターおよびOCRエディターのツールバーのショートカットメニューでも、文書を保存した時に表示されるダイアログボックスでも利用可能です。

オプション ダイアログボックスには7つのタブがあり、それぞれにABBYY FineReader機能の特定の設定が含まれます。

一般

このタブでは、以下を実行できます：

- ABBYY FineReader PDF 15 の起動時にプログラムのどの部分が開くかを選択できます：**新しいタスク**スクリーン、新しいOCRプロジェクトのあるOCRエディター、または最近使用されたOCRプロジェクトのあるOCRエディター。
- 画像を取得するために使用するデバイスを指定してスキャンインターフェースを選択。
ABBYY FineReaderはビルトインのダイアログボックスを使用して [スキャン設定を指定します](#)^[280]。
ABBYY FineReader PDF 15 のスキャンインターフェースがお使いのスキャナーと互換性がない場合、スキャナーの元々のインターフェースを使用することができます。スキャナーの付帯文書にはこのダイアログボックスおよびその要素の説明が含まれるはずですが。
- FineReaderをPDF文書を開くデフォルトのプログラムにする。

画像処理

このタブには3つのグループのオプションが含まれます：

- **PDFエディタで背景認識をオンにする**
このオプションがオンの場合には、PDFエディターで開かれたすべてのページが自動で認識されます。このプロセスはバックグラウンドで実行され、PDF文書に一時的テキストレイヤーを追加して、検索したり、文書内のテキストをコピーしたりできるようにします。
このグループの下部にあるリンクを使用して文書で使用されている言語を指定します。
- **ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理する**
このオプションでは新規追加ページの自動処理のオン/オフを行います。自動処理が有効になっていれば、画像をスキャンしたり開く時に適用する文書処理の一般オプションや画像の予備処理を選択できます。
- **ページ画像を認識する(予備処理と分析を含む)**
OCRエディターに新規追加された画像はこのオプションのグループで指定された設定で予備処理されます **画像の予備処理設定(変換およびOCRに適用)**。分析と認識も自動的に実行されるようになります。
- **ページ画像を分析する(予備処理を含む)**
画像の予備処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。
- **ページ画像の事前処理**
予備処理のみ自動で実行されます。分析とOCRは手動で開始する必要があります。
- **画像の予備処理設定(変換およびOCRに適用)**
ABBYY FineReader PDF 15 を使用して、スキャンやデジタル写真の一般的な欠陥を自動で削除できます。

📄 [以下も参照してください: 背景認識^{\[58\]}、画像処理のオプション^{\[317\]}、複雑なスクリプト言語を使った作業^{\[323\]}。](#)

言語

このタブにはOCR言語オプションが含まれます。以下も参照してください: [OCR前に考慮すべき文書の機能^{\[314\]}。](#)

OCR

このタブでは、認識オプションを選択できます：

- [PDF認識モード^{\[320\]}](#)
- 完全または高速認識を使用するかどうか
- [文書のタイプ^{\[315\]}](#)
- プログラムが構造要素を検出するべきか（Microsoft Wordに結果をエクスポートする際、どの要素を保持するかを選択できます）
- プログラムがバーコードを認識すべきか
- 学習機能（テキストの認識時にユーザーパターンを使用できます）
- フォント（認識されたテキストで使用するフォントを選択できます）

📄 [以下も参照してください: OCRオプション^{\[320\]}、印刷された文書に非標準フォントが含まれるか^{\[203\]}。](#)

書式(フォーマット)設定

このタブでは出力ファイル形式の設定を調整できます。以下も参照してください: [書式\(フォーマット\)設定^{\[290\]}。](#)

その他

このタブでは、以下を実行できます：

- 次に [ABBYY FineReader 15 のインターフェース言語の指定^{\[329\]}。](#)
- FineReaderがOCR実行時にプロセッサコアを何個使用するかを指定します。
- ABBYY FineReader PDF 15 が自動でアップデートを確認し、インストールするべきかを選択します。
- ABBYY社が本ソフトウェアを改善できるよう、匿名化されたABBYY FineReader PDF 15 の設定データを送信するかどうかを指定します。
- 特別オファーや ABBYY FineReader PDF 15 を使用する上でのヒントを表示するかどうかを選択します。
- [PDF文書のJavaScriptのオンまたはオフ^{\[59\]}。](#)

- ABBYY FineReader PDF 15 がPDFドキュメント内のURLを自動で検知するべきかを指定してください。

デフォルトの設定に戻す場合には **リセット...** をクリックします。

エリアとテキスト*

このタブでは、以下を実行できます：

- 信頼性の低い文字の検証設定を指定します。
- 辞書にない単語の検証設定を指定します。
- 数字や特殊文字が含まれている単語は無視する。
- 辞書にない複合語を確認する
 複合語は、2つ以上の既存の単語から成り立っています。
- 句読点の前後のスペースを訂正するかどうかを指定します。
- ユーザー辞書の表示と編集
- プレーンテキストを表示するフォントを選択します。
- 画像ウィンドウの異なるエリアタイプの枠の色、太さ、信頼性の低い文字の色を強調表示するか、などの表示オプションを選択します。

以下も参照してください：[認識されたテキストを確認](#)²¹¹、[プログラムが特定の文字を認識できない場合](#)²⁰⁷、[エリアプロパティの編集](#)¹⁹⁶。

* このタブは OCR エディターでのみ利用可能です。

書式(フォーマット)設定

ABBYY FineReaderは出力文書のルック・アンド・フィールを決定する柔軟性の高い書式設定を提供します。

- [PDF設定](#)  ²⁹⁰
- [DOC\(X\) / RTF / ODT設定](#)  ²⁹⁵
- [XLS\(X\)設定](#)  ²⁹⁷
- [PPTX設定](#)  ²⁹⁸
- [CSV設定](#)  ²⁹⁸
- [TXT設定](#)  ²⁹⁹
- [HTML設定](#)  ³⁰⁰
- [EPUB / FB2設定](#)  ³⁰¹
- [DjVu設定](#)  ³⁰²

PDF設定

以下の設定が利用できます：

画像品質

テキストに多数の写真が含まれる場合や、ページの画像を認識されたテキストと一緒に保存することを選択した場合には、結果のPDFファイルは非常に大きなサイズになる可能性があります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像品質** ドロップダウンリスト：

- **最高の品質**

写真やページ画像の品質を保持する場合は、このオプションを選択します。ソース画像の元の解像度が保持されます。

- **バランス保持**

ページ画像や写真の品質を適度に高いレベルに保ちつつPDF文書のサイズを抑えるには、このオプションを選択します。

- **コンパクトサイズ**

出力されるPDFファイルのサイズを大幅に削減するには、このオプションを選択します。写真やページ画像の解像度は300 dpiまで下げられ、品質に影響が発生します。

- **カスタム...**

カスタム画像品質設定を指定する場合には、このオプションを選択します。オプションのグループの **カスタム設定** 希望する設定を選択して **OK**。

PDF/A文書を作成

PDF/A文書を作成し、使用したいPDF/Aバージョンを選択した場合には、このオプションをオンにします。

PDF/UA文書を作成(OCRが必要)

PDF / UA文書を作成する場合は、このオプションを有効にします。生成される文書は元の文書と全く同じように表示されない可能性がありますのでご注意ください。

パスワードで文書を保護する

このオプションでは、PDF文書をパスワードで保護し、不正に開かれ、印刷または編集されるのを防止します。

設定... ボタンをクリックして、開いたダイアログボックスで保護設定を指定します：

- **文書を開くパスワード**

文書に文書を開くパスワードがある場合、ユーザーは指定されたパスワードを入力した後でのみ開くことができます。文書にパスワードを設定する：

1. **文書を開くためのパスワードでアクセスを制限する** オプションをクリアします。

2. パスワードを入力して確認します。

フィールドにパスワードが表示されるようにする場合には **文字を非表示** オプションを **ドキュメントを開くパスワード** 無効にします。

- **許可パスワード**

このパスワードは不正な編集や印刷から PDF文書を保護し、パスワードを知らないユーザーがそのコンテンツを別のアプリケーションにコピーすることを防止します。指定されたパスワードを入力した後でのみ、ユーザーはこれらのアクションを実行できます。このパスワードを設定：

1. **許可パスワードで印刷と編集を制限する** オプションをオンにします。

2. パスワードを入力して確認します。

フィールドにパスワードが表示されるようにする場合には **文字を非表示** オプションを **アクセス許可パスワード** フィールドでカテゴリを選択します。

次に、ユーザーに実行を許可するアクションを選択します。

- **印刷** ドロップダウンリストには、文書の印刷を許可または制限するオプションが含まれます。

- **編集** ドロップダウンリストには、文書の編集を許可または制限するオプションが含まれます。

- **テキスト、画像その他のコンテンツのコピーを許可する** オプションはユーザーに文書のコンテンツ（テキスト、写真など）のコピーを許可します。このようなアクションを禁止する場合には、このオプションを選択しないようにします。

- **画面リーダーによるテキストの読み取りを可能にする** オプションは、文書が開かれた時、スクリーンリーダーソフトウェアがテキストを読み取ることを許可します。このようなアクションを禁止する場合には、このオプションを選択しないようにします。

- **暗号化レベル**

暗号化 ドロップダウンリストには、パスワードで保護された文書の暗号化オプションが含まれています。

- **128-ビット AES** はかなり強力な暗号化アルゴリズムで、AES標準に基づいています。
- **256-ビット AES** 強力な暗号化アルゴリズムで、AES標準に基づいています。

暗号化ドロップダウンリストからいずれかを選択します。**すべての文書の内容** 文書のデータを暗号化せず、読み取り可能に保ちながら、**メタデータをのぞく、すべての文書の内容** 文書全体を暗号化します。

オブジェクトとデータの削除

PDF文書に含まれる様々なオブジェクトを保持したくない場合には、**選択...** ボタンをクリックして、保持したくないオブジェクトを選択します：

- **コメントや注釈**
メモ、コメント、図形、およびテキストブロックは保存されません。
- **リンク、メディア、アクション、スクリプト、フォームデータ**
インタラクティブな要素は保存されません。
- **ブックマーク**
ブックマークは保存されません。
- **添付**
添付ファイルは保存されません。

すべてのページ画像に単一の用紙サイズを使用する

このオプションがオフの場合には、ページの画像の元の用紙サイズが保持されます。PDF 文書内の特定の用紙サイズを使用する場合は、このオプションをオンにします。

MRC圧縮を使用する(OCRが必要)

このオプションを選択すると、大幅にファイルサイズを削減し、画像の視覚的な品質を維持するMRC圧縮アルゴリズムが適用されます。

 **MRC圧縮を使用する(OCRが必要)** オプションがオンの場合、検索可能なPDF文書は **ページ画像の下にテキスト** オプションを利用できます。

ページ画像での文字をなめらかにするためにABBYY PreciseScanを適用する

ABBYY PreciseScan技術を使用して、文書内の文字を滑らかにしたい場合は、このオプションをオンにします。その結果、ページでズームインしても、文字はピクセル化して見えません。

検索可能なPDF設定

このグループのオプションはPDF文書のどの要素を保存するかを決定できます。予定している文書の利用方法に合わせて、以下から最適なオプションを選択します：

- **テキストと画像のみ**

このオプションは、認識されたテキストと関連付けられた写真のみを保存します。ページは完全に検索可能で、PDFファイルのサイズは小さくなります。結果の文書の外観は、元の文書とわずかに異なります。

- **ページ画像の上にテキスト**

このオプションは元の文書の背景と写真を保存し、認識されたテキストをその上に配置します。通常、このPDFタイプでは、よりも多くのディスクスペースが必要となります **テキストと画像のみ**。結果のPDF文書は、完全に検索可能になります。場合によって、作成される文書の外観は、元の文書とわずかに異なります。

- **ページ画像の下にテキスト**

このオプションでは、ページ全体を画像として保存し、その下に認識されたテキストを配置します。テキストレイヤーの効果で、ページの画像により文書の外観は元の文書とほとんど同じであることを保証しながら、文書を検索し、テキストをコピーすることが可能になります。

見出しからブックマークを作成

文書の見出しから目次を作成したい場合には、このオプションを選択します。

PDFタグの作成

出力PDF文書にPDFタグを追加するには、このオプションを選択します。

テキストと写真以外に、PDFファイルに論理部分、写真、表のような文書の構造に関する情報を含めることができます。この情報はPDFタグに保存されます。PDFファイルのこのようなタグはさまざまな画面サイズに合うように調整でき、ハンドヘルドデバイスではうまく表示されます。

フォント

PDFファイルにテキストを保存する際には、お使いのコンピュータにインストールされているAdobeフォントまたはWindowsフォントを使用できます。使用のために設定するフォントを指定し、ドロップダウンリストから以下の項目のいずれかを選択します：

- **定義済みフォントを使用**

PDFファイルはAdobeフォントを使用します。例： Times New Roman、Arial、Courier New。

- **Windows フォントを使用**

PDFファイルはお使いのコンピュータにインストールされたWindowsフォントを使用します。

PDF文書にフォントを埋め込むには、**フォントを埋め込む** オプションをクリアします。これにより文書ファイルは大きくなりますが、どのコンピュータ上でも文書が同じく表示されます。

 **フォントを埋め込む** は **テキストと画像のみ** および **ページ画像の上にテキスト** PDF文書にのみ利用可能です。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

PDF形式で保存された場合に [文書のメタデータ](#)^[111] を保持する。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、をクリックします。OK。

DOC(X) / RTF / ODT設定

以下の設定が利用できます：

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. 正確なコピー

元の文書の形式を保持します。この設定は販促用パンフレットなどの複雑なレイアウトの文書に推奨されます。しかし、このオプションでは出力文書のテキストと形式を変更する能力が制限されますのでご注意ください。

2. 編集可能コピー

元の文書の形式とは若干異なる形式の文書を生成します。このモードで生成された文書は容易に編集できます。

3. フォーマット済みテキスト

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまったく同じには保ちません。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。

縦書きのテキストは横書きになります。

4. プレーンテキスト

ほとんどの形式が破棄されます。オプションがオンの場合、フォントスタイルのみ保持されます。プレーンテキストに**太字、斜体、下線の文字スタイル**を保持

既定の用紙サイ

RTF、DOC または DOCX 形式での保存に使用する用紙サイズは、デフォルトの用紙サイズドロップダウンリストで選択できます。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質および結果として生成されるファイルのサイズは画像設定ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です。 **画像を保持する**。

ヒント。 写真の保存パラメータを変更するには **カスタム...**。表示されるダイアログボックスで、**カスタム設定** 目的の設定を指定して **OK**。

テキスト設定

- **ヘッダー、フッター、ページ番号を維持する**
出力テキストでヘッダー、フッター、ページ番号を保持します。
- **改行およびハイフンを維持する**
元のテキスト行の配置を出力テキストで保持します。
- **ページ区切りを維持する**
元のページの配置を保持します。
- **行番号を維持する**
元の行番号を保持します（ある場合）。行番号はテキスト編集時に変更されない別のフィールドで保存されます。
 この機能は文書のレイアウトドロップダウンリストで **編集可能コピー** オプションが選択されている場合に **利用できます**。
- **テキストと背景の色を保持する**
フォントの色と背景色を保持する場合に、このオプションを選択します。
- **プレーンテキストに太字、斜体、下線の文字スタイルを保持**
文書のレイアウトドロップダウンリストで **プレーンテキスト** オプションが選択されている場合に **文書レイアウト**。

ヘッダー、フッター、目次、番号のリスト、脚注の検出を OCR ダイアログボックスの **オプション** タブで無効にする場合（このダイアログボックスを開くには **オプション... ツール** をクリックします）これらの要素は本文として保存されます。

信頼性の低い文字

ABBYY FineReaderのOCRエディターのテキストペインではなく、Microsoft Wordで **信頼性が低い文字の強調表示** 文書を編集する計画がある場合に、このオプションを **テキスト**。このオプションが選択された場合、すべての信頼性の低い文字はMicrosoft Word文書で強調表示されます。

ヒント。 信頼度が低い文字の色は、**オプション**ダイアログボックスの**エリアとテキスト**タブで変更できます（このダイアログボックスを開くには **オプション... ツール** をクリックします）。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

XLS(X)設定

以下の設定が利用できます：

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. フォーマット済みテキスト

フォント、フォントサイズ、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確なスペースや場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。

縦書きのテキストは横書きになります。

2. プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

写真の設定

XLSX文書に写真を保存できます。多数の写真が含まれる文書は大きくなる場合があります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像を保持 (XLSXのみ)**。

ヒント。写真の保存パラメータを変更するには **カスタム...**。希望する設定を で選択します **カスタム設定** 目的の設定を指定して **OK**。

テキスト設定

- **ヘッダーとフッターを維持する**

ヘッダーとフッターのテキストを保持する場合は、このオプションをオンにします。このオプションがオフの場合、ヘッダーとフッターは保持されません。

- **表の外側のテキストを無視する**

表のみを保存し、残りの部分を無視します。

- **数値を数字に変換する**

数字を XLS ファイルの「数値」形式に変換します。Microsoft Excel では、そのようなセルに対する算術演算を実行できます。

- **ページごとに別のシートを作成する (XLSXのみ)**

別のワークシートとして元の文書からページを保存するこのオプションを選択します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

PPTX設定

以下の設定が利用できます：

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像を保持する**。

ヒント。写真保存の設定を変更するには **カスタム...** オプションのグループの **カスタム設定** 希望する設定を選択して **OK**。

テキスト設定

- **ヘッダーとフッターを維持する**
出力文書でヘッダーとフッターを保持します。
- **改行を保持する**
元のテキスト行の配置を保持します。そうしない場合には、出力文書はすべてのテキストを含む、単一の線になります。
- **超過した場合テキストを縮小する**
テキストがテキストブロックに収まらない場合には、テキストのフォント、サイズを削減します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

CSV設定

以下の設定が利用できます：

テキスト設定

- **表の外側のテキストを無視する**
表のみを保存し、残りの部分を無視します。
- **ページ区切りとしてページ区切り文字 (#12) を挿入する**
元のページの配置を保存します。

デリミタ

出力CSV文書でデータ列を区切るために使用されている文字を指定します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは [コードページ](#)^[360] を自動で検出します。コードページを変更するには、コードページをドロップダウンリストから選択します **エンコーディング**。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK** をクリックします。

TXT設定

以下の設定が利用できます：

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

1. フォーマット済みテキスト

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまったく同じには保ちません。さらに、段落のインデントとテーブルを再現するためにホワイトスペースが使用されます。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。

縦書きのテキストは横書きになります。

2. プレーンテキスト

書式設定は保持されません。

テキスト設定

• 改行を保持する

元のテキスト行の配置を保持します。このオプションが選択されていない場合、各段落が単一行のテキストとして保存されます。

• ページ区切りとしてページ区切り文字 (#12) を挿入する

元のページの配置を保存します。

• 段落区切りとして改行を使用する

空白行で段落を分けます。

• ヘッダーとフッターを維持する

出力文書でヘッダーとフッターを保持します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは [コードページ](#)^[360] を自動で検出します。コードページを変更するには、コードページをドロップダウンリストから選択します **エンコーディング**。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

HTML設定

以下の設定が利用できます：

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- **柔軟なレイアウト**

元の文書の形式を保持します。出力 HTML ドキュメントは簡単に編集できます。

- **フォーマット済みテキスト**

フォント、フォントサイズ、フォントスタイル、段落は保持されますが、ページ上のオブジェクトの正確な行間や場所は保持されません。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。

 縦書きのテキストは横書きになります。

- **プレーンテキスト**

書式設定は保持されません。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像を保持する**。

ヒント。 写真保存の設定を変更するには **カスタム...** オプションのグループの **カスタム設定** 希望する設定を選択して **OK**。

テキスト設定

- **改行を保持する**

元のテキスト行の配置を保持します。これが無効である場合、出力文書はすべてのテキストを含む、単一の行になります。

- **テキストと背景の色を保持する**

フォントの色と背景色を保持する場合に、このオプションを選択します。

- **ヘッダーとフッターを維持する**

出力文書でヘッダーとフッターを保持します。

エンコーディング

ABBYY FineReaderは [コードページ](#)  を自動で検出します。コードページを変更するには、コードページをドロップダウンリストから選択します **エンコーディング**。

本の設定

ハードコピー本を HTML に変換する場合、有効にする、**目次を生成し、目次を使用してブックをファイルに分割** オプションをクリアします。本は、次の方法のいずれかで章に分割することができます。

- **見出しに基づいてファイルを自動的に作成**

ABBYY FineReader PDF 15 は自動的にドキュメントをほぼ等しいサイズに分割し、別の HTML ファイルとして保存して、目次でのそれらへのリンクを再作成します。

- **レベル 1 の見出しに基づいてファイルを作成**

ABBYY FineReader PDF 15 は、自動的に最上位の見出しを使用して別の HTML ファイルにドキュメントに分割します。

- **レベル 2 の見出しに基づいてファイルを作成**

ABBYY FineReader PDF 15 は、自動的に最上位および次のレベルの見出しを使用して別の HTML ファイルにドキュメントを分割します。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

EPUB / FB2 設定

以下の設定が利用できます：

文書レイアウト

出力文書の用途に合わせて適切な設定を選択します。

- **フォーマット済みテキスト**

段落を保持しますが、ページ上のオブジェクトの位置や行間をまったく同じには保ちません。生成されたテキストは左揃えとなります。右から左に書くテキストは右揃えとなります。

縦書きのテキストは横書きになります。

フォントスタイルはEPUBフォーマットでのみ保持されます。

- **プレーンテキスト**

書式設定は保持されません。

EPUB 形式に保存する場合 **フォーマット済みテキスト 文書レイアウト** ドロップダウンリストからオプションを選択して、以下の**フォントとフォントサイズを保持 (EPUBのみ)** オプションを選択します。生成されるEブックの文書のフォントを埋め込むには **フォントを埋め込む** オプションを選択します。

一部のデバイスとソフトウェアは埋め込まれたフォントを表示しません。

カバーの作成

文書の最初のページをカバーとして使用する場合には **最初のページをEブックのカバーとして使用** オプションを有効にします。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像を保持する**。

ヒント。写真保存の設定を変更するには **カスタム...** ダイアログボックスで **カスタム設定** 希望する設定を選択して **OK** をクリックします。

EPUB設定

どちらのバージョンのEPUB形式を使用するかを選択できます。

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

DjVu設定

以下の設定が利用できます：

保存モード

予定している文書の利用方法に合わせて、以下から最適なオプションを選択します：

- **ページ画像の下にテキスト**
このオプションでは、ページ全体を画像として保存し、その下に認識されたテキストを配置します。そのため、元のファイルと全く同じ外観の検索可能なDjVu文書が作成されます。
- **ページ画像のみ**
このオプションは正確なページの画像を保存します。出力文書は元の文書とほぼ同じ外観ですが、文書のテキストは検索可能ではありません。

写真の設定

多数の写真が含まれる文書は大きくなることがあります。写真の品質と結果ファイルのサイズは、ドロップダウンリストのオプションを使用して微調整が可能です **画像品質**。

ヒント。写真保存の設定を変更するには **カスタム...** をクリックします。 **カスタム設定** ダイアログボックスで、目的の設定を選択して **OK** をクリックします。

複数のレイヤー

DjVu形式はページの画像をレイヤーに分割してそれぞれのレイヤーに異なる圧縮方法を用いる特別な圧縮技術を使用します。デフォルトでは、ABBY FineReaderはそのページに複数レイヤー圧縮を使用する必要があるかどうかを自動で決定します（つまり、**複数レイヤー オプション**は **自動**に設定）。**複数レイヤー圧縮**をすべてのページで使用したい場合、または、**複数レイヤー圧縮**を使用したくない場合には、**複数レイヤー オプション**を **常にオン**に設定します。常にオフ

文書の作成者やキーワードなどのメタデータを保持する

文書を保存する際に、メタデータを保持します。このオプションはデフォルトでオンになっています。

文書のメタデータを変更する場合には、**メタデータの編集...** ボタンをクリックして、目的の変更を作成し、**OK**。

サポートされているOCRおよび文書の比較言語

ABBYY FineReader PDF 15 201のOCR言語をサポートします：

- [自然言語](#) 304
- [人工言語](#) 310
- [公式言語](#)

 製品のバージョンによりサポートされる言語は異なる可能性があります。

自然言語

- アブハズ語
- アヴァール語
- アグル語
- アディゲ語
- アゼリ語 (キリル)、アゼリ語 (ラテン) **
- アイマラ語
- アルバニア語
- アルタイ語
- 英語発音表記
- 英語*、**
- アラビア語 (サウジアラビア)
- アルメニア語 (東部、西部、グラバー)*
- アフリカーンス語
- アステカ語
- バスク語
- バシキール語*、**
- ベラルーシ語
- ベンバ語
- ブラックフィート語
- ブルガリア語*、**

- ブルターニュ語
- ブゴツ語
- ブリアット語
- ウェールズ語
- ハンガリー語*、**
- ウォロフ語
- ベトナム語*、**
- ハワイ語
- ガガウズ語
- ガリシア語
- ガンダ語
- ギリシア語*、**
- グアラニー語
- カワ語
- スコティッシュゲール語
- Dakota (スー族語)
- ダルグワ語
- デンマーク語*、**
- Tun (トゥバ語)
- ダンガン語
- ズールー語
- ヘブライ語*
- イディッシュ語
- イングッシュ語
- インドネシア語*、**
- アイルランド語

- アイスランド語
- スペイン語*、**
- イタリア語*、**
- カバルダ語
- カザーク語
- カルミック語
- カラ・カルパク語
- カラチャイ-バルカール
- カタロニア語*、**
- カシュブ語
- キチュワ語 (ポルビア)
- キクユ語
- キルギス語
- 中国語簡体字**、中国語繁体字
- コンゴ語
- 韓国語、韓国語 (ハンゲル)
- コルシア島語
- コルヤク語
- ホサ語
- クペル語
- クロウ語
- クリミアタタール語
- クミック語
- クルド語
- ラク語
- ラテン語*

- ラトビア語*、**
- レジン語
- リトアニア語*、**
- ルバ語
- ソルブ語
- マヤ語
- マケドニア語
- マラガシ語
- マレー語 (マレーシア)
- マリンク語
- マルタ語
- マンシ語
- マオリ語
- マリ語
- ミナンカバウ語
- モーホーク語
- ルーマニア語 (モルドバ)
- モンゴル語
- モードゥヴァン語
- ミアオ語
- ドイツ語 (ルクセンブルク)
- ドイツ語**、ドイツ語 (ニュースペリング)*、**
- ネネツ語
- ニブフ語
- オランダ語**、オランダ語 (ベルギー)*、**
- ノガイ語

- ノルウェー (ニーノシク)**、ノルウェー (ブークモール)*、**
- ニャンジャ語
- オジブア語
- オシーシャ語
- パピアメント
- ポーランド語*、**
- ポルトガル語**、ポルトガル語 (ブラジル)*、**
- プロバンス語
- レートローマン語
- ルワンダ語
- ルーマニア語*、**
- ルンディ語
- ロシア語*、**
- ロシア語 (オールドスペリング)
- ロシア語 (アクセント付き)
- サモス語 (ラップランド)
- サモア語
- サポテク語
- スワジ語
- セブアノ語
- セリクブ語
- セルビア語 (キリル)、セルビア語 (ラテン)
- スロバキア語*、**
- スロベニア語*、**
- ソマリ語
- スワヒリ語

- スンダ語
- タバサラ語
- タガログ語
- タジク語
- タヒチ語
- タイ*
- タタール語*、**
- トックピジン
- トンガ語
- ツワナ語
- ツバニア語
- トルコ語*、**
- トゥルクメン語 (キリル)、トゥルクメン語 (ラテン)
- ウドムルト語
- ウィグル語 (キリル)、ウィグル語 (ラテン)
- ウズベク語 (キリル)、ウズベク語 (ラテン)
- ウクライナ語*、**
- フェロー語
- フィジー語
- フィンランド語*、**
- フランス語*、**
- フリースランド語
- フルイリアン語
- カンカス語
- ハニ語
- カンティ語

- ハウサ語
- クロアチア語*、**
- チンプオ語
- ロマニ語
- チャモ口語
- チェチエン語
- チェコ語*、**
- チュバシュ語
- チュクチ語
- スウェーデン語*、**
- ショナ語
- エヴェンキ語
- イヴン語
- エスキモー語 (キリル)、エスキモー語 (ラテン)
- エストニア語*、**
- ソト語
- ヤクート語
- 日本語

- 古典英語*
- 古典フランス語*
- 古典ドイツ語*
- 古典イタリア語*
- 古典スペイン語*
- ラトビアのゴシック体

人工言語

- イド語
- インターリングア
- Occidental (西洋語)
- エスペラント語

公式言語

- Basic
- C/C++
- COBOL
- Fortran
- Java
- Pascal
- 簡単な計算式
- 数字

☑ 特定の言語の文字を表示するために必要なフォントについては、以下を参照してください：[サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント](#)^[333]。

*この言語には辞書が利用可能です。ABBYY FineReaderをオンにして、認識された文字の不確かさを確認して、この言語で記述されたテキストの表記エラーを検出します。

**文書の比較言語。ABBYY FineReaderは37の言語で書かれた文書を比較できます。以下も参照してください：[ABBYY ドキュメントの比較](#)^[260]。

サポートされている文書の形式

次の表は、ABBYY FineReader PDF 15 でサポートされている文書の形式をまとめたものです。

形式	ファイルの拡張子	入力形式 OCRエディター	入力形式 PDFエディター / ABBYY ドキュメント の比較	保存形式
PDF文書	*.pdf	+	+	+
編集可能なテキスト形式				
Microsoft Word文書	*.doc, *.docx	-	+	+

Microsoft Excel 97-2003 ワークブック	*.xls, *.xlsx	-	+	+
Microsoft PowerPointプレゼンテーション	*.pptx	-	+	+
	*.ppt	-	+	-
Microsoft Visio 図面	*.vsd, *.vsdx	-	+ / -	-
HTML文書	*.htm, *.html	-	+	+
リッチ テキスト形式	*.rtf	-	+	+
テキスト文書	*.txt	-	+	+
Microsoft Office Excel コンマ区切りファイル	*.csv	-	-	+
OpenDocument テキスト	*.odt	-	+	+
	*.ods	-	+	-
	*.odp	-	+	-
FB2文書	*.fb2	-	-	+
EPUB文書	*.epub	-	-	+
編集不可能な形式				
XPS (要 Microsoft .NET Framework 4)	*.xps	+	+	-
DjVu文書	*.djvu, *.djv	+	+	+
画像				
JPEG	*.jpg, *.jpeg	+	+	+
JPEG 2000	*.jp2, *.j2k, *.jpf, *.jpx, *.jpc	+	+	+
PNG	*.png	+	+	+

TIFF	*.tiff, *.tif	+	+	+
BMP	*.bmp, *.dib, *.rle	+	+	+
GIF	*.gif	+	+	-
JBIG2	*.jbig2, *.jb2	+	+	+
PCX	*.dcx, *.pcx	+	+	+

✎ 特定の形式でテキストを編集できるようにするには、適切なバージョンの Microsoft Office または Apache OpenOffice がお使いのコンピューターにインストールされている必要があります。

💡 ABBYY ドキュメントの比較 は比較結果を以下の形式で保存できます：

- PDF文書 (*.pdf)
PDFファイルを表示するには、PDF表示アプリケーションがお使いのコンピューターにインストールされている必要があります。差異のリストを表示するにはコメントペインを開きます。
- Microsoft Word文書 (*.docxを参照してください)

✎ 文書のメタデータにPDF/A または PDF/UAの準拠情報が含まれている場合、ドキュメント プロパティウィンドウに表示されます。

OCR前に考慮すべき文書の機能を参照してください。

画像の品質は、OCRの精度に大きな影響を与えます。このセクションでは画像の認識を実行する前に考慮すべき要因について説明します。

- [OCR言語](#) ³¹⁴
- [印刷タイプ](#) ³¹⁵
- [印刷品質](#) ³¹⁵
- [カラーモード](#)

OCR言語

ABBYY FineReaderは単一および複数の言語から成る文書を認識できます（例：2つ以上の言語で書かれたもの）。多言語の文書については、複数のOCR言語を選択する必要があります。

OCR言語を選択するには、次のようにクリックします：[オプション](#) ²⁸⁵ > **言語** その後、以下のオプションのいずれかを選択します：

- **以下のリストから自動でOCR言語を選択**
 ABBYY FineReaderは自動でユーザー定義の言語リストから適切な言語を選択します。言語リストを編集する：
 1. **以下のリストから自動でOCR言語を選択** オプションが選択されていることを確認します。
 2. **指定...** ボタンをクリックします。
 3. オプションのグループの **言語** ダイアログボックスで、目的の言語を選択し、クリックします **OK**。
 4. オプションのグループの **オプション** ダイアログボックスで **OK**をクリックします。
- **OCR言語を手動で指定**
 必要な言語がリストにない場合には、このオプションを選択します。

以下のダイアログボックスで、1つまたは複数の言語を指定します。特定の言語の組み合わせを頻繁に使用する場合には [それらの言語のために](#) ²⁰⁸ 新しいグループを作成できます。

言語がリストにない場合には、次のいずれかが原因です：

1. ABBYY FineReaderによってサポートされない、または
 サポートされる言語の完全なリストは、以下を参照してください：[サポートされる認識言語](#) ³⁰⁴。
2. お使いのバージョンの製品でサポートされていない。
 お使いの製品バージョンで利用可能な言語の完全なリストは以下で参照できます：[ライセンスダイアログボックス](#)（このダイアログボックスは、[ヘルプ](#) > [バージョン情報](#) > [ライセンス情報](#) とクリックすると開きます）。

ビルトインの言語および言語グループを使用するほかに、独自の言語およびグループを作成できます。以下も参照してください：[プログラムが特定の文字を認識できない場合](#)^[207]。

印刷タイプ

タイプライターやFAXなど様々なデバイスを使用して文書を印刷することがあります。OCRの精度は文書の印刷方法によって異なります。ダイアログボックスで正しい印刷タイプを選択することで、OCRの品質を改善できます。[オプション](#)^[285]ダイアログボックスを開きます。

ほとんどの文書で、プログラムは印刷タイプを自動で検出します。自動で印刷タイプを検出するには **自動** オプションが **ドキュメントタイプ** ダイアログボックスのオプションのグループで選択されている必要があります。**オプション** (このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** > **OCR** これらのオプションにアクセスするには、次のようにクリックします：フルカラーまたは白黒モードの文書进行处理できます。

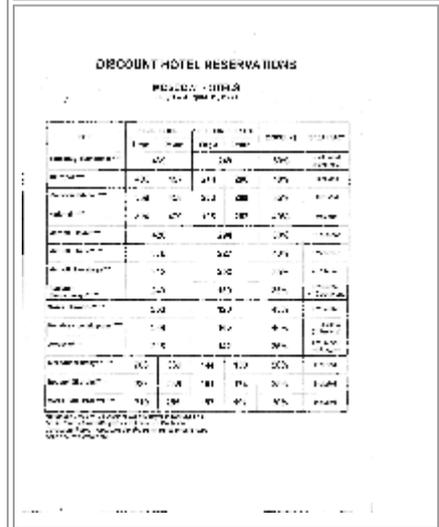
必要な場合には、印刷タイプを手動で選択できます。

software	タイプライターで打ったテキストの例です。すべての文字が同じ幅です ("w"や"t"などを比較します)。このタイプのテキストは、を選択します タイプライター 。
software	FAXによって作成されたテキストの例です。例からわかるように、一部の場所では文字が明瞭ではありません。ノイズや歪みがあります。このタイプのテキストは、を選択します FAX 。

タイプライターで打ったテキストまたはFAXを認識した後、**自動** 通常の印刷された文書进行处理する前に、を選択してください。

印刷品質

「ノイズ」(ランダムな黒い点や斑点)、ぼやけ、凹凸の文字や傾斜した行や表の罫線が歪んでいる質の悪い文書は、特定のスキャン設定が必要となる場合があります。

FAX	新聞
	

粗悪な品質の文書は [グレースケールでスキャンするのが最適です](#)^[280]。グレースケールでスキャンする際、プログラムは最適な [明度 \(明るさ\)](#)^[360] の値を自動で選択します。

グレースケールスキャンモードはスキャンされたテキストの文字に関する情報をより多く保持し、平均または平均より悪い品質の文書の認識時に、より良いOCR結果が達成されるようにします。画像エディターで利用できる画像編集ツールを使用して手動で欠陥を修正することもできます。以下も参照してください: [文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合](#)^[189]。

カラーモード

フルカラー文書の元の色を維持する必要がない場合には、白黒モードで文書进行处理できます。これにより結果として生成されるOCRプロジェクトのサイズが大幅に削減され、OCRプロセスは迅速になります。しかし、白黒の低いコントラストの画像进行处理することで、粗悪なOCR品質になる可能性があります。写真、雑誌のページ、また、中国語、日本語、韓国語のテキストについては白黒変換は推奨されません。

ヒント。 ダイアログボックスのタブで以下を選択してカラー文書および白黒文書の処理を早めることができます。 **高速認識 OCR** ダイアログボックスの **オプション** ダイアログボックスを開きます。認識モードの詳細については以下を参照してください: [OCRオプション](#)^[320]。

適切なカラーモードの選択に関する追加の推奨事項については、以下を参照してください: [スキャンのヒント](#)^[280]。

 文書が白黒に変換されたら、カラーに戻すことはできません。カラー文書を取得するには、カラー画像のあるファイルを開くか、紙の文書をカラーモードでスキャンします。

画像処理のオプション

ABBYY FineReaderでのページのスキャンと開き方をカスタマイズするためには以下を実行します：

- PDFエディターで背景認識を [オン/オフ](#)^[317]
- OCRエディターに追加される際に [ページの自動分析と認識](#)^[317] をオン/オフ
- 次に [画像の予備処理設定を指定します](#)^[318]

PDF文書を、画像、スキャンを新規タスクウィンドウで開いた時または **画像処理** ダイアログボックスの **オプション**（このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます）。

 ダイアログボックスで作成した変更は **オプション** 新しくスキャンされたり、開かれる画像に適用されます。

画像処理 ダイアログボックスの **オプション** タブには以下のオプションが含まれます：

PDFエディターで背景認識をオンにする

背景認識はPDFエディターで開くすべてのページに使用されます。背景認識はテキストレイヤーのない文書でもテキストの検索とコピーができるようにします（例：スキャンのみが含まれる文書または画像から作成された文書）。文書に恒久的な変更は加えられません。

このタブでは、以下も指定できます：[OCR言語](#)^[314]。

 この文書で他のユーザーがテキスト検索を実行できるようにするには、次のようにクリックします：**ファイル > 文書の認識 > 文書の認識...**

OCRエディターに追加された画像の自動分析と認識

デフォルトでは、ページは自動で分析、認識されますが、これを変更できます。以下のモードが利用できます：
○

- **ページ画像を認識する（予備処理と分析を含む）**
OCRエディターで画像が開かれたら、**画像の予備処理設定（変換およびOCRに適用）** 設定のグループで選択された設定を使用して自動で予備処理されます。分析とOCRも自動で実行されます。
- **ページ画像を分析する（予備処理を含む）**
画像の予備処理と文書の分析を自動的に実行しますが、認識は手動で開始する必要があります。
- **ページ画像の事前処理**
予備処理のみ自動で実行されます。分析とOCRは手動で開始する必要があります。このモードは複雑な構造の文書で一般的に使用されます。

 追加した画像が自動で処理されるのを回避するには、**ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理する** オプションをクリアします。

これにより大きな文書を迅速に開き、文書を選択したページのみを認識し、[文書を画像として保存することができます。](#)

画像の予備処理設定を指定します

ABBYY FineReaderを使用してスキャンやデジタル写真の一般的な欠陥を自動で修正できます。

デフォルトでは、このダイアログボックスには3つの推奨オプションが表示されます：

- **見開きページを分割する**
見開きページの分割：プログラムは見開きページの画像を、ページごとに別々のページになるように自動で2つの画像に分割します。
- **ページの向きを修正**
OCRに追加されたページの方法は自動で検出され、必要な場合には修正されます。
- **より良いOCRのための推奨設定を使用する**
プログラムは自動で必要な予備処理設定を選択し、適用します。

すべての設定を表示するには、をクリックします **カスタム設定の表示**。

- **画像のデスキュー**
プログラムは自動で歪んだページを検出して、必要な場合には歪みを修正します。
- **テキストラインの歪み修正**
プログラムは自動で画像上のまっすぐでないテキスト行を検出して、台形歪みの補正を実行せずに、まっすぐに修正します。
- **画像解像度を修正**
プログラムは自動で検出し、画像の最高の解像度を決定して、必要な場合には画像の解像度を変更します。
- **ページの端を検出***
プログラムは画像の端を自動で検出して切り取ります。
- **背景を白くする***
プログラムは自動で背景を白くして最高の明度設定を選択します。
- **ISOノイズの低減***
プログラムは自動で写真のノイズを削除します。
- **モーションブラーの削除***
ぼやけたデジタル写真のシャープさが高められます。
- **台形歪みの補正***
プログラムはデジタル写真と本のスキャンの自動で台形歪みと歪んだテキスト行を検出します。

- **反転色の画像を修正**

適切な場合には、プログラムは画像の色を反転させて明るい背景にくらいテキストが印刷されるようにします。

- **白黒に変換**

プログラムはカラーの画像を白黒に変換します。これにより結果として生成されるOCRプロジェクトのサイズが削減され、OCR速度を改善します。写真、雑誌のページ、また、中国語、日本語、韓国語のテキストについては白黒変換は推奨されません。

- **カラーマークを削除**

プログラムはカラースタンプおよびペンで書かれたマーキングを検出、削除し、そうしたマーキングで読みづらいテキストの認識を実行できるようにします。このオプションは白い背景に暗いテキストのスキャンされた文書のために設計されています。このオプションをデジタル写真やカラー背景の文書には選択しないでください。

* デジタル写真のみ：

推奨される設定のみが表示されるようにするには、をクリックします **詳細設定を表示しない**。

文書のスキャン、開く時にこれらすべてのオプションをオフにできます。その上で、OCRエディターの画像エディターで希望する予備処理を適用できます。以下も参照してください：[文書画像に不具合が多く、OCRの精度が低い場合](#)¹⁸⁹。

OCRオプション

早く正確なOCR結果を取得したい場合には、正しいOCRオプションを選択することが重要です。どのオプションを使用するかを決定する際には、文書のタイプと複雑さだけでなく、結果の文書の意図される用途についても考慮されるべきです。以下のオプションのグループが利用可能です：

- [PDF認識モード](#)^[320]
- [OCRスピードと正確性のバランス](#)^[321]
- [文書タイプ](#)^[322]
- [構造的要素の検出](#)^[322]
- [バーコード](#)^[322]
- [パターンと言語](#)^[322]
- [認識されたテキストで使用するフォントを選択](#)^[322]

OCRオプションは **OCR** ダイアログボックスの **オプション**（このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます）。

 ABBYY FineReaderはOCRプロジェクトに追加したページをすべて自動で認識します。現在選択されているオプションがOCRに使用されます。新たに追加した画像の自動分析および自動 OCR は、**画像処理** ダイアログボックスの **オプション**（このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます）。

 文書の認識語にOCRオプションを変更する場合、OCR処理を再度実行して新しいオプションで文書が認識されるようにします。

PDF認識モード

これらの設定はテキストレイヤーと写真のあるPDF文書での使用が意図されています。そうしたPDF文書は通常、編集可能な書式の文書から作成されます。検索可能なPDFや画像のみのPDFなどの、その他の種類のPDF文書は常に、こうしたPDFの種類では、デフォルトの設定になっている **OCRの使用** モードで処理されます。それらのPDFを処理するために、追加の設定は必要ありません。

3種類の認識モードが利用可能です：

- **OCRかPDFのテキストかを自動選択**
プログラムはテキストレイヤーを精査して、既存のテキストレイヤーに品質の良いテキストが含まれる場合には、これを使用します。そうでない場合には、OCRを使用して新しいテキストレイヤーが作成されます。
- **OCRの使用**
OCRを使用して新しいテキストレイヤーが作成されます。このモードではより長く時間がかかりますが、粗悪な品質のテキストレイヤーの文書にはより適しています。

- **PDFからのテキストのみ使用**

これはテキストレイヤーのあるPDF文書のデフォルトモードです。プログラムはOCRを実行せずに元のテキストレイヤーを使用します。

OCRスピードと正確性のバランス

ABBYY FineReader PDF 15 を使用して以下を実行できます：

- **徹底した認識**

このモードでは、ABBYY FineReader は単純な文書と、複雑なレイアウトの文書の両方の分析と認識を行います。これには、塗りつぶされた背景に印刷されたテキストが配置された文書や、複雑な表 (白い格子線のある表、カラーのセルのある表を含む) のある文書が含まれます。

徹底した認識 より長い時間を要するもののより良い品質を達成する。

- **高速認識**

このモードは、レイアウトがシンプルで、画像の品質が高く、サイズの大きな文書の処理に推奨されます。

印刷タイプ

文書の印刷に使用されたデバイスの種類を指定します。以下も参照してください: [OCR前に考慮すべき文書の機能](#)³¹⁵。

構造要素を検出する

構造要素を検出するプログラムを選択：ヘッダー、フッター、脚注、表の内容、リスト。選択された要素は文書が保存された場合にクリック可能になります。

バーコード

文書にバーコードが含まれ、それを写真として保存するのではなく、それを文字列や数字に変換したい場合には、を選択します。**バーコードを文字列に変換**。この機能はデフォルトではオフになっています。

パターンと言語

以下のテキストのタイプでは、学習機能を使用した認識が使用されます：

- 特殊記号のあるテキスト（例：数学機能）
- 装飾的な要素のあるテキスト
- 粗悪な品質の画像から作成された大量のテキスト（100ページ以上）

[学習機能](#)²⁰³はデフォルトではオフになっています。OCR実行中に **新しい文字や連結線の認識のために学習機能を使用** ABBYY FineReaderの学習機能を使用するには、をオンにしてください。

認識にはビルトインまたは独自のパターンを使用できます。

 ユーザーパターンと言語の設定を保存、読み込みできます。以下も参照してください: [OCRプロジェクト](#)¹⁸²。

フォント

ここでは、認識されたテキストを保存する際に使用するフォントを選択できます。

フォントを選択する方法：

1. **フォントの選択...** ボタンをクリックします。
2. 目的のフォントを選択して、をクリックします。 **OK**。

複雑なスクリプト言語を使った作業

ABBYY FineReaderを使用して、アラビア語、ヘブライ語、イディッシュ語、タイ語、中国語、日本語、韓国語の文書を認識できます。中国語、日本語、韓国語の文書およびこれらの言語とヨーロッパの言語が組み合わさって使用された文書で作業する場合には、いくつかの追加的要素を考慮する必要があります。

- [推奨されるフォント](#) ³²³
- [画像の自動処理をオフにする](#) ³²⁴
- [1つ以上の言語で書かれた文書の認識](#) ³²⁵
- [テキストウィンドウに非ヨーロッパ文字が表示されない場合](#) ³²⁵
- [認識されたテキストの方向を変更する](#)

推奨されるフォント

アラビア語、ヘブライ語、イディッシュ語、タイ語、中国語、日本語、韓国語のテキストの認識は、追加のフォントをインストールする必要があります。次の表は、これらの言語のテキストの推奨フォントを示します。

OCR言語	推奨されるフォント
アラビア語	Arial™ Unicode™ MS
ヘブライ語	Arial™ Unicode™ MS
イディッシュ語	Arial™ Unicode™ MS
タイ語	Arial™ Unicode™ MS Aharoni David Levenim mt Miriam Narkisim Rod

中国語 (簡体字)	Arial™ Unicode™ MS
中国語 (繁体字)	以下にあげるようなSimSunフォント：
日本語、韓国語	Example SimSun (Founder Extended)
韓国語 (ハングル)	SimSun-18030、NSimSun。
	Simhei
	YouYuan
	PMingLiU
	MingLiU
	Ming(ISO10646用)
	STSong

以下のセクションでは、認識精度を向上するためのアドバイスが提供されます。

画像の自動処理をオフにする

デフォルトでは、OCRプロジェクトに追加される [すべてのページは](#)  自動で認識されます。

しかし、文書にヨーロッパ言語と組み合わせられた中国語、日本語、韓国語のテキストが含まれる場合、ページ
の方向の自動検出をオフにして、すべてのページ画像が正しい方向の場合にのみデュアルページ分割オプション
を使用することが推奨されます（例：上下逆にスキャンされていない）。

ページの向きを修正 および **見開きページを分割する** ダイアログボックスのタブの **画像処理** ダイアログボク
スの **オプション**（このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます）。

📄 アラビア語、ヘブライ語、またはイディッシュ語で見開きのページを分割する場合には、必ず対応するOCR言語を選択してから **見開きページを分割する** オプションをクリアします。オプションを選択して **ブックのページを差し替える** オプションをクリアします。以下も参照してください: [OCR プロジェクト](#)^[182]。

文書構造が複雑な場合には、自動分析と画像のOCRをオフにして、これらの操作を手動で実行することが推奨されます。

新たに追加した画像の自動分析および自動 OCR は、**画像処理** ダイアログボックスの **オプション**（このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます）。

1. をクリックします **ツール > オプション...** とクリックして **オプション**^[285] ダイアログボックスを開きます。
2. **画像処理** タブで **ページの画像がOCRエディタに追加されたら自動で処理する** オプションをクリアします。
3. をクリックします **OK** をクリックします。

1つ以上の言語で書かれた文書の認識

以下の手順は、英語と中国語のテキストを含む文書の認識方法の一例として提供されています。他の言語を含む文書も同様の方法で認識できます。

1. メインツールバーで言語リストから **その他の言語...** を選択します。 **言語エディタ** タブで **OCR 言語を手動で指定** を選択し、言語のリストから中国語と英語を選択します。
2. ページをスキャンするか、画像を開きます。
3. プログラムが画像のすべてのエリアの検出に失敗した場合：
 - エリア編集ツールを使用してエリアを手動で **指定します**^[192]
 - 1つの言語のみが含まれるエリアを選択し、**領域のプロパティ** で、英語または中国語を適切に選択します。
💡 同一タイプのエリアに対してのみ言語を指定できます。異なるタイプのエリアを選択した場合、例えば **テキスト** および **表** などの場合には、言語を指定できません。
 - 必要に応じて、ドロップダウンリストで **向き** テキストの方向を提供します（詳細については [縦書きまたは反転したテキストが認識されなかった場合](#)^[209] を参照してください）
 - 中国語、日本語、韓国語のテキストの場合、プログラムはドロップダウンリストに **CJK テキストの向き** テキストの方向を提供します（詳細については [エリアプロパティの編集](#)^[196]）。

テキストペインに非ヨーロッパ文字が表示されない場合

中国語、日本語、韓国語のテキストがテキストペインに不適切に表示される場合、**プレーンテキスト** モードを選択する必要があります。

モードで使用されるフォントを変更 **プレーンテキスト** する：

1. をクリックします ツール > オプション... とクリックして、[オプション](#)^[285] ダイアログボックスを開きます。
2. エリアとテキスト。
3. ドロップダウンリストからArial Unicode MSを選択します プレーン テキストの表示に使用するフォント。
4. をクリックします **OK**をクリックします。

それでも問題が解消せず、テキスト ウィンドウのテキストが誤って表示される場合には、[正しくないフォントが使用されている場合や、一部の文字が"?" または"□" に置き換えられている場合](#)^[202]。

認識されたテキストの方向を変更する

ABBYY FineReaderはテキストの方向を自動で検出しますが、テキストの方向を手動で指定することもできます。

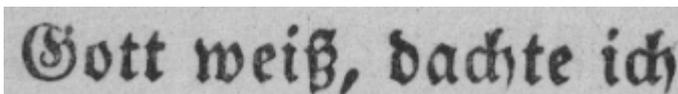
1. テキストペインをオンにします。
2. 1つ以上の段落を選択します。
3.  テキストペインのツールバーのボタンをクリックします。

 画像ペインのドロップダウンリストを使用して **CJK テキストの向き** OCRの実行前にテキストの方向を指定できます。以下も参照してください: [エリアプロパティの編集](#)^[196]。

ブラックレター (Gothic Script) で書かれたテキストの認識

ABBYY FineReaderは英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ラトビア語のブラックレター (Gothic Script) で書かれた歴史文書や歴史書を認識するのに役立ちます。このような文書の処理は、以下に示すいくつかの点で異なります。

- [ブラックレター認識言語](#)^[326]
- [サポート対象のブラックレターフォント](#)^[327]
- [ブラックレターで書かれたテキストの認識手順](#)



サンプルテキスト

ブラックレター認識言語

ブラックレターで書かれたテキストを認識するため、このプログラムは次の6つの言語を使用します：

1. 古典英語.

2. 古典フランス語.
3. 古典ドイツ語.
4. 古典イタリア語.
5. 古典スペイン語.
6. ラトビアのゴシック体.

サポート対象のブラックレターフォント

認識結果のテキストをブラックレターで表示するには、追加Windowsフォントのインストールが必要になる場合があります。

	Textur	Fraktur	Schwabacher
a	ⱥ	ⱦ	Ⱨ
d	ⱨ	Ⱪ	ⱪ
g	ⱬ	Ɑ	Ɱ
n	Ɒ	ⱱ	Ⱳ
o	ⱴ	Ⱶ	ⱶ
A	Ɀ	Ȿ	Ɀ
B	Ɀ	Ɀ	Ɀ
H	Ɀ	Ɀ	Ɀ
S	Ɀ	Ɀ	Ɀ

ABBYY FineReaderがサポートするブラックレターは次のとおりです：

1. Textur/Textualis — ブラックレター書体。
2. Fraktur — 角張ったブラックレター書体。
3. Schwabacher — 一部の文字に丸みを持たせた「崩した」書体。

ブラックレターフォントがインストールされていない場合、認識結果はArial、Times、Courierのいずれかで表示されます。

ブラックレターで書かれたテキストの認識手順

ブラックレターのテキストを含む文書を認識するには、以下を実行します：

1. OCRエディターウィンドウで、**その他の言語...**をメインツールバーの**言語**ドロップダウンリストから選択します。開いた**言語エディタ**ダイアログで、**OCR 言語を手動で指定**オプションを選択してリストから適切な言語³²⁶を選択します。その後、[OK] をクリックします。

 同時に複数の認識言語を選択すると（英語と古英語、ドイツ語と古ドイツ語など）、認識結果に悪影響を及ぼす可能性があります。これを回避するには、[ブラックレターの認識に使用する言語](#)^[326]のみを指定してください。

 OCRエディターの起動方法に関する詳細は、「[OCRエディターの起動](#)^[173]」を参照してください。

2. スキャンするか、画像を開きます。

 詳細については、「[文書の取得](#)^[178]」を参照してください。

3. メインツールバーの  **認識** ボタンをクリックします。

認識結果がテキストウィンドウに表示されます。

 認識結果は、ソース文書が使用マシンにインストールされている[サポート対象フォント](#)^[327]で書かれている場合はブラックレターフォントで表示されます。それ以外の場合はArial、Times、Courierのいずれかが使用されます。

 必要に応じて結果のフォントを変更します：

1. 適切なテキストを選択します。
2. そのテキストのコンテキストメニューで**プロパティ**をクリックします。
3. **テキストのプロパティ**パネルで、リストから適切なフォントを選択します。

文書のテキストは指定されたフォントで表示されます。

サポートされているインターフェイスの言語

ABBYY FineReaderのインストール時にインターフェイスの言語は選択されています。この言語はすべてのメッセージ、ダイアログボックス、メニューアイテムで使用されます。インターフェイスの言語を変更するには、以下の指示に従ってください：

1. メニューの **オプション... ツール** をクリックして **オプション** ログックスを開き、**その他**。
2. ドロップダウンメニューから希望する言語を選択します **インターフェイス言語**。
3. **OK** をクリックしま。
4. ABBYY FineReaderを再起動します。

ABBYY FineReader PDF 15 は23のGUI言語をサポートします：

- 英語
- ブルガリア語
- ハンガリー語
- ベトナム語
- オランダ語
- ギリシア語
- デンマーク語
- スペイン語
- イタリア語
- 中国語繁体字
- 中国語簡体字
- 韓国語
- ドイツ語
- ポーランド語
- ポルトガル語 (ブラジル)
- ロシア語
- スロバキア語
- トルコ語

- ウクライナ語
- フランス語
- チェコ語
- スウェーデン語
- 日本語

スタンプ、およびヘッダーやフッターの現在の日付と時間」を

現在の日付を表示するスタンプとベイツナンバーを作成することができます。スタンプマネージャーまたはベイツナンバーマネージャーで以下のタグを使用します。

タグ		例
<d/>	短縮形での日付	07.02.2013
<date/>	正式な形式の日付	7 February 2013
<t12/>	12時間形式での時間表示	9:22 PM
<t24/>	24時間形式での時間表示	21:22
<time/>	HH:MM:SS形式の時間表示	21:22:51

デフォルトでは、コンピュータの地域設定が日付と時間の形式を決定します。別の形式を指定できます。例えば<d=RUS/>、<date=USA/>、<time=ENG/>。結果はプレビューペインに即座に表示されます。

ここをクリックして一部の例を表示します

<d=USA/ 2/7/2013

>

<d=ENG/ 07/02/201

>

3

<d=RUS/ 07.02.2013

>

<d=DEU/ 07.02.2013

>

<d=FRA/ 07/02/201

>

3

<d=ITA/> 07/02/201
3

<d=ESP/> 07/02/201
3

<d=NLD/ 7-2-2013
>

<d=PO/> 07.02.2013

<d=HUN/ 2013.02.07
>

<d=CZ/> 07.02.2013

<d=SL/> 7. 2. 2013

カスタムの日付と時間の形式を指定できます。

ここをクリックして一部の例を表示します

<date=USA %A/> 金曜日

<date=DEU %B, %Y/> February, 2013

<time %Hh %Mm/> 09h 22m

<date/>および<time/>タグを使用して日付と時間の形式を指定できます。

<date/> パラメータ		例
年		
%y	(最初にゼロがある) 01から99の数として年を表記	01
%#y	(最初にゼロを付けない) 01から99の数として年を表記	1
%Y	(最初にゼロがある) 0001から9999の数として年を表記	2013
%#Y	(最初にゼロを付けない) 1から9999の数として年を表記	2013
月		
%b	月の省略名	Feb
%B	月の完全な名前	February

%m	(最初にゼロがある) 01から12の数として月を表記	02
%#m	(最初にゼロを付けない) 01から12の数として月を表記	2
日付		
%d	(最初にゼロがある) 01から31の数として日を表記	07
%#d	(最初にゼロを付けない) 01から31の数として日を表記	7
曜日		
%a	曜日の省略名	Tu
%A	月の完全な名前	Tuesday
<time/> parameters		例
時間		
%H	(最初にゼロを付ける00から23の) 24時間形式での時間表記	07
%#H	(最初にゼロを付けない00から23の) 24時間形式での時間表記	7
%I	(最初にゼロを付ける01から12の) 12時間形式での時間表記	05
%#I	(最初にゼロを付けない01から12の) 12時間形式での時間表記	5
%p	12時間表記のA.M./P.M.*	AM
分と秒		
%M	(最初にゼロがある) 00から59の数として分を表記	04
%#M	(最初にゼロを付けない) 00から59の数として分を表記	4
%S	(最初にゼロがある) 00から59の数として秒を表記	04
%#S	(最初にゼロがない) 00から59の数として秒を表記	4
追加のパラメータ		
%%	パーセント記号	

地域設定を変更

1. をクリックします [スタート] > コントロール パネル) > **地域と言語のオプション**
2. **フォーマット** タブで日付と時間に使用する形式を選択するか、**オプション** をクリックして独自の日付と時間の形式を作成します。

Windows 10の場合、次のようにクリックします： [スタート]  > **PC の設定** > **時間と言語** > **地域と言語**。

*USA、ENG、HUN、CZ地域でのみ利用可能です。

サポートされている言語のテキストを正しく表示するために必要なフォント

OCR言語	フォント
アブハズ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
アヴァール語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
アグル語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
アディゲ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
アルタイ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
アラビア語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
アルメニア語 (東部、西部、グラバー) *	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
バシキール語 *	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Palatino Linotype
ベトナム語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ガガウズ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ダルガ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
ズルー語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
ヘブライ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ 、 Aharoni、 David、 Levenim mt、 Miriam、 Narkisim、 Rod
イディッシュ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
イングーシ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode

カバルド語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
中国語 (簡体)、中国語 (繁体字)	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ 、SimSun フォント 例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、NSimSun Simhei、YouYuan、PMingLiU、MingLiU、Ming(for-ISO10646)、STSong
韓国語、韓国語 (ハングル)	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ 、SimSun フォント 例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、NSimSun Simhei、YouYuan、PMingLiU、MingLiU、Ming(for-ISO10646)、STSong
コリヤーク語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
Lak	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
レズギ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
マンシ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
マリ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
オセチア語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ロシア語 (古い綴り)	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Palatino Linotype
タバサラン語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
タジク語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Palatino Linotype
タイ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ウドムルト語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ハカス語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ハンティ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵
ハウサ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
チェチエン語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
チュヴァシ語	Arial Unicode MS(*) ³³⁵

チュクチ語	Arial Unicode MS ^(*) ³³⁵ Lucida Sans Unicode
ヤクート語	Arial Unicode MS ^(*) ³³⁵
日本語	Arial Unicode MS ^(*) ³³⁵ 、SimSun フォント 例: SimSun (Founder Extended)、SimSun-18030、NSimSun Simhei、YouYuan、PMingLiU、MingLiU、Ming(for-ISO10646)、STSong

どこで見つかるか/供給元

(*) Microsoft Office 2000またはそれ以降

正規表現

下の表は [カスタムの言語](#)²⁰⁷ の辞書を作成するために使用できる正規表現を一覧にしたものです。

アイテム名	従来の正規表現記号	使用例と説明
任意の文字	.	c.t — 「cat」、「cot」などを表す
グループ内の文字	[]	[b-d]ell — 「bell」、「cell」、「dell」などを表す [ty]ell — 「tell」および「yell」を表す
グループ内にはない文字	[^]	[^y]ell — 「dell」、「cell」、「tell」を表すが、「yell」は禁止 [^n-s]ell — 「bell」、「cell」を表すが、「nell」、「oell」、「pell」、「qell」、「rell」および「sell」は禁止
または		c(a u)t — 「cat」および「cut」を表す
0 以上の一致	*	10* — 1、10、100、1000 などの数を表す
1 以上の一致	+	10+ — 10、100、1000 などは許可するが、1 は禁止
文字または数字	[0-9a-zA-Za-zA-ЯA-Я]	[0-9a-zA-Za-zA-ЯA-Я] — 任意の 1 文字を許可 [0-9a-zA-Za-zA-ЯA-Я]+ — 任意の単語を許可
大文字のラテン文字	[A-Z]	
小文字のラテン文字	[a-z]	
大文字のキリル文字	[A-Я]	

小文字のキリル文字	[a-я]	
数字	[0-9]	
	@	予備

注意

1. 正規表現記号を通常の文字として使用するには、前にバックスラッシュを付けます。例えば、[t-v]x+ は tx、txx、txx など、ux、uxx などを表しますが、\[t-v\]x+ は [t-v]x、[t-v]xx、[t-v]xxx などを表します。
2. 正規表現の要素をグループ化するには、かっこを使用します。例えば、(a|b)+|c は c または abbbbaabbb、ababab などの任意の組み合わせ (長さがゼロではなく、任意の数の a および b が任意の順序で並んでいる単語) を表しますが、a|b+|c は a、c、および b、bb、bbb などを表します。

例

生年月日、名前、電子メール アドレスの 3 列からなる表を認識するとします。この場合、日付とアドレスの 2 つの新しい言語を作成し、それらに以下の正規表現を設定することができます。

日付の正規表現

日を表す数は 1 桁の数字 (1、2、など) または 2 桁の数字 (02、12) で構成できますが、ゼロ (00 または 0) にはできません。したがって、日の正規表現は次のようになります: (([0][1-9])|([1]2|[0-9])|(30)|(31))。

月の正規表現は次のようになります: (([0][1-9])|(10)|(11)|(12))。

年の正規表現は次のようになります: (([19][0-9][0-9]|([0-9][0-9])|([20][0-9][0-9]|([0-9][0-9]))。

この後すべきことは、これらをすべて組み合わせて、数字をピリオドで区切るだけです (1.03.1999 など)。ピリオドは正規表現記号であるため、前にバックスラッシュ (\) を付ける必要があります。

日付全体の正規表現は、次のようになります:

```
(([0][1-9])|([1]2|[0-9])|(30)|(31))\.\(([0][1-9])|(10)|(11)|(12))\.\(([19][0-9][0-9]|([0-9][0-9])|([20][0-9][0-9]|([0-9][0-9]))
```

電子メール アドレスの正規表現

```
[a-zA-Z0-9_\-\.]+\@[a-z0-9\-\.]+
```

コマンドラインを使う

コマンドラインを使って、スキャン文書、PDFファイル、画像ファイルに対応する形式に変換することができます。また、OCRエディターウィンドウやABBYYドキュメントの比較を開かなくても、同一文書の2つのバージョンを比較することができます。

コマンドラインを使って文書进行处理するには、以下の手順で行います：

1. **Win+R**のキーの組み合わせを押してコマンドラインインターフェースを開きます。次に、コマンドラインに「cmd」と入力して**OK**をクリックします。
2. 文書の**変換**³³⁷または**比較**³³⁹のコマンドを入力して**Enter**キーを押します。ABBYY FineReaderのダイアログウィンドウが画面に表示されます。これで、進捗バーや関連するヒントおよび警告が表示されます。
3. 文書の処理が終わると、その結果が適切なアプリケーションで開きます。
 変換結果を保存する³⁴²には、手動で保存処理を実行します。

章の内容：

- [文書変換のコマンドラインパラメータ](#)³³⁷
- [文書比較のコマンドラインパラメータ](#)³³⁹
- [コマンドラインを使って結果を保存する](#)³⁴²
- [コマンドライン用のLangNameパラメータ値](#)³⁴⁵

文書変換のコマンドラインパラメータ

文書を編集可能な形式に変換するには、以下のコマンドを実行します：

FineReaderOCR.exe <ImageSourceCommands> <RecognitionCommands> <ExportCommands>

FineReaderOCR.exe		<p>プログラムがインストールされたフォルダ内でのFineReaderOCR.exeファイルのパス。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> フルパスにスペースが含まれている場合は、引用符（'）で囲います。</p>
<p><ImageSourceCommands > - 認識するソース文書</p>	ImageFiles	<p>画像ファイルまたはPDF文書のパス。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> スペースで区切ることで、複数のファイルを指定できます。フルパスにスペースが含まれている場合は、引用符（'）で囲います。</p>

	/scan [SourceName]	<p>スキャナーから画像を取得します。SourceName は、スキャナー名です。</p> <p>☑ SourceNameが指定されていない場合、最近使用したスキャナーがデフォルトとして使用されます。スキャナー名にスペースが含まれている場合は、引用符 (') で囲みます。</p>
<p><RecognitionCommands> - 認識パラメータ</p>	/lang LangName	<p>LangNameは認識言語です。</p> <p>☑ LangNameが指定されていない場合、最近使用した言語がデフォルトとして使用されます。スペースで区切ることで、複数の認識言語を指定できます。</p> <p>☑ 対応しているコマンドライン認識言語の一覧は、コマンドライン用のLangNameパラメータ値³⁴⁵をご覧ください。</p> <p>☑ OCRプロジェクトフォルダにカスタム認識言語が保存されていれば、それを指定することもできます。指定方法は、名前の前に「@」マークを2つ入力します。例) 「@@ UserLang」。カスタム認識言語の名前自体に、「!」や「@」などの非アルファベット記号を使うことはできません。</p>

<p><ExportCommands> - 認識結果エクスポート</p>	<p>/send Target</p>	<p>Targetは、認識結果の送信先となる外部アプリケーション名です。「Target」を以下のいずれかで置き換えます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • MSWord - Microsoftワード • MSExcel - Microsoftエクセル • OpenOffice - Apache OpenOffice • Mail - 使っているメールアプリケーション（結果はMicrosoftワード形式） • Clipboard - クリップボード • WebBrowser - デフォルトのウェブブラウザ • PDFViewer - デフォルトのPDFビューア • PowerPoint - Microsoftパワーポイント
--	---------------------	--

サンプルコマンド：

```
"C:\Program Files (x86)\ABBYY FineReader 15\FineReaderOCR.exe" D:\Documents\Guide_German.pdf /lang German /send MSWord
```

上記のコマンドは、OCRエディターでGerman-language Guide_German.pdfというファイルを変換してMicrosoftワードで開きます。

 変換結果の自動保存に関する詳しい情報は、[コマンドラインを使ってプログラム起動時に変換結果を保存する](#) ³⁴²をご覧ください。

文書比較のコマンドラインパラメータ

ABBYY ドキュメントの比較で、同一文書の2つのバージョンを比較するには、以下のコマンドを実行します：

```
Comparator.exe /compare <ImageSourceCommands> <ComparisonCommands>
```

<p>Comparator.exe /compare</p>		<p>Comparator.exeは、プログラムがインストールされたフォルダ内にあるComparator.exeファイルへのパスです。</p>
--------------------------------	--	---

<p><ImageSourceCommands> - 比較する文書</p>	<p>/file1:File_1 /file2:File_2</p>	<p>File_kは文書のパスです。</p> <p>☑ フルパスにスペースが含まれている場合は、引用符 (') で囲います。</p>
<p><ComparisonCommands> - 比較設定</p>	<p>/lang:LangName</p>	<p>LangNameは文書の言語です。</p> <p>☑ LangNameが指定されていない場合、最近使用した言語がデフォルトとして使用されます。スペースで区切ることで、複数の認識言語を指定できます。</p> <p>☑ 対応しているコマンドライン認識言語の一覧は、コマンドライン用のLangNameパラメータ値^[345]をご覧ください。</p>
	<p>追加オプション： /recMode:RecognitionMode</p>	<p>PDF認識モード。「RecognitionMode」を以下のいずれかで置き換えます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • UseOnlyPdfText - PDFファイルのテキストだけを使用します。このモードはデフォルトでオンになっています（/recMode:RecognitionModeオプションが指定されていないとき）。 • AutoChoose - OCRまたはPDFテキストのどちらを使用するかを自動的に選択します。 • UseOnlyOCR - OCRを使用します。 <p>☑ 文書処理モードに関する詳しい情報は、比較結果の向上^[265]をご覧ください。</p>

	<p>追加オプション :</p> <p>/options:OptionsList</p>	<p>OptionsListを以下のうちの1つ、もしくは複数で置き換えます（カンマで区切る） :</p> <ul style="list-style-type: none"> • NoheadersFooters - ヘッダーやフッターを検索しません（デフォルトでは、プログラムはヘッダーとフッターを検索します）。 • IgnorePunctDiff - 句読点の差異を無視します（デフォルトでは、プログラムは句読点のエラーを検索します）。 • IgnoreOneLetterDiff - 1以下文字の差異を無視します（デフォルトでは、プログラムはスペルチェックを実行します）。 • UngroupDiff - テキスト本文、ヘッダーとフッターで見つかった差異をグループ化しません（デフォルトでは、プログラムは差異をグループ化します）。
--	--	--

サンプルコマンド :

```
"C:\Program Files (x86)\ABBYY FineReader 15\Comparator.exe" /compare /file1:D:\Documents\Document1.pdf /file2:D:\Documents\Document2.pdf /lang:French /recMode:AutoChoose /options:IgnorePunctDiff,UngroupDiff /saveFile:D:\Documents\Comparison.docx /saveMode:Word
```

上記のコマンドは、Document1.pdfとDocument2.pdfというフランス語の文書の比較を実行し、OCRを使用するか、または文書テキストを使用するかを自動的に決定します。ABBYYドキュメントの比較は、すべての句読点の差異を無視し、見つけた差異をグループ分けしません。

 比較結果の自動保存に関する詳しい情報は、[コマンドラインを使ってプログラム起動時に比較結果を保存する](#)³⁴²をご覧ください。

コマンドラインを使って結果を保存する

💡 適切なABBYY FineReaderライセンスが必要です。

プログラム起動時に変換結果をコマンドラインで保存します

スキャンされた文書、PDFファイル、または画像ファイルを編集可能な形式に変換して結果を保存するには、以下のコマンドを実行します：

FineCmd.exe <ImageSourceCommands> <RecognitionCommands> <ExportCommands>
<OtherCommands>

FineCmd.exe		プログラムがインストールされたフォルダ内でのFineCmd.exeファイルのパス。 ☑ フルパスにスペースが含まれている場合は、引用符 (') で囲みます。
<ImageSourceCommands> - 認識するソース文書		詳しくは 文書変換のコマンドラインパラメータ ³³⁷ をご覧ください。
<RecognitionCommands> - 認識パラメータ		詳しくは 文書変換のコマンドラインパラメータ ³³⁷ をご覧ください。
<ExportCommands> - 結果を保存	/out Out.Ext	Out.Extは、認識結果を含むファイルへのパスで、.Extはファイルの拡張子です。すでに同じ名前のファイルが存在する場合は、修正されます。 ☑ 対応しているファイル形式の一覧は、 対応している文書形式 ³¹¹ をご覧ください。
<OtherCommands>	/report ReportFile	完了した変換タスクのレポートを作成します。ReportFileはレポートファイルのパスです。

サンプルコマンド：

```
"C:\Program Files (x86)\ABBYY FineReader 15\FineCmd.exe" D:\Documents\Document1.pdf /lang French /out D:\Documents\Result.docx /report D:\Documents\ReportFile
```

上記のコマンドは、OCRエディターでDocument1.pdfというフランス語のファイルをResult.docxというファイルに変換・保存します。ReportFileというレポートファイルも作成されます。

プログラム起動時に比較結果をコマンドラインで保存します

2つのバージョンの文書を比較して結果を保存するには、以下のコマンドを実行します：

Comparator.exe /compare <ImageSourceCommands> <ComparisonCommands>
<ExportCommands>

Comparator.exe /compare		Comparator.exeは、プログラムがインストールされたフォルダ内にあるComparator.exeファイルへのパスです。
<ImageSourceCommands> - 比較する文書		詳しくは 文書比較のコマンドラインパラメータ ^[339] をご覧ください。
<ComparisonCommands> - 比較設定		詳しくは 文書比較のコマンドラインパラメータ ^[339] をご覧ください。
<ExportCommands> - 結果を保存	/saveFile:Out.Ext	Out.Extは、比較結果を含むファイルへのパスで、.Extはファイルの拡張子です。すでに同じ名前のファイルが存在する場合は、修正されます。 ☑ ファイル拡張子は結果保存モードの形式と合わせます。 ☑ 対応している形式の一覧は、 対応している文書形式をご覧ください。 ^[311]
	/saveMode:SaveMode	比較結果保存モード「SaveMode」を以下のいずれかで置き換えます： <ul style="list-style-type: none"> • PdfDocument1 - 最初の文書をPDF形式で保存し、すべての差異にコメントをつけます。 • PdfDocument2 - 2つ目の文書をPDF形式で保存し、すべての差異にコメントをつけます。 • Word - 差違の一覧をMicrosoft Wordの表として保存します。

サンプルコマンド：

```
"C:\Program Files (x86)\ABBYY FineReader 15\Comparator.exe" /compare /file1:D:\Documents\Document1.pdf /file2:D:\Documents\Document2.pdf /lang:French /recMode:AutoChoose /options:IgnorePunctDiff,UngroupDiff /saveFile:D:\Documents\Comparison.docx /saveMode:Word
```

上記のコマンドは、フランス語文書のDocument1.pdfとDocument2.pdfに対する比較を実行します。プログラムは、OCRを使用するか、または既存のPDFテキストを使用するかを自動的に決定します。ABBYY ドキュメントの比較は、すべての句読点の差異を無視し、見つけた差異をグループ分けしません。比較結果は Comparison.docx（表として）というファイルに保存されます。

コマンドライン用のLangNameパラメータ値

下記はABBYY FineReaderをコマンドラインで実行する際に使用する認識言語パラメータ値のリストです。比較可能な言語にはアスタリスク (*) が付いています。

- Abkhaz
- Adyghe
- Afrikaans
- Agul
- Albanian
- Altaic
- Arabic
- ArmenianEastern
- ArmenianGrabar
- ArmenianWestern
- Awar
- Aymara
- AzeriCyrillic
- AzeriLatin*
- Bashkir*
- Basic
- Basque
- Belarusian
- Bemba
- Blackfoot
- Breton
- Bugotu
- Bulgarian*
- Buryat

- C++
- Catalan*
- Chamorro
- Chechen
- Chemistry
- ChinesePRC
- ChineseTaiwan
- Chukcha
- Chuvash
- Cobol
- Corsican
- CrimeanTatar
- Croatian*
- Crow
- Czech*
- Danish*
- Dargwa
- Digits
- Dungan
- Dutch*
- DutchBelgian*
- English*
- EskimoCyrillic
- EskimoLatin
- Esperanto
- Estonian*

- Even
- Evenki
- Faeroese
- Fijian
- Finnish*
- Fortran
- French*
- Frisian
- Friulian
- GaelicScottish
- Gagauz
- Galician
- Ganda
- German*
- GermanLuxembourg
- GermanNewSpelling*
- Greek
- Guarani
- Hani
- Hausa
- Hawaiian
- Hebrew*
- Hungarian*
- Icelandic
- Ido
- Indonesian*

- Ingush
- Interlingua
- Irish
- Italian*
- Japanese
- Java
- Kabardian
- Kalmyk
- KarachayBalkar
- Karakalpak
- Kasub
- Kawa
- Kazakh
- Khakas
- Khanty
- Kikuyu
- Kirgiz
- Kongo
- Korean*
- KoreanHangul*
- Koryak
- Kpelle
- Kumyk
- Kurdish
- Lak
- Lappish

- Latin
- Latvian*
- Lezgin
- Lithuanian*
- Luba
- Macedonian
- Malagasy
- Malay
- Malinke
- Maltese
- Mansi
- Maori
- Mari
- Mathematical
- Maya
- Miao
- Minankabaw
- Mohawk
- Mongol
- Mordvin
- Nahuatl
- Nenets
- Nivkh
- Nogay
- NorwegianBokmal*
- NorwegianNynorsk*

- Nyanja
- Occidental
- Ojibway
- Ossetic
- Papiamentu
- Pascal
- PidginEnglish
- Polish*
- PortugueseBrazilian*
- PortugueseStandard*
- Provencal
- Quechua
- RhaetoRomanic
- Romanian*
- RomanianMoldavia
- Romany
- Ruanda
- Rundi
- Russian*
- RussianOldSpelling
- RussianWithAccent
- Samoan
- Selkup
- SerbianCyrillic
- SerbianLatin
- Shona

- Sioux
- Slovak*
- Slovenian*
- Somali
- Sorbian
- Sotho
- Spanish*
- Sunda
- Swahili
- Swazi
- Swedish*
- Tabassaran
- Tagalog
- Tahitian
- Tajik
- Tatar*
- Thai
- Tinpo
- Tongan
- TranscriptionEnglish
- Tswana
- Tun
- Turkish*
- Turkmen
- TurkmenLatin
- Tuvin

- Udmurt
- UighurCyrillic
- UighurLatin
- Ukrainian*
- UzbekCyrillic
- UzbekLatin
- Vietnamese*
- Visayan
- Welsh
- Wolof
- Xhosa
- Yakut
- Yiddish
- Zapotec
- Zulu

ABBYY FineReader PDF

15のインストール、ライセンス認証、登録

ソフトウェアの著作権侵害はソフトウェアメーカーとエンドユーザーの両方に有害です。違法な製品を使用することは決して安全ではありません。正当なソフトウェアは、サードパーティ企業が有害なコード変更を加えることを確実に阻止します。ABBYYは、自社の知的所有権を保護するとともにお客様のセキュリティを確保することに全力を注いでいます。

ABBYYソフトウェア製品にはABBYYとのライセンス契約を結んでいない人による無断使用を防止する特別な保護技術が含まれます。制限なくABBYY FineReaderを使用できるようにするには、ライセンス認証を行う必要があります。

登録は選択可能ですが、登録されたユーザーには一定の恩恵が付与されます。

本章の内容

- [システム要件](#) 354
- [ABBYY FineReaderのインストールと起動](#) 355
- [ABBYY FineReaderのライセンス認証](#) 356
- [ABBYY FineReaderの登録](#) 358
- [プライバシーポリシー](#) 358

システム要件

- 1 オペレーティングシステム：
 - Microsoft Windows 10 / 8.1
 - Microsoft Windows Server 2019 / 2016 / 2012 R2
 オペレーティングシステムは、ユーザーインターフェースに選択した言語をサポートする必要があります。
- 2 1 GHz または 32 ビット (x86) または 64 ビット (x 64) プロセッサ SSE2命令のセット。
- 3 1 GB の RAM (4 GB を推奨)。
さらに 512 MB RAM がマルチプロセッサシステムの各追加プロセッサに必要です。
- 4 インストールに1.5GBの空き容量、プログラムの動作に追加の1.5GB。
- 5 1024 × 768 以上の解像度をサポートするビデオカードとモニター。
- 6 シリアル番号のライセンス認証のためのインターネット接続。
- 7 キーボード、マウス、またはその他ポインティング デバイス。

ターミナルサーバーサポート

ABBYY FineReader PDF 15 は次のターミナルサーバーでテストされています。

- Microsoft Windows Server 2019, 2016, 2012 R2 (リモートデスクトップ、RemoteApp、リモートデスクトップウェブアクセス)
- Citrix Workspace App 1808 (*インストールされたアプリケーションを使って、サーバーからアクセスするシナリオを参照してください*) 、 Citrix Virtual Apps and Desktops

スキャナーや複合機

ABBYY FineReader PDF 15 はTWAINおよびWIA互換のスキャナーおよび複合機 (MFP) をサポートします。

📄 ABBYY FineReader PDF 15 によってサポートされるファイル形式のリストは、次を参照してください： [サポートされている文書の形式](#)³¹⁷。

ABBYY FineReaderのインストールと起動

ABBYY FineReader を1台のコンピュータにインストールする

1. インストールディスクまたはその他の配布メディアで **Setup.exe** ファイルをクリックします。
2. 画面に表示されるインストールウィザードの手順に従います。

ABBYY FineReader PDF 15 を LAN で配置する

ABBYY FineReaderはローカルエリアネットワークにインストールして使用できます。*。ローカルエリアネットワークにABBYY FineReaderをインストールする際に自動インストール方法を使用すると、各ワークステーションに手動でプログラムをインストールする必要がなくなるため、早く、フレキシブルに実行できます。

インストールは2つのステージで構成されます。まず、サーバーにプログラムをインストールします。以下のいずれかの方法を使用して、サーバーからプログラムをワークステーションにインストールできます。

- アクティブディレクトリを使用する方法
- Microsoft System Center Configuration Manager (SCCM)を使用する方法
- コマンドラインから行う方法
- インタラクティブモードで手動で行う方法

ライセンスマネージャーを使用したワークステーションへのABBYY FineReaderのインストール、およびローカルエリアネットワークでのプログラムの使用に関する詳細情報は [システム管理者ガイドを参照してください](#)。

ABBYY FineReaderの起動

ABBYY FineReader PDF 15:

- **[スタート]** ボタンをWindowsでクリックしたら、次のようにクリックします：**すべてのプログラム > ABBYY FineReader PDF 15**（Windows 10では、**[スタート]**  **> すべてのプログラム** その後 **ABBYY FineReader PDF 15** をクリックします）。
- または、文書のファイルをWindows Explorerで右クリックします（サポート [される形式である必要があります](#)³¹¹）その後、**ABBYY FineReader PDF 15** または **ABBYY FineReader PDF 15** をクリックして、変換コマンドのうちの1つを選択します。

* この機能はの一部のエディションの ABBYY FineReader。以下も参照してください： ABBYYウェブサイトの FineReaderページ (<http://www.ABBYY.com/FineReader/>³⁵⁵) でエディションのリストと機能を参照してください。

ABBYY FineReaderのライセンス認証

ABBYY FineReader PDF 15 をインストールした後、フル モードで実行するには、ライセンス認証を行う必要があります。ABBYY FineReader PDF 15 のライセンス認証を行わない限り、プログラムはトライアルモードで実行され、プログラムを試すことはできますが保存できるページ数に限りがあり、一定期間経過後に機能しなくなります。

ABBYY FineReader PDF 15 のライセンス認証：

1. オプションのグループの **新規タスク** ウィンドウで、以下の順にクリックします：**ヘルプ > ライセンス認証...**
2. シリアル番号を **入力するか**  ライセンスファイルがある場合には読み込みます。

アクティベーションウィザードに表示される4つのアクティベーションオプションのいずれかを選択します：

- **インターネット経由のライセンス認証**
ライセンス認証は自動的に行われ、数秒で完了します。この方法には有効なインターネット接続が必要です。
- **ABBYYウェブサイトを経由したライセンス認証**
 1. アクティベーション ウィザードのリンクをクリックしてライセンス認証ページを開きます。
 2. アクティベーションウィザードの **製品 ID**  をコピーして、ページ内の対応するフィールドに貼り付けます。
 3. アクティベーション ウィザードのシリアル番号をコピーしてページ内の対応するフィールドに貼り付けます。
 4. ライセンスファイルをハード ディスクに保存します。
 5. **次へ** アクティベーション ウィザードをクリックしてライセンスファイルへのパスを指定します。
 6. クリックします **次へ**。

ABBYY FineReader PDF 15 はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

- **電子メールによるライセンス認証**
 1. プログラムによりアクティベーションに必要な情報のすべてが記載された電子メールメッセージが作成されます。
 2. 本文や件名を変更せずにこの電子メールメッセージを送信します。ライセンスファイルが添付された返信メッセージが届きます。
 3. ライセンスファイルをハード ディスクに保存します。
 4. アクティベーション ウィザードにライセンスファイルへのパスを入力します。

ABBYY FineReader PDF 15 はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

• **他のコンピュータからの電子メールによるライセンス認証**

1. ABBYY FineReader PDF 15 がインストールされたコンピュータでライセンス認証を事項できない場合には、このライセンス認証方法を選択します（例えば、インターネット接続がない、電子メールメッセージを送信できないなど）。
2. ライセンス情報をテキストファイルに保存します。
3. 電子メールメッセージを送信できるコンピュータで新規電子メールメッセージを作成します。次に **ライセンス認証リクエスト** オプションのグループの **件名** フィールドに入力し、 FineReader-activation@abbyy.com^[356] と **送信先** フィールドに入力します。
4. テキストファイルの内容を電子メールメッセージにコピーします。メッセージが自動的に処理され、迅速に返信を受け取ることができるよう、変更を加えないでください。
5. メッセージを送信します。ライセンスファイルが添付された返信メッセージが届きます。
6. ライセンスファイルをハードディスクに保存します。
7. アクティベーション ウィザードにライセンスファイルへのパスを入力します。

ABBYY FineReader PDF 15 はライセンス認証され、フルモードで機能し始めます。

ABBYY FineReaderを一旦ライセンス認証したら、同一のコンピュータに何度でもインストールでき、再度ライセンス認証を実行する必要はありません。しかし、ハードディスクがフォーマットされた場合やオペレーティングシステムが再インストールされた場合など、コンピュータのハードウェア構成に重大な変更が加えられた場合には、ライセンスファイルを取得し、ABBYY FineReaderを再度ライセンス認証する必要が発生する場合があります。

ABBYY FineReaderの登録

ABBYY FineReader14のお手元のコピーを登録し、登録ユーザーのための特別な利点をお使いいただくことを推奨いたします。登録は任意です。

ABBYY FineReaderのコピーを以下の方法で登録できます：

- 製品のコピーのライセンス登録時に連絡先情報を提供します。
 ABBYY FineReader のライセンス認証プロセスで登録しないことを選択した場合でも、都合の良い時に、後で実行できます。
- 次のようにクリックします：**ヘルプ > 登録...**そして、登録ダイアログボックスに連絡先情報を提供します
- ABBYYウェブサイトでは登録プロセスを完了します (<https://www.abbyy.com/> に設定)。

登録ユーザーには以下の利点があります：

1. 無料 [テクニカル サポート](#)^[379]。*
2. [ABBYY Screenshot Reader](#)^[270] 簡単に使用できるスクリーンショット取得 & 画面上のテキスト認識アプリケーション。
3. シリアル番号を紛失した場合でも、復元できます。（例：オペレーティングシステムを再インストールする場合）。

製品のアップデートおよび新しいバージョンに関する通知を送信します。しかし、登録プロセスでこうした通知の受信に同意した場合のみに限定されます。

* 以下も参照してください： ABBYYウェブサイトのテクニカルサポートページ (<https://www.abbyy.com/en-us/support/> に設定)。

データプライバシー

当社はおお客様のプライバシーを尊重し、お客様の情報に関しては細心の注意を払います。当社は機密保持を条件として、またこの[プライバシー ポリシー](#)に基づいてお客様から受け取ったデータを収集、処理、使用いたします。

当社は製品に関するニュース、価格情報、特別なプロモーション、およびその他の企業情報や製品情報が記載された電子メール メッセージをお客様にしますが、メッセージの送信は、製品の登録の際にお客様が該当するオプションを選択して、**このような情報を当社から受け取ることに同意した場合に限られます**。お客様はいつでもマーケティングリストからご自身のメールアドレスを削除するよう[当社に依頼する](#)ことができます。

付録

本章の内容

- [用語集](#) 360
- [キーボードショートカットを使用します](#) 366

用語集

ABBYY FineReaderタスク は文書进行处理するためプログラムが実行する必要がある一連の連続的手順です。

ABBYY FineReader PDF 15 には最も一般的な文書処理のニーズのための多数のビルトインタスクが含まれます。ユーザーは自分自身のカスタムタスクを作成することもできます。ビルトインタスクは新規タスクウィンドウで開始できます。

ABBYY Hot Folder はユーザーが画像が含まれたフォルダーを選択し、そのフォルダーの画像进行处理する時間を指定できるようにするスケジュール作成エージェントです。ABBYY FineReaderは選択されたフォルダーの画像を自動で処理します。

ABBYY Screenshot Reader はユーザーがスクリーンショットを作成し、そこに含まれるテキストを認識できるようにするアプリケーションです。

ADF 自動文書フィーダーは、文書をスキャナに自動的に送り込む装置です。ADF付きのスキャナーは、手動での介入なしに複数のページをスキャンできます。ABBYY FineReaderは、複数ページの文書进行操作できます。

ADRT (適応文書認識技術) は、複数ページの文書の変換の品質を向上させる技術です。たとえば、見出し、ヘッダー、フッター、脚注、ページ番号、署名などの構造要素を認識できます。

dpiでスキャンすることが推奨されます (1 インチあたりのドット数)は画像の解像度の単位です。

OCR (光学文字認識)とは、コンピュータがテキストを読み、写真、表、その他の諸手記要素を検出できるようにするテクノロジーです。

OCRプロジェクトとは文書进行处理するために、ABBYY FineReaderによって作成されたプロジェクトです。文書のページの画像、認識されたテキスト (ある場合) および、プログラム設定が含まれます。

OCRプロジェクト オプションとはダイアログボックスで選択できる一連のオプションのことです **オプション** (このダイアログボックスは、**ツール > オプション...** とクリックすると開きます)。これらのオプションには、ユーザー言語、パターンなども含まれます。OCRプロジェクトオプションは保存し、その後別のOCRプロジェクトで使用することができます。

PDFタブで選択します。 (ポータブルドキュメントフォーマット) は、一般的な文書の形式です。PDFファイルは、そこに含まれるテキスト、フォント、グラフィックに関する詳細な説明のため、どのコンピュータ上でも同じ外観で表示されます。

PDFのセキュリティ設定とは、PDF文書を開いたり、編集、コピー、印刷を行ったりできないようにする制限です。これらの設定には、文書を開くパスワード、許可パスワード、および暗号化レベルが含まれます。

Unicode Unicode コンソーシアム (Unicode, Inc.) による国際テキストエンコード規格です。Unicode規格は、ほとんどすべての現代言語記号をエンコードするため容易に拡張できる16ビットシステムを提供します。記号をエンコードする方法を指定し、エンコード処理中に使用する必要があるアルゴリズムと文字プロパティを決定します。

ア

アクティブなエリアは画像上で選択されたエリアで、削除、移動または修正を行うことができます。エリアをアクティブにするには、クリックします。アクティブなエリアを囲む枠は太線で示され、サイズ変更ハンドルが付いています。このハンドルをドラッグすると、エリアの大きさを変更できます。

エ

エリア枠で囲まれた、特定の種類のデータを含む画像のセクションです。OCR を実行する前に、ABBYY FineReader では、画像のどの部分をどのような順序で認識すべきかを決定するために、テキスト、画像、表、およびバーコードのエリアを検出します。

エリアテンプレートは外観が類似した文書内のエリアの大きさと位置に関する情報を含むテンプレートです。

オ

オムニフォントシステムは、あらかじめ調整を行わずにあらゆるフォントとフォントサイズの文字を認識する認識システムです。

カ

カラーモード 文書の色を保持するかどうかを決定します。白黒画像は小さなサイズのOCRプロジェクトを作成し、処理速度も迅速です。

キ

キーボードショートカットを使用しますとは、押されたときに特定のアクションをトリガーするキーの組み合わせのことです。ホットキーを使って大幅に生産性を高めることができます。

コ

コードページは文字とコードとの対応関係を確立する表です。ユーザーは、利用できるコードページから必要な文字を選択できます。

[ストップに戻る](#)  360

サ

サポート ID とは、ライセンスおよびライセンスが使用されているコンピュータに関する情報が含まれるシリアル番号の一意の識別子です。サポート ID は、追加の保護を提供し、テクニカルサポートを提供する前にテクニカルサポートのスタッフによって確認されます。

シ

ショートカットメニュー とは、エリア、文書の別の部分などを右クリックした場合に表示されるメニューです。

シリアル番号 プログラム購入時に受領する一意の番号です。ライセンス認証時に使用されます。

ス

スキャナ とは、画像をコンピュータに入力するための機器です。

スキャンモード とは、モノクロ、グレースケール、またはカラーのいずれかで画像をスキャンする必要があるかを決定するスキャンパラメータです。

タ

タグ付けされたPDF 論理的な部分、画像、表などの文書構造に関する情報が含まれているPDF文書です。文書の構造は、PDFのタグでエンコードされます。PDFファイルのこのようなタグはさまざまな画面サイズに合うように調整でき、ハンドヘルドデバイスではうまく表示されます。

テ

テキストエリア とはテキストを含む画像エリアです。テキストエリアには一列のテキストのみが含まれます。

ド

ドライバー とは、コンピュータの周辺装置（スキャナー、モニターなど）を制御するソフトウェアプログラムです。

[ストップに戻る](#) 360

バ

バーコードエリア はバーコードを含む画像エリアです。

パ

パターン 平均化された文字の画像と、それぞれの名前との関連付けのセットです。パターンは特定のテキストでABBYY FineReaderの学習機能を使用した場合に作成されます。

パラダイム とは、単語のすべての文法的な形式のセットです。

フ

フォントのエフェクト はフォントの見かけのことです（例：太字、斜体、下線、取り消し線、下付き文字、上付き文字、スモールキャピタル）。

ブ

プライマリ形式 は、単語の「辞書形」のことです（辞書の見出し語は通常プライマリ形式で表記されています）。

ペ

ページレイアウト とは、ページ上のテキスト、表、写真、段落、列の配置のことです。フォント、フォントサイズ、フォントの色、テキストの背景、テキストの方向もまた、ページレイアウトの一部です。

[ストップに戻る](#)  360

ヘ

ヘッダーとフッター とは、ページの上または下の余白部分の画像またはテキストです。ヘッダーはページ上部、フッターはページ下部に配置されます。

ラ

ライセンスマネージャ とは ABBYY FineReader のライセンスと ABBYY FineReader PDF 15 コーポレート。

ライセンス認証 は、ABBYY から特別なコードを取得するプロセスで、ユーザーはこのコードを用いて、所定のコンピュータで製品をフルモードで使用できます。

信

信頼性の低い単語 とは、1つ以上の信頼性の低い文字が含まれる単語のことです。

信頼性の低い文字 とは、プログラムが誤って認識した文字のことです。

写

写真エリア とは、写真が含まれる画像エリアです。この種類のエリアには、実際の写真、または画像として表示する必要のあるその他のオブジェクト（テキストの一部など）を含めることができます。

区

区切り文字 区切り文字とは、単語を区切ることができ（/, ¥, ダッシュなど）、単語そのものからはスペースで区別される記号です。

反

反転画像 とは、暗い背景に白い文字が印刷された画像です。

合

合字 とは2つ以上の文字が「結合」された組み合わせのことです(例: fi, fl, ffi)。こうした文字をABBYY FineReaderが分割することは困難です。これらの文字を1つの文字として扱うことにより、OCRの精度が向上します。

学

学習機能 とは、文字画像と文字そのものとの間の対応を確立することです。以下も参照してください: [印刷された文書に非標準のフォントが含まれている場合](#) ²⁰³。

文

文書タイプ とは、プログラムごとのように元のテキストが印刷されたかを告げるパラメータです(例えば、レーザープリンター、タイプライターなど)。レーザー印刷のテキストの場合には以下を選択します: **自動**、タイプライターのテキストの場合には以下を選択します: **タイプライター**、FAXの場合には以下を選択します: **FAX**。

文書の分析 とは、様々なタイプのデータを含む文書やエリアの論理構造を特定するプロセスのことです。文書の分析は、自動的にも手動でも実行できます。

文書を開くパスワード とは作成者が指定したパスワードを入力しなければ、ユーザーがPDF文書を開くことができないようにするパスワードです。

明

明度(明るさ) は画像に含まれる白の量を反映する画像パラメータです。明るさを増加させると画像は「白く」なります。適切な明るさの値を指定すると、認識品質が増します。以下も参照してください: [スキャンの設定](#) ²⁸¹。

無

無視される文字 とは、単語に使われている文字以外の記号(音節記号、アクセント符号など)です。これらの記号は、スペルチェックの際に無視されます。

略

略語 (単語またはフレーズの短縮された形です(例: MS-DOSはMicrosoftディスクオペレーティングシステム、UNは国際連合の短縮形です))。

省

省略可能なハイフン は、(ー) 単語または単語の組み合わせが行末にきた場合に、分割すべき正しい位置を示すハイフン (ー) です (たとえば「autoformat」は「auto-format」のように分割します)。ABBYY FineReader では、辞書の単語にあるすべてのハイフンを、省略可能なハイフンで置き換えます。

禁

禁止文字 認識するテキストでは発生しないと思われる文字です。禁止文字を指定すると、OCR の速度と品質が向上します。

等

等幅フォント は、すべての文字の幅を等しくしたフォント (Courier New など) です。より良いOCR結果を等幅フォントで得るために、**OCR** ダイアログボックスの**オプション** タブで**タイプライター オプション**のグループの**ドキュメントタイプ**を選択します。

背

背景画像のエリア はテキストが印刷された写真を含む画像エリアです。

自

自動化されたタスク ABBYY FineReaderタスクを作成、設定、展開できる ABBYY FineReader PDF 15 のタスク管理コンポーネント。

[ストップに戻る](#) ³⁶⁰

表

表エリア とは表形式でデータを含む画像エリアです。この種類のエリアをプログラムが読み取る際に、表を形成するためにエリア内部に垂直および平行の区切り線を描きます。このエリアは、出力テキストで表として表示されます。

製

製品 ID はABBYY FineReaderを所定のコンピュータでライセンス認証する際に、ハードウェア構成に基づき、自動生成されます。これには、個人情報やソフトウェアやコンピュータに保存されているデータに関する情報は含まれません。

複

複合語 は、2つ以上の既存の単語から成り立っています。ABBYY FineReaderでは複合語はプログラムが辞書で見つけられないものの、辞書の単語2つ以上で作成できる単語を指します。

解像度とはインチあたりのドット (dpi) で計測されるスキャンパラメータです。300 dpi の解像度は 10 pt フォント以上で設定されたテキストのために使用されるのに適しており、400 ~ 600 dpi は小さいフォントサイズのテキストに適しています (9 pt 以下)。

許

許可パスワードとは作成者が指定したパスワードを入力しなければ、他のユーザーが PDF 文書を印刷したり、編集したりできないようにするパスワードです。文書について何らかのセキュリティ設定が選択されている場合、作成者が指定したパスワードを入力しなければ、他のユーザーはこれらの設定を変更できません。

認

認識エリアとは、ABBYY FineReaderが自動分析すべき画像エリアです。

[ストップに戻る](#) ³⁶⁰

キーボードショートカットを使用します

ABBYY FineReaderは最も一般的に使用されるコマンドに以下のキーボードショートカットを提供します。

- [新規タスクウィンドウ](#) ³⁶⁶
- [OCRエディター](#) ³⁶⁷
- [PDFエディター](#) ³⁷²
- [ABBYY ドキュメントの比較](#) ³⁷⁶

新規タスクウィンドウ

- [ファイル](#) ³⁶⁶ [メニュー](#) ³⁶⁶
- [テキストや写真の編集](#) ³⁶⁷ [メニュー](#) ³⁶⁷
- [ツール](#) ³⁶⁷ [メニュー](#) ³⁶⁷
- [ヘルプ](#) ³⁶⁷ [メニュー](#) ³⁶⁷

ファイルメニュー

コマンド	ショートカット
新しいPDF文書	Ctrl + N

PDFを開く...	Ctrl+O
OCRエディタで開く	Ctrl+R
OCRエディタにスキャン	Ctrl+S
新規OCRプロジェクト	Ctrl+Shift+N
OCRプロジェクトを開く...	Ctrl+Shift+O
終了	Ctrl+Q

メニューの編集

コマンド	ショートカット
上に移動	Alt+↑
下に移動	Alt+↓
削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
最新の文書を見つける	Ctrl+F

ツールメニュー

コマンド	ショートカット
オプション...	Ctrl+>

ヘルプメニュー

コマンド	ショートカット
ヘルプ	F1

OCRエディター

- [ファイル](#)  [メニュー](#) 
- [テキストや写真の編集](#)  [メニュー](#) 

- [表示](#)  [メニュー](#) 
- [認識](#)  [メニュー](#) 
- [エリア](#)  [メニュー](#) 
- [ツール](#)  [メニュー](#) 
- [ヘルプ](#)  [メニュー](#) 
- [一般](#)

ファイルメニュー

コマンド	ショートカット
新しいタスク...	Ctrl + N
画像を開く...	Ctrl + O
ページのスキャン...	Ctrl + K
ページ画像を...として保存	Ctrl + Alt + S
閉じる	Ctrl + W
新規OCRプロジェクト	Ctrl + Shift + N
OCRプロジェクトを開く...	Ctrl + Shift + O
OCRプロジェクトを保存...	Ctrl + Shift + S
文書を電子メールで送信	Ctrl + M
画像を電子メールで送信	Ctrl + Alt + M
テキストの印刷	Ctrl + P
画像の印刷	Ctrl + Alt + P
終了	Ctrl + Q

メニューの編集

コマンド	ショートカット
元に戻す	Ctrl + Z
やり直し	Ctrl + Y

切り取り	Ctrl+X
テキストの認識およびコピー	Ctrl+C
エリアを画像としてコピーする	Ctrl+Shift+C
貼り付け	Ctrl+V
削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
選択をキャンセル	Ctrl+Shift+A
ページの削除...	Ctrl+Backspace
エリアとテキストを削除	Ctrl+Del
テキストを削除	Ctrl+Shift+Del
ページを右に回転	Ctrl+Shift+>
ページを左に回転	Ctrl+Shift+<
ページの画像の編集...	Ctrl+I
検索...	Ctrl+F
次を検索	F3
置換...	Ctrl + H

メニューの表示

コマンド	ショートカット
ナビゲーションペインの表示	F5
ズームペインの表示	Ctrl+F5
画像ペインのみ	F6
画像およびテキストペイン	F7
テキストペインのみ	F8
次のペイン	Ctrl+Tab
前のペイン	Ctrl + Shift + Tab

拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
ウィンドウに合わせる	Ctrl+0
ページ番号...に移動	Ctrl+G
次のページに進む	Ctrl+↓
前のページに戻る	Ctrl+↑
最初のページに行く	Ctrl+Home
最後のページに行く	Ctrl+End
ページを閉じる	Ctrl + F4

認識メニュー

コマンド	ショートカット
すべてのページを認識	Ctrl+Shift+R
ページを認識	Ctrl+R
すべてのページを分析	Ctrl+Shift+E
ページの分析	Ctrl+E
テキストの検証	Ctrl+F7
次のエラー	Alt+↓
前のエラー	Alt+↑
テキストを検証済みとしてマーク	Ctrl+T

エリアメニュー

コマンド	ショートカット
エリアの認識	Ctrl+Shift+B
エリアタイプを...に変更 テキスト	Ctrl+2
エリアタイプを...に変更 表	Ctrl+3

エリアタイプを...に変更 画像	Ctrl+4
エリアタイプを...に変更 背景画像	Ctrl+6
エリアタイプを...に変更 バーコード	Ctrl+5
エリアタイプを...に変更 認識領域	Ctrl+1

ツールメニュー

コマンド	ショートカット
辞書を表示...	Ctrl+Alt+D
編集モード	Ctrl+Shift+H
Hot Folder	Ctrl+Shift+F
オプション...	Ctrl+>

ヘルプメニュー

コマンド	ショートカット
ヘルプ	F1

一般

コマンド	ショートカット
選択したテキストの一部を変更する 太字	Ctrl+B
選択したテキストの一部を変更する <i>イタリック体</i>	Ctrl+I
選択したテキストの一部に下線を引く <u>テキストの一部</u>	Ctrl+U
表のセルに移動	矢印キー
に切り換える ページペイン	Alt+1
に切り換える 画像ペイン	Alt+2
に切り換える テキストペイン	Alt+3
に切り換える ズームペイン	Alt+4

OCRエディターで自分だけのキーボードショートカットを作成できます。[OCRエディター](#)¹⁷³。

OCRエディターで自分だけのキーボードショートカットを作成する：

1. ツールバーとショートカットのカスタマイズ ダイアログボックスを開き、**ビュー**をクリックします。その後次のようにクリックします。 > ツールバー > カスタマイズ...
2. **キーボード ショートカット** タブで、**カテゴリー** フィールドでカテゴリーを選択します。
3. オプションのグループの **コマンド** フィールドで、キーボードショートカットに指定するコマンドを選択します。
4. カーソルを **新しいショートカット キーを押してください** フィールドに当てて、このコマンドに使用するキーを押します。
5. をクリックします **割り当てる**。選択されたキーの組み合わせは **現在のショートカット** フィールドでカテゴリーを選択します。
6. をクリックします **OKをクリックします** 変更を保存します。
7. ショートカットをデフォルトの値に戻するには、クリックします **リセット** (選択したコマンドカテゴリ) か、**すべてリセット** (すべてのショートカットキー) 。

PDFエディター

- [ファイル](#)³⁷² [メニュー](#)³⁷²
- [テキストや写真の編集](#)³⁷⁴ [メニュー](#)³⁷⁴
- [表示](#)³⁷⁴ [メニュー](#)³⁷⁴
- [ツール](#)³⁷⁵ [メニュー](#)³⁷⁵
- [ヘルプ](#)³⁷⁶ [メニュー](#)³⁷⁶

ファイルメニュー

コマンド	ショートカット
新しいタスク...	Ctrl + N
開く...	Ctrl+O
保存	Ctrl+S
PDF文書として保存...	Ctrl+Shift+S

文書を閉じる	Ctrl+W
文書の認識	Ctrl+Shift+R
印刷...	Ctrl+P
終了	Ctrl+Q

[トップに戻る](#)

メニューの編集

コマンド	ショートカット
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+Y
切り取り	Ctrl+X
コピー	Ctrl+C
...としてエリアをコピー 画像	Ctrl+C
...としてエリアをコピー テキスト	Ctrl+Shift+C
...としてエリアをコピー 表	Ctrl+Alt+C
貼り付け	Ctrl+V
削除	Del
すべて選択	Ctrl+A
ファイルからページを追加...	Ctrl+Shift+O
スキャナからページを追加	Ctrl+Shift+A
ページを右に回転	Ctrl+Shift+>
ページを左に回転	Ctrl+Shift+<
ページの削除...	Ctrl+Backspace
ブックマークを追加...	Ctrl + D
検索...	Ctrl+F
次を検索	F3

[トップに戻る](#)

メニューの表示

コマンド	ショートカット
ナビゲーションペインの表示	F5
検索	F9

デジタル署名	F8
PDFツールの表示	F6
コメントペインの表示	F7
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
ウィンドウに合わせる	Ctrl+0
実サイズ	Ctrl+8
幅に合わせる	Ctrl+9
ページ番号...に移動	Ctrl+G
次のページ	Ctrl+↓
前のページ	Ctrl+↑
最初のページ	ホーム
最後のページ	終わり
戻る	Alt+←
転送	Alt+→
1ページに表示	Ctrl+1
ワンページスクロール	Ctrl+2
2ページに表示	Ctrl+3
2ページスクロール	Ctrl+4
全画面	F11

[トップに戻る](#)

ツールメニュー

コマンド	ショートカット
テキストと画像の編集	Ctrl+E
テキストボックス	Ctrl+T

メモの追加	Ctrl+M
強調表示	Ctrl + H
下線	Ctrl+U
取り消し線	Ctrl+K
テキストを挿入	Ctrl+J
検索とマークアップ	F9
編集モード	Ctrl+R
オプション...	Ctrl+>

[トップに戻る](#)

ヘルプメニュー

コマンド	ショートカット
ヘルプ	F1

ABBYY ドキュメントの比較

- [ファイル](#) ^[376] [メニュー](#) ^[376]
- [テキストや写真の編集](#) ^[377] [メニュー](#) ^[377]
- [表示](#) ^[378] [メニュー](#) ^[378]
- [比較](#) ^[378] [メニュー](#) ^[378]
- [ヘルプ](#) ^[378] [メニュー](#) ^[378]

ファイルメニュー

コマンド	ショートカット
新しい比較	Ctrl + N
ドキュメントを開く...	Ctrl+O
文書を閉じる	Ctrl+W

保存...	Ctrl+S
終了	Ctrl+Q

[トップに戻る](#)

メニューの編集

コマンド	ショートカット
元に戻す	Ctrl+Z
やり直し	Ctrl+Y
すべての差異を選択する	Ctrl+A

[トップに戻る](#)

メニューの表示

コマンド	ショートカット
拡大	Ctrl++
縮小	Ctrl+-
幅に合わせる	Ctrl+0
次のページ	Ctrl+↓
前のページ	Ctrl+↑

比較メニュー

コマンド	ショートカット
ドキュメントの比較	Ctrl+R
次の差異	Ctrl+→
前の差異	Ctrl+←
差異を無視する	Del

ヘルプメニュー

コマンド	ショートカット
ヘルプ	F1

[ストップに戻る](#) 366

テクニカル サポート

ABBYY FineReaderの使用方法に関して質問があり、ユーザーガイドやヘルプで提供されている情報を使用しても解決しない場合は、ABBYY[ナレッジベース](#)のよくある質問のセクションをご覧ください。

それでも質問の答えが見つからない場合は、ABBYYテクニカルサポートサービスにお問い合わせください。

<https://support.abbyy.com>でオンラインフォームを使用し、新規サポートチケットを作成することができます。チケットに問題を記述していただければ、当社の専門家が喜んでお手伝いします。

技術的な問題の場合には、システムレポートファイルをサポートチケットに添付してください。システムレポートを生成するには、ヘルプ > バージョン情報 > システム情報... > 保存... とクリックしてください。

何らかの理由でシステムレポートを生成できない場合は、サポートチケットで以下の情報を提供してください：

- コピーのシリアル番号または [サポート ID](#) 360 (製品コピーのシリアル番号を見つけるには、ヘルプ > バージョン情報 > ライセンス情報 とクリックします)
- お使いのコピーのビルド番号 (ヘルプ > バージョン情報 とクリックします)
- 使用している Windows のバージョン
- 関連すると思われるその他の情報

ABBYY テクニカルサポートサービスにお問い合わせになる前に、使用しているバージョンの ABBYY FineReader で利用可能な更新を確認し、インストールしてください。これを実行するには、ヘルプ > プログラムの更新を **確認** とクリックします。

 テクニカルサポートは、[製品ライフサイクルおよびテクニカルサポートポリシー](#)の対象となる登録ユーザーにのみ提供されます。製品コピーを登録するには、当社[ウェブサイト](#)にアクセスするか、製品でヘルプ > 登録... とクリックしてください。

サードパーティのソフトウェア

This document contains licenses and notices for open source software used in this product. With respect to the source software listed in this document, if you have any questions please contact us at legaloperations@abbyy.com

In your requests please include the following reference number "FR15 for Win, R9 – 30.09.2021"

v8

Copyright 2014 the V8 project authors. All rights reserved.

This license applies to all parts of V8 that are not externally maintained libraries. The externally maintained libraries used by V8 are:

- PCRE test suite, located in test/mjsunit/third_party/regexp-pcre/regexp-pcre.js. This is based on the test suite from PCRE-7.3, which is copyrighted by the University of Cambridge and Google, Inc. The copyright and license are embedded in regexp-pcre.js.
- Layout tests, located in test/mjsunit/third_party/object-keys. These are based on layout tests from webkit.org which are copyrighted by Apple Computer, Inc. and released under a 3-clause BSD license.
- Strongtalk assembler, the basis of the files assembler-arm-inl.h,

assembler-arm.cc, assembler-arm.h, assembler-ia32-inl.h, assembler-ia32.cc, assembler-ia32.h, assembler-x64-inl.h, assembler-x64.cc, assembler-x64.h, assembler-mips-inl.h, assembler-mips.cc, assembler-mips.h, assembler.cc and assembler.h.

This code is copyrighted by Sun Microsystems Inc. and released under a 3-clause BSD license.

- Valgrind client API header, located at src/third_party/valgrind/valgrind.h
This is released under the BSD license.

- The Wasm C/C++ API headers, located at third_party/wasm-api/wasm.{h,hh}

This is released under the Apache license. The API's upstream prototype implementation also formed the basis of V8's implementation in src/wasm/c-api.cc.

These libraries have their own licenses; we recommend you read them, as their terms may differ from the terms

Further license information can be found in LICENSE files located in sub-directories.

Copyright 2014, the V8 project authors. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

SharePoint Server 2013 Client Components SDK

The Software accompanied by this documentation contains redistributable parts of SharePoint Server 2013 Client Components SDK.

© Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft is either registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Licensed under the terms of Microsoft Software License Terms.

Export restrictions. The Microsoft Technologies are subject to United States export laws and regulations. The Developer must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the Microsoft Technologies. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

Microsoft Windows SDK for Windows 7

Portions utilize Microsoft Windows Media Technologies. Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All Rights Reserved. Whereas the ABBYY Software incorporates this components or its parts, You agree to be bound by the following MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS MICROSOFT WINDOWS SOFTWARE DEVELOPMENT KIT FOR WINDOWS 7 and .NET FRAMEWORK 4, a copy of which is attached below for reference.

“These license terms are an agreement between Microsoft Corporation (or based on where you live, one of its affiliates) and you.

Please read them. They apply to the software named above, which includes the media on which you received it, if any. The terms also apply to any Microsoft updates, supplements, Internet-based services, and support services for this software, unless other terms accompany those items. If so, those terms apply. BY USING THE SOFTWARE, YOU ACCEPT THESE TERMS. IF YOU DO NOT ACCEPT THEM, DO NOT USE THE SOFTWARE. If you comply with these license terms, you have the rights below.

1. INSTALLATION AND USE RIGHTS.

- a. Installation and Use. You may install and use any number of copies of the software on your devices to design, develop and test your programs that run on a Microsoft Windows operating system. Further, you may install, use and/or deploy via a network management system or as part of a desktop image, any number of copies of the software on computer devices within your internal corporate network to design, develop and test your programs that run on a Microsoft Windows operating system. Each copy must be complete, including all copyright and trademark notices. You must require end users to agree to the terms that protect the software as much as these License terms.
- b. Included Microsoft Programs. The software contains other Microsoft programs. These license terms apply to your use of those programs.

2. ADDITIONAL LICENSING REQUIREMENTS AND/OR USE RIGHTS.

- a. Distributable Code. The software contains code that you are permitted to distribute in programs you develop if you comply with the terms below.
 - i. Right to Use and Distribute. The code and text files listed below are “Distributable Code.”

REDIST.TXT Files. You may copy and distribute the object code form of code listed in REDIST.TXT files, plus any files listed on the REDIST list located at <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=185268&clcid=0x409>.

Sample Code. You may modify, copy, and distribute the source and object code form of code marked as “sample.” Sample Code for Microsoft Bing Maps AJAX Control. The software contains sample code that makes use of the Bing Maps AJAX Control. Your use and access of the Bing Maps AJAX Control is subject to the “Microsoft Bing Maps Platform API’s Terms of Use” which is located at: <http://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=185267&clcid=0x409>.

Microsoft Merge Modules. You may copy and distribute the unmodified output of Microsoft Merge Modules.

Third Party Distribution. You may permit distributors of your programs to copy and distribute the Distributable Code as part of those programs.
 - ii. Distribution Requirements.

For any Distributable Code you distribute, you must add significant primary functionality to it in your programs;

 - for any Distributable Code having a filename extension of .lib, distribute only the results of running such Distributable Code through a linker with your application;
 - distribute Distributable Code included in a setup program only as part of that setup program without modification;
 - require distributors and external end users to agree to terms that protect it at least as much as this agreement;
 - display your valid copyright notice on your programs;

- for Distributable Code from the Windows Media Services SDK portions of the software, include in your program's Help-About box (or in another obvious place if there is no box) the following copyright notice: " Portions utilize Microsoft Windows Media Technologies. Copyright (c) 2006 Microsoft Corporation. All Rights Reserved";

- and indemnify, defend, and hold harmless Microsoft from any claims, including attorneys' fees, related to the distribution or use of your programs.

iii. Distribution Restrictions. You may not alter any copyright, trademark or patent notice in the Distributable Code; use Microsoft's trademarks in your programs' names or in a way that suggests your programs come from or are endorsed by Microsoft; distribute Distributable Code to run on a platform other than the Windows platform; include Distributable Code in malicious, deceptive or unlawful programs; or modify or distribute the source code of any Distributable Code so that any part of it becomes subject to an Excluded License. An Excluded License is one that requires, as a condition of use, modification or distribution, that the code be disclosed or distributed in source code form; or others have the right to modify it.

b. Additional Functionality. Microsoft may provide additional functionality for the software. Other license terms and fees may apply.

3. INTERNET-BASED SERVICES. Microsoft provides Internet-based services with the software. It may change or cancel them at any time. You may not use this service in any way that could harm it or impair anyone else's use of it. You may not use the service to try to gain unauthorized access to any service, data, account or network by any means.

4. Scope of License. The software is licensed, not sold. This agreement only gives you some rights to use the software. Microsoft reserves all other rights. Unless applicable law gives you more rights despite this limitation, you may use the software only as expressly permitted in this agreement. In doing so, you must comply with any technical limitations in the software that only allow you to use it in certain ways. For more information, see www.microsoft.com/licensing/userights
<http://www.microsoft.com/licensing/userights>.

You may not work around any technical limitations in the software; reverse engineer, decompile or disassemble the software, except and only to the extent that applicable law expressly permits, despite this limitation; make more copies of the software than specified in this agreement or allowed by applicable law, despite this limitation; publish the software for others to copy; rent, lease or lend the software; or use the software for commercial software hosting services.

5. BACKUP COPY. You may make one backup copy of the software. You may use it only to reinstall the software.

6. DOCUMENTATION. Any person that has valid access to your computer or internal network may copy and use the documentation for your internal, reference purposes.

7. TRANSFER TO A THIRD PARTY. The first user of the software may transfer it, and this agreement, directly to a third party. Before the transfer, that party must agree that this agreement applies to the transfer and use of the software. The first user must uninstall the software before transferring it separately from the device. The first user may not retain any copies.

8. Export Restrictions. The software is subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

9. SUPPORT SERVICES. Because this software is "as is," we may not provide support services for it.

10. Entire Agreement. This agreement, and the terms for supplements, updates, Internet-based services and support services that you use, are the entire agreement for the software and support services.

11. Applicable Law.

a. United States. If you acquired the software in the United States, Washington state law governs the interpretation of this agreement and applies to claims for breach of it, regardless of conflict of laws principles. The laws of the state where you live govern all other claims, including claims under state consumer protection laws, unfair competition laws, and in tort.

b. Outside the United States. If you acquired the software in any other country, the laws of that country apply.

12. Legal Effect. This agreement describes certain legal rights. You may have other rights under the laws of your country. You may also have rights with respect to the party from whom you acquired the software. This agreement does not change your rights under the laws of your country if the laws of your country do not permit it to do so.

13. Disclaimer of Warranty. The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. Microsoft gives no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this agreement cannot change. To the extent permitted under your local laws, Microsoft excludes the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

14. Limitation on and Exclusion of Remedies and Damages. You can recover from Microsoft and its suppliers only direct damages up to U.S. \$5.00. You cannot recover any other damages, including consequential, lost profits, special, indirect or incidental damages. This limitation applies to anything related to the software, services, content (including code) on third party Internet sites, or third party programs; and claims for breach of contract, breach of warranty, guarantee or condition, strict liability, negligence, or other tort to the extent permitted by applicable law. It also applies even if Microsoft knew or should have known about the possibility of the damages. The above limitation or exclusion may not apply to you because your country may not allow the exclusion or limitation of incidental, consequential or other damages".

Bad Script (font)

Designed by Roman Shchyukin from Gaslight.

Licensed under the SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007 SIL OPEN FONT LICENSE (OFL-1.1) | Open Source Initiative (further, the SIL Open Font License)

Miama Nueva Medium (font)

Copyright (c) 2016-03-13, Linus Romer

Copyright (c) 2016-03-13, Linus Romer

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License

Pecita (font)

Copyright (c) 2011-05-12—2015-09-22, Pecita (Pecita.net),

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License

v8/fdlibm

Copyright (C) 1993-2004 by Sun Microsystems, Inc. All rights reserved.
Developed at SunSoft, a Sun Microsystems, Inc. business.
Permission to use, copy, modify, and distribute this software is freely granted, provided that this notice is preserved.

v8/Strongtalk

Copyright (c) 1994-2006 Sun Microsystems Inc.
All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistribution in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of Sun Microsystems or the names of contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Little CMS, Little CMS (for Pdium)

Copyright (c) 1998-2020 Marti Maria Saguer

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR

OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Anti-Grain Geometry (for Pdfium)

Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (<http://www.antigrain.com>)

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

jinja2 (for Pdfium)

Copyright 2007 Pallets

Copyright (c) 2009 by the Jinja Team, see AUTHORS for more details.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

bigint (for Pdfium)

// Copyright 2014 Pdfium Authors. All rights reserved.

// Use of this source code is governed by a BSD-style license that can be

// found in the LICENSE file.

// Original code by Matt McCutchen, see the LICENSE file.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED

TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libjpeg-turbo (for PDFium), libjpeg

* Copyright (C) 1991-1997, Thomas G. Lane.

* libjpeg-turbo Modifications:

* Copyright (C) 2019, D. R. Commander.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group. The IJG (Independent JPEG Group) License applies to the libjpeg API library and associated programs (any code inherited from libjpeg, and any modifications to that code.)

This software is copyright (C) 1991-2020, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.

All Rights Reserved except as specified below.

This software is the work of Tom Lane, Guido Vollbeding, Philip Gladstone, Bill Allombert, Jim Boucher, Lee Crocker, Bob Friesenhahn, Ben Jackson, Julian Minguillon, Luis Ortiz, George Phillips, Davide Rossi, Ge' Weijers, and other members of the Independent JPEG Group.

LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2020, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept

NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Modified (3-clause) BSD License. This license covers the TurboJPEG API library and associated programs, as well as the build system.

Copyright (C)2009-2020 D. R. Commander. All Rights Reserved. Copyright (C)2015 Viktor Szathmáry. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the libjpeg-turbo Project nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS", AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The zlib License. This license is a subset of the other two, and it covers the libjpeg-turbo SIMD extensions.

The ZLIB software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.

2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.

3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Copyright (C)2015 Viktor Szathmáry. All Rights Reserved.

OpenJPEG (for Pdfium)

- * Copyright (c) 2002-2014, Universite catholique de Louvain (UCL), Belgium
- * Copyright (c) 2002-2014, Professor Benoit Macq
- * Copyright (c) 2003-2014, Antonin Descampe
- * Copyright (c) 2003-2009, Francois-Olivier Devaux
- * Copyright (c) 2005, Herve Drolon, FreedImage Team
- * Copyright (c) 2002-2003, Yannick Verschueren
- * Copyright (c) 2001-2003, David Janssens
- * Copyright (c) 2011-2012, Centre National d'Etudes Spatiales (CNES), France
- * Copyright (c) 2012, CS Systemes d'Information, France
- * Copyright (c) 2002-2014, Universite catholique de Louvain (UCL), Belgium
- * Copyright (c) 2002-2014, Professor Benoit Macq
- * Copyright (c) 2003-2014, Antonin Descampe
- * Copyright (c) 2003-2009, Francois-Olivier Devaux
- * Copyright (c) 2005, Herve Drolon, FreedImage Team
- * Copyright (c) 2002-2003, Yannick Verschueren
- * Copyright (c) 2001-2003, David Janssens
- * Copyright (c) 2011-2012, Centre National d'Etudes Spatiales (CNES), France
- * Copyright (c) 2012, CS Systemes d'Information, France

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libpng (for Pdfium), libpng

- * Copyright (c) 1995-2019 The PNG Reference Library Authors.
- * Copyright (c) 2018-2019 Cosmin Truta.
- * Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson.
- * Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger.
- * Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE

=====

PNG Reference Library License version 2

- * Copyright (c) 1995-2019 The PNG Reference Library Authors.
- * Copyright (c) 2018-2019 Cosmin Truta.

- * Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson.
- * Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger.
- * Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

The software is supplied "as is", without warranty of any kind, express or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title, and non-infringement. In no event shall the Copyright owners, or anyone distributing the software, be liable for any damages or other liability, whether in contract, tort or otherwise, arising from, out of, or in connection with the software, or the use or other dealings in the software, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated, but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

PNG Reference Library License version 1 (for libpng 0.5 through 1.6.35)

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.6.35, July 15, 2018 are Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2018 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-1.0.6, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

- Simon-Pierre Cadieux
- Eric S. Raymond
- Mans Rullgard
- Cosmin Truta
- Gilles Vollant
- James Yu
- Mandar Sahastrabuddhe
- Google Inc.
- Vadim Barkov

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire

risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

Some files in the "contrib" directory and some configure-generated files that are distributed with libpng have other copyright owners, and are released under other open source licenses.

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

libtiff (for Pdfium)

Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
 Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.
 Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler
 Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc.

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that (i) the above copyright notices and this permission notice appear in all copies of the software and related documentation, and (ii) the names of Sam Leffler and Silicon Graphics may not be used in any advertising or publicity relating to the software without the specific, prior written permission of Sam Leffler and Silicon Graphics.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS-IS" AND WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS, IMPLIED OR OTHERWISE, INCLUDING WITHOUT LIMITATION, ANY WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

IN NO EVENT SHALL SAM LEFFLER OR SILICON GRAPHICS BE LIABLE OR ANY SPECIAL, INCIDENTAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OF ANY KIND, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER OR NOT

ADVISED OF THE POSSIBILITY OF DAMAGE, AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

zlib (for Pdium)

Copyright (C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.11, January 15th, 2017

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

FreeType (for Pdium)

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

Portions of this software are copyright © <2019> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

The FreeType Project LICENSE docs/FTL.TXT master FreeType / FreeType GitLab (further the FreeType Project License)

ICU - International Components for Unicode (for Pdium)

Copyright © 1991-2020 Unicode, Inc. All rights reserved.

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright © 2016 and later Unicode, Inc. and others. All Rights Reserved.

Copyright © 1991-2021 Unicode, Inc. All rights reserved.

Distributed under the Terms of Use in <https://www.unicode.org/copyright.html>.

ICU 58 and later

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that either

- (a) this copyright and permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, or
- (b) this copyright and permission notice appear in associated Documentation.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

PDFium

Copyright 2014 PDFium Authors. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FreeType

Copyright (C) 2006-2021 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg.

Portions of this software are copyright © 2009 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved

Licensed under The FreeType Project LICENSE

CUDA Runtime

© 2007-2020 NVIDIA Corporation. All rights reserved.

License Agreement for NVIDIA Software Development Kits is available at <https://docs.nvidia.com/cuda/eula/index.html#nvidia-driver-license>

Adobe mapping-resources-pdf

Copyright 1990-2019 Adobe. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 1990-2019 Adobe. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,

SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Adobe cmap resources

Copyright 1990-2019 Adobe. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 1990-2019 Adobe. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Adobe nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of the copyright holder nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ICU - International Components for Unicode

Copyright © 1991-2020 Unicode, Inc. All rights reserved.

Distributed under the Terms of Use in <https://www.unicode.org/copyright.html>.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Unicode data files and any associated documentation (the "Data Files") or Unicode software and any associated documentation (the "Software") to deal in the Data Files or Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Data Files or Software, and to permit persons to whom the Data Files or Software are furnished to do so, provided that either (a) this copyright and permission notice appear with all copies of the Data Files or Software, or

(b) this copyright and permission notice appear in associated Documentation.

THE DATA FILES AND SOFTWARE ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS.

IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THE DATA FILES OR SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in these Data Files or Software without prior written authorization of the copyright holder.

OpenCV

Copyright (C) 2000-2019, Intel Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2009-2011, Willow Garage Inc., all rights reserved.

Copyright (C) 2009-2016, NVIDIA Corporation, all rights reserved.

Copyright (C) 2010-2013, Advanced Micro Devices, Inc., all rights reserved.

Copyright (C) 2015-2016, OpenCV Foundation, all rights reserved.

Copyright (C) 2015-2016, Itseez Inc., all rights reserved.

Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the names of the copyright holders nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall copyright holders or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

Intel® Integrated Performance Primitives (Intel® IPP) Library 2020

Copyright (c) 2020 Intel Corporation.

Intel Simplified Software License (Version February 2020)

Copyright (c) 2020 Intel Corporation.

Use and Redistribution. You may use and redistribute the software (the “Software”), without modification, provided the following conditions are met:

Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following terms of use in the Software and in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of Intel nor the names of its suppliers may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this Software is permitted.

Limited patent license. Intel grants you a world-wide, royalty-free, non-exclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to make, have made, use, import, offer to sell and sell (“Utilize”) this Software, but solely to the extent that any such patent is necessary to Utilize the Software alone. The patent license shall not apply to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed hereunder.

Third party programs. The Software may contain Third Party Programs. “Third Party Programs” are third party software, open source software or other Intel software listed in the “third-party-programs.txt” or other similarly named text file that is included with the Software. Third Party Programs, even if included with the distribution of the Software, may be governed by separate license terms, including without limitation, third party license terms, open source software notices and terms, and/or other Intel software license terms. These separate license terms may govern your use of the Third Party Programs.

DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS” AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. THIS SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN SYSTEMS OR APPLICATIONS WHERE FAILURE OF THE SOFTWARE MAY CAUSE PERSONAL INJURY OR DEATH AND YOU AGREE THAT YOU ARE FULLY RESPONSIBLE FOR ANY CLAIMS, COSTS, DAMAGES, EXPENSES, AND ATTORNEYS’ FEES ARISING OUT OF ANY SUCH USE, EVEN IF ANY CLAIM ALLEGES THAT INTEL WAS NEGLIGENT REGARDING THE DESIGN OR MANUFACTURE OF THE MATERIALS.

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL INTEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD INTEL HARMLESS AGAINST ANY CLAIMS AND EXPENSES RESULTING FROM YOUR USE OR UNAUTHORIZED USE OF THE SOFTWARE.

No support. Intel may make changes to the Software, at any time without notice, and is not obligated to support, update or provide training for the Software.

Termination. Intel may terminate your right to use the Software in the event of your breach of this Agreement and you fail to cure the breach within a reasonable period of time.

Feedback. Should you provide Intel with comments, modifications, corrections, enhancements or other input (“Feedback”) related to the Software Intel will be free to use, disclose, reproduce, license or otherwise distribute or exploit the Feedback in its sole discretion without any obligations or restrictions of any kind, including without limitation, intellectual property rights or licensing obligations.

Compliance with laws. You agree to comply with all relevant laws and regulations governing your use, transfer, import or export (or prohibition thereof) of the Software.

Governing law. All disputes will be governed by the laws of the United States of America and the State of Delaware without reference to conflict of law principles and subject to the exclusive jurisdiction of the state or federal courts sitting in the State of Delaware, and each party agrees that it submits to the personal jurisdiction and venue of those courts and waives any objections. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (1980) is specifically excluded and will not apply to the Software.

*Other names and brands may be claimed as the property of others.

ICU - International Components for Unicode

ICU License - ICU 1.8.1 and later
 COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1995-2008 International Business Machines Corporation and others

All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, provided that the above copyright notice(s) and this permission notice appear in all copies of the Software and that both the above copyright notice(s) and this permission notice appear in supporting documentation.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR HOLDERS INCLUDED IN THIS NOTICE BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

Vulkan SDK Version 1.1.130.0

<https://vulkan.lunarg.com/software/license/vulkan-1.1.130.0-linux-license-summary.txt>

The Vulkan SDK

Only the following portions of the Vulkan SDK are contained in the Software:

(for Windows)

- ./Include/vulkan/GLSL.std.450.h, GLSL.std.450.h, MIT,
- ./Include/vulkan/spirv.h, spirv.h, MIT,
- ./Include/vulkan/spirv.hpp, spirv.hpp, MIT,
- ./Include/vulkan/spirv.hpp11, spirv.hpp11, Apache-2.0,
- ./Include/vulkan/spirv.json, spirv.json, Apache-2.0,
- ./Include/vulkan/spirv.lua, spirv.lua, Apache-2.0,
- ./Include/vulkan/spirv.py, spirv.py, Apache-2.0,

```
./Include/vulkan/vk_icd.h,vk_icd.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vk_layer.h,vk_layer.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vk_platform.h,vk_platform.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vk_sdk_platform.h,vk_sdk_platform.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan.h,vulkan.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan.hpp,vulkan.hpp,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_android.h,vulkan_android.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_core.h,vulkan_core.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_fuchsia.h,vulkan_fuchsia.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_ggp.h,vulkan_ggp.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_ios.h,vulkan_ios.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_macos.h,vulkan_macos.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_metal.h,vulkan_metal.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_vi.h,vulkan_vi.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_wayland.h,vulkan_wayland.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_win32.h,vulkan_win32.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_xcb.h,vulkan_xcb.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_xlib.h,vulkan_xlib.h,Apache-2.0,
./Include/vulkan/vulkan_xlib_xrandr.h,vulkan_xlib_xrandr.h,Apache-2.0,
```

(for Linux)

```
./x86_64/include/vulkan/vk_icd.h,vk_icd.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vk_layer.h,vk_layer.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vk_platform.h,vk_platform.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vk_sdk_platform.h,vk_sdk_platform.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan.h,vulkan.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan.hpp,vulkan.hpp,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_android.h,vulkan_android.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_core.h,vulkan_core.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_fuchsia.h,vulkan_fuchsia.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_ggp.h,vulkan_ggp.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_ios.h,vulkan_ios.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_macos.h,vulkan_macos.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_metal.h,vulkan_metal.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_vi.h,vulkan_vi.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_wayland.h,vulkan_wayland.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_win32.h,vulkan_win32.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_xcb.h,vulkan_xcb.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_xlib.h,vulkan_xlib.h,Apache-2.0,
./x86_64/include/vulkan/vulkan_xlib_xrandr.h,vulkan_xlib_xrandr.h,Apache-2.0,
```

(for MacOS)

```
./macOS/include/vulkan/vk_icd.h,vk_icd.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vk_layer.h,vk_layer.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vk_platform.h,vk_platform.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vk_sdk_platform.h,vk_sdk_platform.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vulkan.h,vulkan.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vulkan.hpp,vulkan.hpp,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vulkan_android.h,vulkan_android.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vulkan_core.h,vulkan_core.h,Apache-2.0,
./macOS/include/vulkan/vulkan_fuchsia.h,vulkan_fuchsia.h,Apache-2.0,
```

./macOS/include/vulkan/vulkan_ggp.h,vulkan_ggp.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_ios.h,vulkan_ios.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_macos.h,vulkan_macos.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_metal.h,vulkan_metal.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_vi.h,vulkan_vi.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_wayland.h,vulkan_wayland.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_win32.h,vulkan_win32.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_xcb.h,vulkan_xcb.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_xlib.h,vulkan_xlib.h,Apache-2.0,
 ./macOS/include/vulkan/vulkan_xlib_xrandr.h,vulkan_xlib_xrandr.h,Apache-2.0.

Licensed under the Apache License Version 2.0

Portions are licensed under the MIT license.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Khronos

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and/or associated documentation files (the "Materials"), to deal in the Materials without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Materials, and to permit persons to whom the Materials are furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Materials.

MODIFICATIONS TO THIS FILE MAY MEAN IT NO LONGER ACCURATELY REFLECTS KHRONOS STANDARDS. THE UNMODIFIED, NORMATIVE VERSIONS OF KHRONOS SPECIFICATIONS AND HEADER INFORMATION ARE LOCATED AT <https://www.khronos.org/registry/>

THE MATERIALS ARE PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE MATERIALS OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE MATERIALS.

Intel Math Kernel Library 2018

Intel Simplified Software License (Version April 2018)

Copyright (c) 2018 Intel Corporation.

Use and Redistribution. You may use and redistribute the software (the "Software"), without modification, provided the following conditions are met:

* Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following terms of use in the Software and in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Intel nor the names of its suppliers may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

* No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this Software is permitted.

Limited patent license. Intel grants you a world-wide, royalty-free, non-exclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to make, have made, use, import, offer to sell and sell ("Utilize") this Software, but solely to the extent that any such patent is necessary to Utilize the Software alone. The patent license shall not apply to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed hereunder.

Third party and other Intel programs. "Third Party Programs" are the files listed in the "third-party-programs.txt" text file that is included with the Software and may include Intel programs under separate license terms. Third Party Programs, even if included with the distribution of the Materials, are governed by separate license terms and those license terms solely govern your use of those programs. **DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. THIS SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN SYSTEMS OR APPLICATIONS WHERE FAILURE OF THE SOFTWARE MAY CAUSE PERSONAL INJURY OR DEATH AND YOU AGREE THAT YOU ARE FULLY RESPONSIBLE FOR ANY CLAIMS, COSTS, DAMAGES, EXPENSES, AND ATTORNEYS' FEES ARISING OUT OF ANY SUCH USE, EVEN IF ANY CLAIM ALLEGES THAT INTEL WAS NEGLIGENT REGARDING THE DESIGN OR MANUFACTURE OF THE MATERIALS.**

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL INTEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD INTEL HARMLESS AGAINST ANY CLAIMS AND EXPENSES RESULTING FROM YOUR USE OR UNAUTHORIZED USE OF THE SOFTWARE.

No support. Intel may make changes to the Software, at any time without notice, and is not obligated to support, update or provide training for the Software.

Termination. Intel may terminate your right to use the Software in the event of your breach of this Agreement and you fail to cure the breach within a reasonable period of time.

Feedback. Should you provide Intel with comments, modifications, corrections, enhancements or other input ("Feedback") related to the Software Intel will be free to use, disclose, reproduce, license or otherwise distribute or exploit the Feedback in its sole discretion without any obligations or restrictions of any kind, including without limitation, intellectual property rights or licensing obligations.

Compliance with laws. You agree to comply with all relevant laws and regulations governing your use, transfer, import or export (or prohibition thereof) of the Software.

Governing law. All disputes will be governed by the laws of the United States of America and the State of Delaware without reference to conflict of law principles and subject to the exclusive jurisdiction of the state or federal courts sitting in the State of Delaware, and each party agrees that it submits to the personal jurisdiction and venue of those courts and waives any objections. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (1980) is specifically excluded and will not apply to the Software.

*Other names and brands may be claimed as the property of others.

libcxxabi (llvm-project)

University of Illinois/NCSA Open Source License Copyright (c) 2009-2019 by the contributors listed in CREDITS.TXT All rights reserved.

D: Minor patches and fixes

N: Jon Roelofs

E: jonathan@jroelofs.com
E: jroelofs@jroelofs.com
D: ARM EHABI Unwind & Exception Handling, Bare-metal
N: Nico Weber
All rights reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

llvm-libcxxabi

Copyright (c) 2009-2015 by the contributors listed in CREDITS.TXT

All rights reserved.

Developed by:

LLVM Team
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://llvm.org>

=====
=====

LLVM Release License

=====

University of Illinois/NCSA
Open Source License

Copyright (c) 2003-2019 University of Illinois at Urbana-Champaign.
All rights reserved.

Developed by:

LLVM Team
University of Illinois at Urbana-Champaign
<http://llvm.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal with the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the names of the LLVM Team, University of Illinois at Urbana-Champaign, nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE CONTRIBUTORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS WITH THE SOFTWARE.

=====
=====

Copyrights and Licenses for Third Party Software Distributed with LLVM:

=====
=====

The LLVM software contains code written by third parties. Such software will have its own individual LICENSE.TXT file in the directory in which it appears. This file will describe the copyrights, license, and restrictions which apply to that code.

The disclaimer of warranty in the University of Illinois Open Source License applies to all code in the LLVM Distribution, and nothing in any of the other licenses gives permission to use the names of the LLVM Team or the University of Illinois to endorse or promote products derived from this Software.

The following pieces of software have additional or alternate copyrights, licenses, and/or restrictions:

Program	Directory
-----	-----
Google Test	llvm/utils/unittest/googletest
OpenBSD regex	llvm/lib/Support/{reg*, COPYRIGHT.regex}
pyyaml tests	llvm/test/YAMLParse/{*.data, LICENSE.TXT}
ARM contributions	llvm/lib/Target/ARM/LICENSE.TXT
md5 contributions	llvm/lib/Support/MD5.cpp llvm/include/llvm/Support/MD5.h
Downloads are available at: https://releases.llvm.org/	

Intel® Integrated Performance Primitives (Intel® IPP) 2018

Copyright (c) 2018 Intel Corporation.

Use and Redistribution. You may use and redistribute the software (the "Software"), without modification, provided the following conditions are met:

* Redistributions must reproduce the above copyright notice and the following terms of use in the Software and in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Intel nor the names of its suppliers may be used to endorse or promote products derived from this Software without specific prior written permission.

* No reverse engineering, decompilation, or disassembly of this Software is permitted.

Limited patent license. Intel grants you a world-wide, royalty-free, non-exclusive license under patents it now or hereafter owns or controls to make, have made, use, import, offer to sell and sell ("Utilize") this Software, but solely to the extent that any such patent is necessary to Utilize the Software alone. The patent license shall not apply to any combinations which include this software. No hardware per se is licensed hereunder.

Third party and other Intel programs. "Third Party Programs" are the files listed in the "third-party-programs.txt" text file that is included with the Software and may include Intel programs under separate license terms. Third Party Programs, even if included with the distribution of the Materials, are governed by separate license terms and those license terms solely govern your use of those programs.

DISCLAIMER. THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, AND NON-INFRINGEMENT ARE DISCLAIMED. THIS SOFTWARE IS NOT INTENDED FOR USE IN SYSTEMS OR APPLICATIONS WHERE FAILURE OF THE SOFTWARE MAY CAUSE PERSONAL INJURY OR DEATH AND YOU AGREE THAT YOU ARE FULLY RESPONSIBLE FOR ANY CLAIMS, COSTS, DAMAGES, EXPENSES, AND ATTORNEYS' FEES ARISING OUT OF ANY SUCH USE, EVEN IF ANY CLAIM ALLEGES THAT INTEL WAS NEGLIGENT REGARDING THE DESIGN OR MANUFACTURE OF THE MATERIALS.

LIMITATION OF LIABILITY. IN NO EVENT WILL INTEL BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. YOU AGREE TO INDEMNIFY AND HOLD INTEL HARMLESS AGAINST ANY CLAIMS AND EXPENSES RESULTING FROM YOUR USE OR UNAUTHORIZED USE OF THE SOFTWARE.

No support. Intel may make changes to the Software, at any time without notice, and is not obligated to support, update or provide training for the Software.

Termination. Intel may terminate your right to use the Software in the event of your breach of this Agreement and you fail to cure the breach within a reasonable period of time.

Feedback. Should you provide Intel with comments, modifications, corrections, enhancements or other input ("Feedback") related to the Software Intel will be free to use, disclose, reproduce, license or otherwise distribute or exploit the Feedback in its sole discretion without any obligations or restrictions of any kind, including without limitation, intellectual property rights or licensing obligations.

Compliance with laws. You agree to comply with all relevant laws and regulations governing your use, transfer, import or export (or prohibition thereof) of the Software.

Governing law. All disputes will be governed by the laws of the United States of America and the State of Delaware without reference to conflict of law principles and subject to the exclusive jurisdiction of the state or federal courts sitting in the State of Delaware, and each party agrees that it submits to the personal jurisdiction and venue of those courts and waives any objections. The United Nations Convention on Contracts for the International Sale of Goods (1980) is specifically excluded and will not apply to the Software.

*Other names and brands may be claimed as the property of others.

Eigen

The writers list is published on http://eigen.tuxfamily.org/index.php?title=Main_Page#Contributing_to_Eigen

The source code version of Eigen may be found at <https://github.com/eigenteam/eigen-git-mirror> Licensed under the Mozilla Public License Version 2.0 at Mozilla Public License, version 2.0 (further the MPL).

MICROSOFT XML CORE SERVICES (MSXML) 6.0

The Software accompanied by this documentation addresses parts of MICROSOFT XML CORE SERVICES (MSXML) 6.0.

© Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft is either registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries. Licensed under the terms of Microsoft Software License Terms.

Export restrictions. The Microsoft Technologies are subject to United States export laws and regulations. The Developer must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the Microsoft Technologies. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

Portions of this software contain Microsoft software: MICROSOFT SOFTWARE LICENSE TERMS MICROSOFT XML CORE SERVICES (MSXML) 6.0 which license terms are given below.

"...They apply to the software named above, which includes the media on which you received it, if any. The terms also apply to any Microsoft updates, supplements, Internet-based services, and support services for this software, unless other terms accompany those items. If so, those terms apply. By using the software, you accept these terms. If you do not accept them, do not use the software. If you comply with these license terms, you have the rights below.

1. INSTALLATION AND USE RIGHTS. You may install and use any number of copies of the software on your devices.

2. ADDITIONAL LICENSING REQUIREMENTS AND/OR USE RIGHTS.

a. Distributable Code. You are permitted to distribute the software in programs you develop if you comply with the terms below.

i. Right to Use and Distribute. The software is "Distributable Code." Distributable Code. You may copy and distribute the object code form of the software. You may not modify the software, and your programs must include a complete copy of the software, including set-up. Third Party Distribution. You may permit distributors of your programs to copy and distribute the Distributable Code as part of those programs.

ii. Distribution Requirements. For any Distributable Code you distribute, you must add significant primary functionality to it in your programs; require distributors to agree to terms that protect it at least as much as this agreement; display your valid copyright notice on your programs; and indemnify, defend, and hold harmless Microsoft from any claims, including attorneys' fees, related to the distribution or use of your programs.

iii. Distribution Restrictions. You may not alter any copyright, trademark or patent notice in the Distributable Code; use Microsoft's trademarks in your programs' names or in a way that suggests your programs come from or are endorsed by Microsoft; distribute Distributable Code to run on a platform other than the Windows platform; or include Distributable Code in malicious, deceptive or unlawful programs.

3. Scope of License. The software is licensed, not sold. This agreement only gives you some rights to use the software. Microsoft reserves all other rights. Unless applicable law gives you more rights despite this limitation, you may use the software only as expressly permitted in this agreement. In doing so, you must comply with any technical limitations in the software that only allow you to use it in certain ways. For more information, see www.microsoft.com/licensing/userights. You may not disclose the results of any benchmark tests of the software to any third party without Microsoft's prior written approval; work around any technical limitations in the software; reverse engineer, decompile or disassemble the software, except and only to the extent that applicable law expressly permits, despite this limitation; make more copies of the software than specified in this agreement or allowed by applicable law, despite this limitation; publish the software for others to copy; rent, lease or lend the software; or use the software for commercial software hosting services.

4. BACKUP COPY. You may make one backup copy of the software. You may use it only to reinstall the software.

5. DOCUMENTATION. Any person that has valid access to your computer or internal network may copy and use the documentation for your internal, reference purposes.

6. TRANSFER TO A THIRD PARTY. The first user of the software may transfer it and this agreement directly to a third party. Before the transfer, that party must agree that this agreement applies to the transfer and use of the software. The first user must uninstall the software before transferring it separately from the device. The first user may not retain any copies.

7. Export Restrictions. The software is subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

8. SUPPORT SERVICES. Because this software is "as is," we may not provide support services for it. 9. Entire Agreement. This agreement, and the terms for supplements, updates, Internet-based services and support services that you use, are the entire agreement for the software and support services.

10. Applicable Law.

a. United States. If you acquired the software in the United States, Washington state law governs the interpretation of this agreement and applies to claims for breach of it, regardless of conflict of laws principles. The laws of the state where you live govern all other claims, including claims under state consumer protection laws, unfair competition laws, and in tort.

b. Outside the United States. If you acquired the software in any other country, the laws of that country apply.

11. Legal Effect. This agreement describes certain legal rights. You may have other rights under the laws of your country. You may also have rights with respect to the party from whom you acquired the software. This agreement does not change your rights under the laws of your country if the laws of your country do not permit it to do so.

12. Disclaimer of Warranty. The software is licensed "as-is." You bear the risk of using it. Microsoft gives no express warranties, guarantees or conditions. You may have additional consumer rights under your local laws which this agreement cannot change. To the extent permitted under your local laws, Microsoft excludes the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose and non-infringement.

13. Limitation on and Exclusion of Remedies and Damages. You can recover from Microsoft and its suppliers only direct damages up to U.S. \$5.00. You cannot recover any other damages, including consequential, lost profits, special, indirect or incidental damages. This limitation applies to anything related to the software, services, content (including code) on third party Internet sites, or third party

programs; and claims for breach of contract, breach of warranty, guarantee or condition, strict liability, negligence, or other tort to the extent permitted by applicable law. It also applies even if Microsoft knew or should have known about the possibility of the damages. The above limitation or exclusion may not apply to you because your country may not allow the exclusion or limitation of incidental, consequential or other damages”.

Intel Math Kernel Library 2017

Copyright © 2017 Intel Corporation.

Licensed under the Intel Simplified Software License

libyaml

Copyright (c) 2006-2016 Kirill Simonov

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

GDCM

Copyright (c) 2006-2016 Mathieu Malaterre

Copyright (c) 1993-2005 CREATIS

(CREATIS = Centre de Recherche et d'Applications en Traitement de l'Image)

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither name of Mathieu Malaterre, or CREATIS, nor the names of any contributors (CNRS, INSERM, UCB, Universite Lyon I), may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT

LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

LibPNG

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000 through 1.6.23, June 9, 2016 are Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2016 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-1.0.6, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Simon-Pierre Cadieux
 Eric S. Raymond
 Mans Rullgard
 Cosmin Truta
 Gilles Vollant
 James Yu

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

Some files in the "contrib" directory and some configure-generated files that are distributed with libpng have other copyright owners and are released under other open source licenses.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998-2000 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-0.96, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
 Glenn Randers-Pehrson
 Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger, are derived from libpng-0.88, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
 Kevin Bracey
 Sam Bushell
 Magnus Holmgren
 Greg Roelofs

Tom Tanner

Some files in the "scripts" directory have other copyright owners but are released under this license.

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

сохранить файл png.h и уведомление:

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000 through 1.6.23, June 9, 2016 are Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2016 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-1.0.6, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Mans Rullgard
Cosmin Truta
Gilles Vollant
James Yu

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

Some files in the "contrib" directory and some configure-generated files that are distributed with libpng have other copyright owners and are released under other open source licenses.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998-2000 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-0.96, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list

of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger, are derived from libpng-0.88, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

Some files in the "scripts" directory have other copyright owners but are released under this license.

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without

fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

jsoncpp

Copyright (c) 2007-2010 Baptiste Lepilleur

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

BRISK

BRISK - Binary Robust Invariant Scalable Keypoints Reference implementation of [1] Stefan Leutenegger, Margarita Chli and Roland Siegwart, BRISK: Binary Robust Invariant Scalable Keypoints, in Proceedings of the IEEE International Conference on Computer Vision (ICCV2011).

Copyright (C) 2011 The Autonomous Systems Lab (ASL), ETH Zurich, Stefan Leutenegger, Simon Lynen and Margarita Chli.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. * Neither the name of the ASL nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE

AGAST++

Copyright (c) 2010, Elmar Mair All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions

and the following disclaimer. * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution. * Neither the name of the owner nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

FAST detector

Copyright (c) 2006, 2008, 2009, 2010 Edward Rosten

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

*Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

*Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

*Neither the name of the University of Cambridge nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

libmv (SURF detector)

Copyright (c) 2007, 2008, 2009 libmv authors.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

STASM

Copyright (C) Stephen Milborrow

License Agreement For Open Source Computer Vision Library. Licensed under the 3-clause BSD License
The 3-Clause BSD License | Open Source Initiative (further the 3-clause BSD License)

AKAZE

Copyright (c) 2013, Pablo Fernandez Alcantarilla, Jesus NuevoAll Rights Reserved
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

KAZE

Copyright (c) 2012, Pablo Fernández AlcantarillaAll Rights Reserved
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the copyright holders nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT

SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

PCRE

Copyright(c) 2009-2016 Zoltan Herczeg
All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the University of Cambridge nor the names of any contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

zlib-CRC32 constants

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler
zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.8, April 28th, 2013

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

Adobe Glyph List License

Copyright (c) 1997,1998,2002,2007 Adobe Systems Incorporated

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this documentation file to use, copy, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the documentation, and to permit others to do the same, provided that:

- No modification, editing or other alteration of this document is allowed; and
- The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies of the documentation.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this documentation file, to create their own derivative works from the content of this document to use, copy, publish, distribute, sublicense, and/or sell the derivative works, and to permit others to do the same, provided that the derived work is not represented as being a copy or version of this document.

Adobe shall not be liable to any party for any loss of revenue or profit or for indirect, incidental, special, consequential, or other similar damages, whether based on tort (including without limitation negligence or strict liability), contract or other legal or equitable grounds even if Adobe has been advised or had reason to know of the possibility of such damages. The Adobe materials are provided on an "AS IS" basis. Adobe specifically disclaims all express, statutory, or implied warranties relating to the Adobe materials, including but not limited to those concerning merchantability or fitness for a particular purpose or non-infringement of any third party rights regarding the Adobe materials.

Zxing - Code translated from Java to CPP

Copyright (C) 2010 ZXing authors
Licensed under the Apache License version 2.0

HTML help

The Software accompanied by this documentation contains redistributable parts of HTML help
© Microsoft Corporation. All rights reserved.

Licensed under the terms of End User License Agreement for Microsoft software
<https://docs.microsoft.com/en-us/previous-versions/windows/desktop/htmlhelp/html-help-end-user-license-agreement>

zlib

zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.8, April 28th, 2013

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
 jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

MAPI Stub Library

Copyright (c) 2018 Microsoft
 Licensed under the MIT License

rhash

RHash License Copyright (c) 2005-2014 Aleksey Kravchenko <rhash.admin@gmail.com>
 Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the right to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so. The Software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Use this program at your own risk!

haval

Copyright (c) 2003 Calyptix Security Corporation * All rights reserved. * * This code is derived from software contributed to Calyptix Security * Corporation by Yuliang Zheng. * * Redistribution and use in source and binary forms, with or without * modification, are permitted provided that the following conditions * are met: * 1. Redistributions of source code must retain the above copyright * notice, this list of conditions and the following disclaimer. * 2. Redistributions in binary form must reproduce the above * copyright notice, this list of conditions and the following * disclaimer in the documentation and/or other materials provided * with the distribution. * 3. Neither the name of Calyptix Security Corporation nor the * names of its contributors may be used to endorse or promote * products derived from this software without specific prior * written permission. * * THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS * "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT * LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS * FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE * COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, * INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, * BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; * LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER * CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT * LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN * ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE * POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Microsoft Visual C++ Runtime

The Software contains redistributable parts of Microsoft Visual Studio (hereinafter - Microsoft Technologies).

© Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft Technologies are subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

DISCLAIMER OF WARRANTY. MICROSOFT TECHNOLOGIES ARE LICENSED "AS-IS." YOU BEAR THE RISK OF USING THEM. MICROSOFT GIVES NO EXPRESS WARRANTIES, GUARANTEES OR CONDITIONS. YOU MAY HAVE ADDITIONAL CONSUMER RIGHTS OR STATUTORY GUARANTEES UNDER YOUR LOCAL LAWS WHICH THIS AGREEMENT CANNOT CHANGE. TO THE EXTENT PERMITTED UNDER YOUR LOCAL LAWS, MICROSOFT EXCLUDES THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT.

Data Collection. The software may collect certain data as described in the Microsoft's privacy statement located at <https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=824704>. You can learn more about data collection and use in the help documentation and Microsoft's privacy statement. Your use of the software operates as your consent to these practices. Microsoft makes the commitments in the European Union General Data Protection Regulation Terms of the Online Services Terms to all customers effective May 25, 2018, at <https://go.microsoft.com/?linkid=9840733>.

Datalogics Software and Adobe Products (Adobe PDF Library and Adobe Color Profile)

© 2000-2012 Datalogics, Inc.

Datalogics®, The DL Logo®, PDF2IMG™ and DLE™ are trademarks of Datalogics, Inc.

© 1984-2012 Adobe Systems Incorporated and its licensors. All rights reserved.

Powered by Adobe PDF Library logo, Reader® are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

The Datalogics Software and Adobe Products incorporated into the SOFTWARE are owned by Datalogics, Adobe and third parties and their suppliers, and their structure, organization and code are the valuable trade secrets of Datalogics, Adobe and third parties and their suppliers. The Datalogics Software and Adobe Products are also protected by United States Copyright law and International Treaty provisions. You may not copy the Datalogics Software and Adobe Products, except as provided in this EULA.

Export Rules. You agree that the Datalogics Software and Adobe Products will not be shipped, transferred or exported into any country or used in any manner prohibited by the United States Export Administration Act or any other export laws, restrictions or regulations (collectively the "Export Laws"). In addition, if the Software Datalogics and Adobe Products are identified as export-controlled items under the Export Laws, you represent and warrant that you are not a citizen, or otherwise located within, an embargoed nation and that you are not otherwise prohibited under the Export Laws from receiving the Datalogics Software and Adobe Products

- (i) "For acquisition by or on behalf of civilian agencies, as necessary to obtain protection substantially equivalent to that afforded to restricted computer software and related documentation developed at private expense and which is existing computer software no part of which was developed with government funds and provided with Restricted Rights in accordance with subparagraphs (a) through (d) of the 'Commercial Computer Software - Restricted Rights' clause at 48 C.F.R. 52.227-19 of the Federal Acquisitions Regulations ("FAR") and its successors;"
- (ii) "For acquisition by or on behalf of units of the Department of Defense ("DoD") as necessary to obtain protection substantially equivalent to that afforded to commercial computer software and related documentation developed at private expense and provide with Restricted Rights as defined in DoD FAR Supplement 48 C.F.R. 252.227-7013(c)(1)(ii) and its successors in effect for all solicitations and resulting contracts issued on or after May 18, 1987."

The term " Datalogics Software and Adobe Products" means Datalogics Software and third party products (including Adobe Products) and related documentation, and any upgrades, modified versions, updates, additions, and copies thereof.

You acknowledge and agree that third party licensors are the owners of certain proprietary information and intellectual property rights included in the Host Products and the Documentation. Such third party licensors are third party beneficiaries entitled to enforce ABBYY's rights and your obligations hereunder and to seek appropriate legal and equitable remedies, including but not limited to, damages and injunctive relief, for your breach of such obligations.

License Grant and Restrictions. ABBYY grants you a non-exclusive right to use the Datalogics Software and Adobe Products under the terms of this EULA. You may make one backup copy of the Datalogics Software and Adobe Products, provided the backup copy is not installed or used on any computer.

Intellectual Property Rights. The Datalogics Software and Adobe Products incorporated into the SOFTWARE are owned by Datalogics, Adobe and third parties and their suppliers, and their structure, organization and code are the valuable trade secrets of Datalogics, Adobe and third parties and their suppliers. The Datalogics Software and Adobe Products are also protected by United States Copyright law and International Treaty provisions. You may not copy the Datalogics Software and Adobe Products, except as provided in this EULA. Any copies that you are permitted to make pursuant to this EULA must contain the same copyright and other proprietary notices that appear on or in the Datalogics Software and Adobe Products. You agree not to modify, adapt, translate, reverse engineer, decompile, disassemble or otherwise attempt to discover the source code of the Datalogics Software and Adobe Products. Except as stated above, this EULA does not grant you any intellectual property rights in the Datalogics Software and Adobe Products.

Font License. You may embed copies of the font software into your electronic documents for purpose of printing, viewing and editing the document. No other embedding rights are implied or permitted under this license.

Warranty. ABBYY AND ITS SUPPLIERS DO NOT AND CANNOT WARRANT THE PERFORMANCE RESULTS YOU MAY OBTAIN BY USING THE SOFTWARE.

CUDA Runtime for Windows

© 2007-2019 NVIDIA Corporation. All rights reserved.

Licensed under the terms of the License Agreement for NVIDIA Software Development Kits available at <https://docs.nvidia.com/cuda/eula/index.html#nvidia-driver-license>

OpenSSL

Copyright 1999-2019 The OpenSSL Project Authors. All Rights Reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====
=

This product includes cryptographic software written by Eric Young (ey@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (ey@cryptsoft.com)

All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (ey@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used. This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
 "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
 The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).

4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:

"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
 THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

MD4 message digest algorithm reference implementation

RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm

/* Copyright (C) 1990-2, RSA Data Security, Inc. All rights reserved.

License to copy and use this software is granted provided that it is identified as the "RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing this software or this function. License is also granted to make and use derivative works provided that such works are identified as "derived from the RSA Data Security, Inc. MD4 Message-Digest Algorithm" in all material mentioning or referencing the derived work. RSA Data Security, Inc. makes no representations concerning either the merchantability of this software or the suitability of this software for any particular purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty of any kind. These notices must be retained in any copies of any part of this documentation and/or software.

Microsoft Visual C++ 2015 OMP Library

The Software accompanied by this documentation contains redistributable parts of Microsoft Visual C++ 2015 OMP Library.

© Microsoft Corporation. All rights reserved.

DATA. The software may collect certain data as described in the Microsoft's privacy statement located at <https://go.microsoft.com/fwlink/?LinkID=824704>. You can learn more about data collection and use

in the help documentation and Microsoft’s privacy statement. Your use of the software operates as your consent to these practices. .

EXPORT RESTRICTIONS. Microsoft software, online services, professional services and related technology are subject to U.S. export jurisdiction. You must comply with all applicable international and national, laws including the U.S. Export Administration Regulations, the International Traffic in Arms Regulations, Office of Foreign Assets Control sanctions programs, and end-user, end use and destination restrictions by the U.S. and other governments related to Microsoft products, services and technologies. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

You may find a full text of license at: [Microsoft Visual Studio Enterprise 2015, Visual Studio Professional 2015, Visual Studio Test Profess - Visual Studio](#)

Pixtran (pixtools)

Is owned by Open Text UK Ltd (UK), further Open Text

Whereas the ABBYY Software incorporates pixtran (pixtools), You agree to be bound by the following provisions:

- PixTools © Copyright Open Text UK Ltd. All rights reserved.
- EMC’s and EMC’s licensors’ intellectual property rights in the Software are protected under all legal theories applicable to the geography where the Software is used.
- You are only granted a right to use the application
- No Warranties. PixTools software is provided “as is” and Open Text makes no representations or warranties, express or implied, regarding the performance of PixTools as a part of the ABBYY’s product. Open Text disclaims any express or implied warranty of merchantability or fitness for a particular purpose. UNDER NO CIRCUMSTANCES WILL EMC BE LIABLE TO ANY END-USER OR TRANSFEREE, FOR ANY LOST OR DEGRADED DATA; LOST REVENUE; LOST PROFITS; COST OF PROCUREMENT OF SUBSTITUTE PRODUCTS; OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, INCIDENTAL OR PUNITIVE DAMAGES, HOWEVER CAUSED AND REGARDLESS OF THEORY OF LIABILITY, ARISING IN ANY WAY OUT OF THIS LICENSE AGREEMENT. THIS LIMITATION SHALL APPLY EVEN IF Open Text HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES, AND NOTWITHSTANDING ANY FAILURE OF ESSENTIAL PURPOSE OF ANY LIMITED REMEDY. All rights not expressly granted herein are reserved by Open Text.

CUMINAS DjVu

Portions of this computer program are copyright © 2008 Celartem, Inc. All rights reserved.

Portions of this computer program are copyright © 2011 Caminova, Inc. All rights reserved.

Portions of this computer program are copyright © 2013 Cuminas, Inc. All rights reserved.

DjVu is protected by U.S. Patent No. 6,058,214. Foreign Patents Pending.

Powered by AT&T Labs Technology.

License.DjVu.txt, which contains the terms of Expat, Release 2.0.1 License and of Jasper License Version 2.0:

Expat, Release 2.0.1 Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above

copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

JasPer License Version 2.0 Copyright © 2001-2006 Michael David Adams Copyright © 1999-2000 Image Power, Inc. Copyright © 1999-2000 The University of British Columbia All rights reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person (the "User") obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notices and this permission notice (which includes the disclaimer below) shall be included in all copies or substantial portions of the Software. The name of a copyright holder shall not be used to endorse or promote products derived from the Software without specific prior written permission. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF THE SOFTWARE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER. THE SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE. NO ASSURANCES ARE PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS THAT THE SOFTWARE DOES NOT INFRINGE THE PATENT OR OTHER INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS OF ANY OTHER ENTITY. EACH COPYRIGHT HOLDER DISCLAIMS ANY LIABILITY TO THE USER FOR CLAIMS BROUGHT BY ANY OTHER ENTITY BASED ON INFRINGEMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS OR OTHERWISE. AS A CONDITION TO EXERCISING THE RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EACH USER HEREBY ASSUMES SOLE RESPONSIBILITY TO SECURE ANY OTHER INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS NEEDED, IF ANY. THE SOFTWARE IS NOT FAULT-TOLERANT AND IS NOT INTENDED FOR USE IN MISSION-CRITICAL SYSTEMS, SUCH AS THOSE USED IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL SYSTEMS, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE OR SYSTEM COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). THE COPYRIGHT HOLDERS SPECIFICALLY DISCLAIM ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES.

Limitations for SOFTWARE obtained at the USA.

Government Use. If use is made of the SOFTWARE by the United States Government or any US Government agency, the following additional terms shall apply: (1) Restricted Computer Software, as defined in the Rights in Data-General clause at Federal Acquisition Regulations 52.227-14; and (2) any use, duplication, or disclosure by the Government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.227-7013.

Export rules. You agree that You shall not export or re-export the SOFTWARE in violation of any export provisions in the laws of the country in which this SOFTWARE was purchased or otherwise acquired. In addition, You represent and warrant that You are not prohibited under applicable laws from receiving the SOFTWARE.

Third Party Code: Oniguruma Copyright © 2002-2006 K.Kosako <sndgk393 AT ybb DOT ne DOT jp>. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MD5 A portion of this software is derived from the RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm. Mersenne Twister Copyright © 2006,2007 Mutsuo Saito, Makoto Matsumoto and Hiroshima University. All rights reserved. Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met: Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

Neither the name of the Hiroshima University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission. THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

-Developer shall make the terms specified in this paragraph 9.6.4. of EULA a part of the Developer's Application in the form of separate text files. The Developer's Application may not be distributed to the End User without these separate text files containing the following terms:

Expat, Release 2.0.1 Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Copyright © 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006 Expat maintainers. Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use,

copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software. THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

JasPer License Version 2.0 Copyright © 2001-2006 Michael David Adams Copyright © 1999-2000 Image Power, Inc. Copyright © 1999-2000 The University of British Columbia All rights reserved. Permission is hereby granted, free of charge, to any person (the "User") obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions: The above copyright notices and this permission notice (which includes the disclaimer below) shall be included in all copies or substantial portions of the Software. The name of a copyright holder shall not be used to endorse or promote products derived from the Software without specific prior written permission. THIS DISCLAIMER OF WARRANTY CONSTITUTES AN ESSENTIAL PART OF THIS LICENSE. NO USE OF THE SOFTWARE IS AUTHORIZED HEREUNDER EXCEPT UNDER THIS DISCLAIMER. THE SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, OR ANY SPECIAL INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE. NO ASSURANCES ARE PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS THAT THE SOFTWARE DOES NOT INFRINGE THE PATENT OR OTHER INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS OF ANY OTHER ENTITY. EACH COPYRIGHT HOLDER DISCLAIMS ANY LIABILITY TO THE USER FOR CLAIMS BROUGHT BY ANY OTHER ENTITY BASED ON INFRINGEMENT OF INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS OR OTHERWISE. AS A CONDITION TO EXERCISING THE RIGHTS GRANTED HEREUNDER, EACH USER HEREBY ASSUMES SOLE RESPONSIBILITY TO SECURE ANY OTHER INTELLECTUAL PROPERTY RIGHTS NEEDED, IF ANY. THE SOFTWARE IS NOT FAULT-TOLERANT AND IS NOT INTENDED FOR USE IN MISSION-CRITICAL SYSTEMS, SUCH AS THOSE USED IN THE OPERATION OF NUCLEAR FACILITIES, AIRCRAFT NAVIGATION OR COMMUNICATION SYSTEMS, AIR TRAFFIC CONTROL SYSTEMS, DIRECT LIFE SUPPORT MACHINES, OR WEAPONS SYSTEMS, IN WHICH THE FAILURE OF THE SOFTWARE OR SYSTEM COULD LEAD DIRECTLY TO DEATH, PERSONAL INJURY, OR SEVERE PHYSICAL OR ENVIRONMENTAL DAMAGE ("HIGH RISK ACTIVITIES"). THE COPYRIGHT HOLDERS SPECIFICALLY DISCLAIM ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY OF FITNESS FOR HIGH RISK ACTIVITIES."

Expat, Release 2.0.1 Copyright © 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper

Kakadu Software

Copyright © 2017 Kakadu Software Pty Ltd. All rights reserved.

Portions of this software are copyright © 2017 Kakadu Software Pty Ltd. All rights reserved.

HDPPhotoDPK

The Software contains redistributable parts of Microsoft Technologies.

© Microsoft Corporation. All rights reserved.

Microsoft Technologies are subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the software. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

DISCLAIMER OF WARRANTY. MICROSOFT TECHNOLOGIES ARE LICENSED "AS-IS." YOU BEAR THE RISK OF USING THEM. MICROSOFT GIVES NO EXPRESS WARRANTIES, GUARANTEES OR CONDITIONS. YOU MAY HAVE ADDITIONAL CONSUMER RIGHTS OR STATUTORY GUARANTEES UNDER YOUR LOCAL LAWS WHICH THIS AGREEMENT CANNOT CHANGE. TO THE EXTENT PERMITTED UNDER YOUR LOCAL LAWS, MICROSOFT EXCLUDES THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT.

OpenSSL

Copyright (c) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)

OpenSSL License

```

/*
=====
=
* Copyright (c) 1998-2017 The OpenSSL Project. All rights reserved.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
*
* 1. Redistributions of source code must retain the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
*
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in
* the documentation and/or other materials provided with the
* distribution.
*
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this
* software must display the following acknowledgment:
* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
*
* 4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to
* endorse or promote products derived from this software without
* prior written permission. For written permission, please contact
* openssl-core@openssl.org.
*
* 5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL"

```

* nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written
* permission of the OpenSSL Project.

* 6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following
* acknowledgment:

* "This product includes software developed by the OpenSSL Project
* for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY
* EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR
* PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR
* ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL,
* SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT
* NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES;
* LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT,
* STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)
* ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED
* OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

=====

=
* This product includes cryptographic software written by Eric Young
* (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim
* Hudson (tjh@cryptsoft.com).

*/

Original SSLeay License

/* Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
* All rights reserved.

* This package is an SSL implementation written
* by Eric Young (eay@cryptsoft.com).
* The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

* This library is free for commercial and non-commercial use as long as
* the following conditions are aheared to. The following conditions
* apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA,
* lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation
* included with this distribution is covered by the same copyright terms
* except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

* Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in
* the code are not to be removed.
* If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution
* as the author of the parts of the library used.

```

* This can be in the form of a textual message at program startup or
* in documentation (online or textual) provided with the package.
*
* Redistribution and use in source and binary forms, with or without
* modification, are permitted provided that the following conditions
* are met:
* 1. Redistributions of source code must retain the copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer.
* 2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright
* notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
* documentation and/or other materials provided with the distribution.
* 3. All advertising materials mentioning features or use of this software
* must display the following acknowledgement:
* "This product includes cryptographic software written by
* Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
* The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library
* being used are not cryptographic related :-).
* 4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from
* the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
* "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"
*
* THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS" AND
* ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE
* IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE
* ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE
* FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
* DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS
* OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)
* HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT
* LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY
* OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF
* SUCH DAMAGE.
*
* The licence and distribution terms for any publically available version or
* derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be
* copied and put under another distribution licence
* [including the GNU Public Licence.]
*/

```

TWAIN Toolkit, TWAIN header

Whereas the ABBYY SDK incorporates TWAIN toolkit, the Developer agrees to be bound by the following provisions and to include them in (i) the header or similar file in Application and (ii) prominently in its documentation:

The TWAIN Toolkit is distributed as is. The developer and distributors of the TWAIN Toolkit expressly disclaim all implied, express or statutory warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, noninfringement of third party rights and fitness for a particular purpose. Neither the developers nor the distributors will be liable for damages, whether direct, indirect, special, incidental, or consequential, as a result of the reproduction, modification, distribution or other use of the TWAIN Toolkit.

PDF-XChange

PDF-XChange Standard (c) 2001-2013 by Tracker Software Products Ltd.

ABBYY grants You a non-exclusive right to use PDF- XChange incorporated into the SOFTWARE under the terms of this EULA.

You may make one backup copy of PDF- XChange incorporated into the SOFTWARE, provided the backup copy is not installed or used on any computer.

Intellectual Property Rights. PDF-XChange incorporated into the SOFTWARE is owned by Tracker Software Products Ltd and its suppliers, and its structure, organization and code are the valuable trade secrets of Tracker Software Products Ltd and its suppliers. PDF- XChange is also protected by United States Copyright Law and International Treaty provisions. You may not copy the PDF- XChange Software incorporated into the SOFTWARE, except as provided in this EULA.

Any copies that You are permitted to make pursuant to this EULA must contain the same copyright and other proprietary notices that appear on or in the SOFTWARE. You agree not to modify, adapt, translate, reverse engineer, decompile, disassemble or otherwise attempt to discover the source code of PDF- XChange incorporated into the SOFTWARE.

Except as stated above, this EULA does not grant You any intellectual property rights in PDF-XChange.

Export Rules. You agree that PDF-XChange incorporated into the SOFTWARE will not be shipped, transferred or exported into any country or used in any manner prohibited by the United States Export Administration Act or any other export laws, restrictions or regulations (collectively the "Export Laws"). In addition, if PDF-XChange incorporated into the SOFTWARE is identified as export controlled items under the Export Laws, You represent and warrant that You are not a citizen, or otherwise located within, an embargoed nation and that You are not otherwise prohibited under the Export Laws from receiving PDF- XChange incorporated into the SOFTWARE.

All rights to use PDF-XChange incorporated into the SOFTWARE are granted on condition that such rights are forfeited if You fail to comply with the terms of this EULA.

Trademarks. PDF-XChange Drivers are either registered trademarks or trademarks of Tracker Software Products Ltd in the United Kingdom, Canada and/or other countries.

Microsoft Universal CRT Library

The technologies of Microsoft Corporation or their parts (hereinafter referred to as the "Microsoft Technologies") listed hereof are used in the SOFTWARE. The Microsoft Technologies are distributed under the Microsoft Software License Terms accompanying the Microsoft Technologies.

Technologies of Microsoft Corporation used in the SOFTWARE:

- Microsoft Universal CRT Library.

© Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft is either registered trademark or trademark of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

The Microsoft Technologies are licensed, not sold. This EULA only gives You some rights to use the Microsoft Technologies. Microsoft reserves all other rights. Unless applicable law gives You more rights despite this limitation, You may use the Microsoft Technologies only as expressly permitted in the Microsoft Software License Terms and in this EULA. In doing so, You must comply with any technical limitations in the Microsoft Technologies that only allow You to use it in certain ways. You may not:

- * Except for the Microsoft .NET Framework, you must obtain Microsoft's prior written approval to disclose to a third party the results of any benchmark test of the Microsoft Technologies.

- *work around any technical limitations in the Microsoft Technologies;

- *reverse engineer, decompile or disassemble the Microsoft Technologies, except and only to the extent that applicable law expressly permits, despite this limitation;
- * make more copies of the Microsoft Technologies than specified in this EULA or allowed by applicable law, despite this limitation;
- * publish the Microsoft Technologies for others to copy;
- * rent, lease or lend the Microsoft Technologies;
- * transfer the Microsoft Technologies or this agreement to any third party other than as expressly permitted thereunder.
- * use the Microsoft Technologies for commercial software hosting services.

Export restrictions. The Microsoft Technologies are subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the Microsoft Technologies. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

google-diff-match-patch

Google Inc.

Whereas the ABBYY Software incorporates this component: You agree to be bound by Google's T&C as follows:

"TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

"Contribution" shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, "submitted" means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as "Not a Contribution."

"Contributor" shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. Grant of Copyright License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.

3. Grant of Patent License. Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.

4. Redistribution. You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:

You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and

If the Work includes a "NOTICE" text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You

may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.

5. Submission of Contributions. Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.

7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.

8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.

9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

mapifolders

Portions of software contain mapifolders. Copyright Microsoft. Whereas the ABBYY Software incorporates MICROSOFT Outlook 2010: MAPI Header Files or its components (hereinafter referred to as the "Microsoft Technologies"), You agree to be bound by the following Microsoft Software License Terms (the full text may be found at <http://www.microsoft.com/en-us/download/details.aspx?displaylang=en&id=12905>):

The Microsoft Technologies or its components are licensed, not sold. This agreement only gives you some rights to use the Microsoft Technologies or its components. Microsoft reserves all other rights.

Unless applicable law gives you more rights despite this limitation, you may use the Microsoft Technologies or its components only as expressly permitted in the Microsoft Software License Terms. In doing so, you must comply with any technical limitations in the Microsoft Technologies or its components that only allow you to use it in certain ways. You may not

- * alter any copyright, trademark or patent notice in the Microsoft Technologies or its components;
- * use Microsoft's trademarks in Software names or in a way that suggests your Software comes from or is endorsed by Microsoft;
- * distribute the Microsoft Technologies to run on a platform other than the Windows platform
- * include the Microsoft Technologies or its components in malicious, deceptive or unlawful programs;
- * modify or distribute the source code of the Microsoft Technologies or its components so that any part of it becomes subject to an Excluded License. An Excluded License is one that requires, as a condition of use, modification or distribution, that
 - * the code be disclosed or distributed in source code form; or
 - * others have the right to modify it.
- * work around any technical limitations in the Microsoft Technologies;
- * reverse engineer, decompile or disassemble the Microsoft Technologies, except and only to the extent that applicable law expressly permits, despite this limitation;
- * make more copies of the Microsoft Technologies than specified in this Agreement or allowed by applicable law, despite this limitation;
- * publish the Microsoft Technologies or its components for others to copy;
- * rent, lease or lend the Microsoft Technologies its components;
- * use the Microsoft Technologies for commercial software hosting services.
- * transfer the Microsoft Technologies or its components to any third party other than as expressly permitted by this Agreement.

EXPORT RESTRICTIONS. The Microsoft Technologies or its components are subject to United States export laws and regulations. You must comply with all domestic and international export laws and regulations that apply to the Microsoft Technologies or its components. These laws include restrictions on destinations, end users and end use. For additional information, see www.microsoft.com/exporting.

***ABBYY FineReader** © 2021 ABBYY Development Inc. ABBYY, FineReader and ABBYY FineReader are either registered trademarks or trademarks of ABBYY Development Inc. and/or its affiliates. These designations can also be logos, product or company names (or part of any of the above) of ABBYY Development Inc. and/or its affiliates and may not be used without consent of their respective owners.*

For more information, please visit www.abbyy.com.

If you have additional questions, contact your local ABBYY representative listed under www.abbyy.com/contacts.